

平成30年度 市民意識調査

報 告 書

平成31年3月

加 古 川 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収状況	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	2
1.	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	家族構成	2
(4)	居住地域	3
(5)	居住年数	4
(6)	職業	4
(7)	通勤・通学先	5
(8)	通勤・通学の交通手段	5
(9)	結婚の経験	6
(10)	子どもの有無	6
(11)	子どもの年齢・人数	7
2.	定住意向	8
(1)	定住意向	8
(2)	転居したい理由	11
(3)	市内で希望する居住場所	15
(4)	市外で希望する居住場所	18
3.	市の施策に対する満足度・重要度	21
3-1	安心して暮らせるまちをめざして	25
3-2	心豊かに暮らせるまちをめざして	51
3-3	うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	73
3-4	にぎわいの中で暮らせるまちをめざして	83
3-5	快適に暮らせるまちをめざして	97
3-6	まちづくりの進め方	125
4.	「防災」対策として地域等で取り組んでいること	132
5.	「防犯」対策として地域等で取り組んでいること	134
6.	加古川市が今後取り組むべきまちづくり	136

7. 公共交通（バス）について.....	139
(1) バスの利用有無.....	139
(2) バスの利用目的.....	142
(3) バスに対する不満.....	145
(4) バスを利用しない理由.....	149
(5) 希望する目的地.....	153
(6) バス以外の交通手段.....	154
8. 市民活動参加状況.....	157
9. 市民活動への参加意向.....	160
10. 市政に関する情報の入手方法.....	163
11. 「広報かこがわ」に対する満足度.....	167
12. 「加古川市のホームページ」に対する満足度.....	170
13. 加古川市の取組等の認知度.....	173
14. 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度.....	177
15. 自由意見.....	180
Ⅲ 総括.....	184
1. 全体考察.....	184
2. 経年比較.....	186

I 調査の概要

1 調査目的

加古川市後期総合基本計画（計画期間：平成28年度から平成32年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、後期総合基本計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2 調査設計

調査対象：加古川市在住の満18歳以上の市民の中から3,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：配布・回収とも郵送による

調査期間：平成30年(2018年)11月15日（木）から平成30年(2018年)11月30日（金）まで

調査項目：・回答者の属性

- ・定住意向について
- ・加古川市が取り組んでいる施策について
- ・「防災」及び「防犯」対策への取組について
- ・加古川市が今後取り組むべきまちづくりについて
- ・公共交通（バス）について
- ・協働のまちづくりについて
- ・市政等に関する情報について
- ・その他について
- ・自由意見

3 回収状況

配布数	回収数	有効回答率
3,000人	1,355人	45.2%

4 報告書の見方

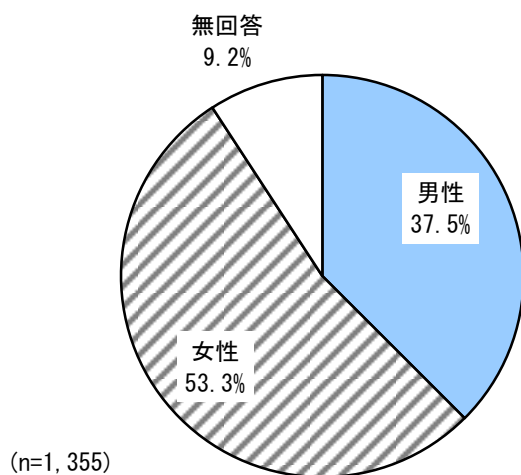
- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answerの略）や「3LA%」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 本文中にある前回調査とは「平成29年度調査」を指している。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

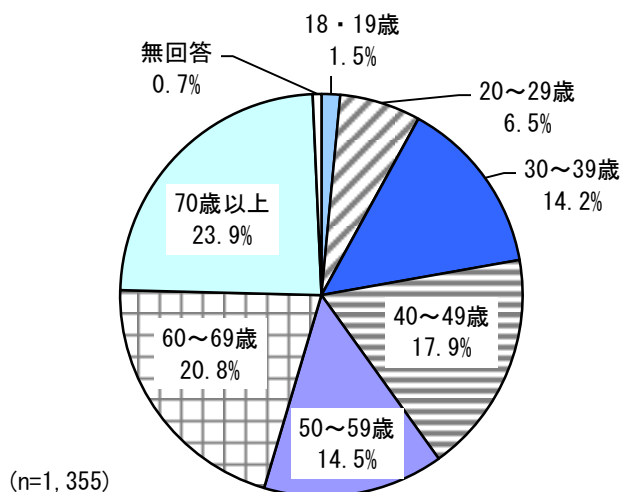
【図1-1 性別】



●回答者の性別は、「女性」が53.3%と最も高く、次いで、「男性」が37.5%となっている。(図1-1)

(2) 年齢

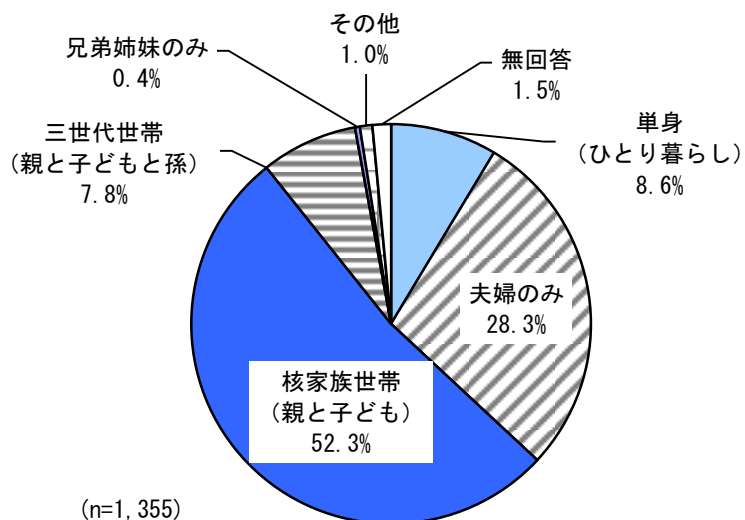
【図1-2 年齢】



●回答者の年齢は、「70歳以上」が23.9%と最も高く、次いで、「60～69歳」が20.8%、「40～49歳」が17.9%、「50～59歳」が14.5%、「30～39歳」が14.2%となっている。(図1-2)

(3) 家族構成

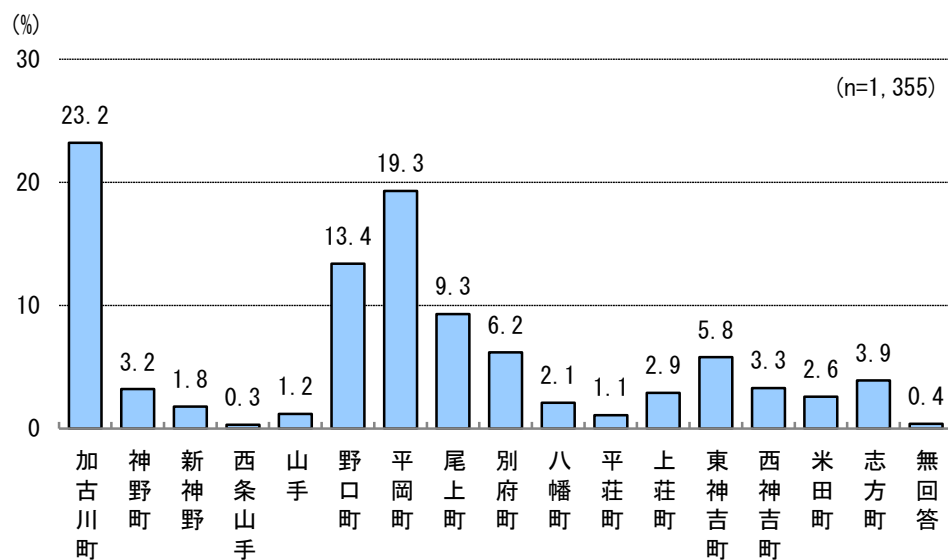
【図1-3 家族構成】



●回答者の家族構成は、「核家族世帯 (親と子ども)」が52.3%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が28.3%、「単身 (ひとり暮らし)」が8.6%、「三世代世帯 (親と子どもと孫)」が7.8%、「兄弟姉妹のみ」が0.4%となっている。(図1-3)

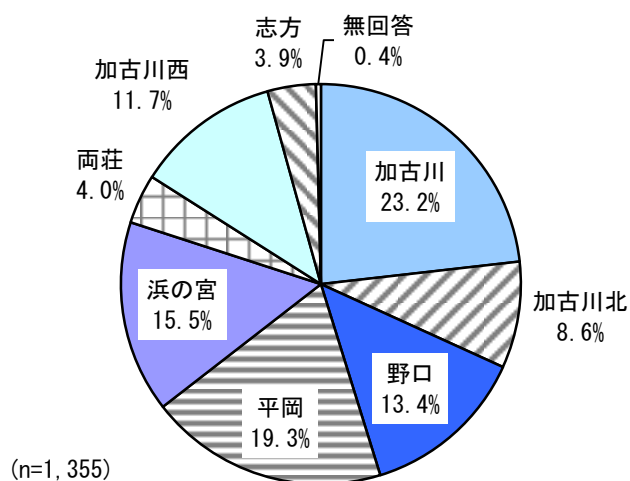
(4) 居住地域

【図1-4-1 居住地域】



【図1-4-2 居住地区】

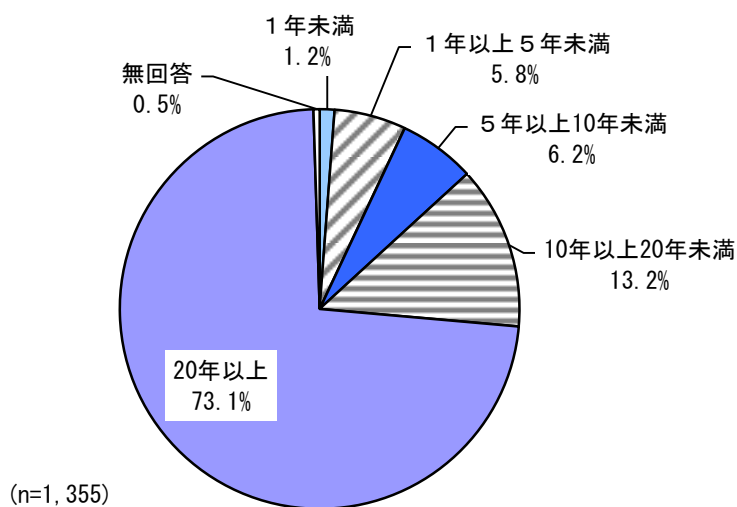
居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



- 回答者の居住地区は、「加古川」が23.2%と最も高く、次いで、「平岡」が19.3%、「浜の宮」が15.5%、「野口」が13.4%、「加古川西」が11.7%となっている。(図1-4-2)

(5) 居住年数

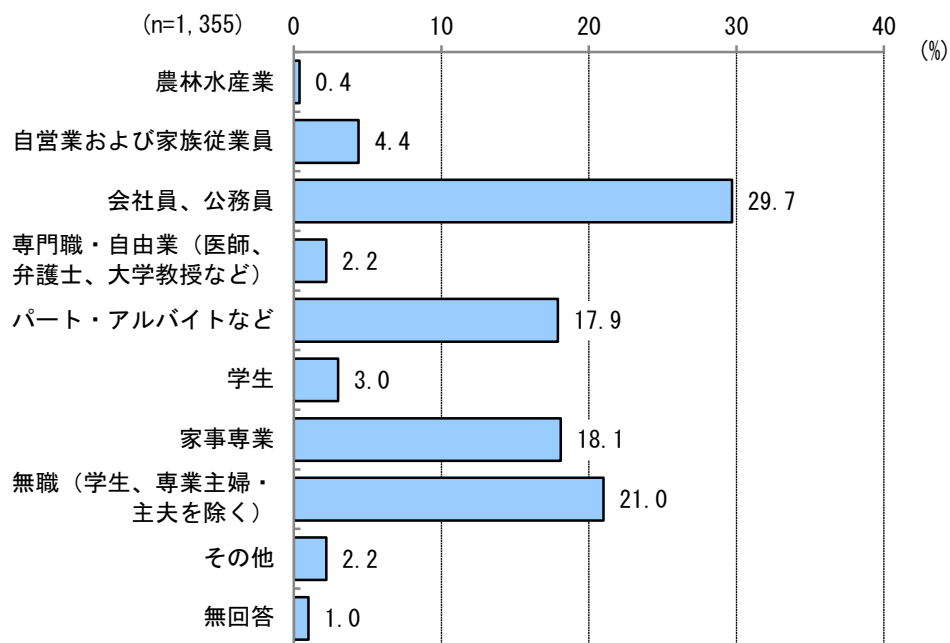
【図1-5 居住年数】



- 加古川市での居住年数は、「20年以上」が73.1%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」が13.2%、「5年以上10年未満」が6.2%、「1年以上5年未満」が5.8%、「1年未満」が1.2%となっている。(図1-5)

(6) 職業

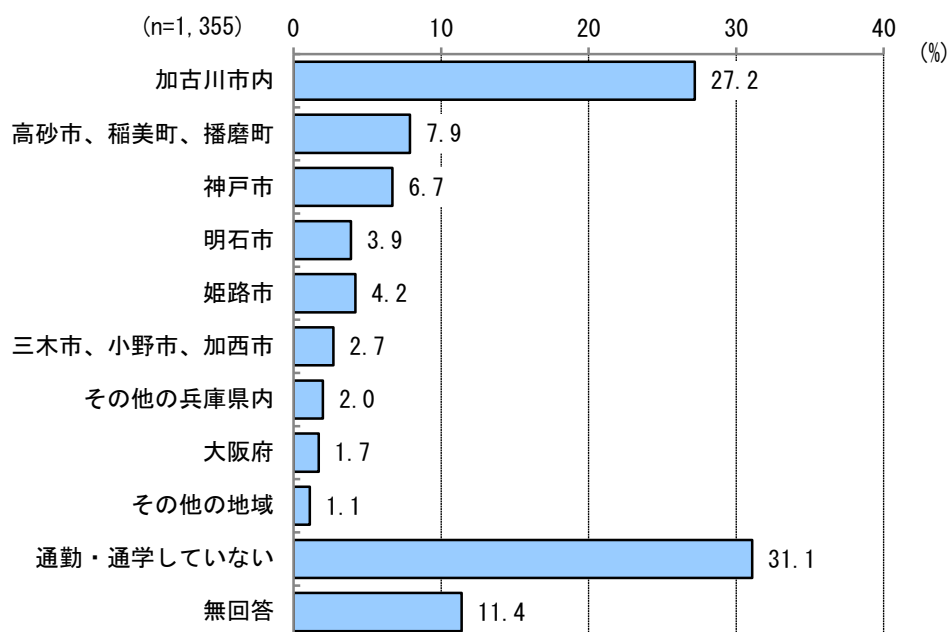
【図1-6 職業】



- 回答者の職業は、「会社員、公務員」が29.7%と最も高く、次いで、「無職（学生、専業主婦・主夫を除く）」が21.0%、「家事専業」が18.1%、「パート・アルバイトなど」が17.9%、「自営業および家族従業員」が4.4%となっている。(図1-6)

(7) 通勤・通学先

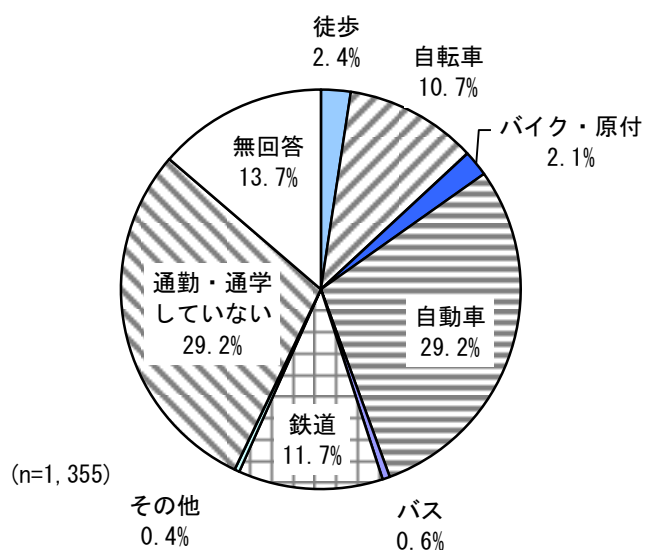
【図1-7 通勤・通学先】



- 回答者の通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が31.1%と最も高く、次いで、「加古川市内」が27.2%、「高砂市、稲美町、播磨町」が7.9%、「神戸市」が6.7%、「姫路市」が4.2%となっている。(図1-7)

(8) 通勤・通学の交通手段

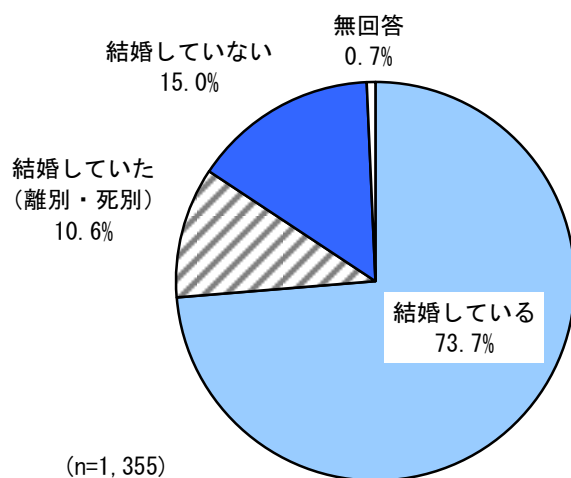
【図1-8 通勤・通学の交通手段】



- 通勤・通学の交通手段は、「自動車」、「通勤・通学していない」が29.2%と同率で最も高く、次いで、「鉄道」が11.7%、「自転車」が10.7%、「徒歩」が2.4%、「バイク・原付」が2.1%となっている。(図1-8)

(9) 結婚の経験

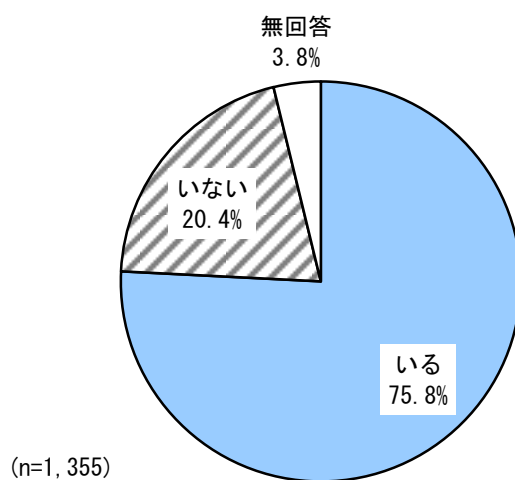
【図1-9 結婚の経験】



- 結婚の経験については、「結婚している」が73.7%と最も高く、次いで、「結婚していない」が15.0%、「結婚していた (離別・死別)」が10.6%となっている。(図1-9)

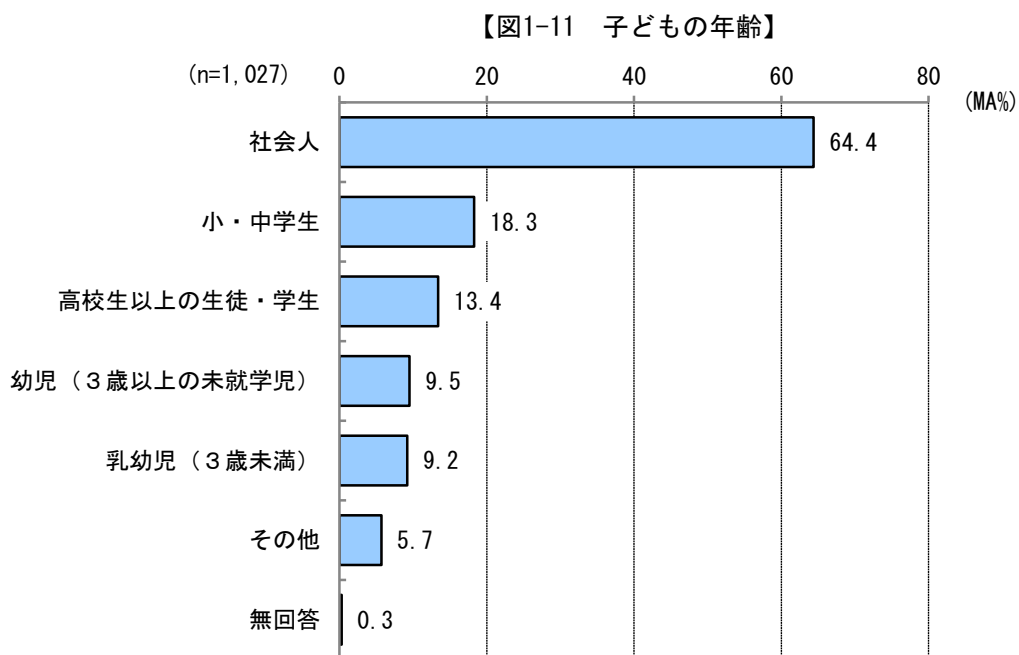
(10) 子どもの有無

【図1-10 子どもの有無】



- 子どもの有無については、「いる」が75.8%と最も高く、次いで、「いない」が20.4%となっている。(図1-10)

(11) 子どもの年齢・人数



●子どもの年齢は、「社会人」が64.4%と最も高く、次いで、「小・中学生」が18.3%、「高校生以上の生徒・学生」が13.4%、「幼児（3歳以上の未就学児）」が9.5%、「乳幼児（3歳未満）」が9.2%となっている。（図1-11）

●子どもの人数の内訳は、以下のとおりとなっている。（表1-12）

【表1-12 子どもの人数】

(件)

(n=1,027)	乳幼児 (3歳未満)	幼児 (3歳以上の 未就学児)	小・中学生	高校生以上の 生徒・学生	社会人	その他
合 計	94	98	188	138	661	59
1 人	82	81	120	99	177	38
2 人	12	17	53	34	323	15
3 人	—	—	15	4	119	2
4 人	—	—	—	—	15	—
5 人	—	—	—	—	1	1
無回答	—	—	—	1	26	3

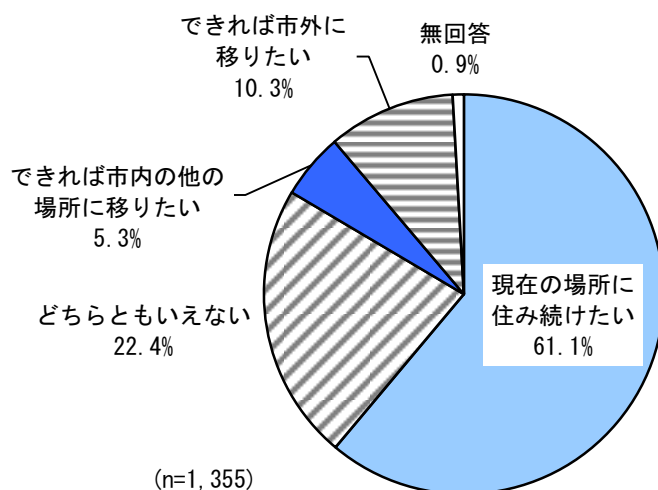
※複数回答のため、合計はサンプル数と一致しない

2. 定住意向

(1) 定住意向

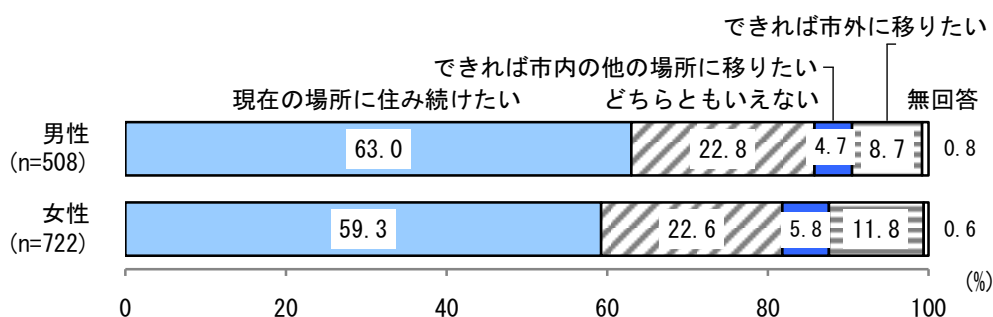
問2 あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住み続けたいと思いますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-1 定住意向】



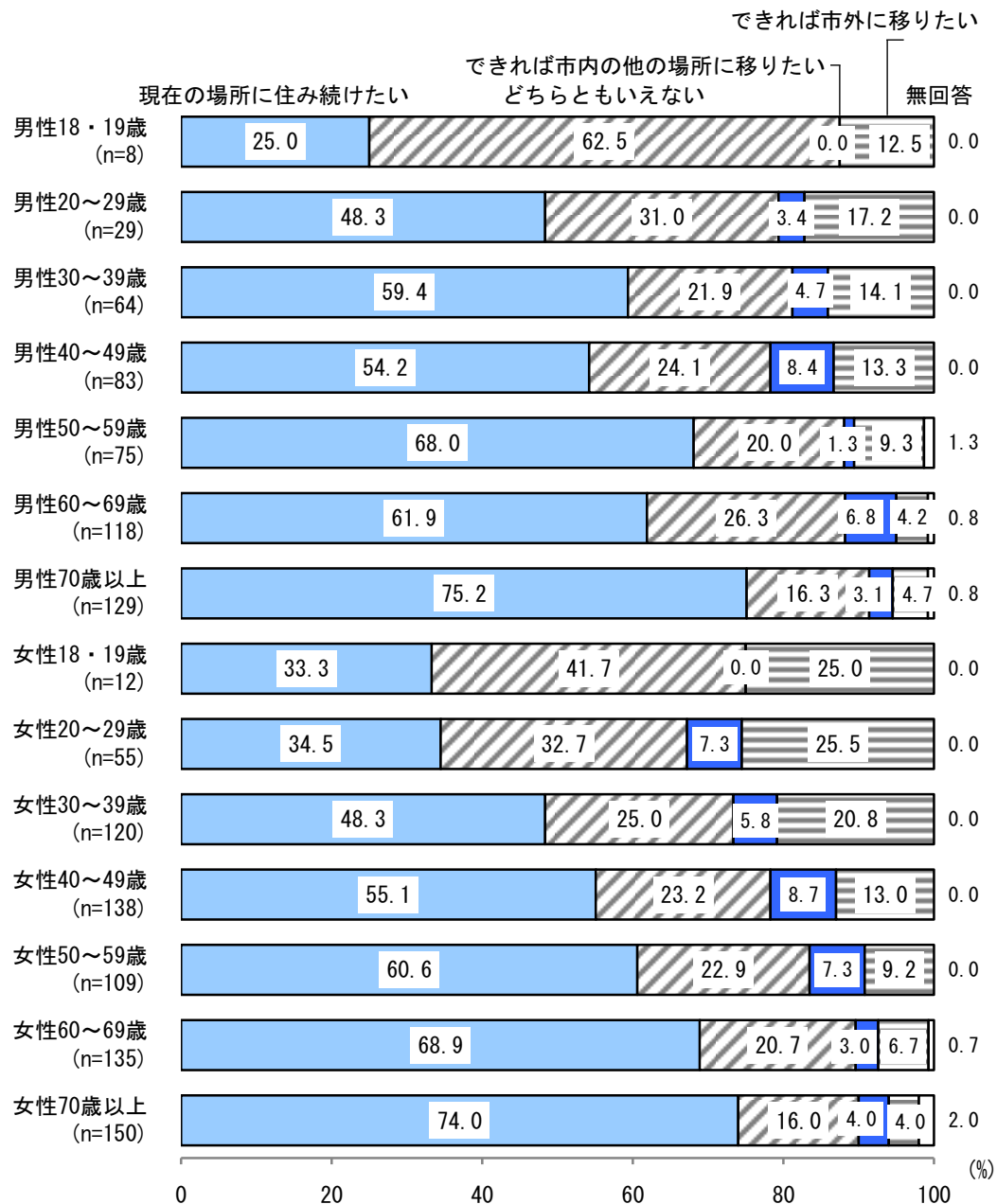
- 定住意向については、「現在の場所に住み続けたい」が61.1%と最も高く、次いで、「どちらともいえない」が22.4%、「できれば市外に移りたい」が10.3%、「できれば市内の他の場所に移りたい」が5.3%となっている。(図2-1)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「現在の場所に住み続けたい」が高く、男性では63.0%、女性では59.3%となっている。(図2-1-1)

【図2-1-1 性別 定住意向】



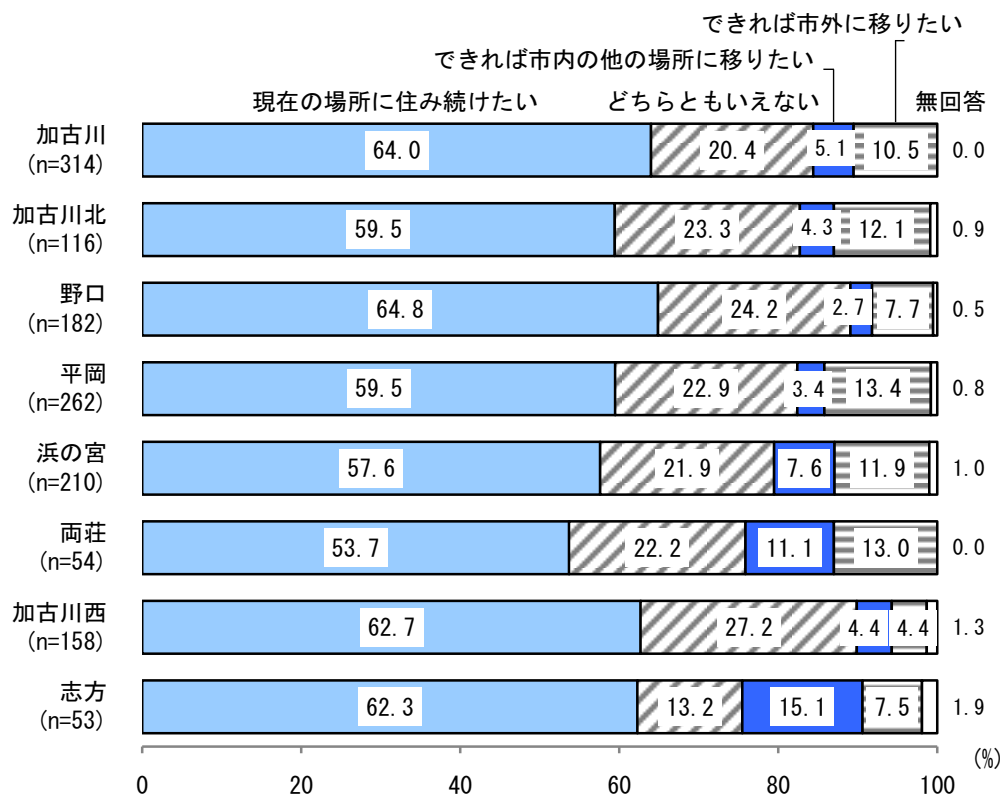
●性年代別でみると、男性18・19歳、女性18・19歳では「どちらともいえない」がそれぞれ62.5%、41.7%と最も高く、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「現在の場所に住み続けたい」がそれぞれ48.3%、59.4%、54.2%、68.0%、61.9%、75.2%、34.5%、48.3%、55.1%、60.6%、68.9%、74.0%と最も高くなっている。(図2-1-2)

【図2-1-2 性年代別 定住意向】



- 居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「現在の場所に住み続けたい」が高く、加古川では64.0%、加古川北では59.5%、野口では64.8%、平岡では59.5%、浜の宮では57.6%、両荘では53.7%、加古川西では62.7%、志方では62.3%となっている。（図2-1-3）

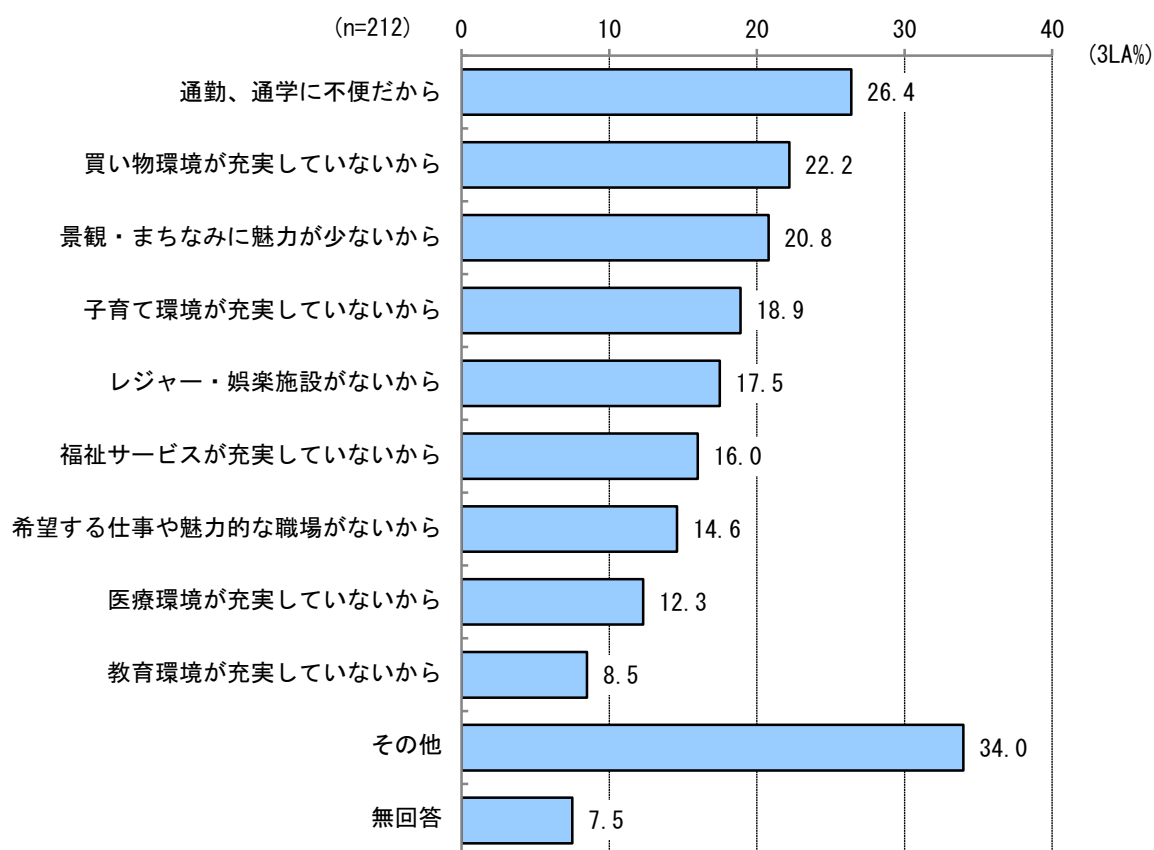
【図2-1-3 居住地区別 定住意向】



(2) 転居したい理由

問2-① 問2で「3. できれば市内の他の場所に移りたい」または「4. できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

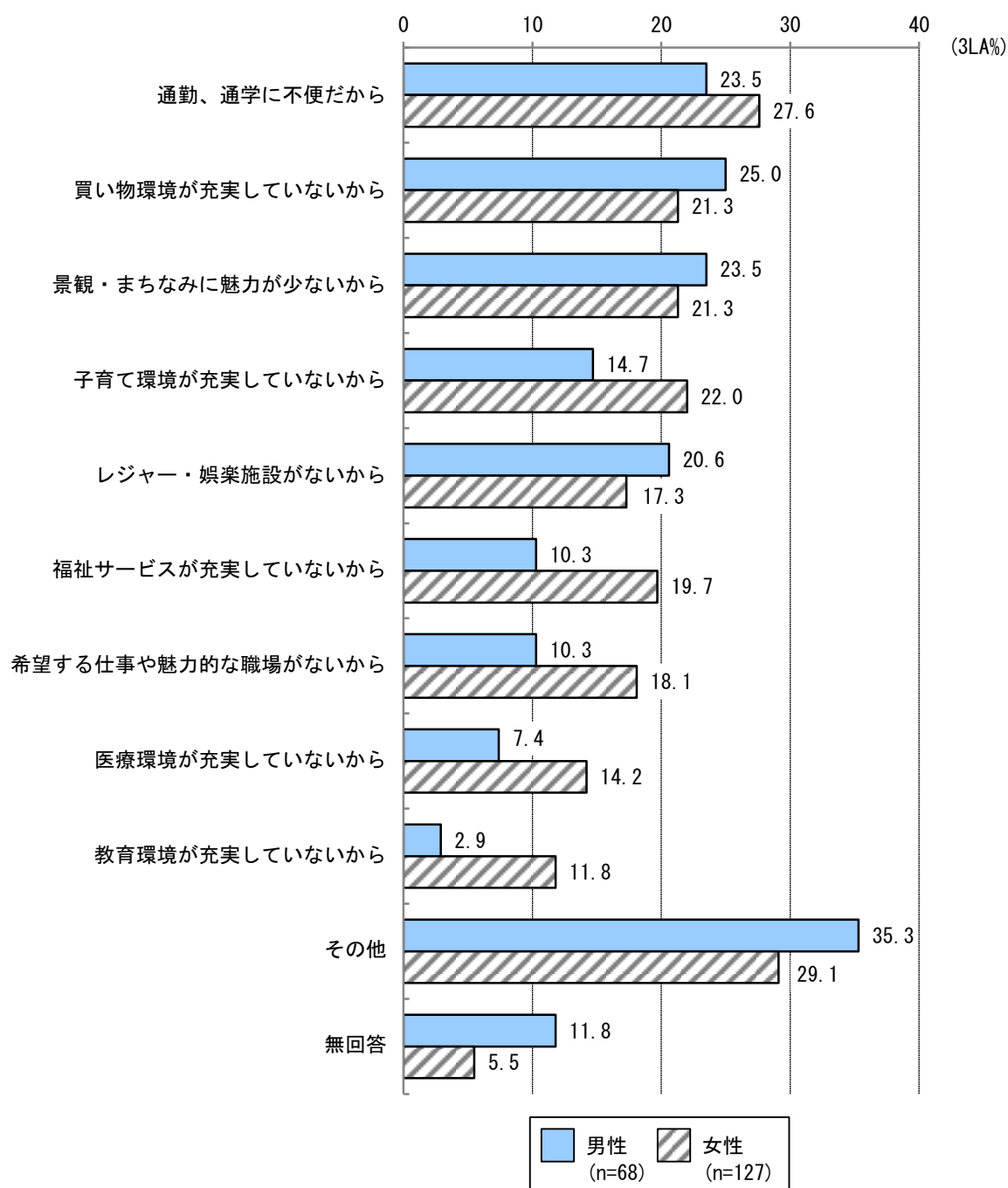
【図2-2 転居したい理由】



- 転居したい理由は、「通勤、通学に不便だから」が26.4%と最も高く、次いで、「買い物環境が充実していないから」が22.2%、「景観・まちなみに魅力が少ないから」が20.8%、「子育て環境が充実していないから」が18.9%、「レジャー・娯楽施設がないから」が17.5%となっている。また、「その他」(34.0%)の内容としては、交通が不便であることや近所付き合いが煩わしいことがあげられた。(図2-2)

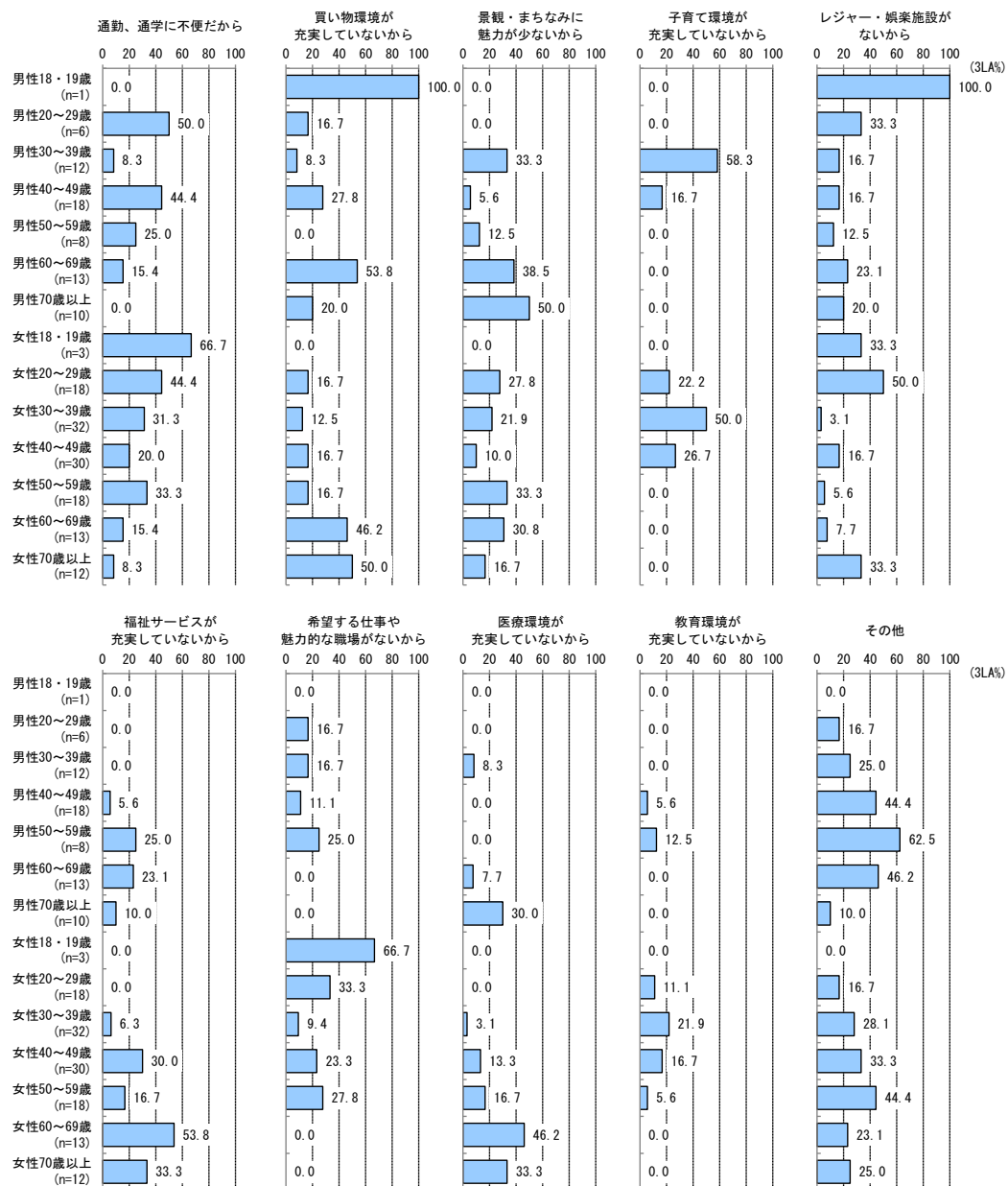
- 性別でみると、男性では「買い物環境が充実していないから」が25.0%と最も高く、女性では「通勤、通学に不便だから」が27.6%と最も高くなっている。(図2-2-1)

【図2-2-1 性別 転居したい理由】



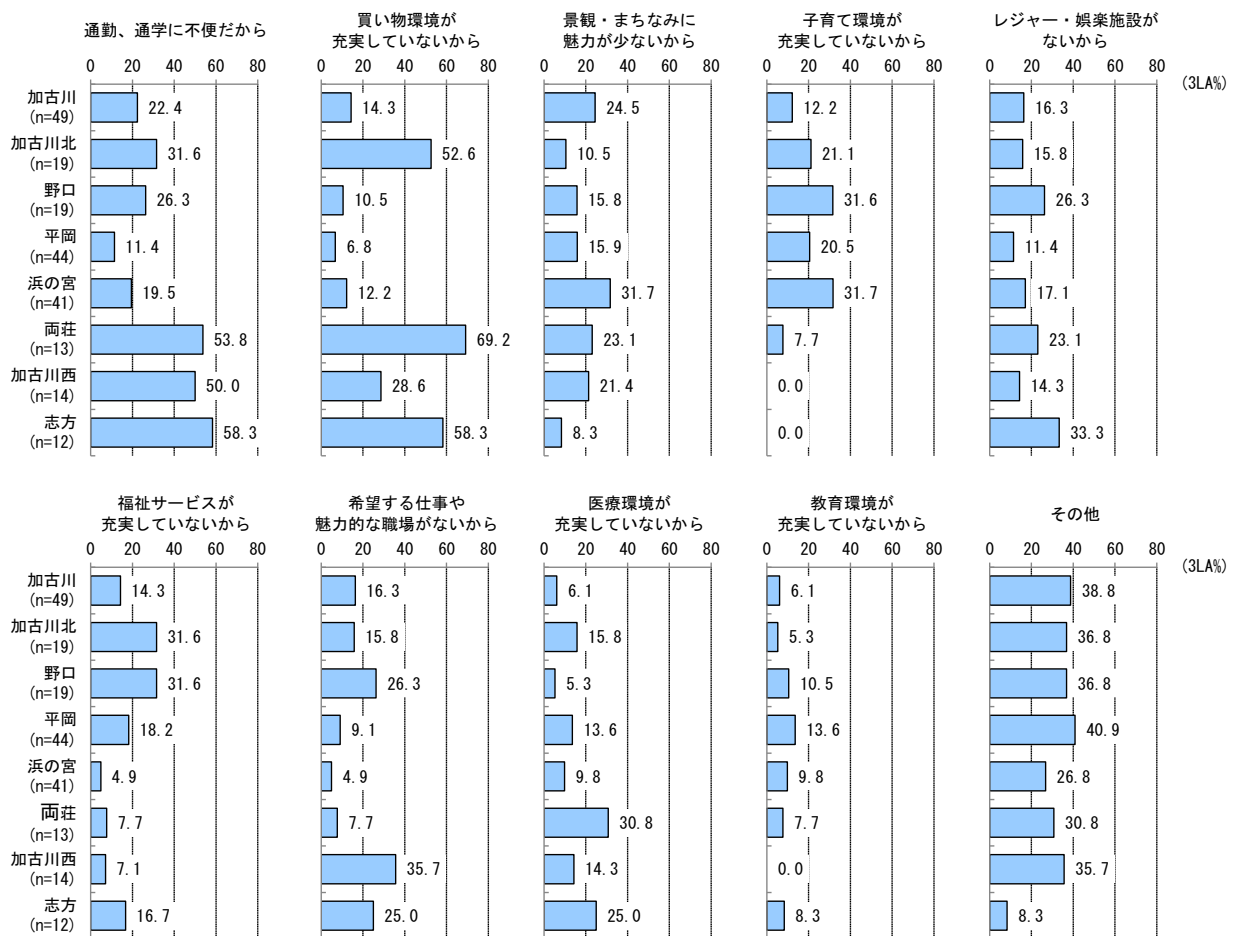
●性年代別でみると、男性20～29歳、男性40～49歳では「通勤、通学に不便だから」がそれぞれ50.0%、44.4%と最も高く、男性30～39歳、女性30～39歳では「子育て環境が充実していないから」がそれぞれ58.3%、50.0%と最も高く、男性50～59歳では「通勤、通学に不便だから」と「福祉サービスが充実していないから」、「希望する仕事や魅力的な職場がないから」が25.0%と最も高く、男性60～69歳、女性70歳以上では「買い物環境が充実していないから」がそれぞれ53.8%、50.0%と最も高く、男性70歳以上では「景観・まちなみに魅力が少ないから」が50.0%と最も高く、女性20～29歳では「レジャー・娯楽施設がないから」が50.0%と最も高く、女性40～49歳、女性60～69歳では「福祉サービスが充実していないから」がそれぞれ30.0%、53.8%と最も高く、女性50～59歳では「通勤、通学に不便だから」と「景観・まちなみに魅力が少ないから」が33.3%と最も高くなっている。(図2-2-2)

【図2-2-2 性年代別 転居したい理由】



●居住地区別でみると、加古川では「景観・まちなみに魅力が少ないから」が24.5%と最も高く、加古川北、両荘では「買い物環境が充実していないから」がそれぞれ52.6%、69.2%と最も高く、野口では「子育て環境が充実していないから」と「福祉サービスが充実していないから」が31.6%と最も高く、平岡では「子育て環境が充実していないから」が20.5%と最も高く、浜の宮では「景観・まちなみに魅力が少ないから」と「子育て環境が充実していないから」が31.7%と最も高く、加古川西では「通勤、通学に不便だから」が50.0%と最も高く、志方では「通勤、通学に不便だから」と「買い物環境が充実していないから」が58.3%と最も高くなっている。(図2-2-3)

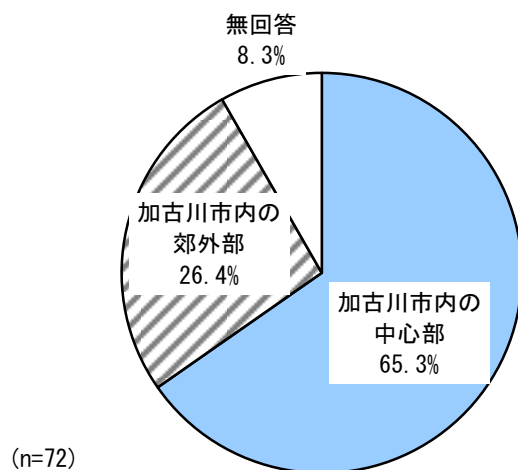
【図2-2-3 居住地区別 転居したい理由】



(3) 市内で希望する居住場所

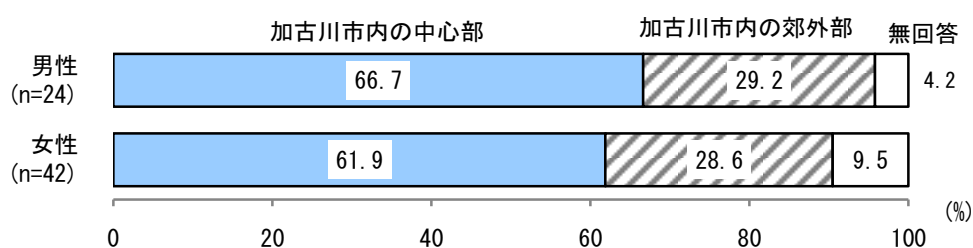
問2-② 問2で「3. できれば市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。
 今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-3 市内で希望する居住場所】



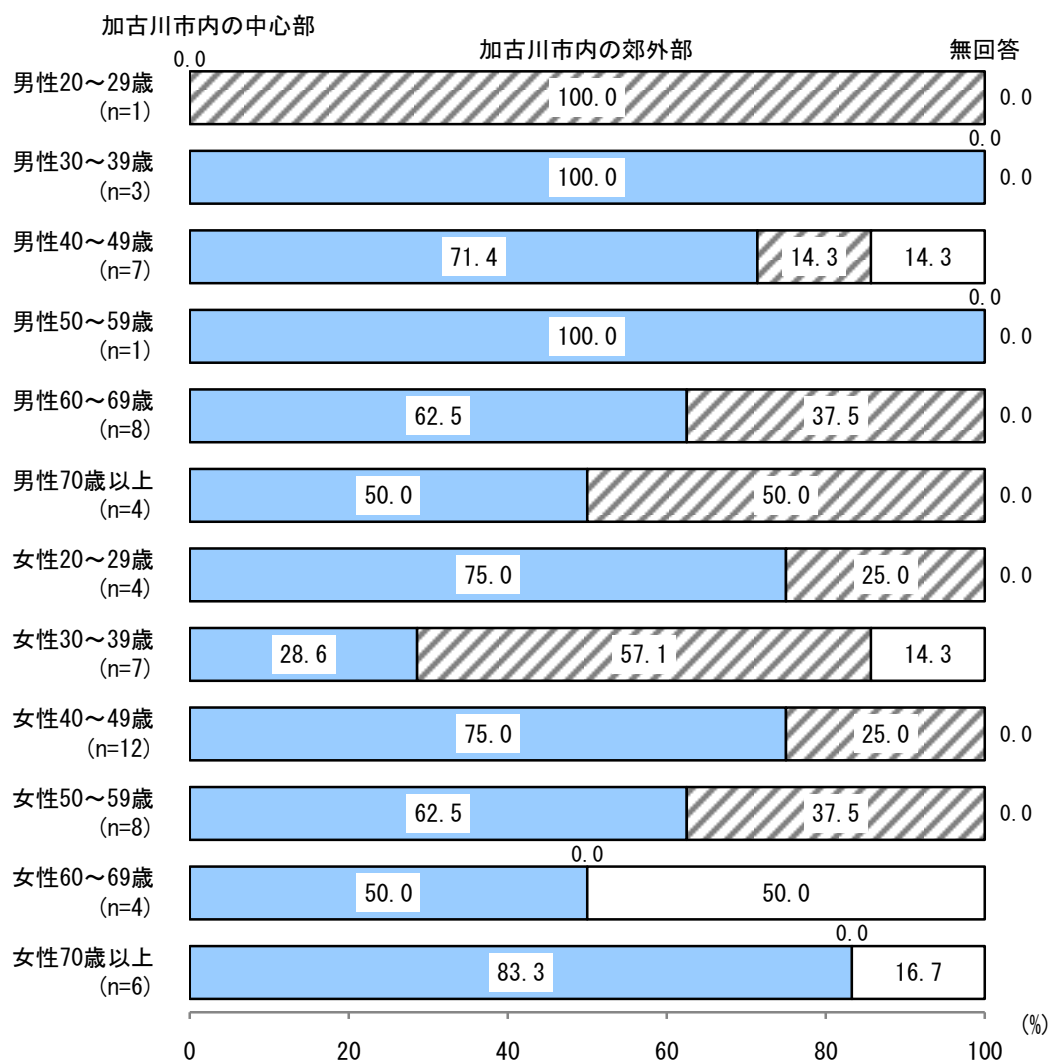
- 市内で希望する居住場所としては、「加古川市内の中心部」が65.3%と最も高く、次いで、「加古川市内の郊外部」が26.4%となっている。(図2-3)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「加古川市内の中心部」が高く、男性では66.7%、女性では61.9%となっている。(図2-3-1)

【図2-3-1 性別 市内で希望する居住場所】



- 性年代別でみると、以下の図の通り「加古川市内の中心部」が多く回答されている。(図2-3-2)

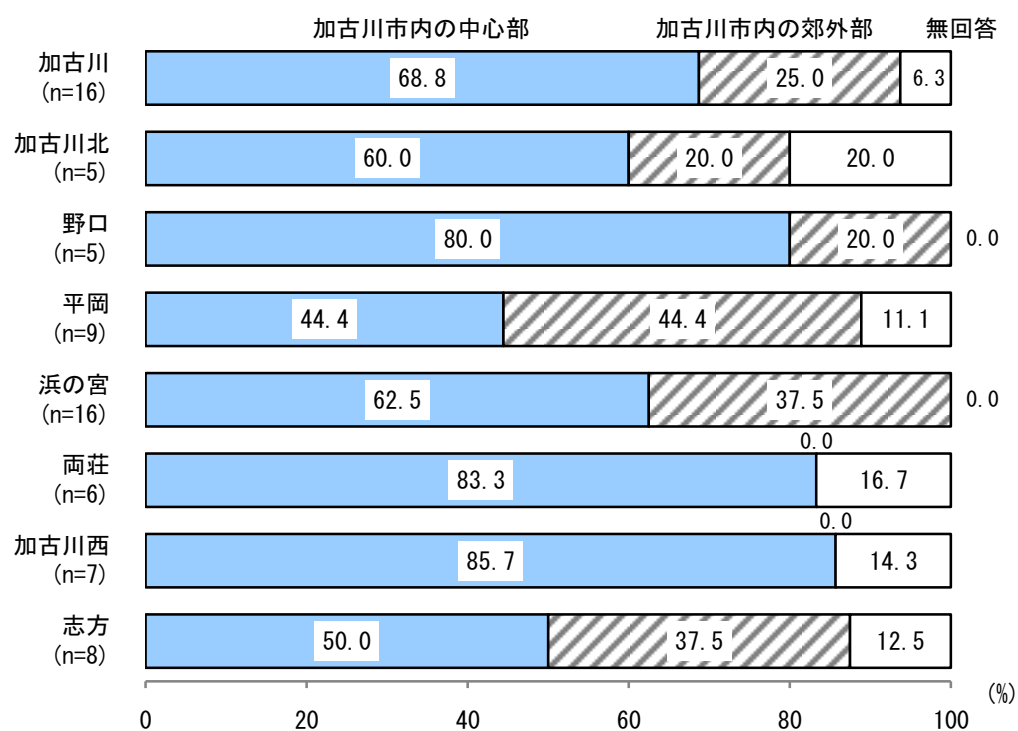
【図2-3-2 性年代別 市内で希望する居住場所】



* 「男性18・19歳」、「女性18・19歳」は回答者なし

- 居住地別でみると、以下の図の通り「加古川市内の中心部」が多く回答されている。
(図2-3-3)

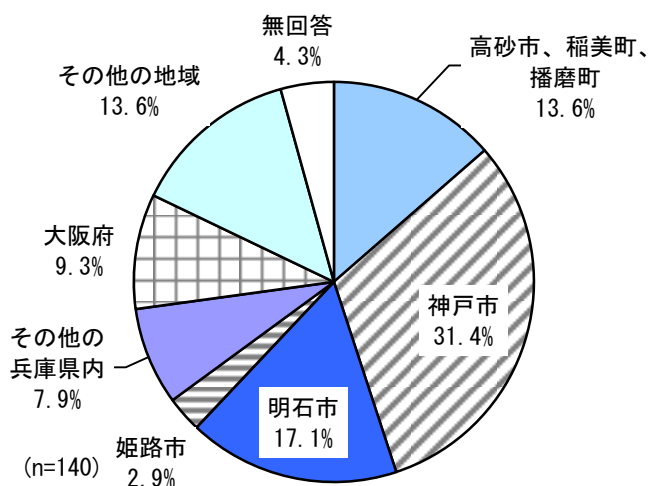
【図2-3-3 居住地別 市内で希望する居住場所】



(4) 市外で希望する居住場所

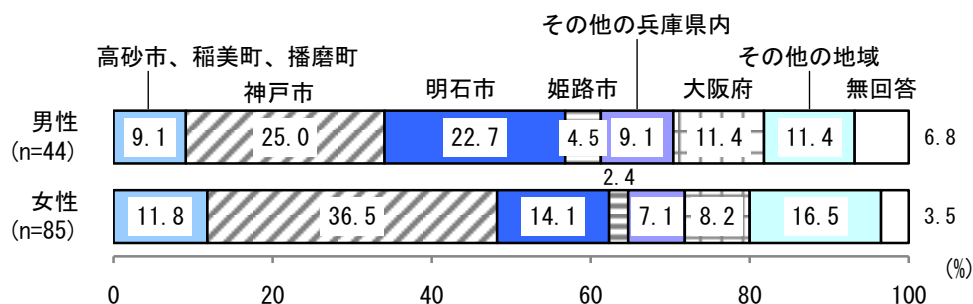
問2-③ 問2で「4. できれば市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。
 今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図2-4 市外で希望する居住場所】



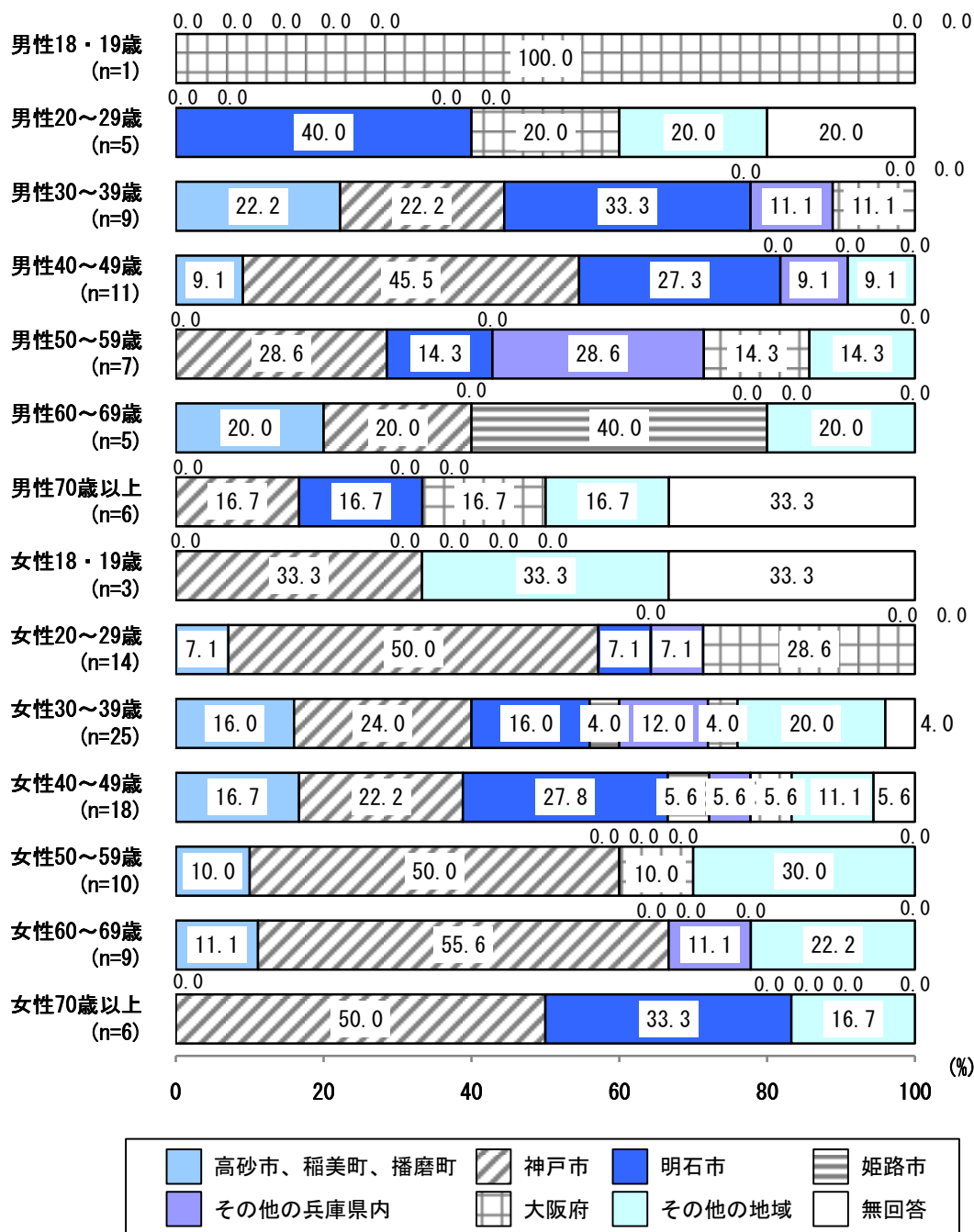
- 市外で希望する居住場所としては、「神戸市」が31.4%と最も高く、次いで、「明石市」が17.1%、「高砂市、稲美町、播磨町」、「その他の地域」がそれぞれ13.6%、「大阪府」が9.3%、「その他の兵庫県内」が7.9%となっている。(図2-4)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「神戸市」が高く、男性では25.0%、女性では36.5%となっている。(図2-4-1)

【図2-4-1 性別 市外で希望する居住場所】



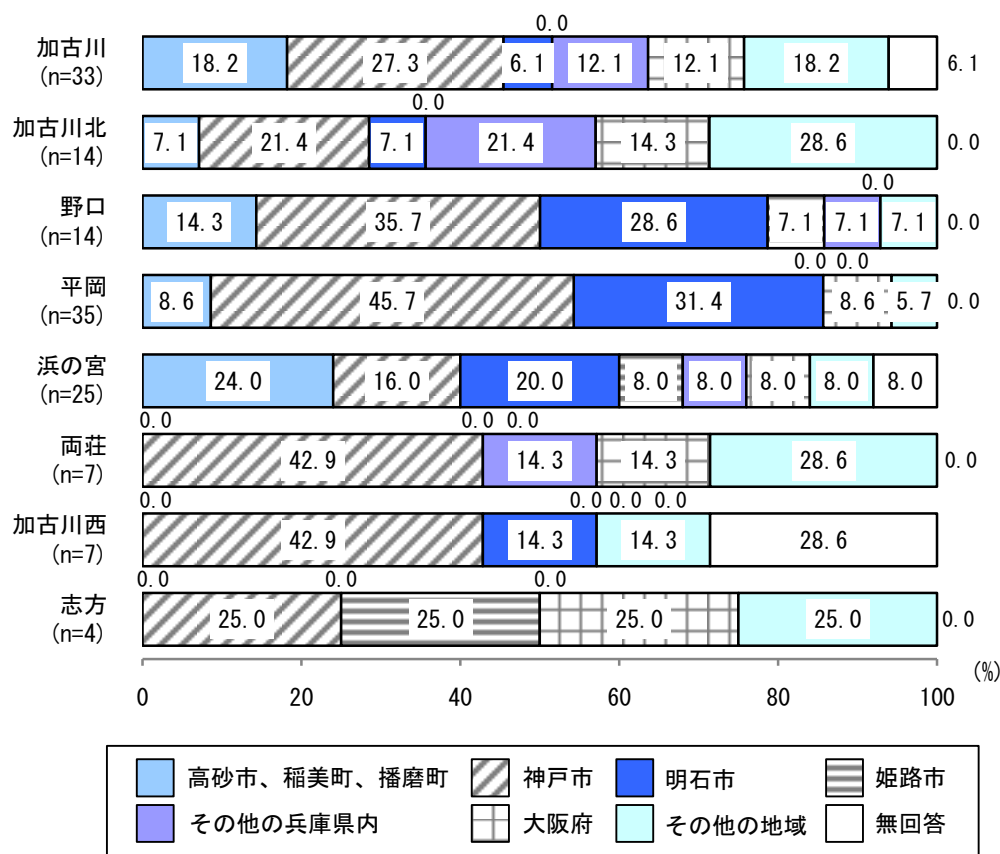
●性年代別でみると、男性20～29歳、男性30～39歳、女性40～49歳では「明石市」がそれぞれ40.0%、33.3%、27.8%と最も高く、男性40～49歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「神戸市」がそれぞれ45.5%、50.0%、24.0%、50.0%、55.6%、50.0%と最も高く、男性50～59歳では「神戸市」と「その他の兵庫県内」が28.6%と最も高く、男性60～69歳では「姫路市」が40.0%と最も高く、男性70歳以上では「神戸市」と「明石市」、「大阪府」、「その他の地域」が16.7%と最も高くなっている。
(図2-4-2)

【図2-4-2 性年代別 市外で希望する居住場所】



●居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、両荘、加古川西では「神戸市」がそれぞれ27.3%、35.7%、45.7%、42.9%、42.9%と最も高く、加古川北では「その他の地域」が28.6%と最も高く、浜の宮では「高砂市、稲美町、播磨町」が24.0%と最も高く、志方では「神戸市」と「姫路市」、「大阪府」、「その他の地域」が25.0%と最も高くなっている。(図2-4-3)

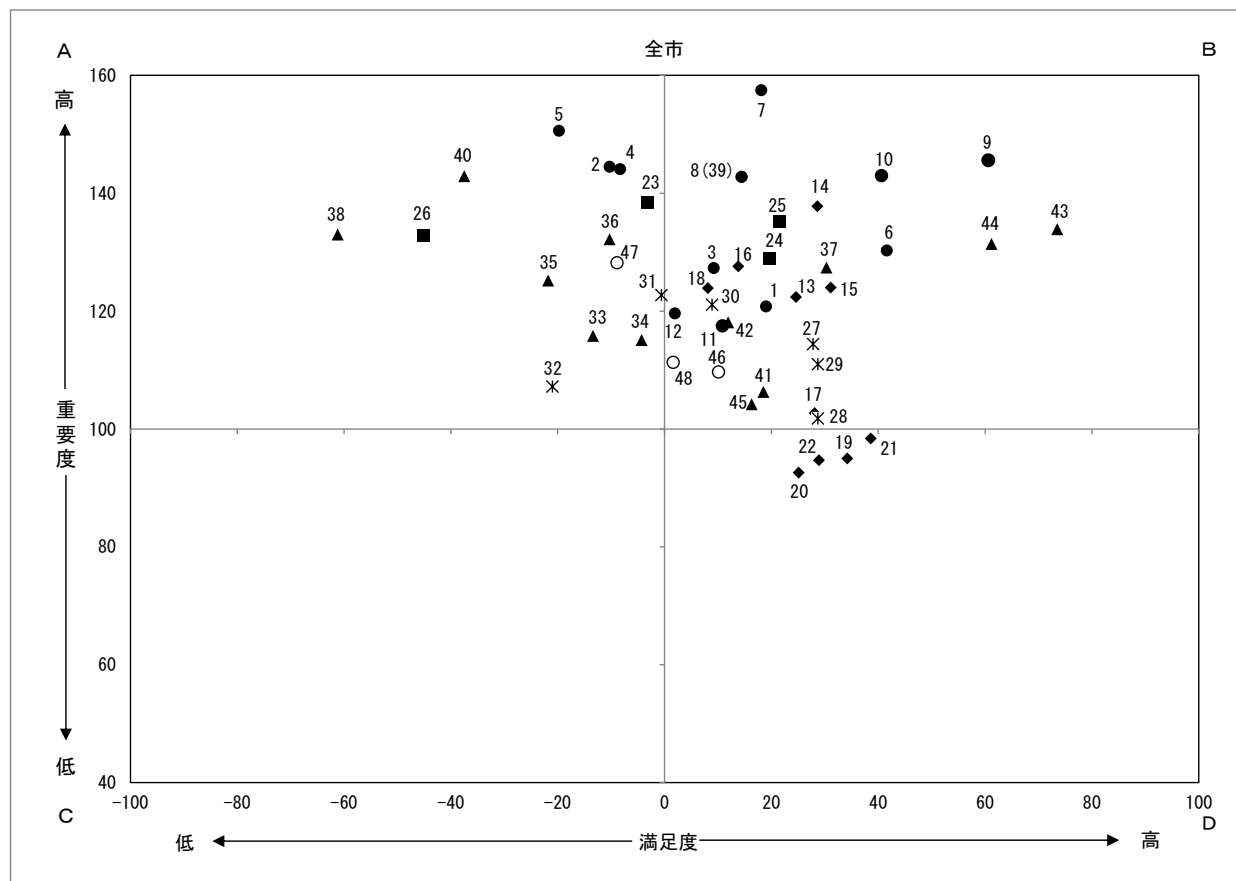
【図2-4-3 居住地区別 市外で希望する居住場所】



3. 市の施策に対する満足度・重要度

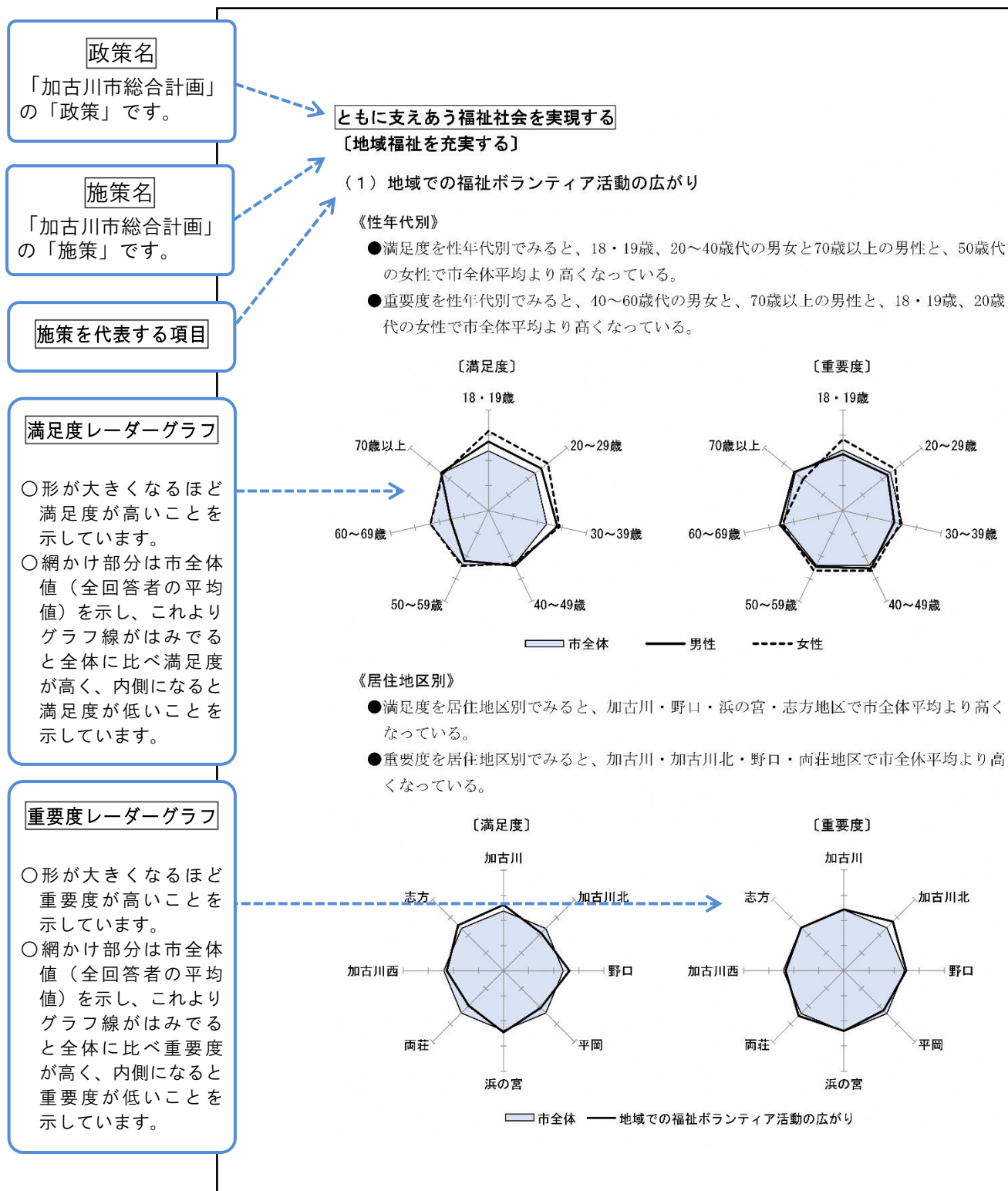
問3 次にあげた「施策を代表する項目」について、あなたは、どの程度満足していますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。〔1〕から〔6〕の各項目の満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

〔満足度と重要度の関係〕



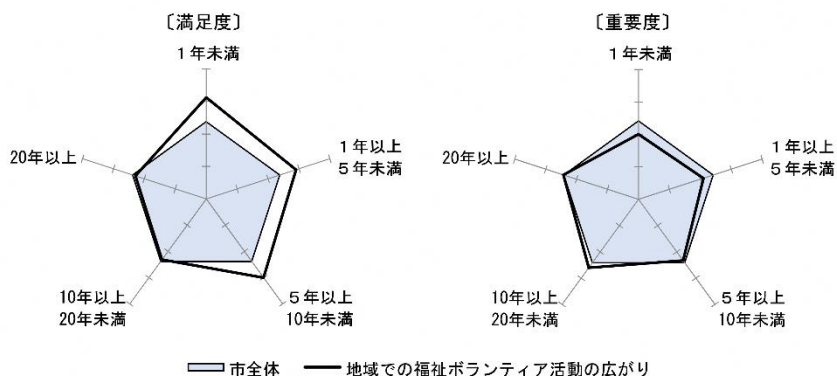
● 安心して暮らせる まち	1 地域での福祉ボランティア活動の広がり	* にぎわいの中で 暮らせるまち	27 農業の振興
	2 子育てと仕事が両立できる環境		28 水産業の振興
	3 障がい者に対する支援		29 工業の振興
	4 高齢者に対する支援		30 地場産業の振興
	5 介護保険など社会保障制度の適正な運営		31 商業の振興
	6 住民健診の充実や健康づくりの推進		32 観光の振興
	7 安心できる医療体制		33 秩序だった土地利用や建物の配置
	8 地域の防災体制		34 景観や、まちなみの美しさ
	9 消防や救急・救命体制		35 加古川駅周辺の都心としての魅力
	10 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策		36 幹線道路の整備
	11 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発		37 鉄道の便利さ
	12 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援		38 バスの便利さ
◆ 心豊かに暮らせる まち	13 就学前教育の内容	▲ 快適に暮らせる まち	39 地域の防災体制（再掲）
	14 義務教育の内容		40 地域内の道路の安全性や便利さ
	15 特別支援教育の内容		41 住宅の供給
	16 教育を支える環境		42 公園・緑地や水辺の整理
	17 生涯学習の機会や環境		43 水道水の供給
	18 青少年の健全な育成		44 下水道の整備
	19 スポーツ・レクリエーション活動機会の提供		45 I C T（情報通信技術）を活用した地域の情報化
	20 文化・芸術に接する機会の提供		46 市民活動や行政との協働
	21 人権教育や人権啓発の推進		47 行政の効率化
	22 男女共同参画の啓発		48 近隣都市との広域的な連携
■ うるおいのある 環境の中で暮ら せるまち	23 大気や水質・騒音等の環境対策	○ まちづくりの 進め方	
	24 自然環境の保全		
	25 ごみの減量・不用品のリサイクルの推進		
	26 ボイ捨てやペットのふん害防止		

「3. 市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方



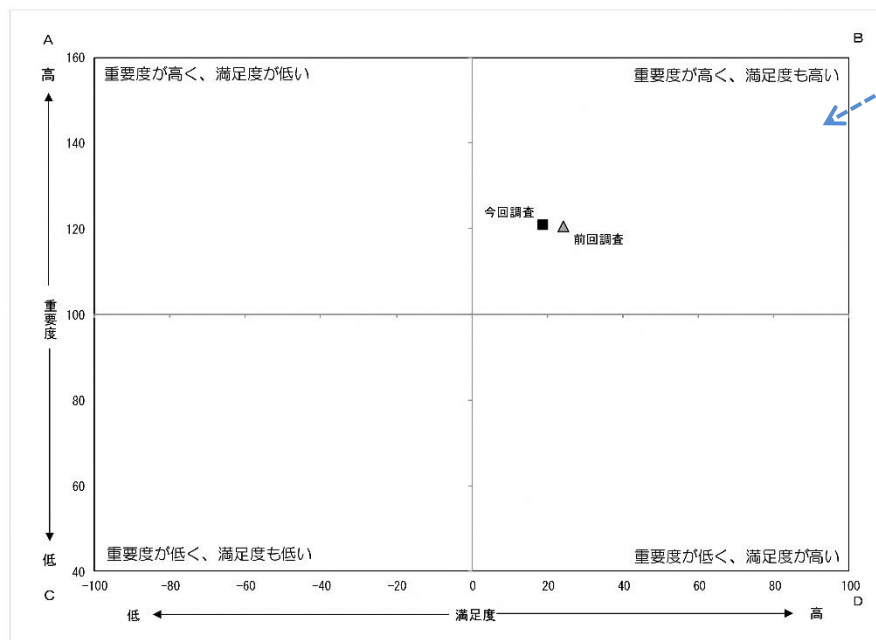
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



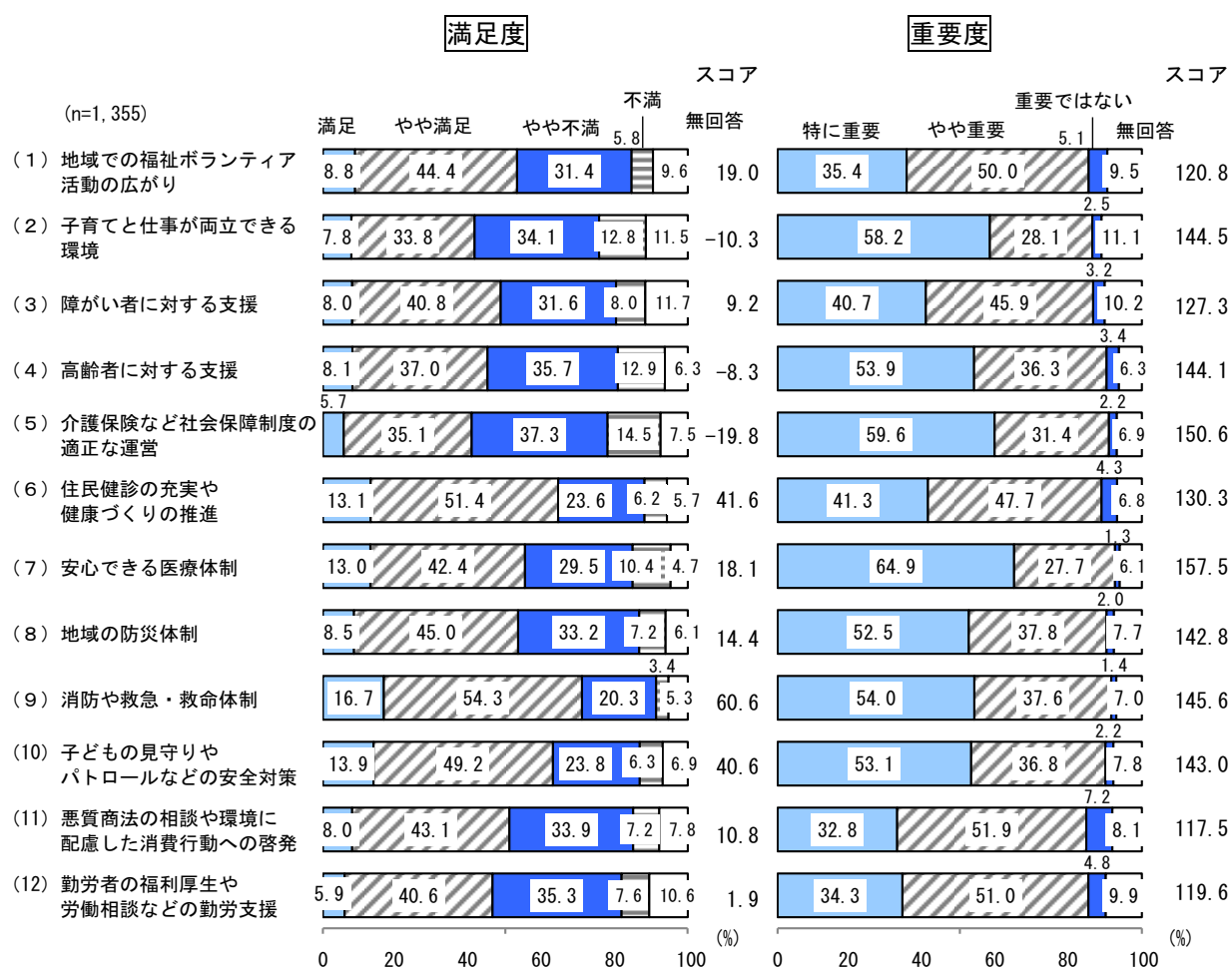
満足度・重要度関係グラフ

- ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。
- 例えば象限Aに点がある場合、施策満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。一方、象限Bは、施策満足度も重要度も高いので、Aに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。
- 過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度・重要度の関係性の変化）をみることができます。

3-1 安心して暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(9) 消防や救急・救命体制”、次いで“(6) 住民健診の充実や健康づくりの推進”となっている。一方、最も低い項目は“(5) 介護保険など社会保障制度の適正な運営”、次いで“(2) 子育てと仕事が両立できる環境”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(7) 安心できる医療体制”、次いで“(5) 介護保険など社会保障制度の適正な運営”となっている。一方、最も低い項目は“(11) 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発”、次いで“(12) 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援”となっている。

《全体》



※スコアは以下の手順で得点化し、算出している

〔満足度〕

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
2点	1点	-1点	-2点	0点

$$2 \text{点} \times \text{「満足」の割合} + 1 \text{点} \times \text{「やや満足」の割合} + (-1 \text{点}) \times \text{「やや不満」の割合} + (-2 \text{点}) \times \text{「不満」の割合}$$

=満足度スコア

〔重要度〕

重要	やや重要	重要ではない	無回答
2点	1点	0点	0点

$$2 \text{点} \times \text{「重要」の割合} + 1 \text{点} \times \text{「やや重要」の割合} = \text{重要度スコア}$$

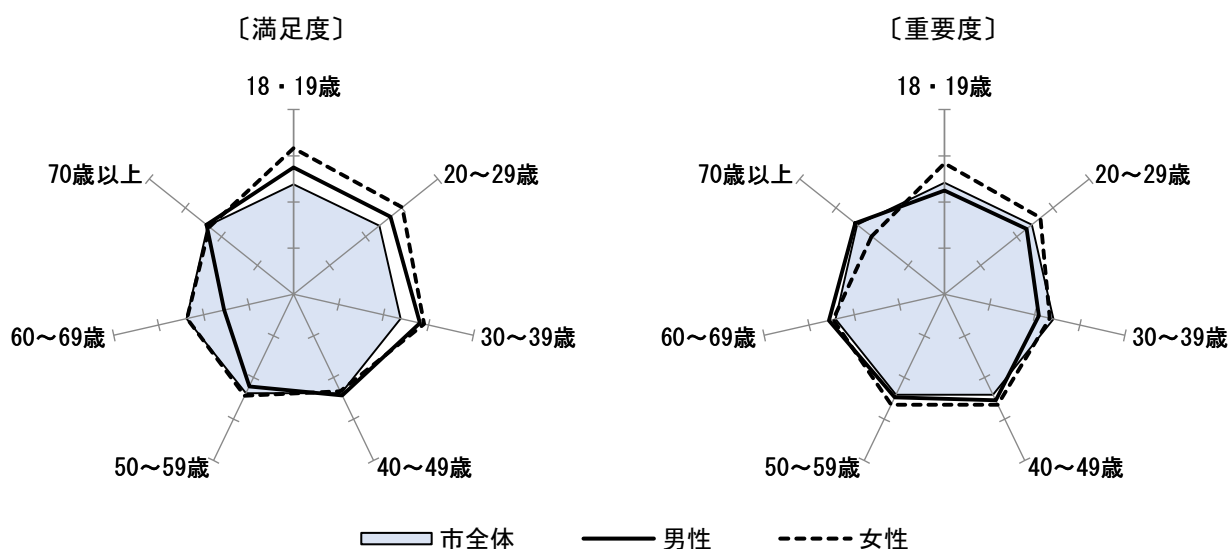
ともに支えあう福祉社会を実現する

〔地域福祉を充実する〕

（１）地域での福祉ボランティア活動の広がり

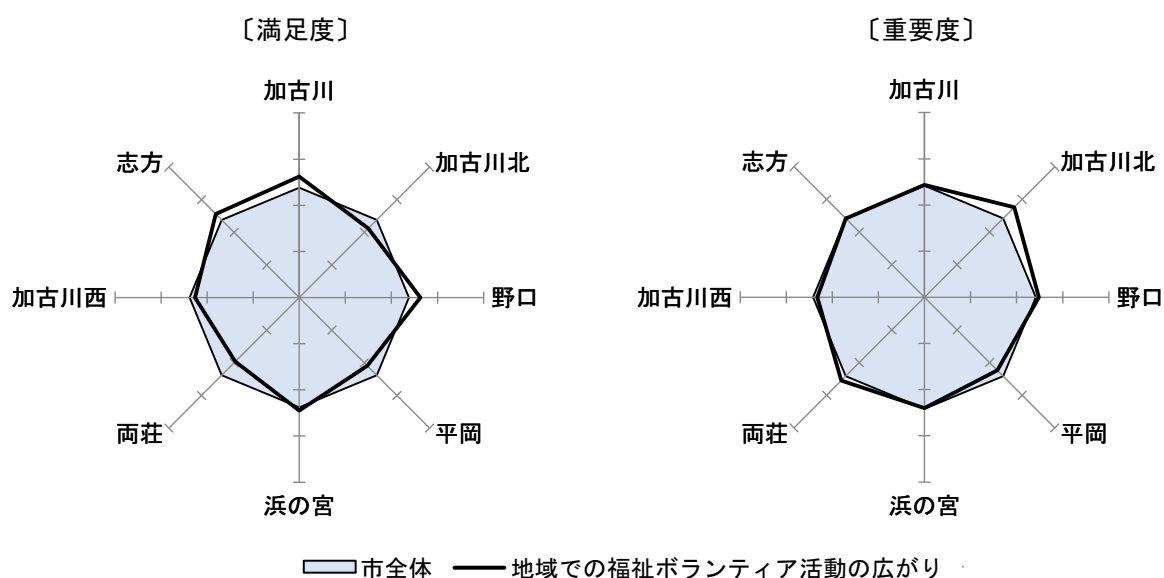
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～40歳代の男女と70歳以上の男性と、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、40～60歳代の男女と、70歳以上の男性と、18・19歳、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



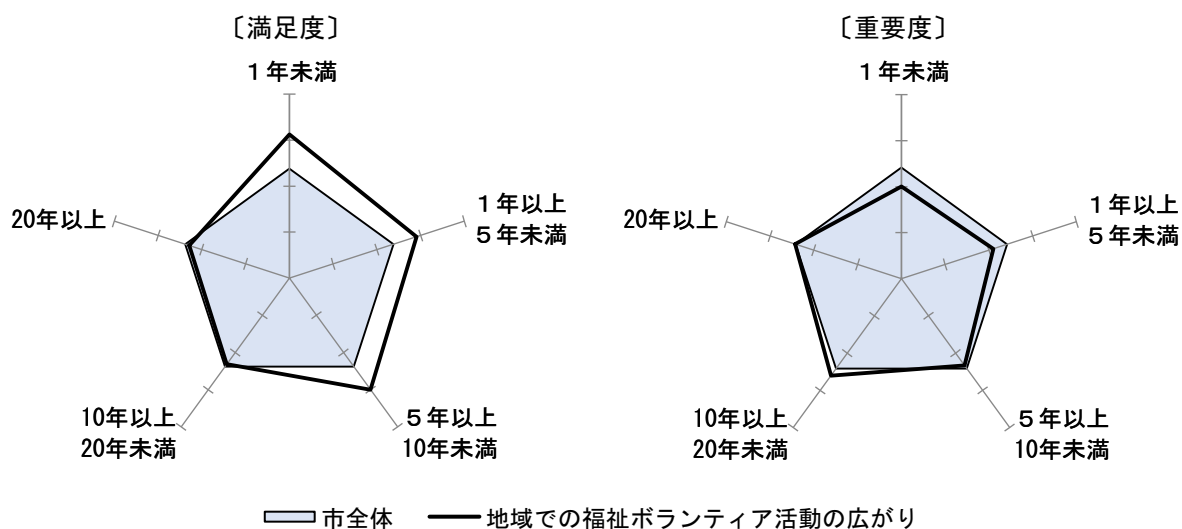
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘地区で市全体平均より高くなっている。



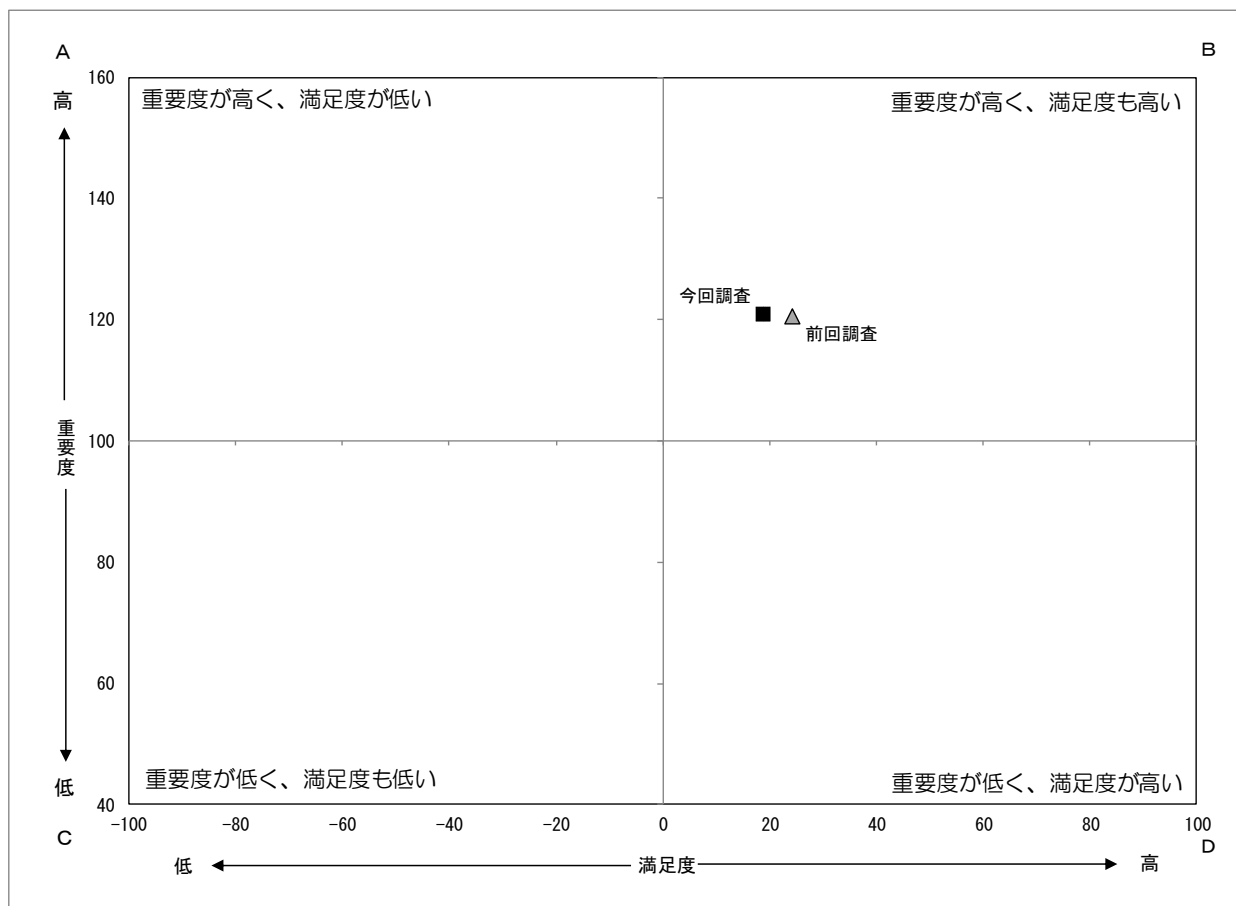
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

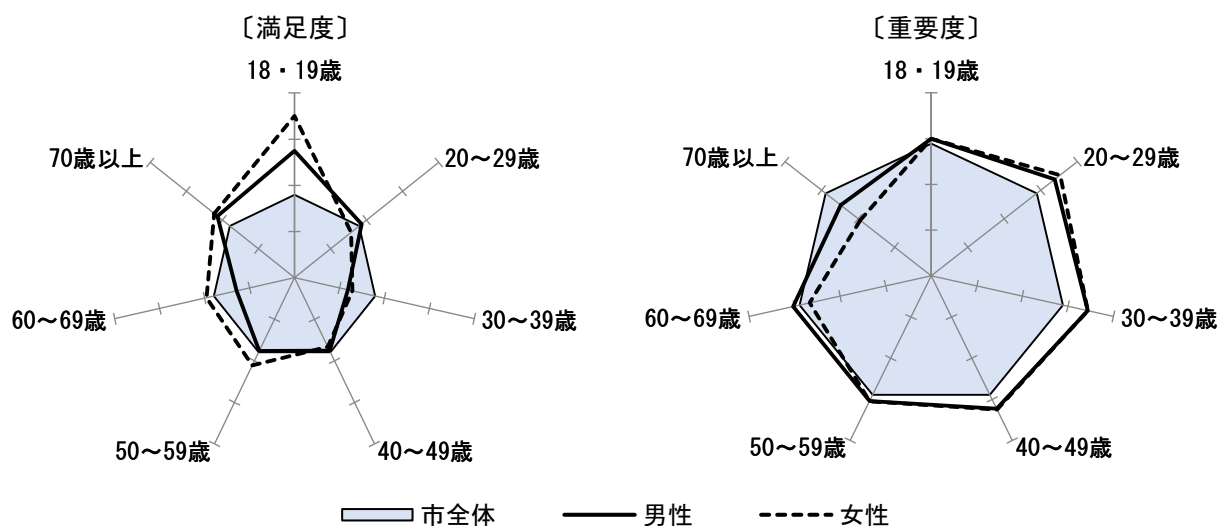


〔出産と子育ての支援を充実する〕

（２）子育てと仕事が両立できる環境

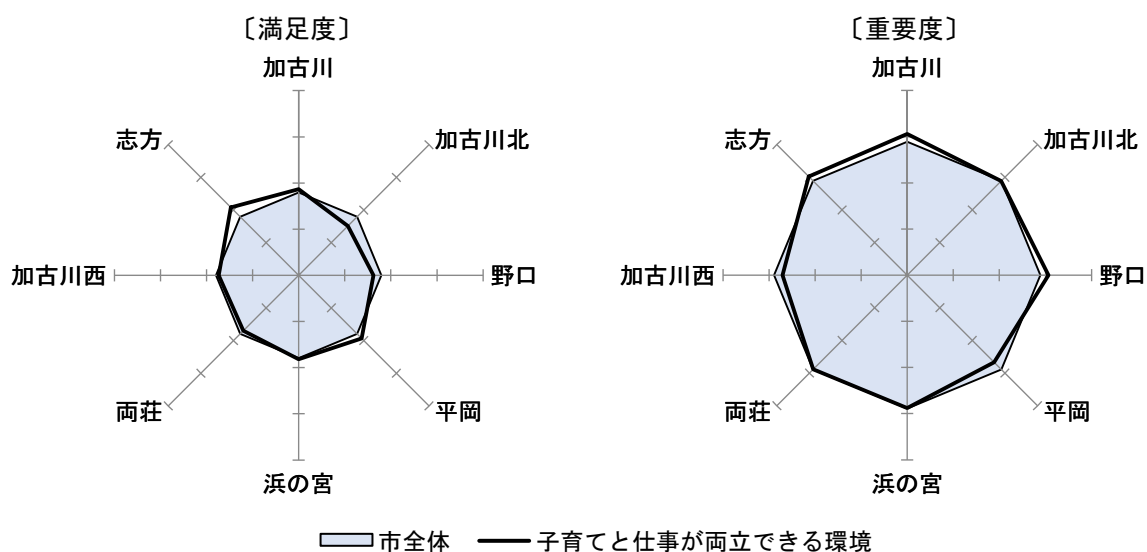
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代の男性、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～50歳代の男女と、60歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



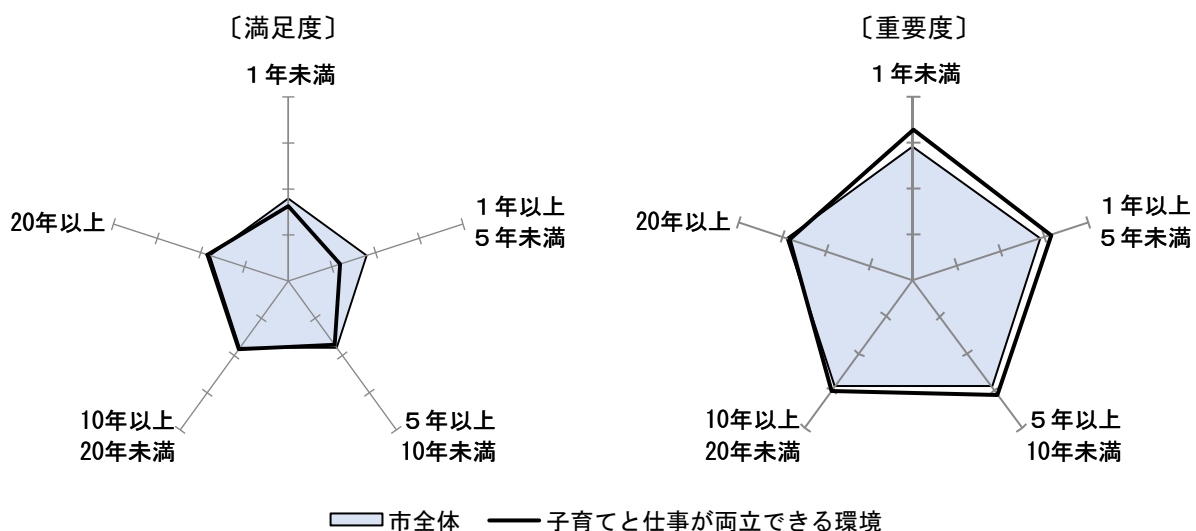
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・平岡・浜の宮・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。



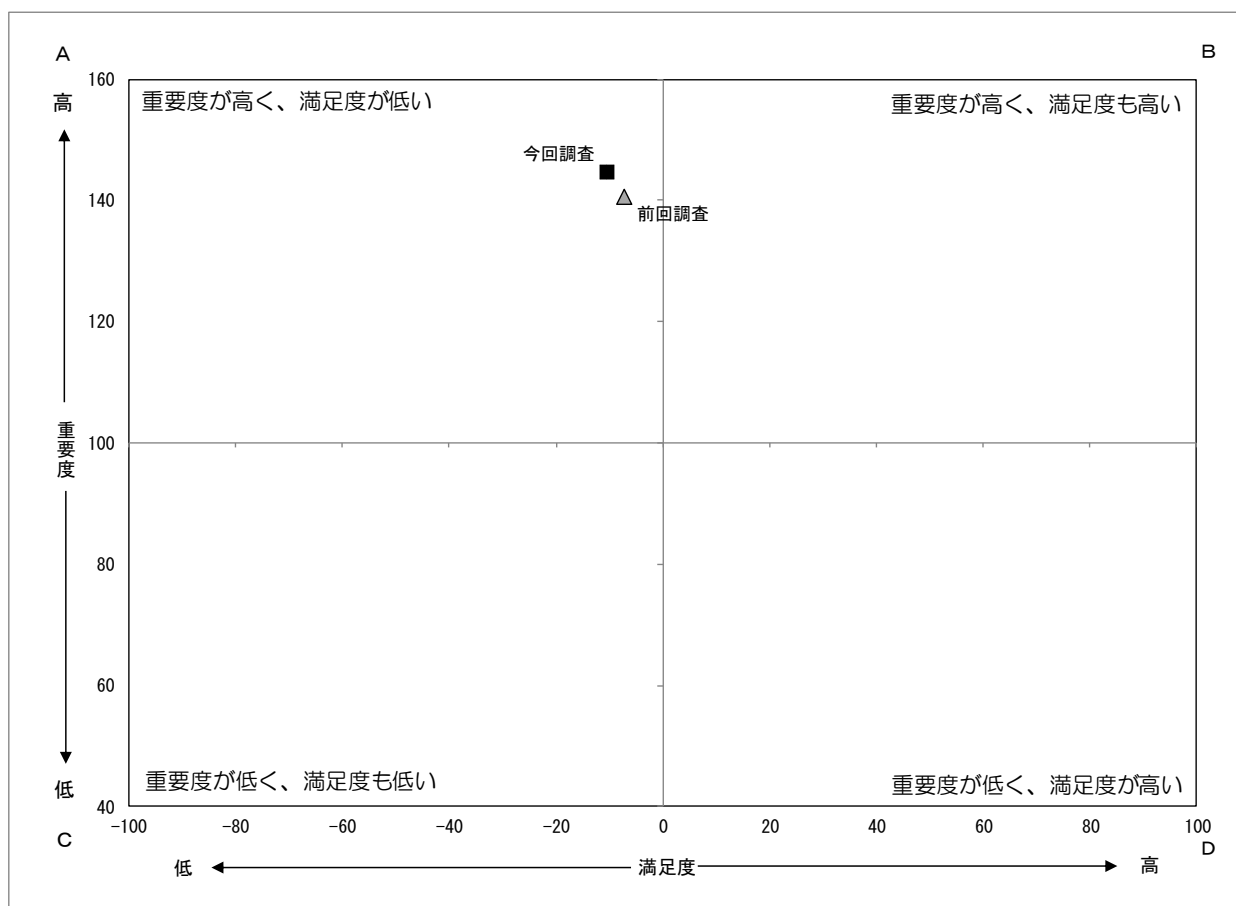
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は高くなり、満足度は低くなっている。

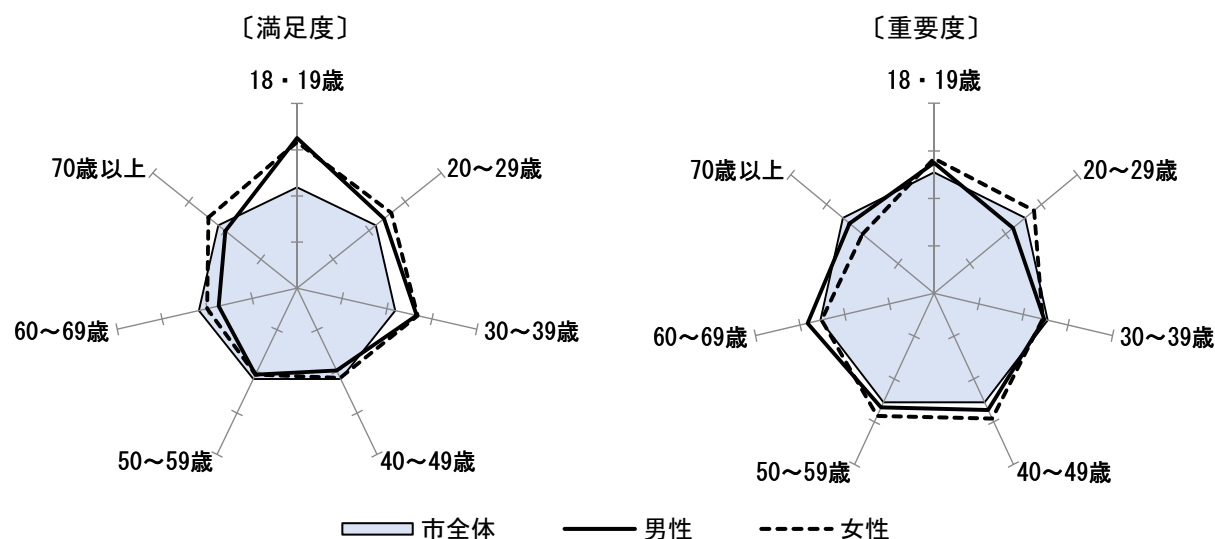


〔障がい者の福祉を充実する〕

（３）障がい者に対する支援

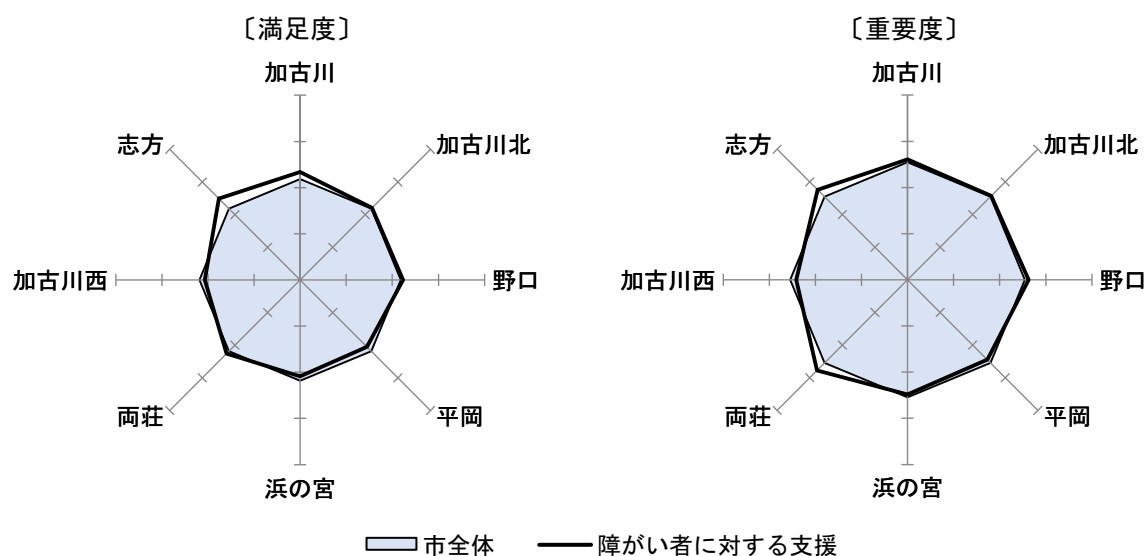
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳と20～30歳の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、40～50歳の男女と、60歳代の男性と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



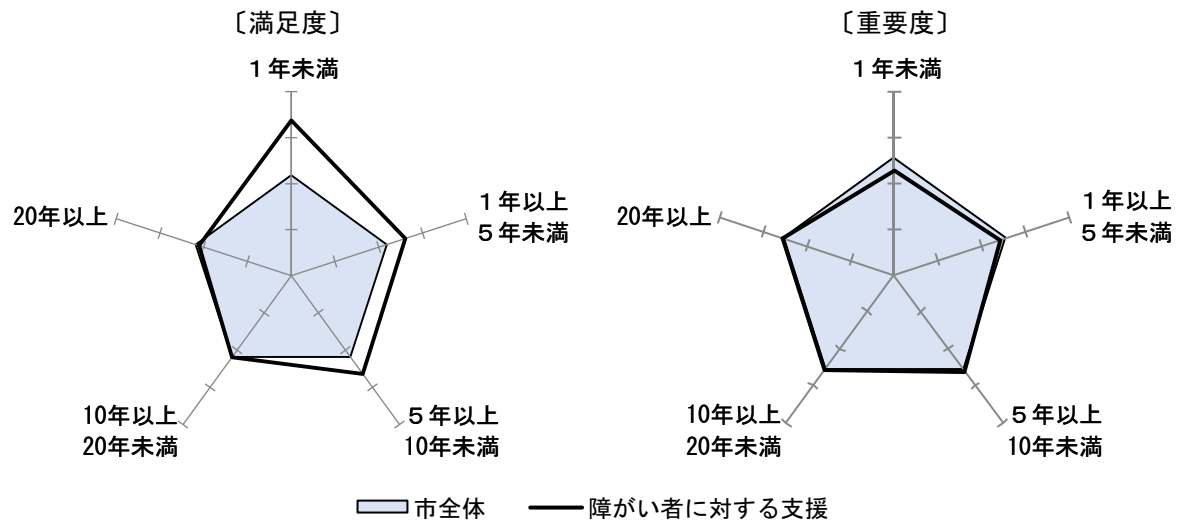
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



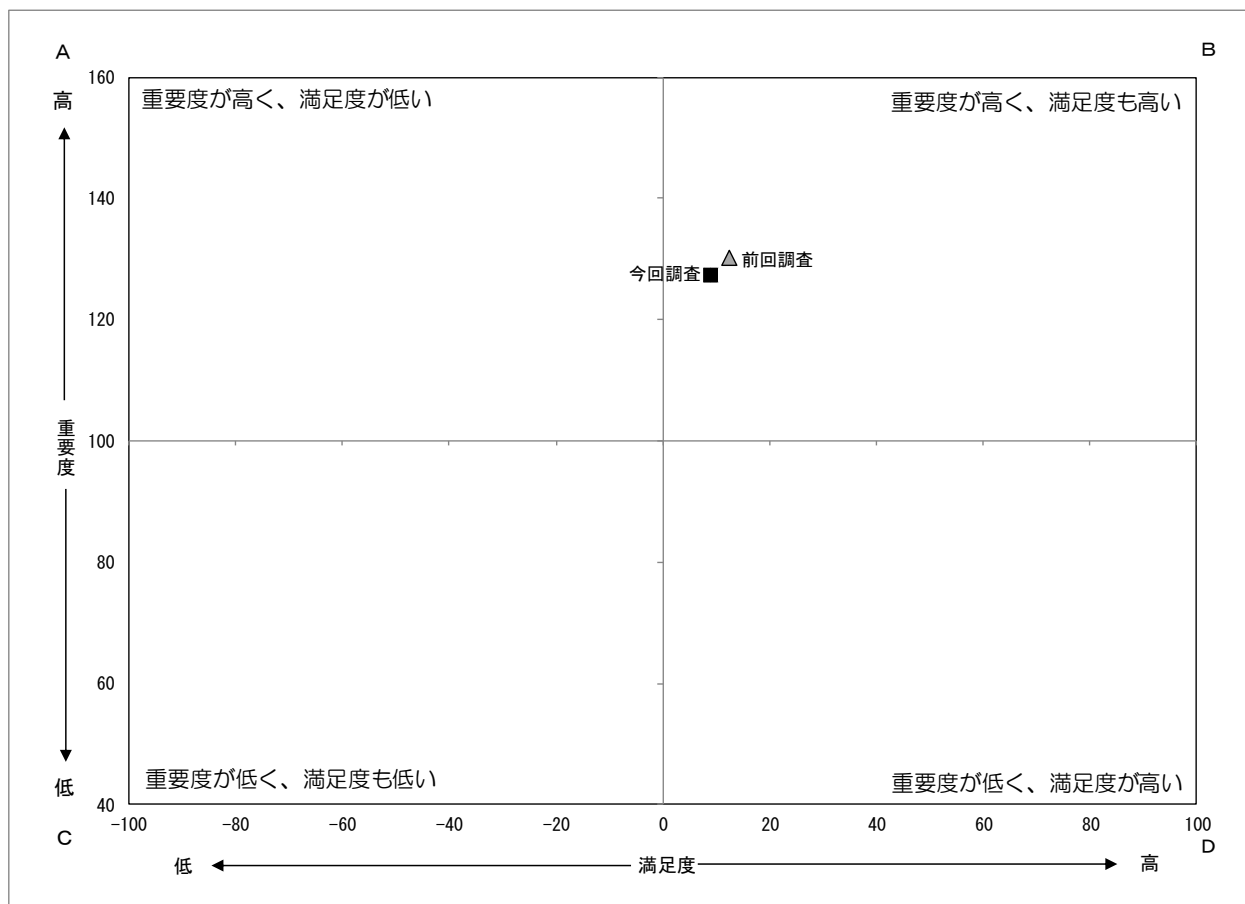
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

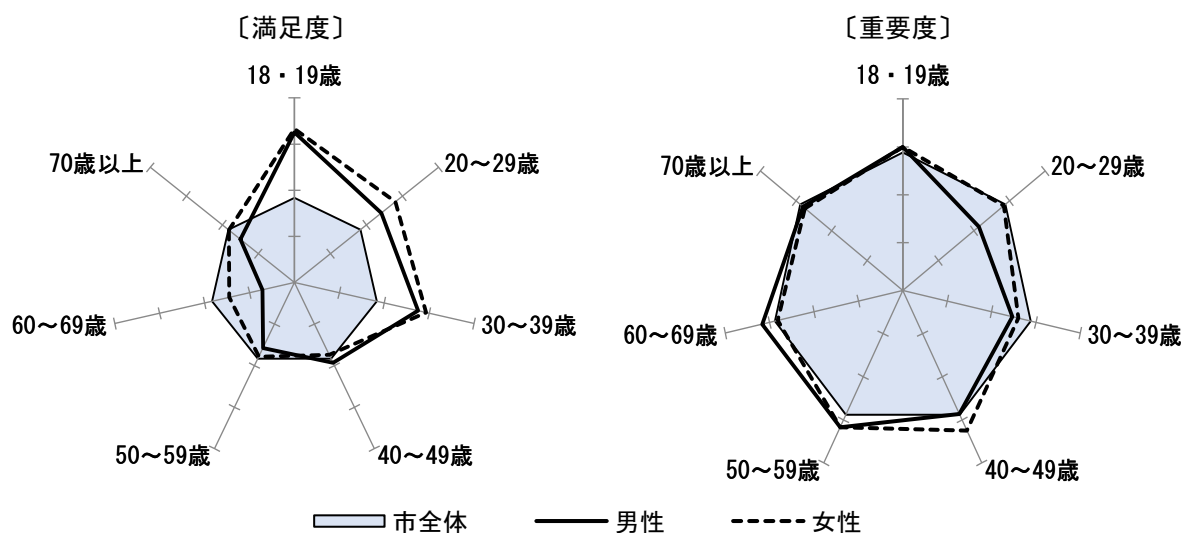


〔高齢者の福祉を充実する〕

（４）高齢者に対する支援

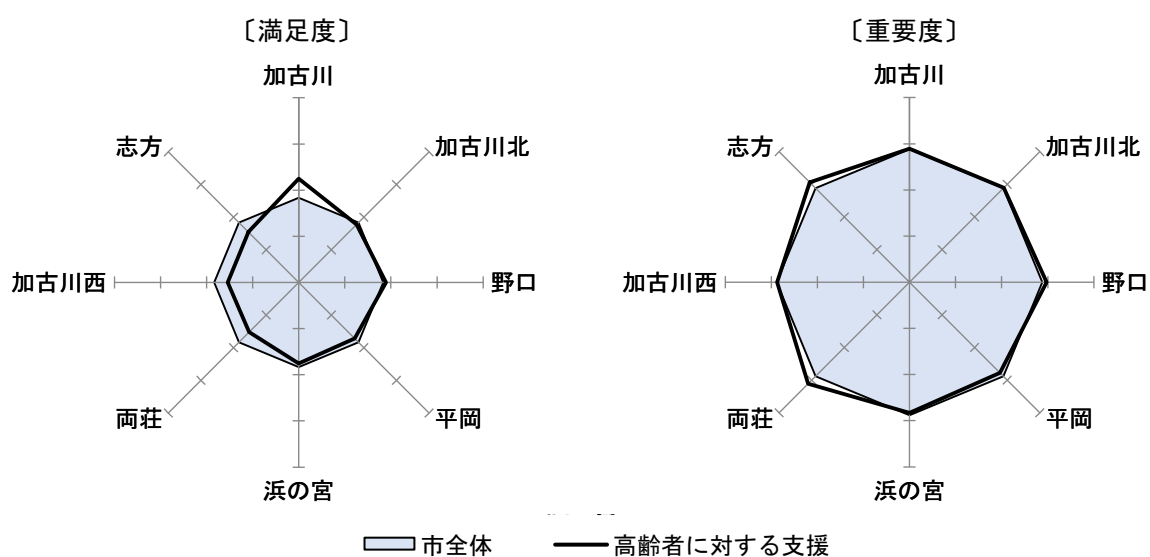
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代の男女と、40歳代の男性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、60歳代の男性と、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



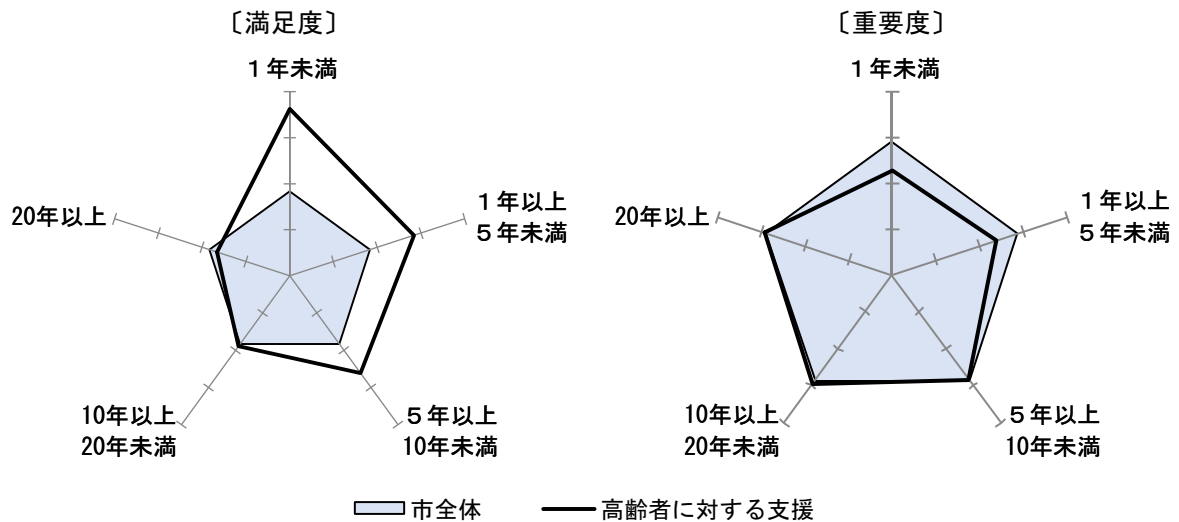
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



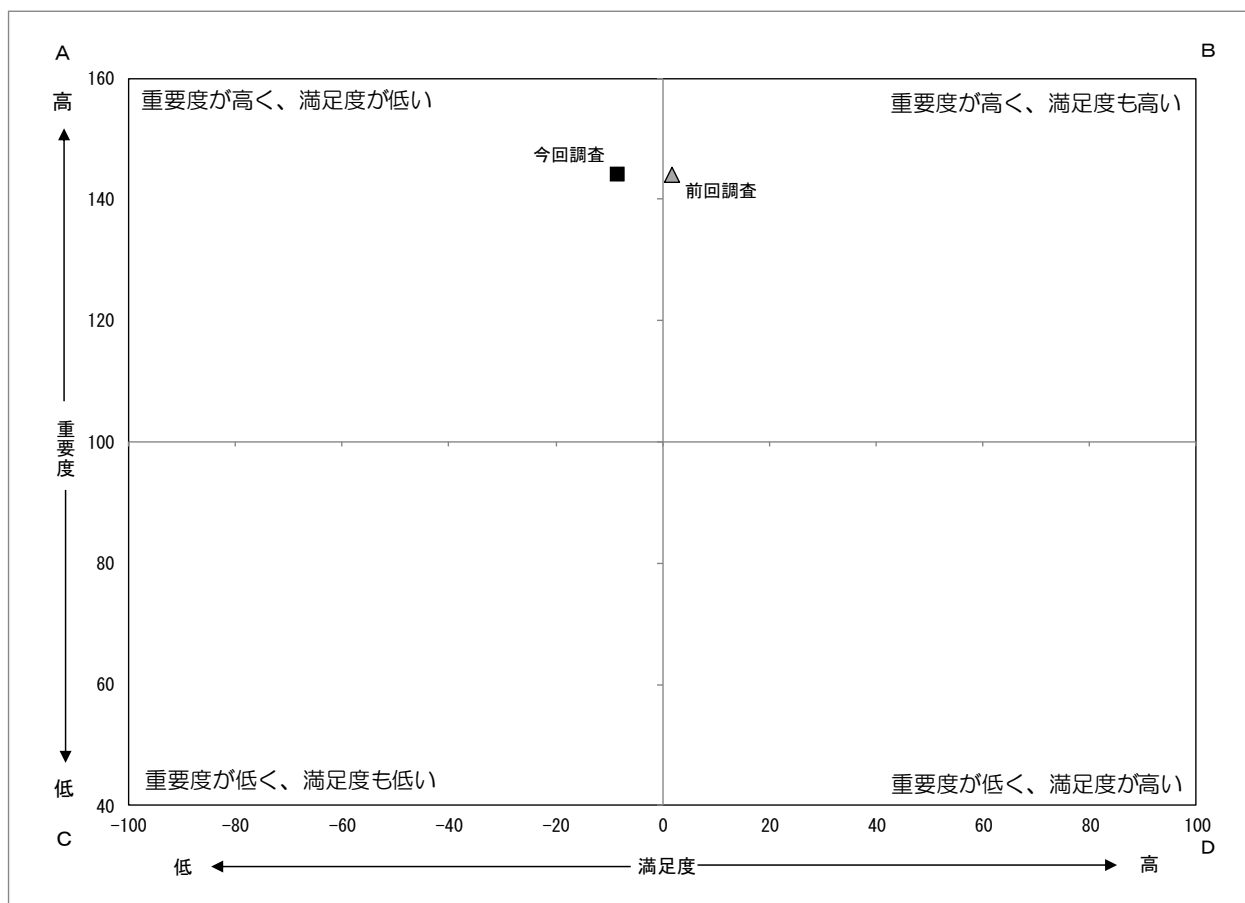
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

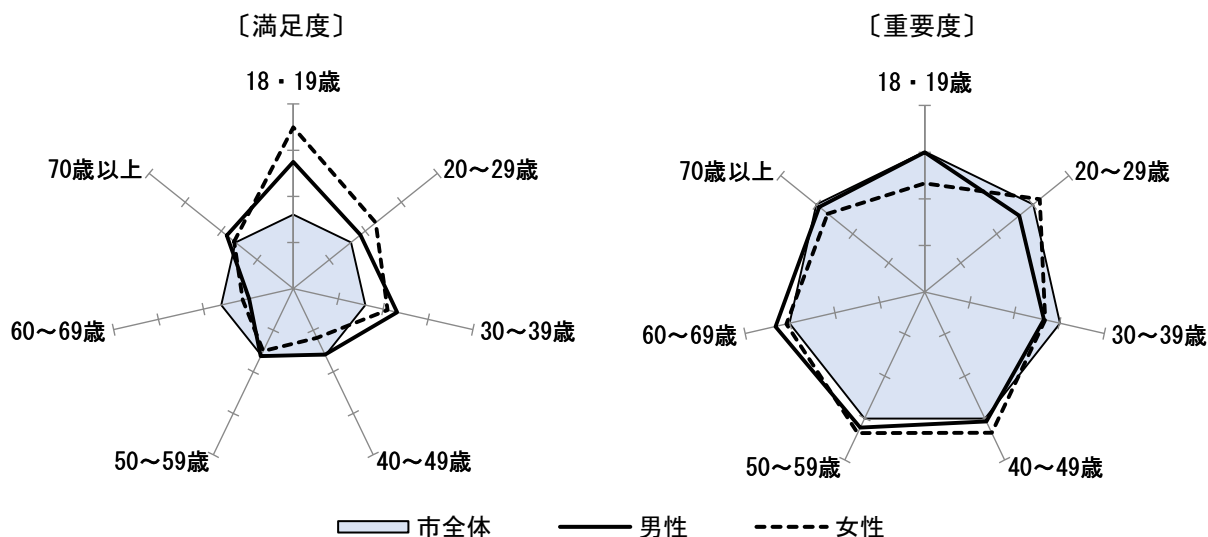


〔自立を支える社会保障制度を適正に運営する〕

（５）介護保険など社会保障制度の適正な運営

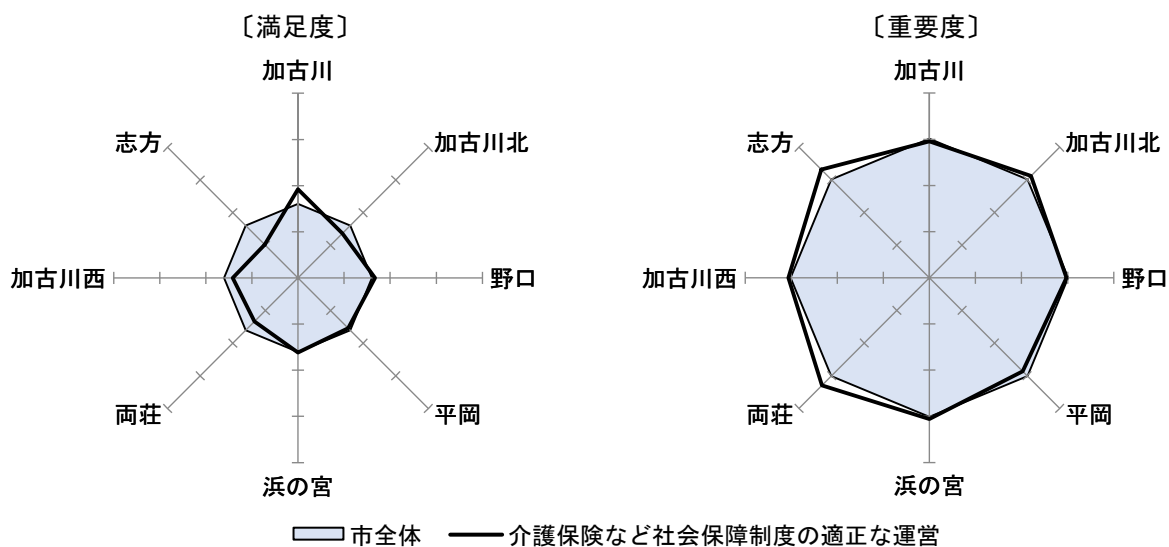
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、40～60歳代の男女と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



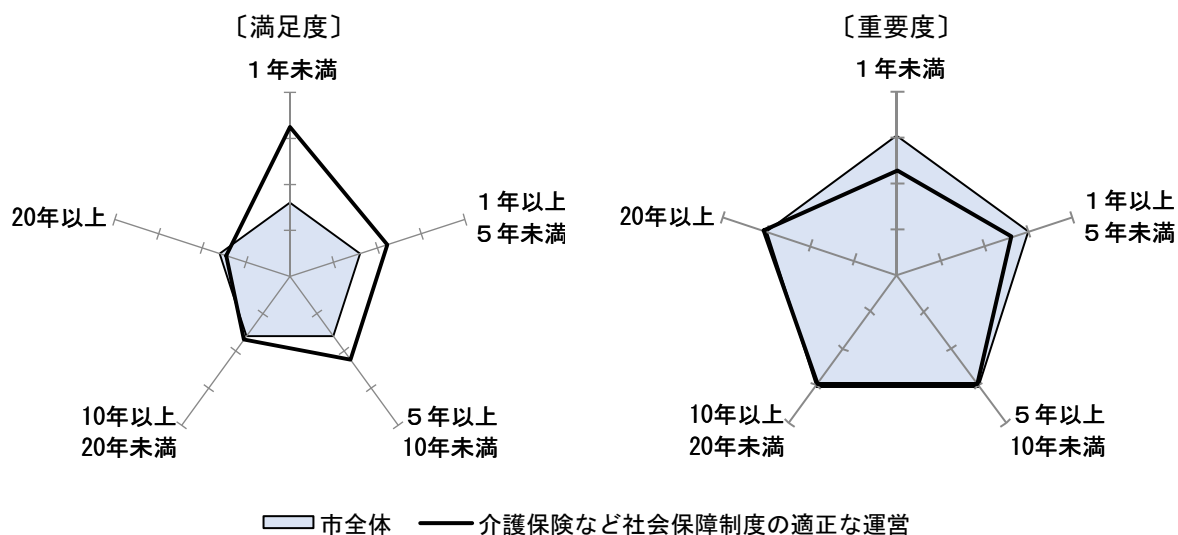
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・浜の宮・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



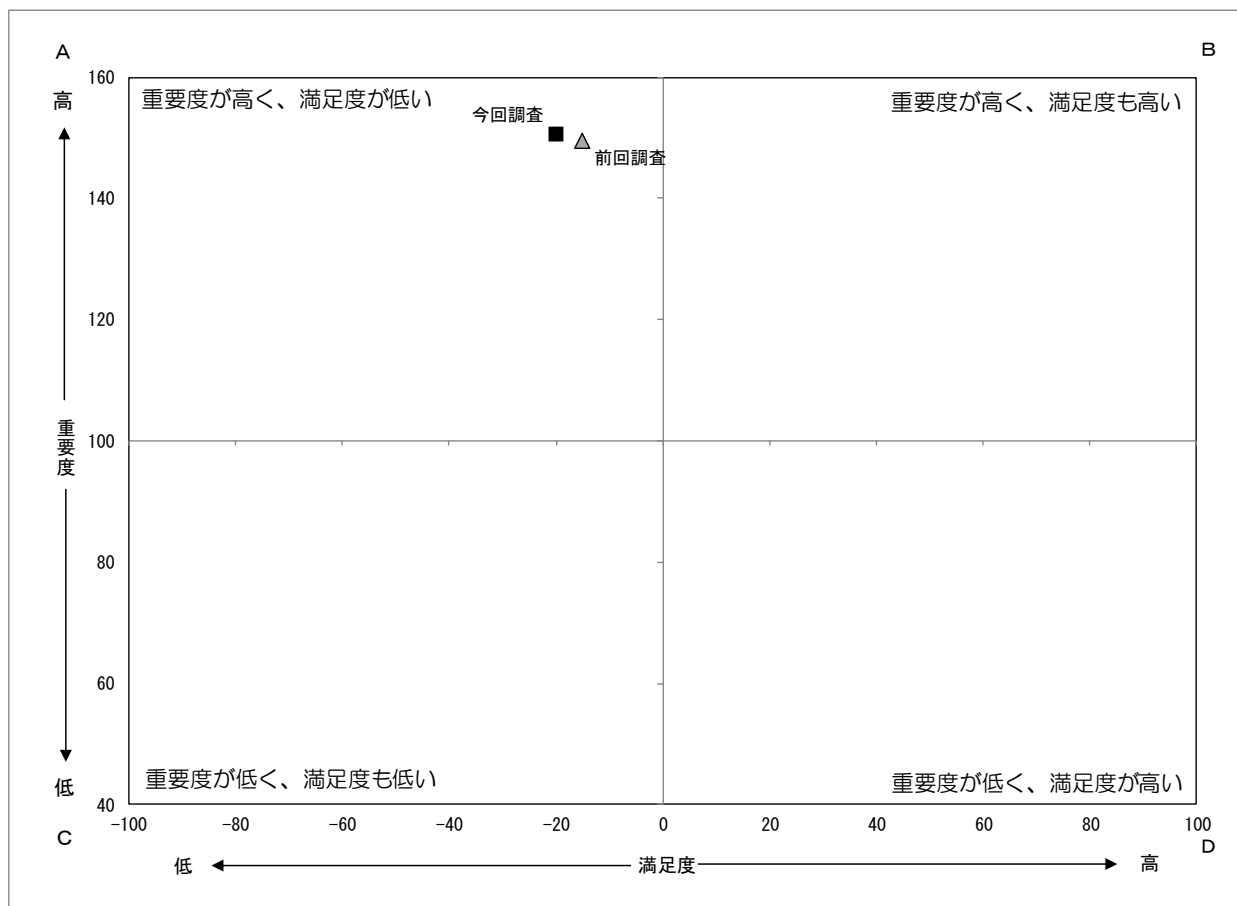
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



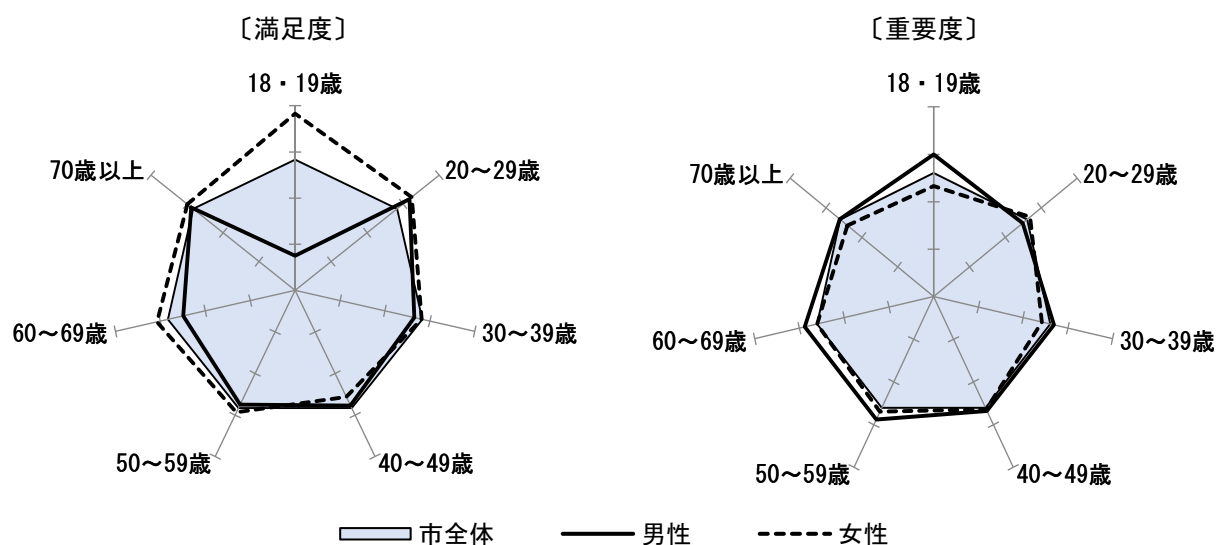
健康づくりや地域医療を充実する

〔健康管理を充実し、病気の予防を図る〕

（６）住民健診の充実や健康づくりの推進

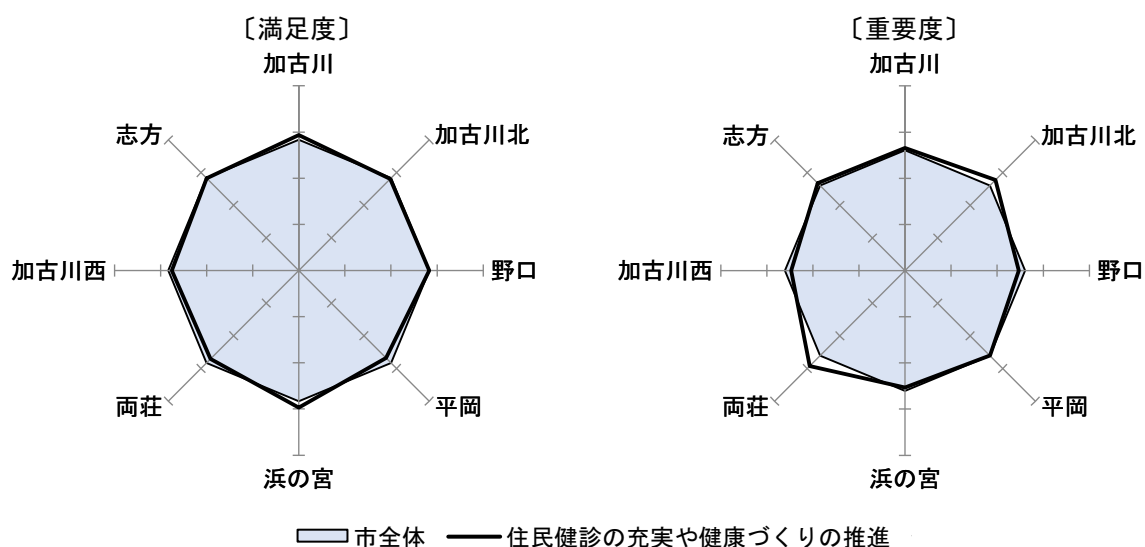
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、40～60歳代の男女と、18・19歳、30歳代、70歳以上の男性と、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



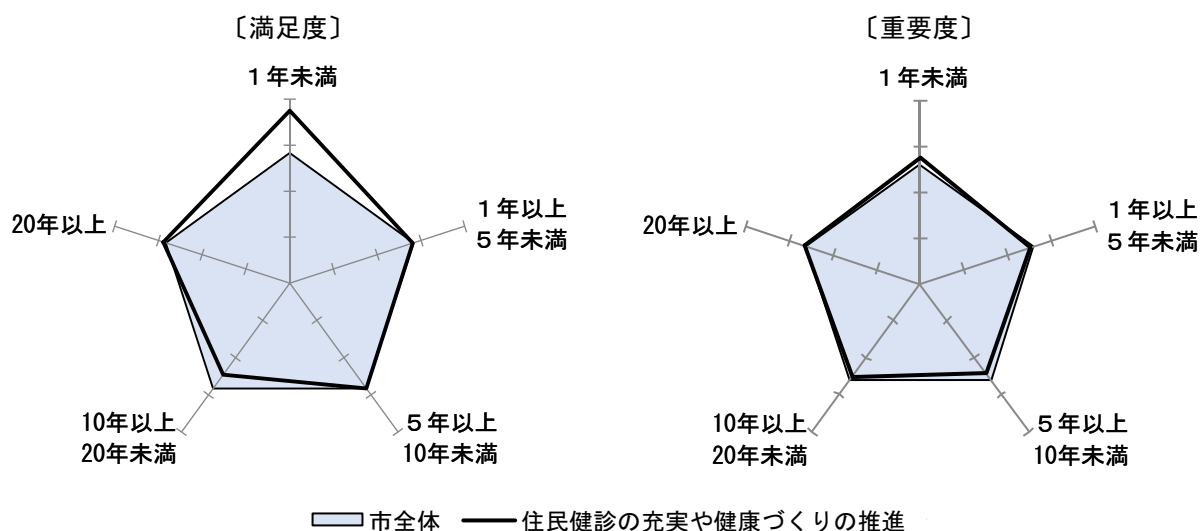
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



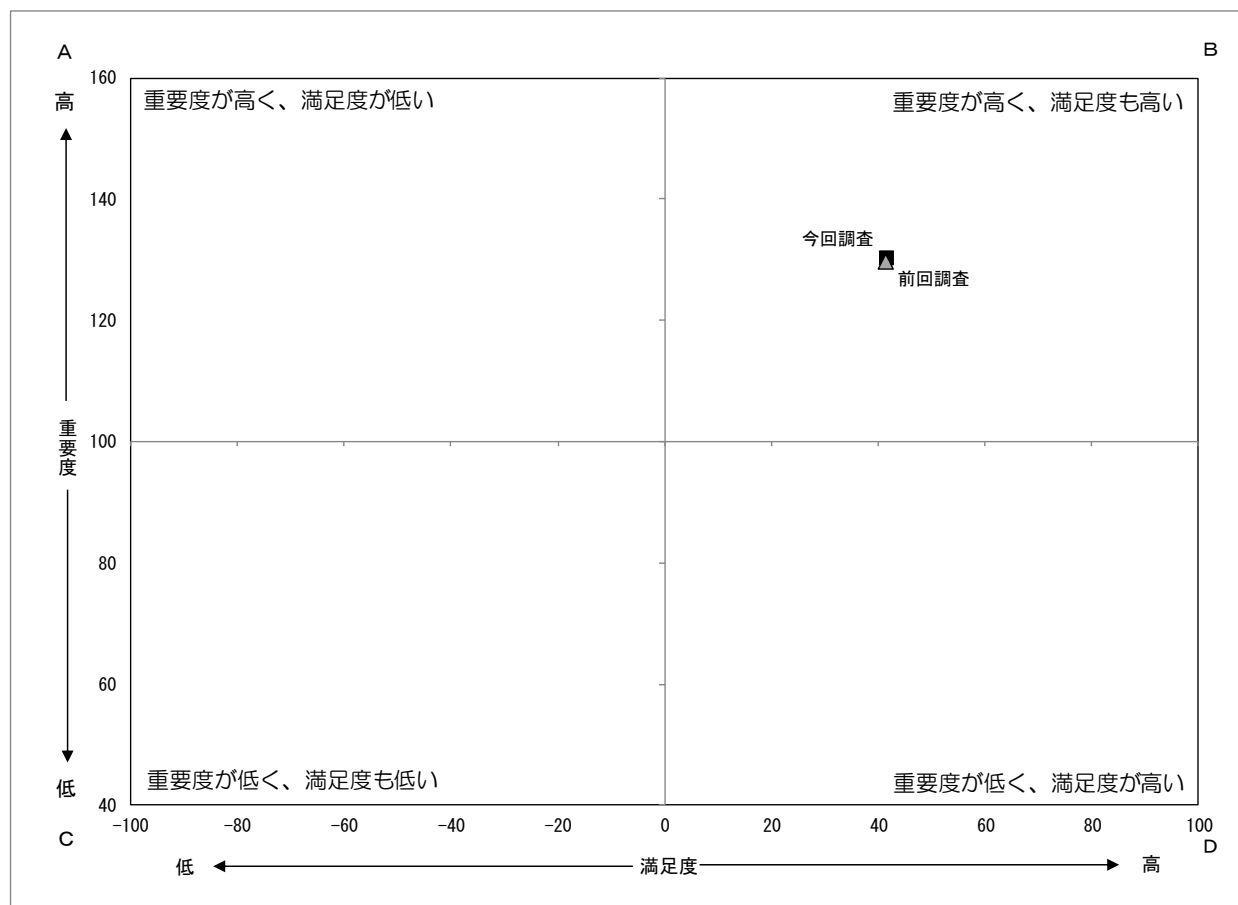
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

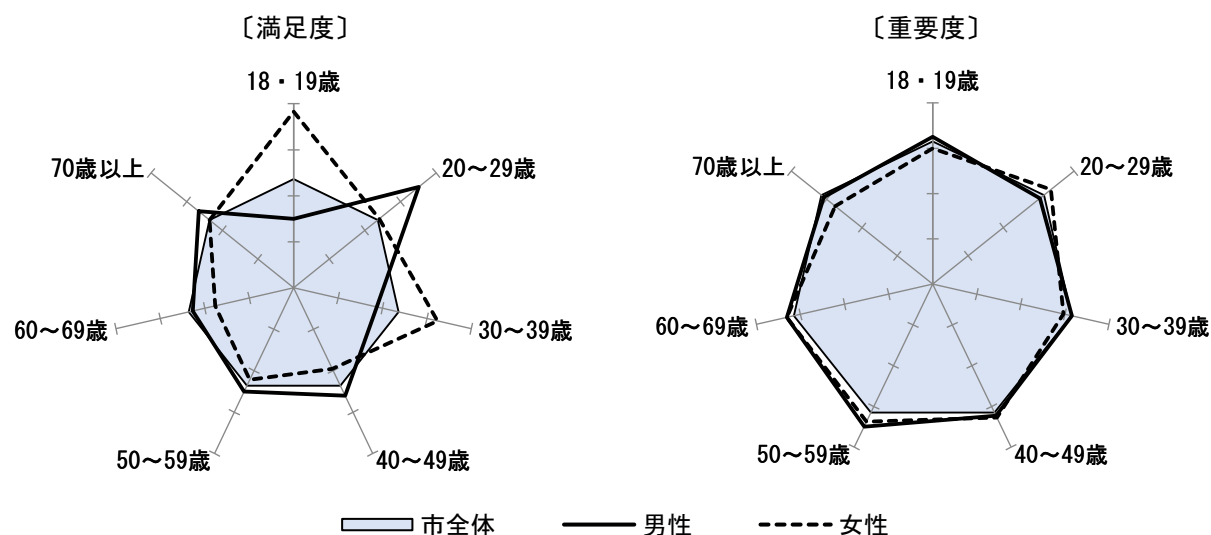


〔地域医療を充実する〕

（７）安心できる医療体制

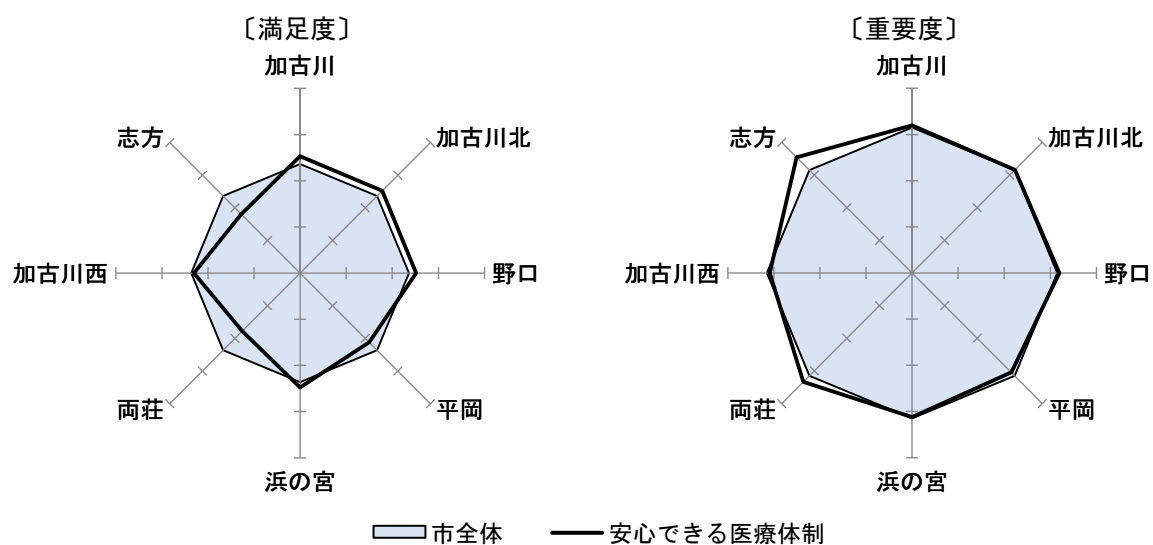
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、20歳代の男女、40～50歳代、70歳以上の男性、18・19歳、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、40～60歳代の男女と、18・19歳、30歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



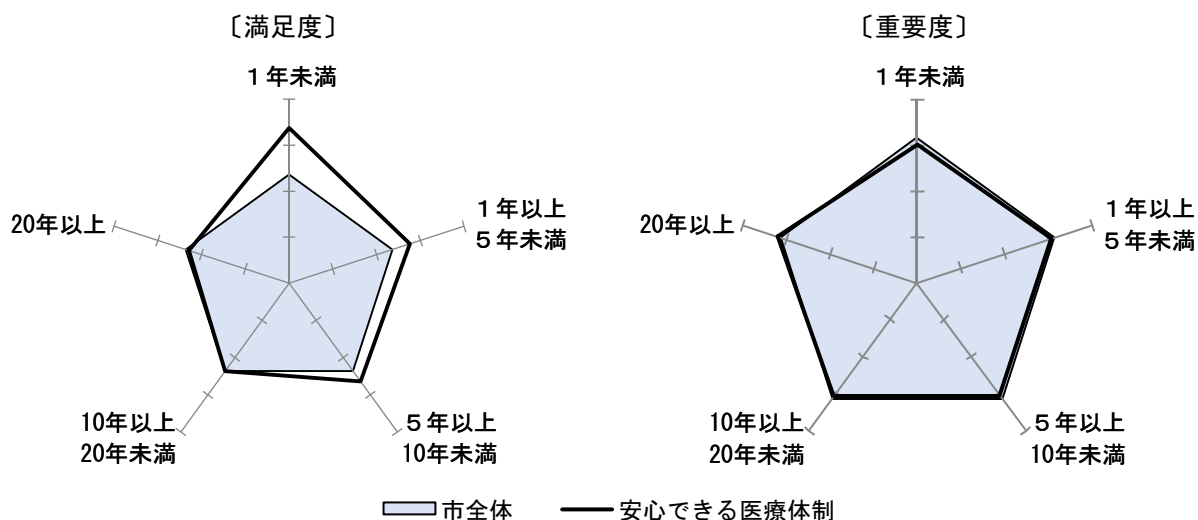
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



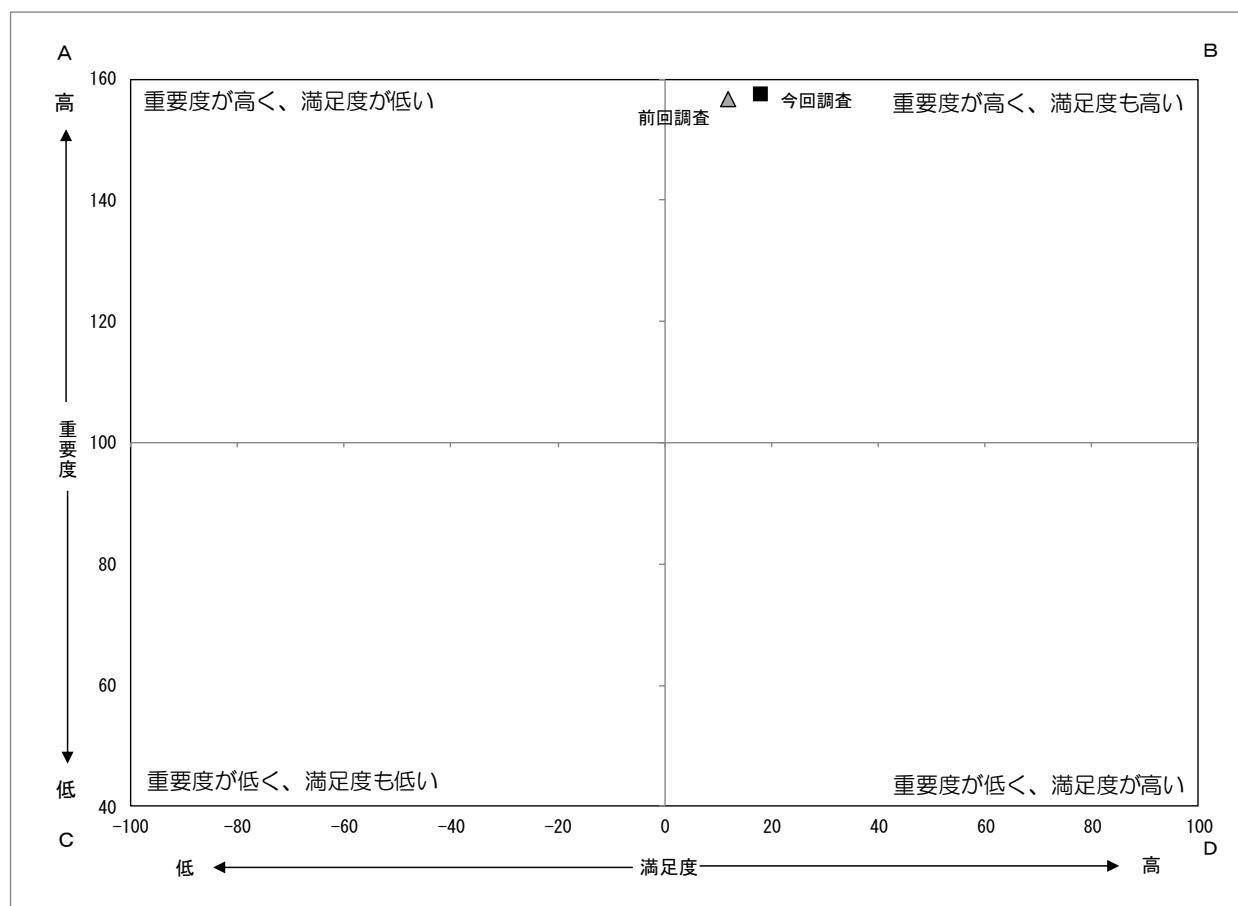
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は高くなっている。



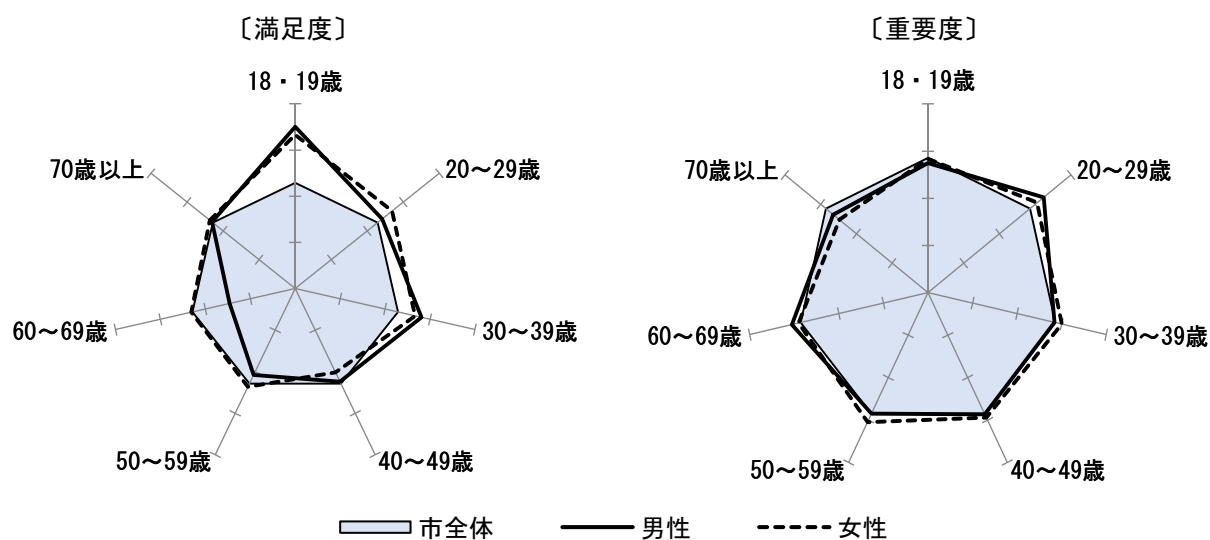
市民生活の安全・安定を確保する

〔災害・非常事態に対応する体制を充実する〕

（８）地域の防災体制

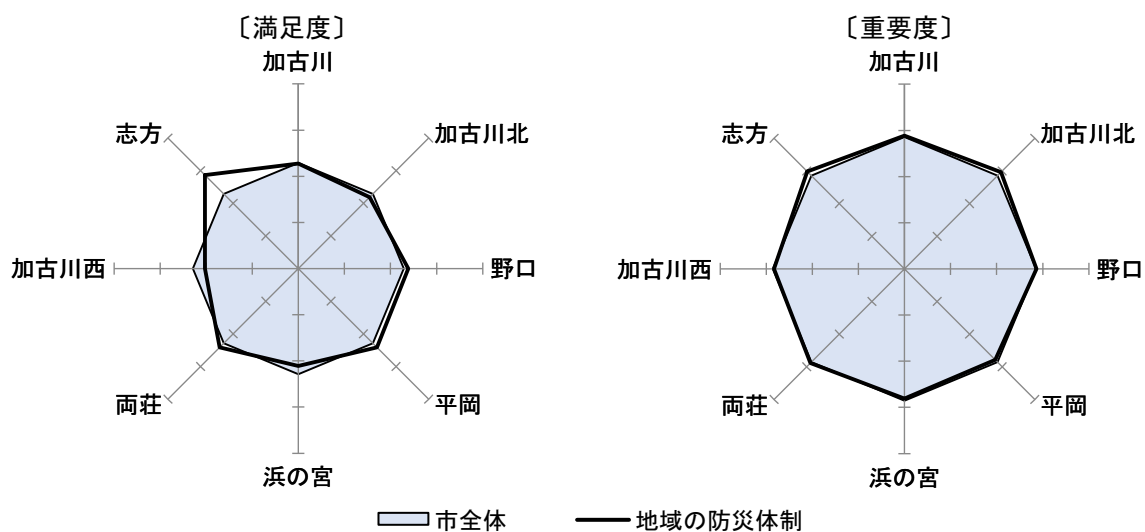
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男女と、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、40歳代、60歳代の男女と、30歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



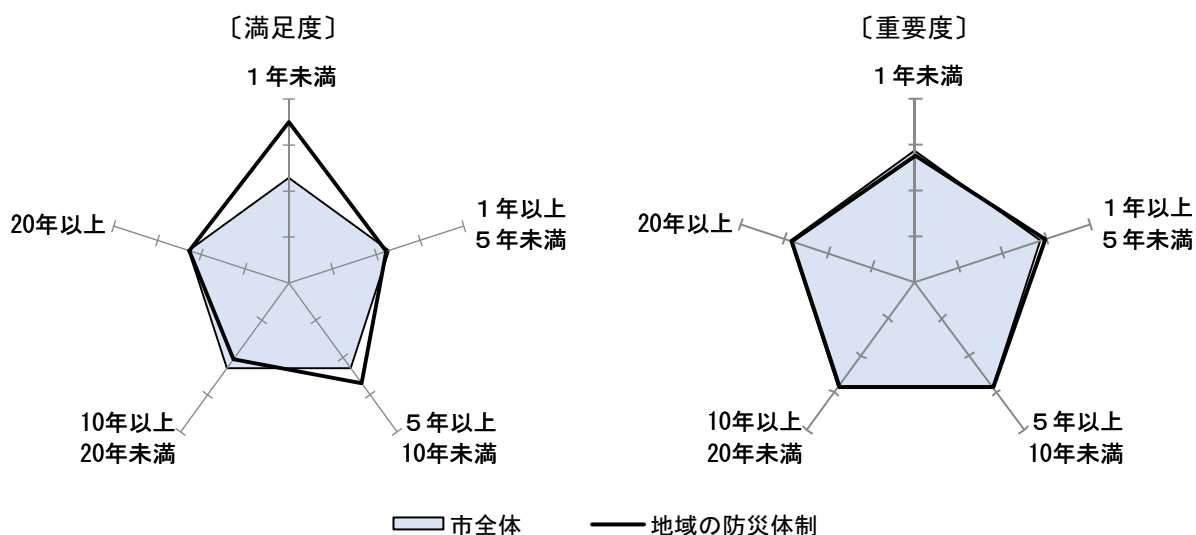
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



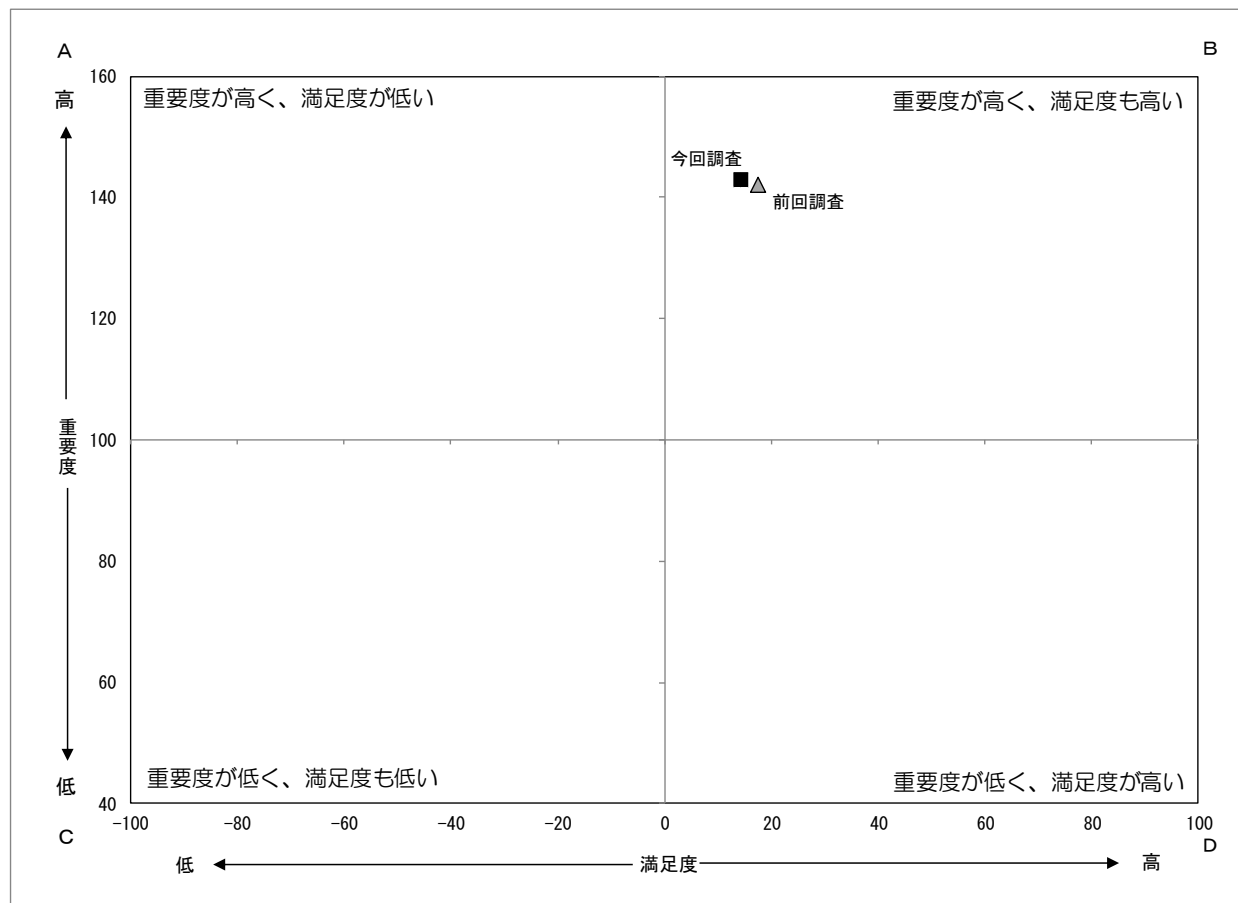
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

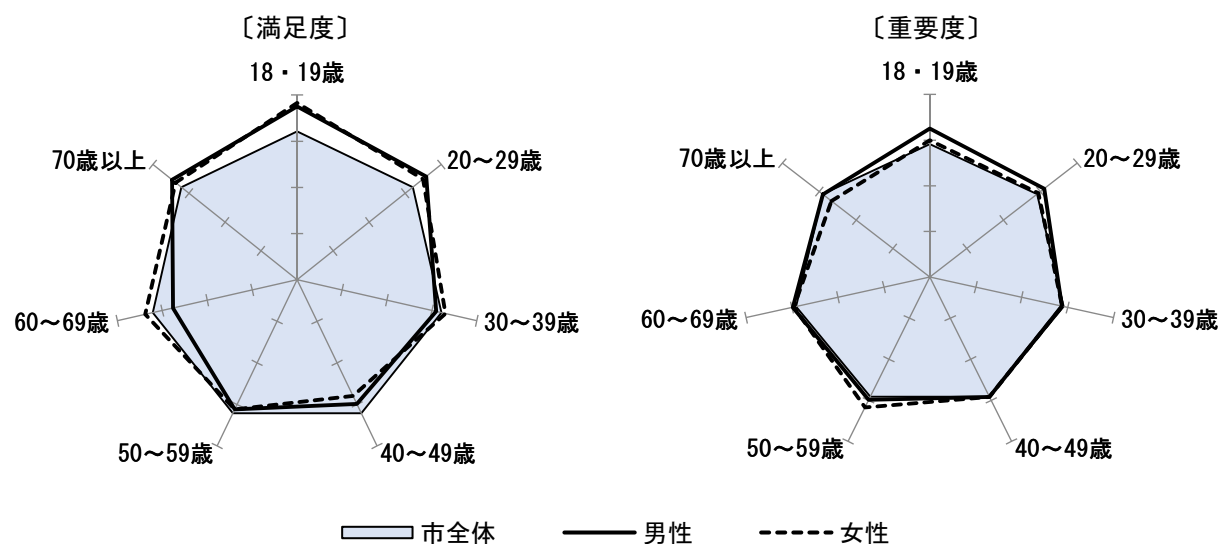


〔消防・救急体制を充実する〕

（９）消防や救急・救命体制

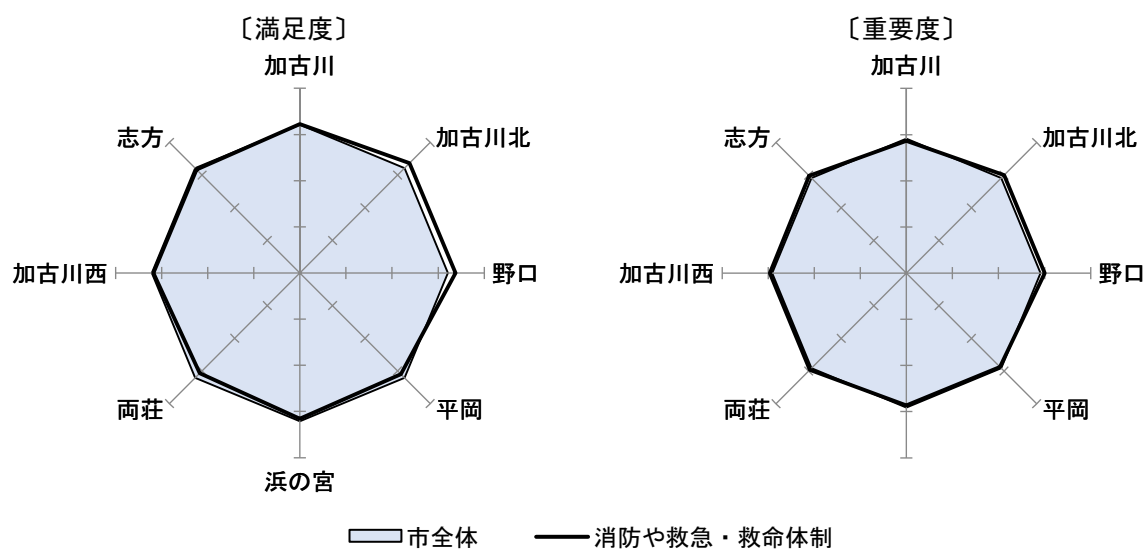
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、40～60歳代の男女で市全体平均より高くなっている。



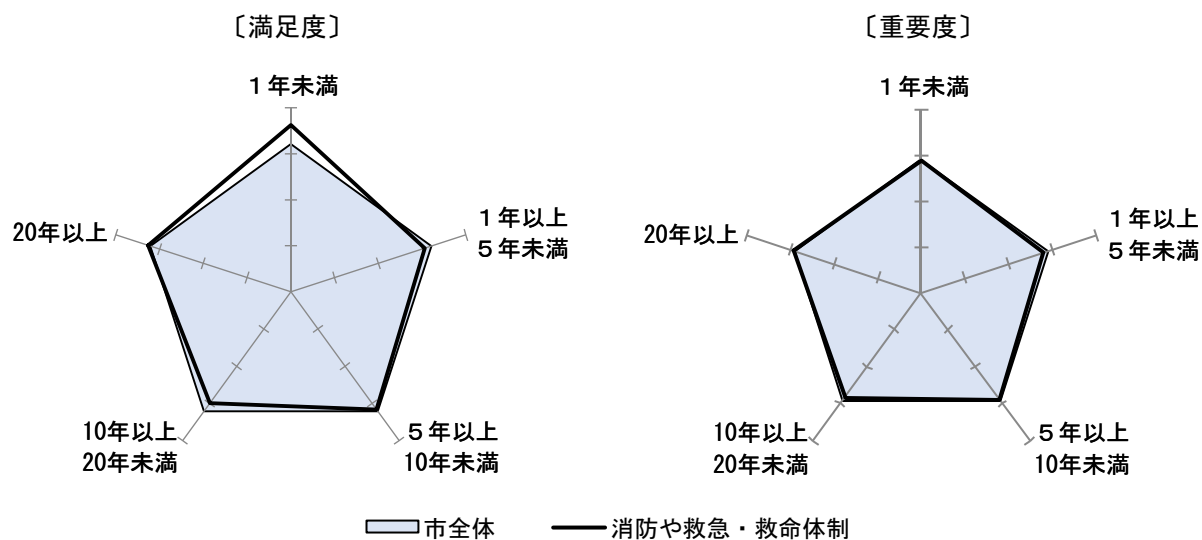
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



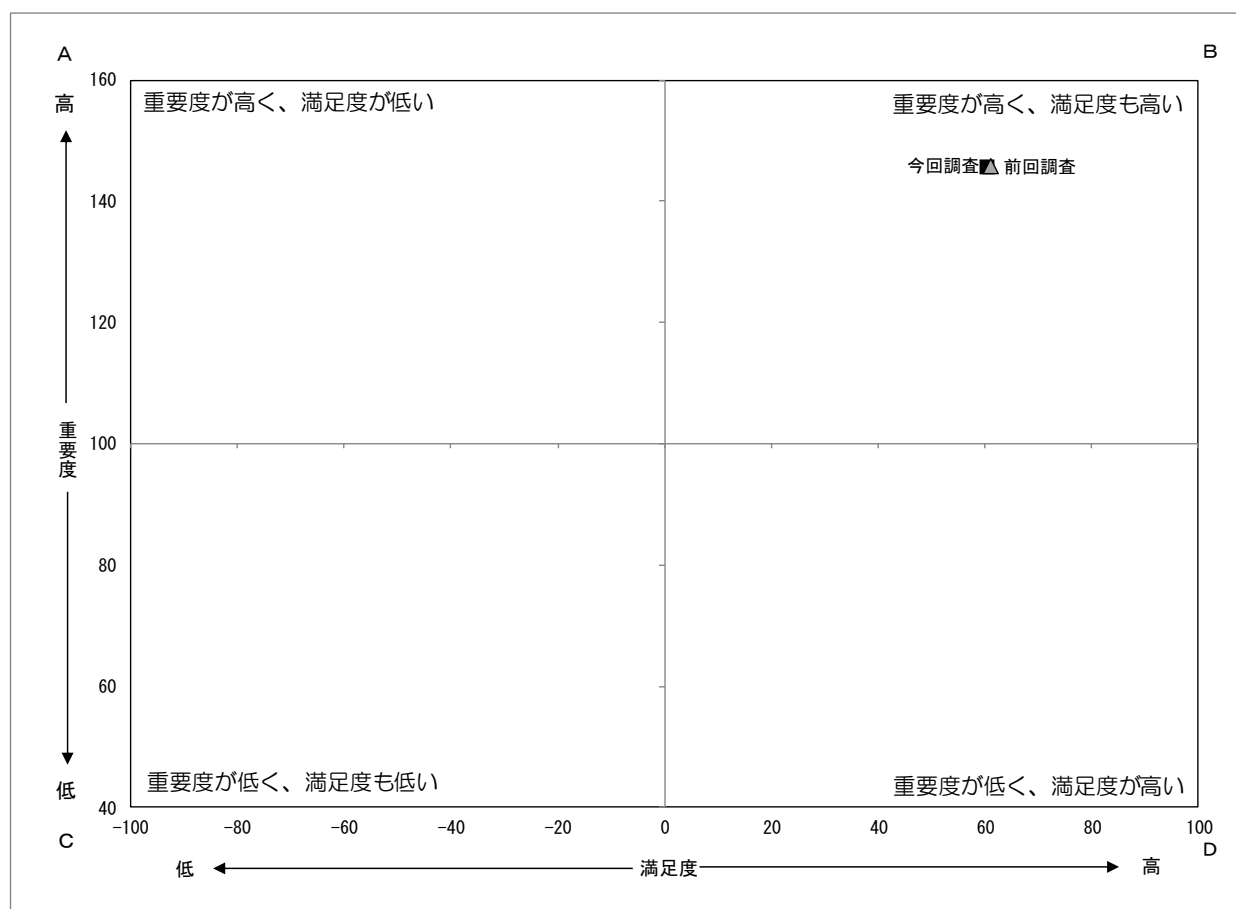
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

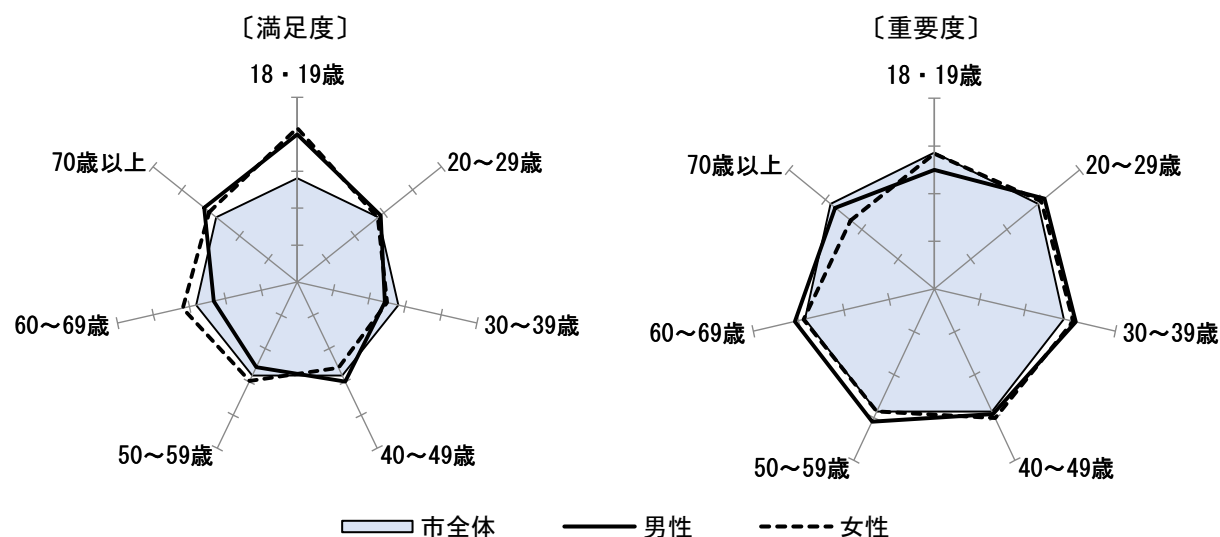


〔防犯・交通安全対策を推進する〕

(10) 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策

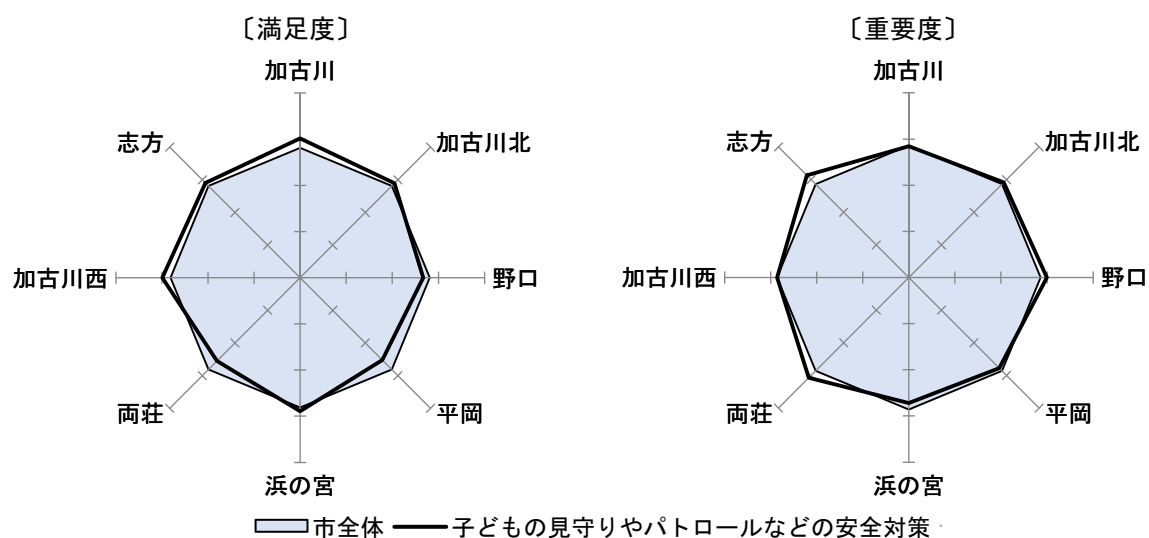
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、40歳代の男性、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20～40歳代、60歳代の男女と、50歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



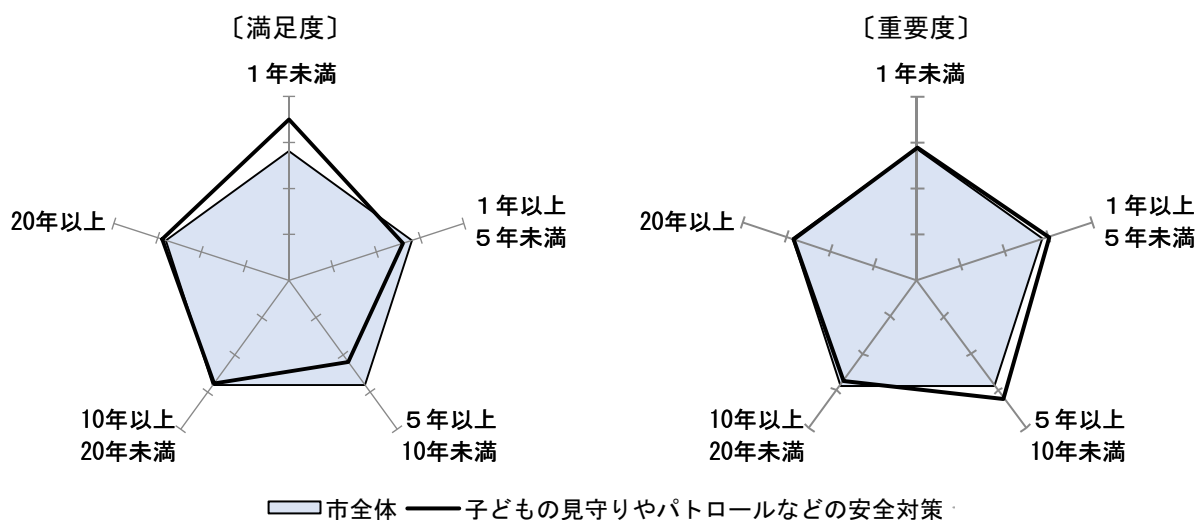
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・浜の宮・加古川西・志方地区では市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区では市全体平均より高くなっている。



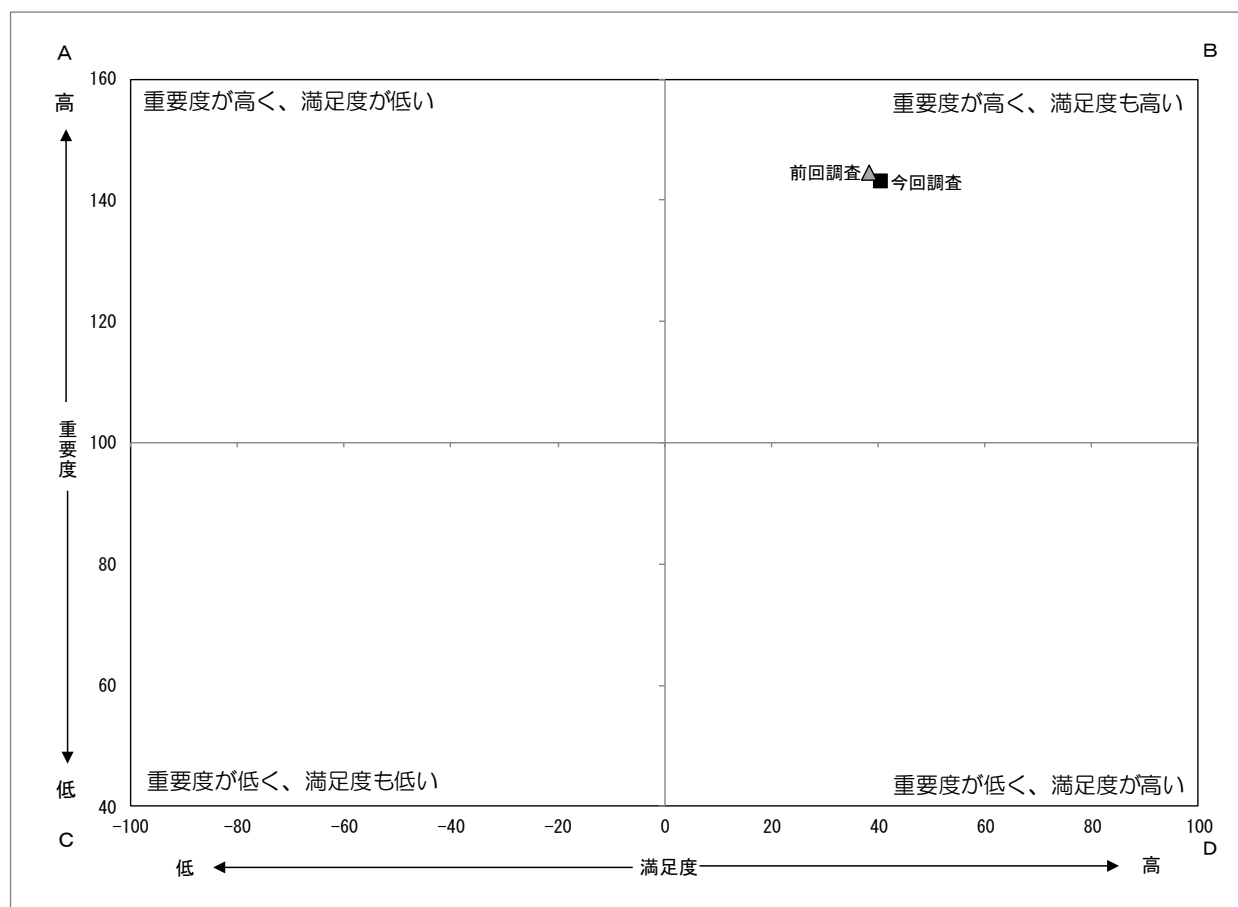
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

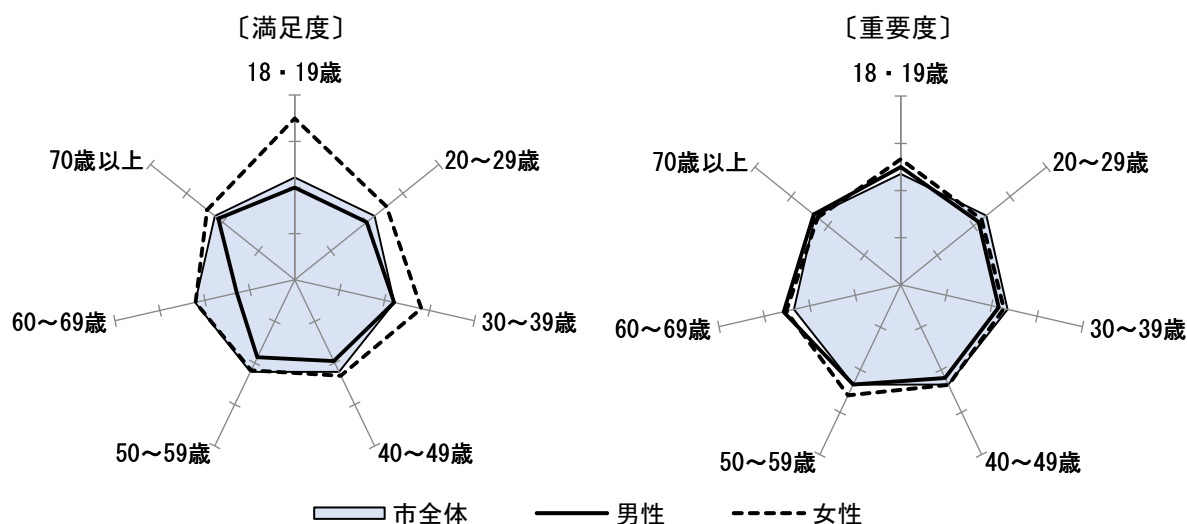


〔消費生活等の安全・向上を図る〕

(11) 悪質商法の相談や環境に配慮した消費行動への啓発

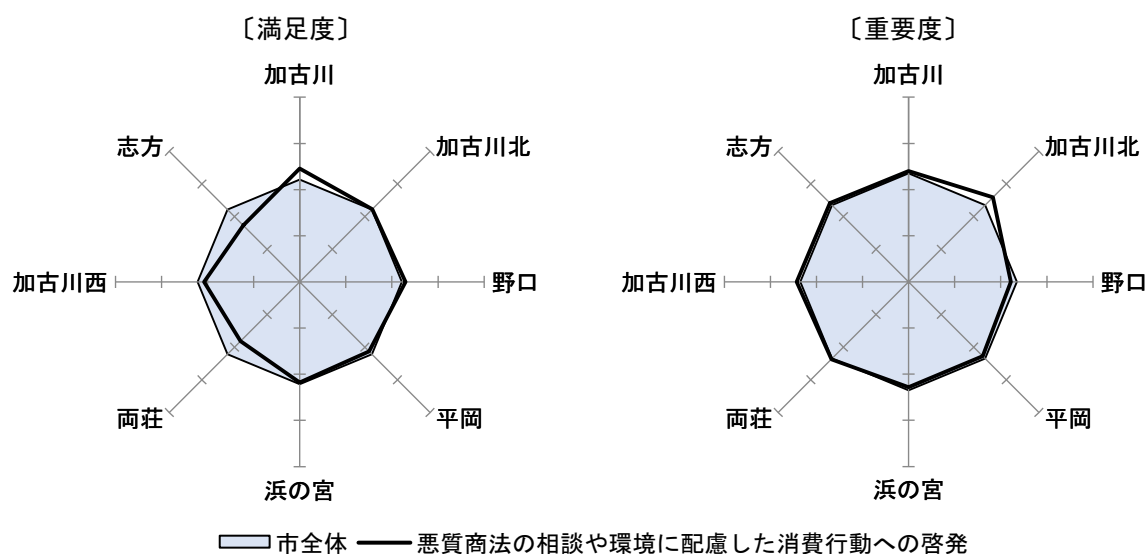
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20～40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、60歳代の男女と、70歳以上の男性と、40～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



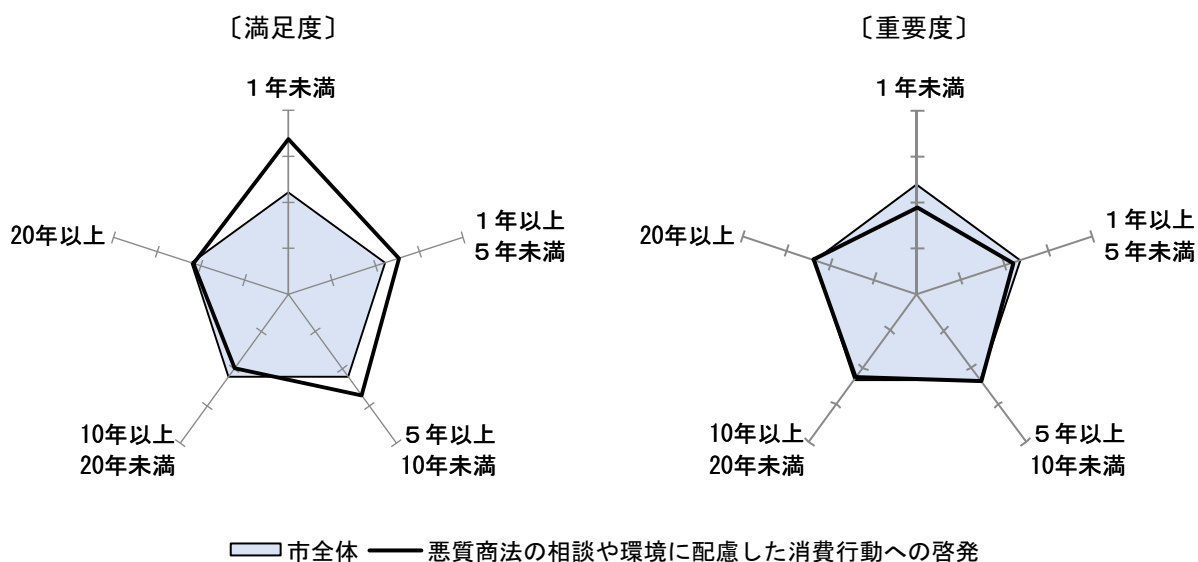
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口地区では市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・両荘・加古川西・志方地区では市全体平均より高くなっている。



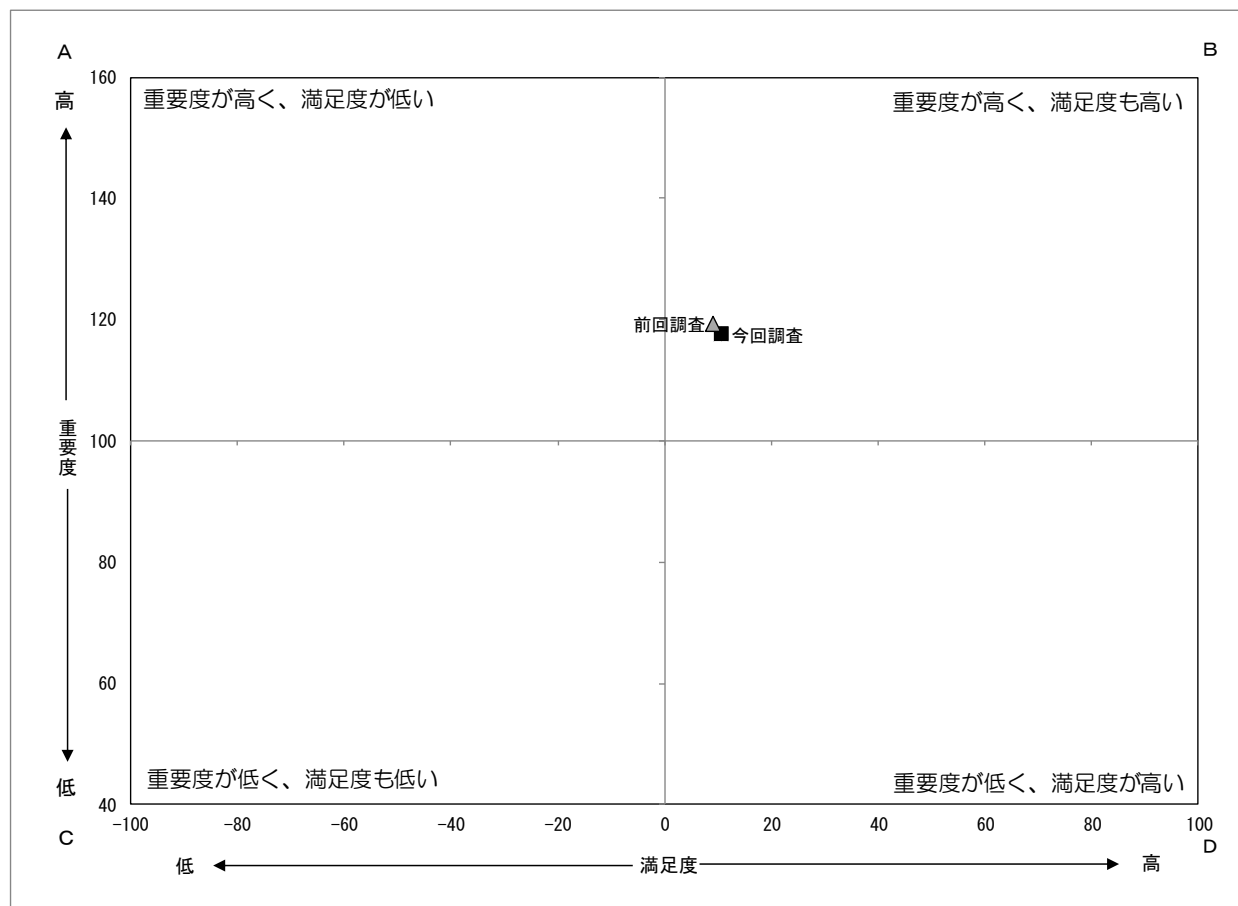
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

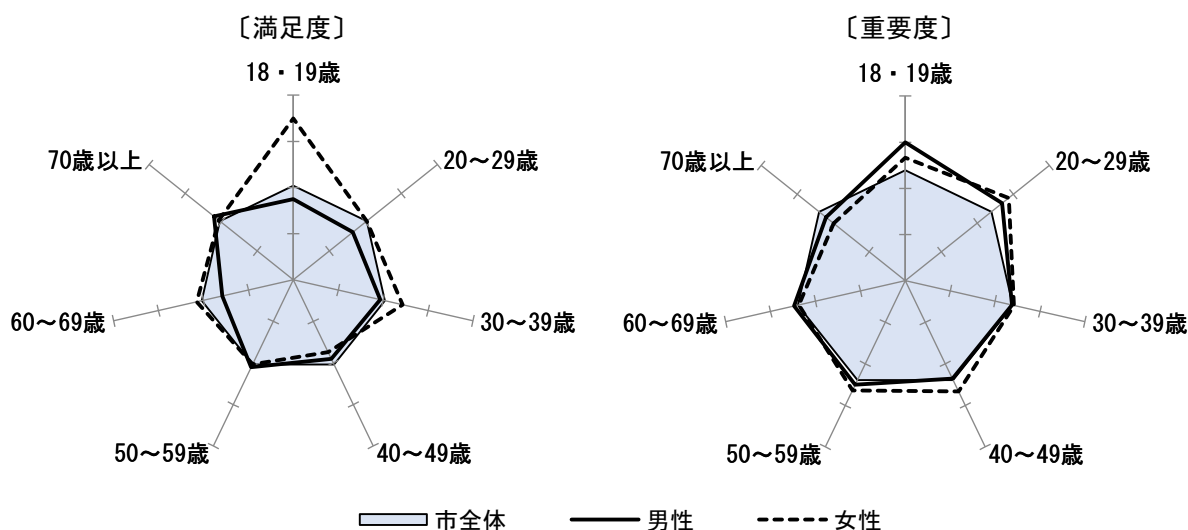


〔勤労者福祉を充実する〕

(12) 勤労者の福利厚生や労働相談などの勤労支援

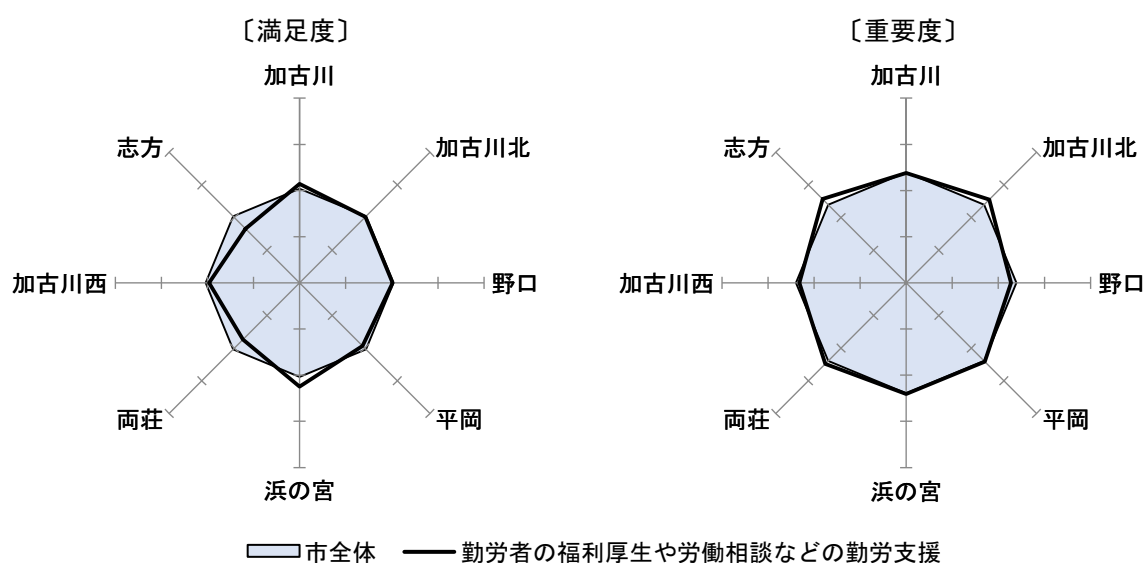
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、50歳代の男性、18・19歳、20歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、50歳代の男女と、60歳代の男性、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



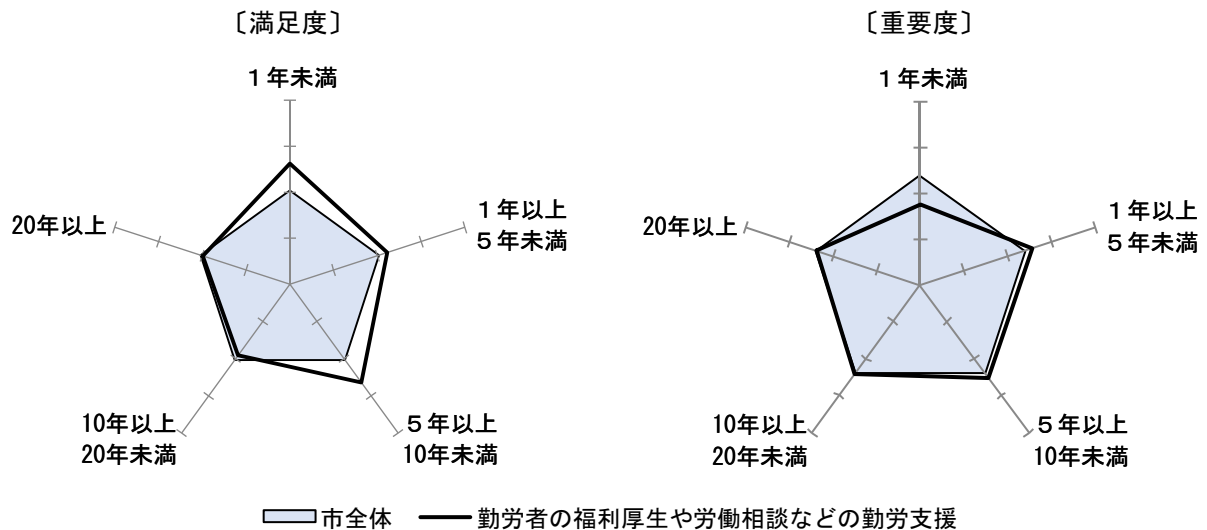
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・平岡・浜の宮・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



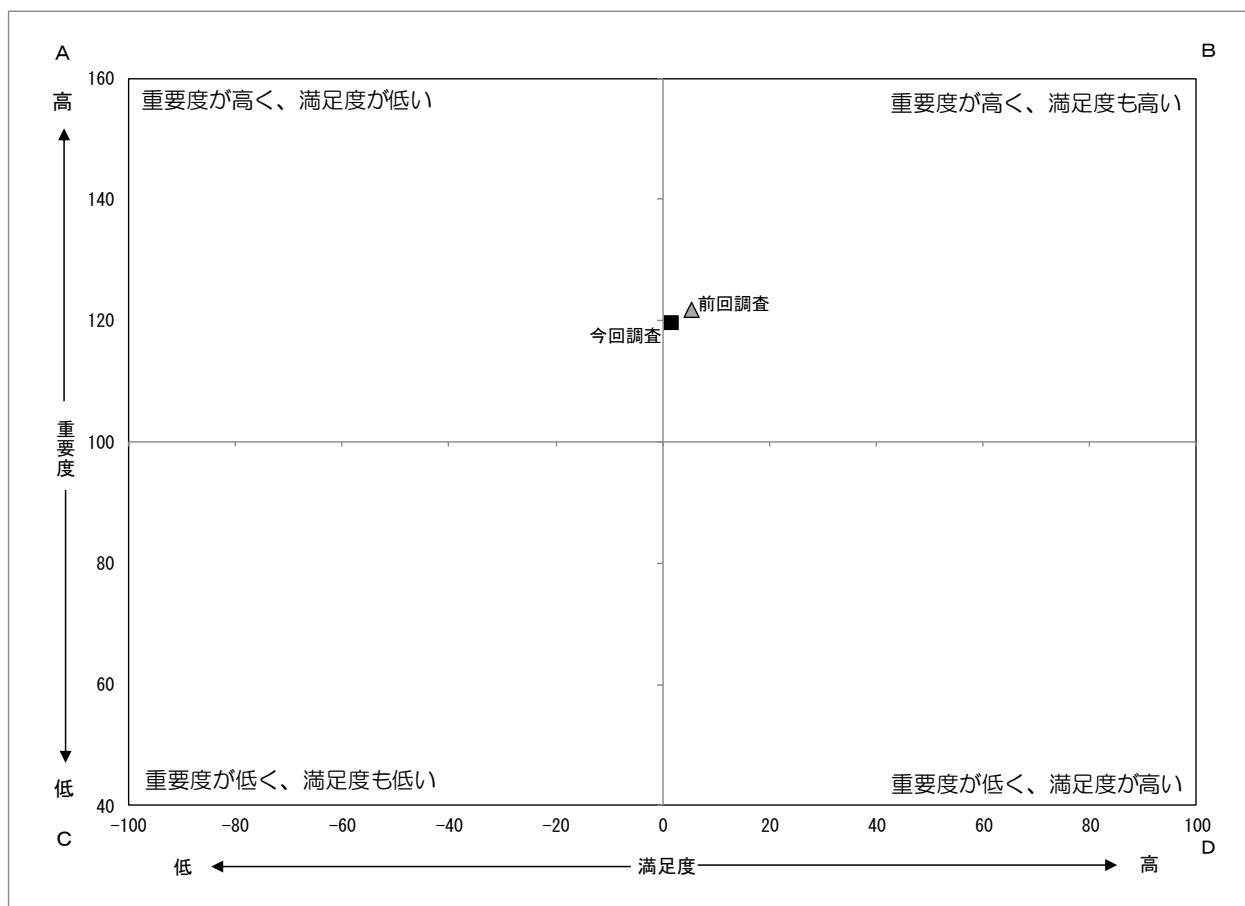
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

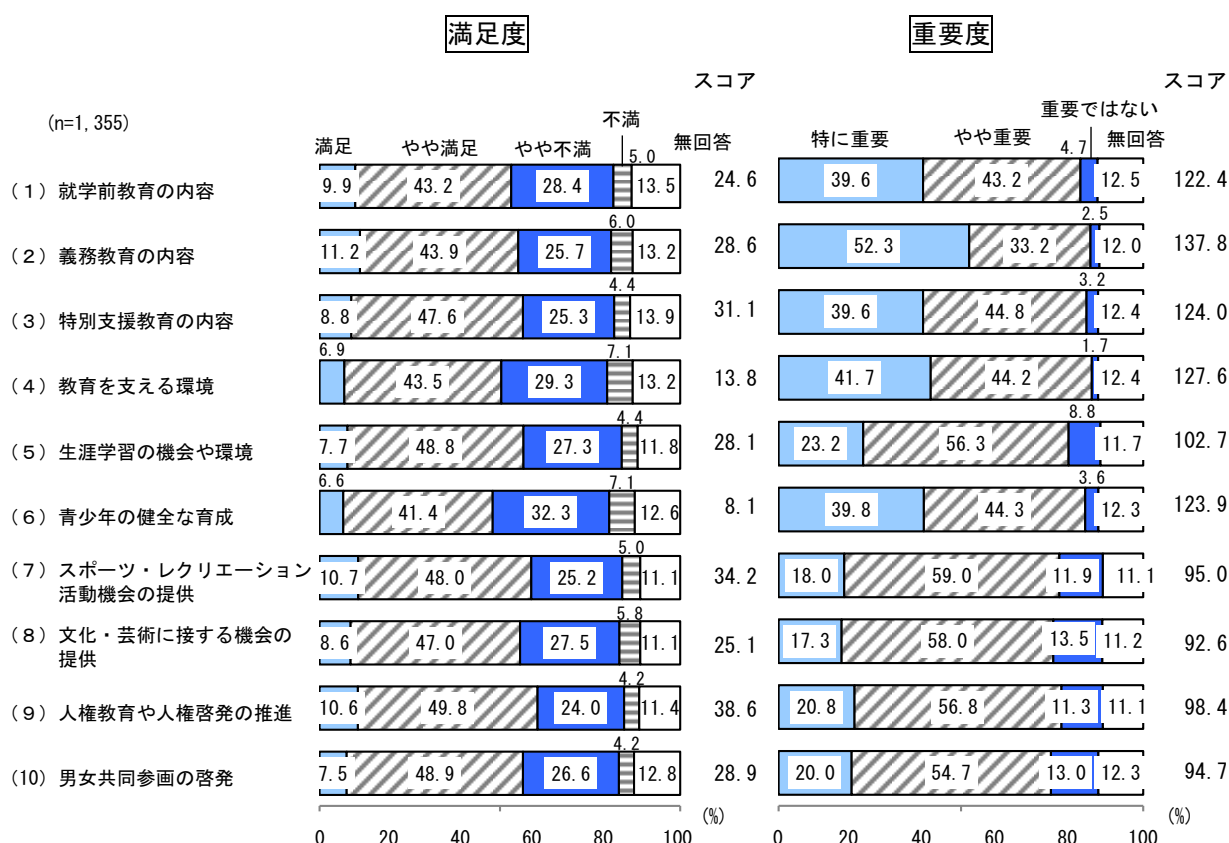
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



3-2 心豊かに暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(9) 人権教育や人権啓発の推進”、次いで“(7) スポーツ・レクリエーション活動機会の提供”となっている。一方、最も低い項目は“(6) 青少年の健全な育成”、次いで“(4) 教育を支える環境”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(2) 義務教育の内容”、次いで“(4) 教育を支える環境”となっている。一方、最も低い項目は“(8) 文化・芸術に接する機会の提供”、次いで“(10) 男女共同参画の啓発”となっている。

《全体》



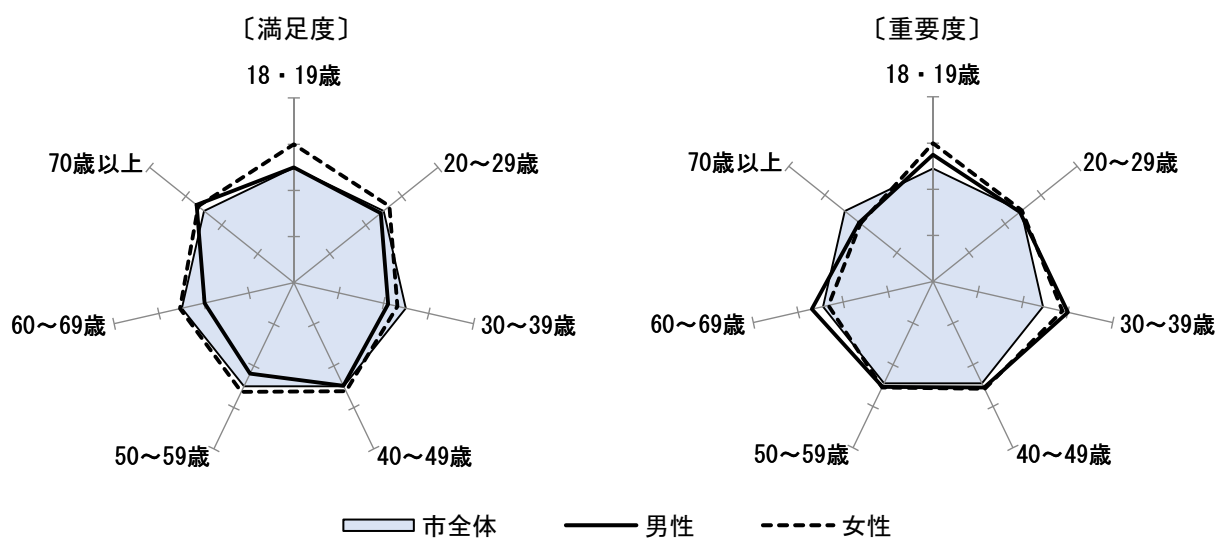
学校教育を充実する

〔特色ある就学前教育を推進する〕

（１）就学前教育の内容

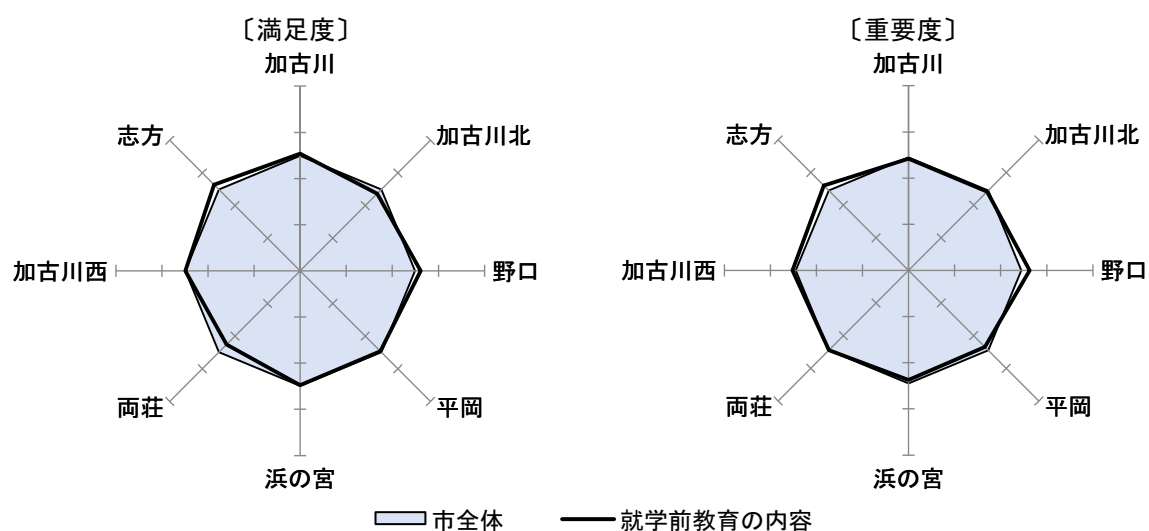
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、40～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、30～50歳代の男女、60歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



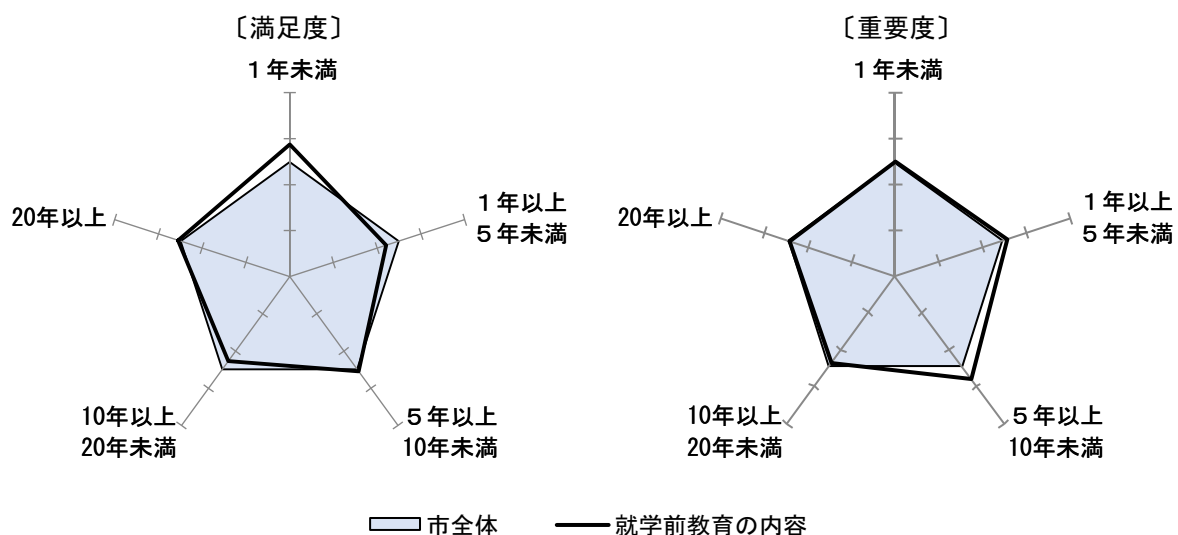
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



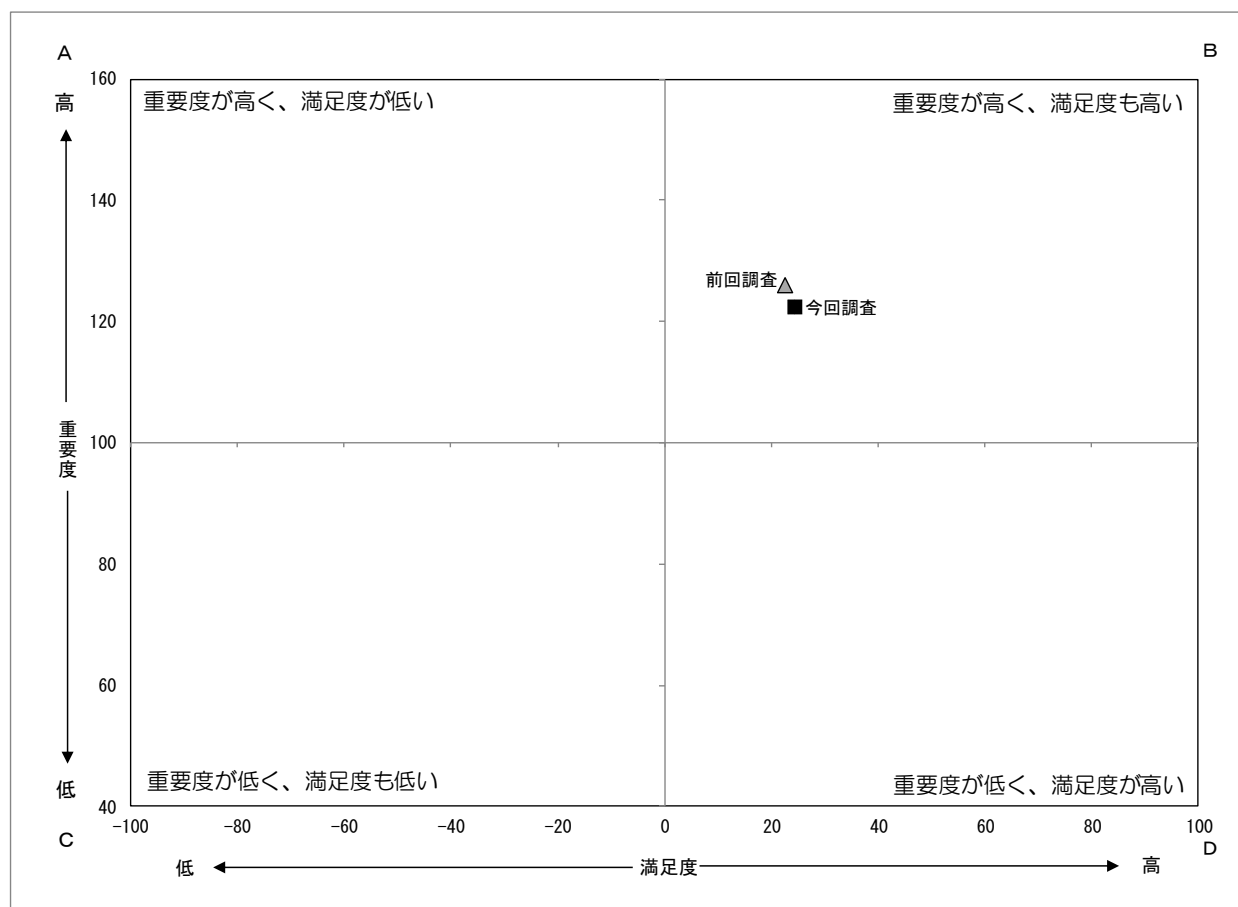
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は低くなり、満足度は変わらない。

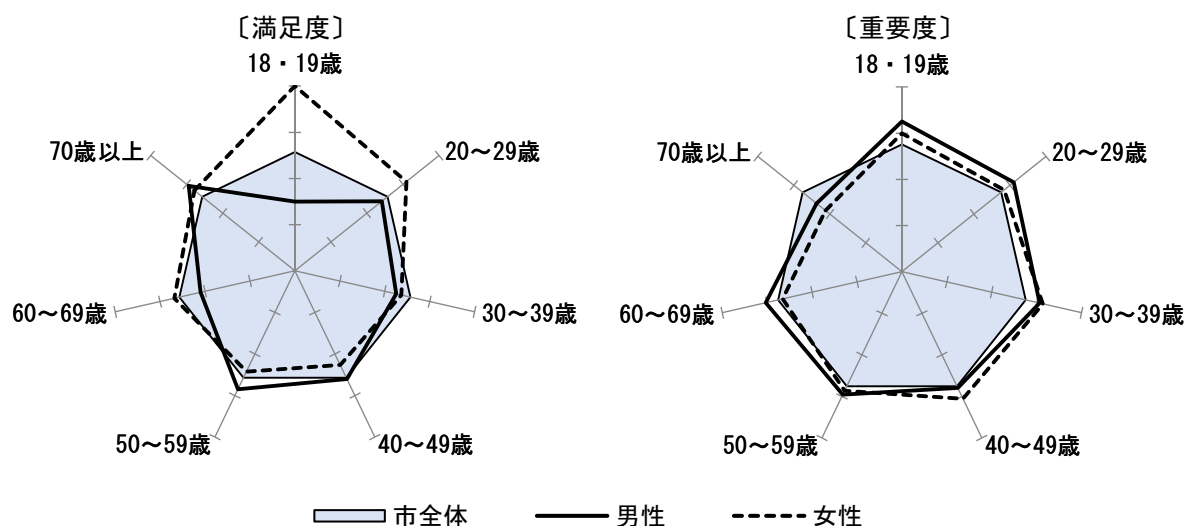


〔義務教育を充実する〕

（２）義務教育の内容

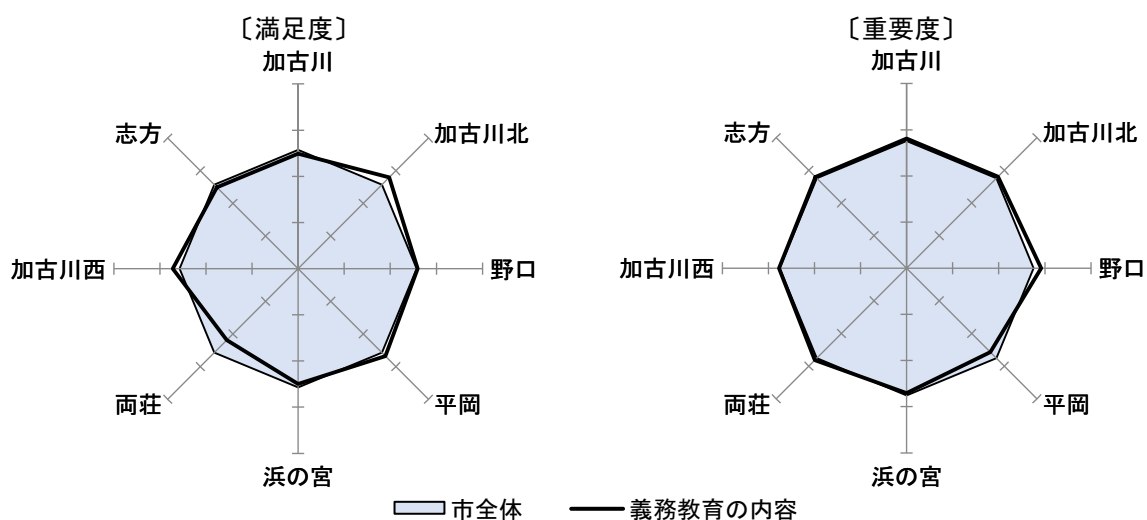
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、70歳以上の男女、40～50歳代の男性、18・19歳、20歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～50歳代の男女、60歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



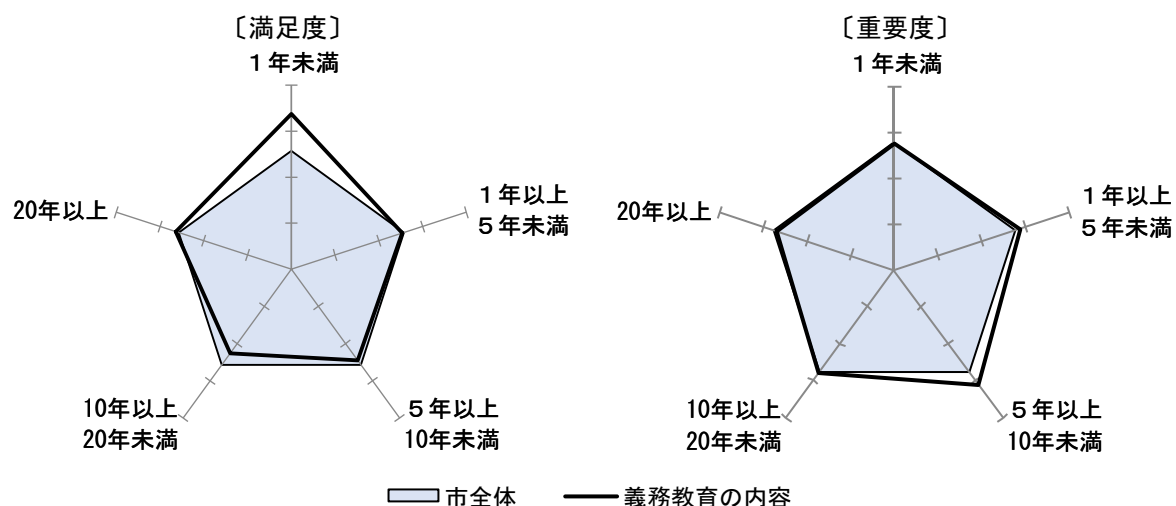
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・平岡・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



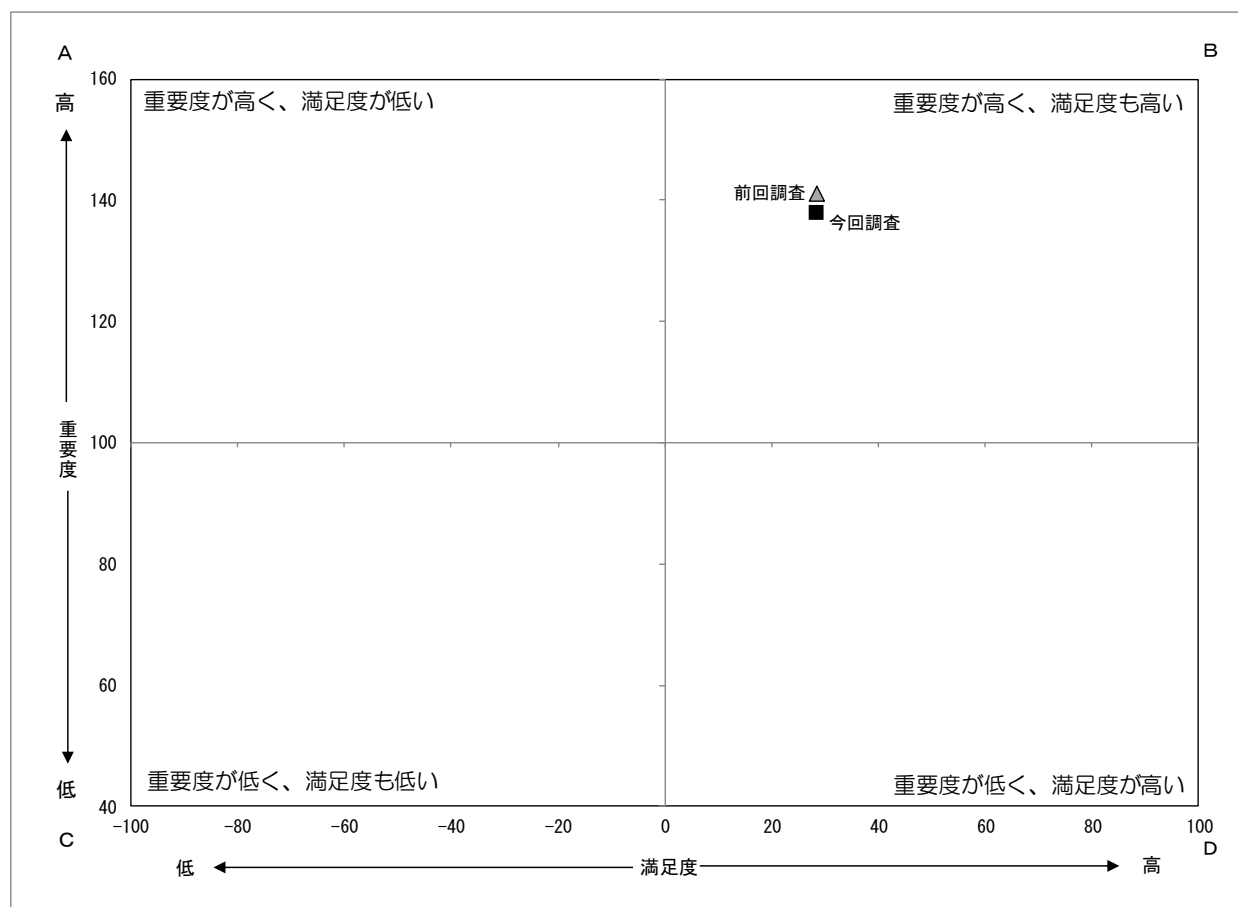
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は低くなり、満足度は変わらない。

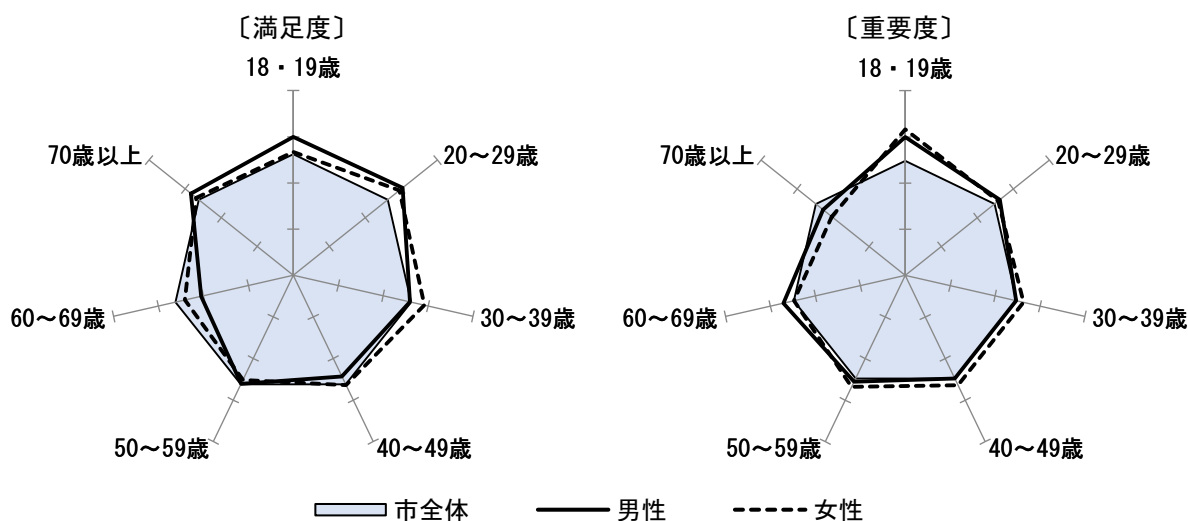


〔特別支援教育を充実する〕

（３）特別支援教育の内容

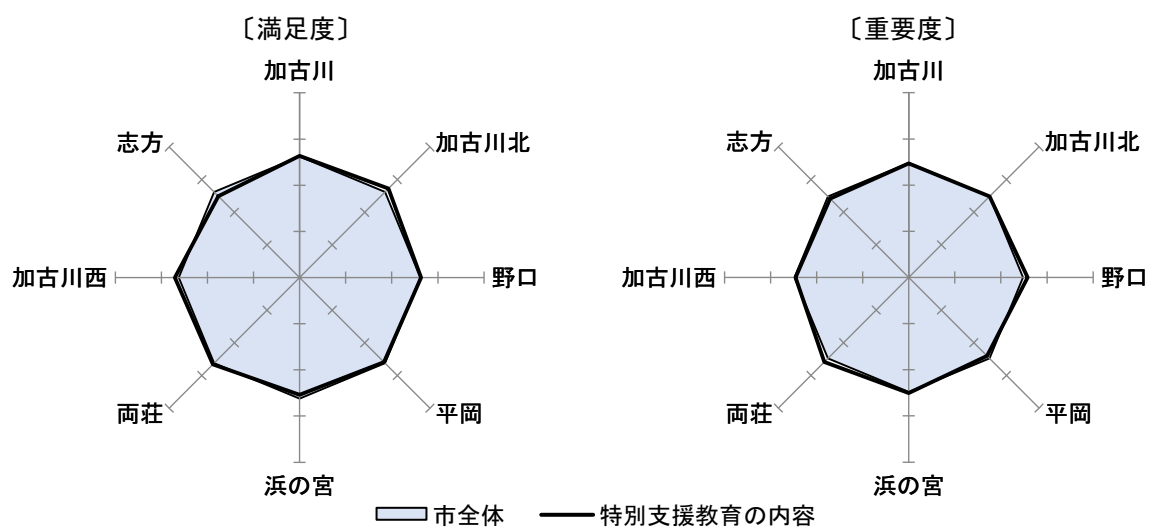
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、50歳代の男女と、60歳代の男性、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



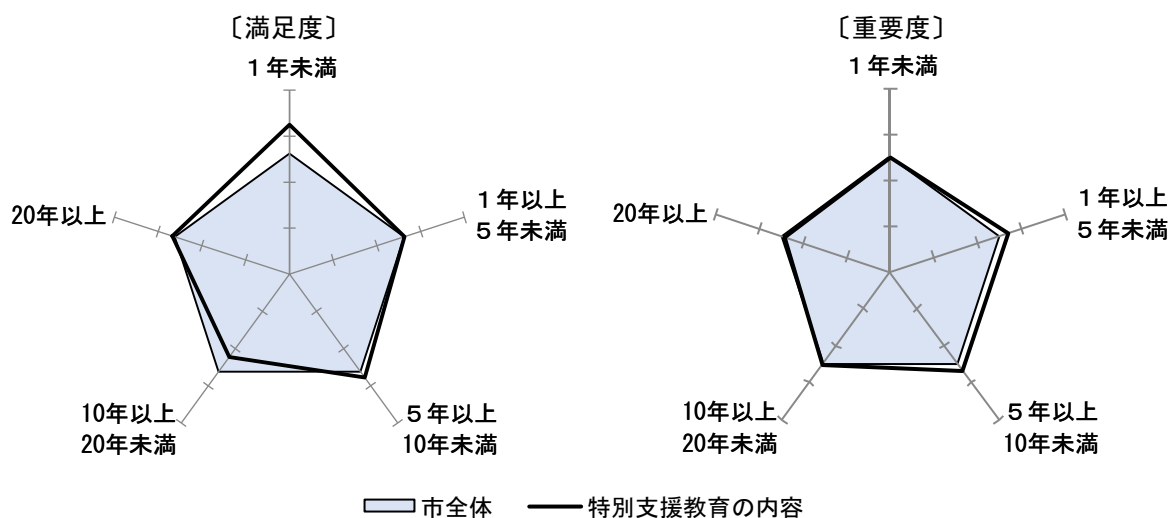
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・浜の宮・両荘地区で市全体平均より高くなっている。



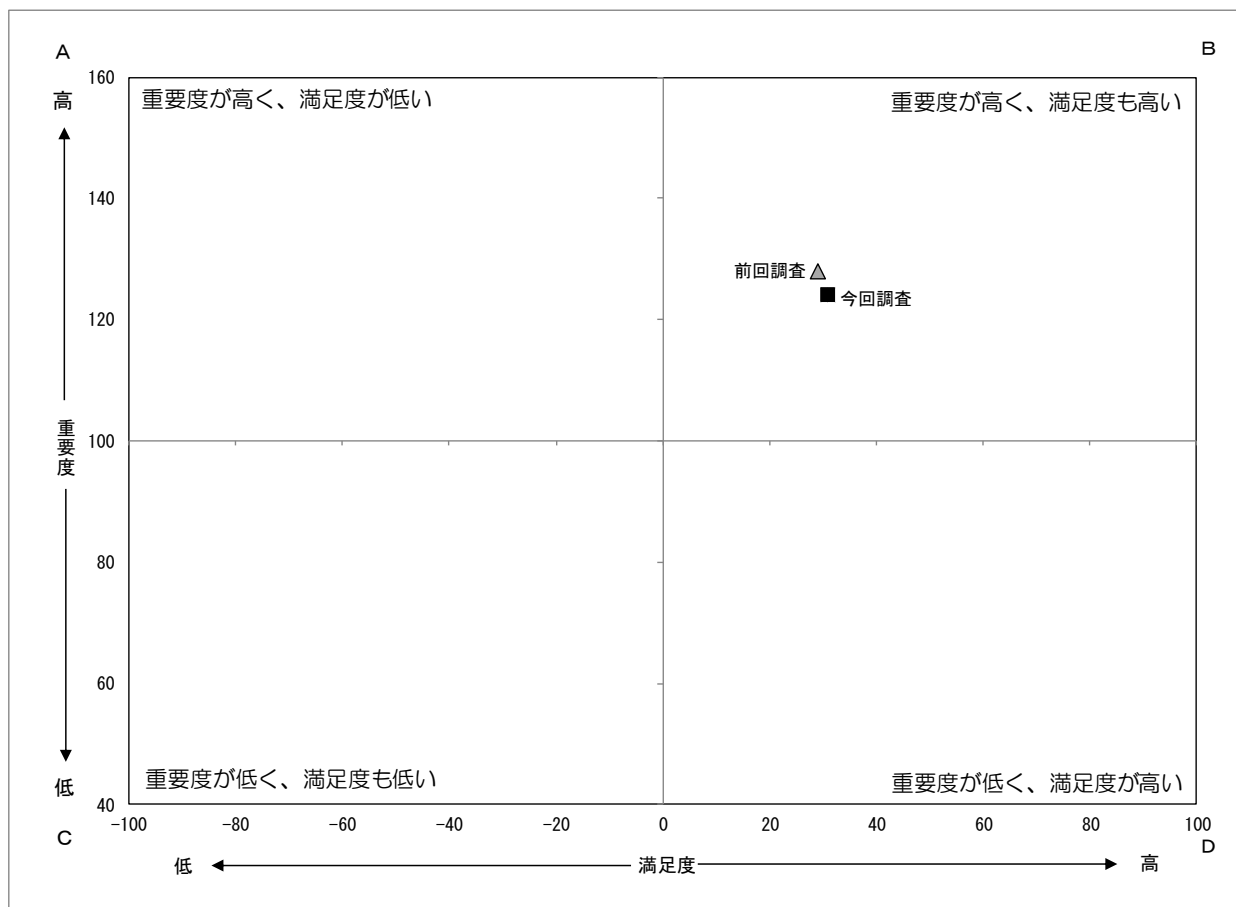
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は低くなり、満足度は変わらない。

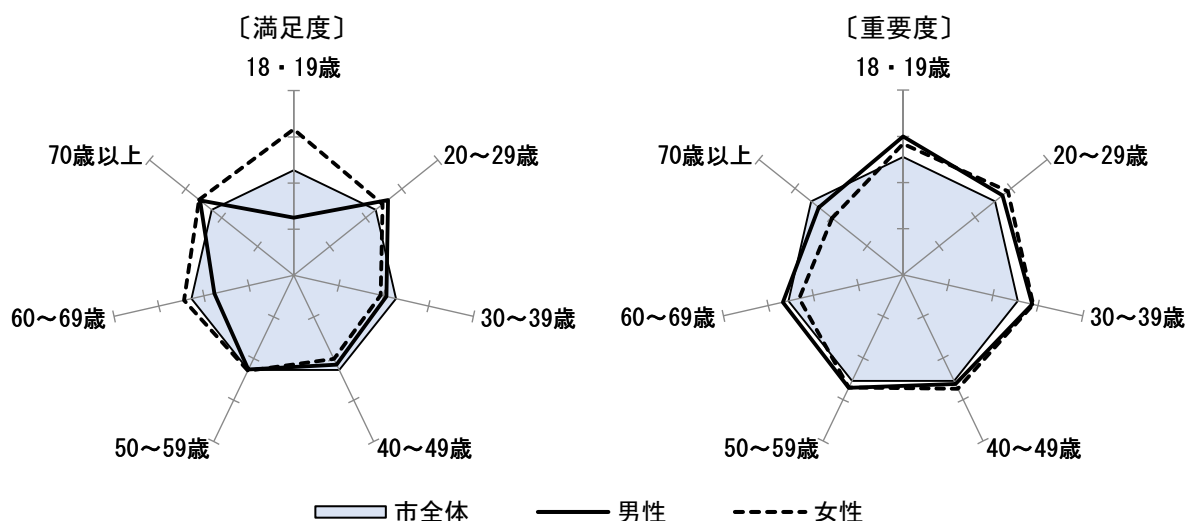


〔教育を支える環境を整備する〕

（４）教育を支える環境

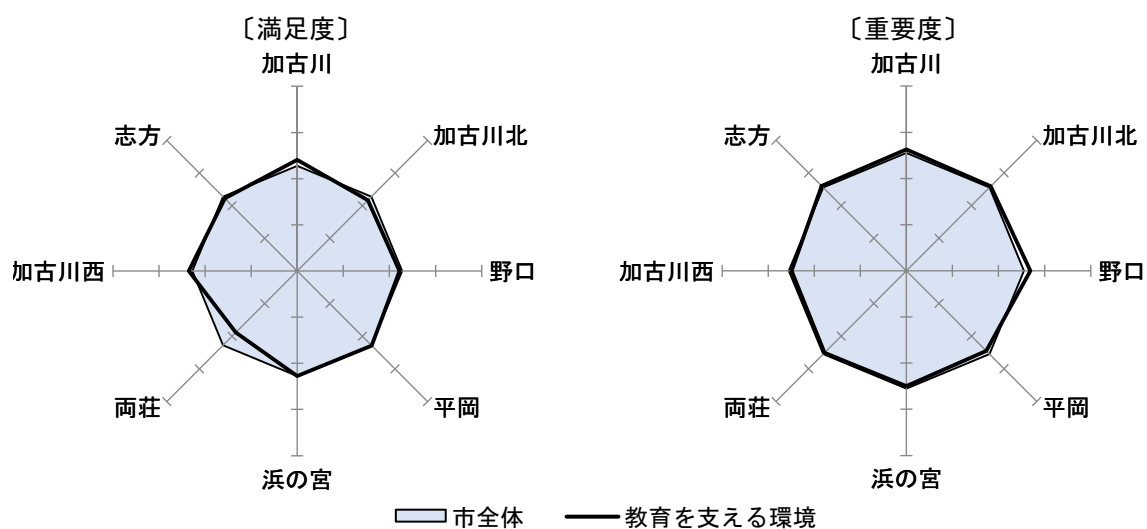
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～50歳代の男女と、60歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



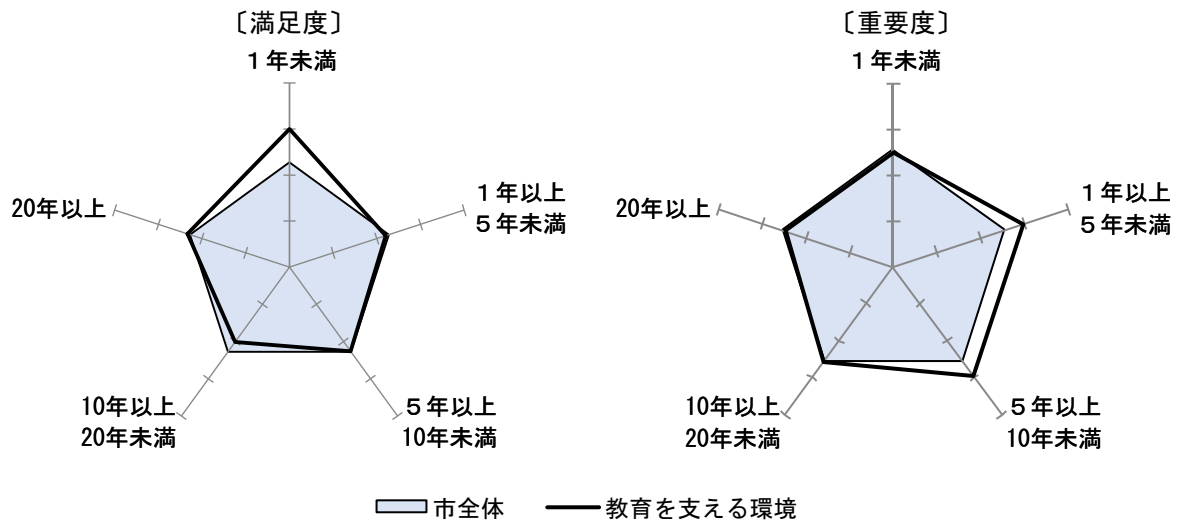
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。



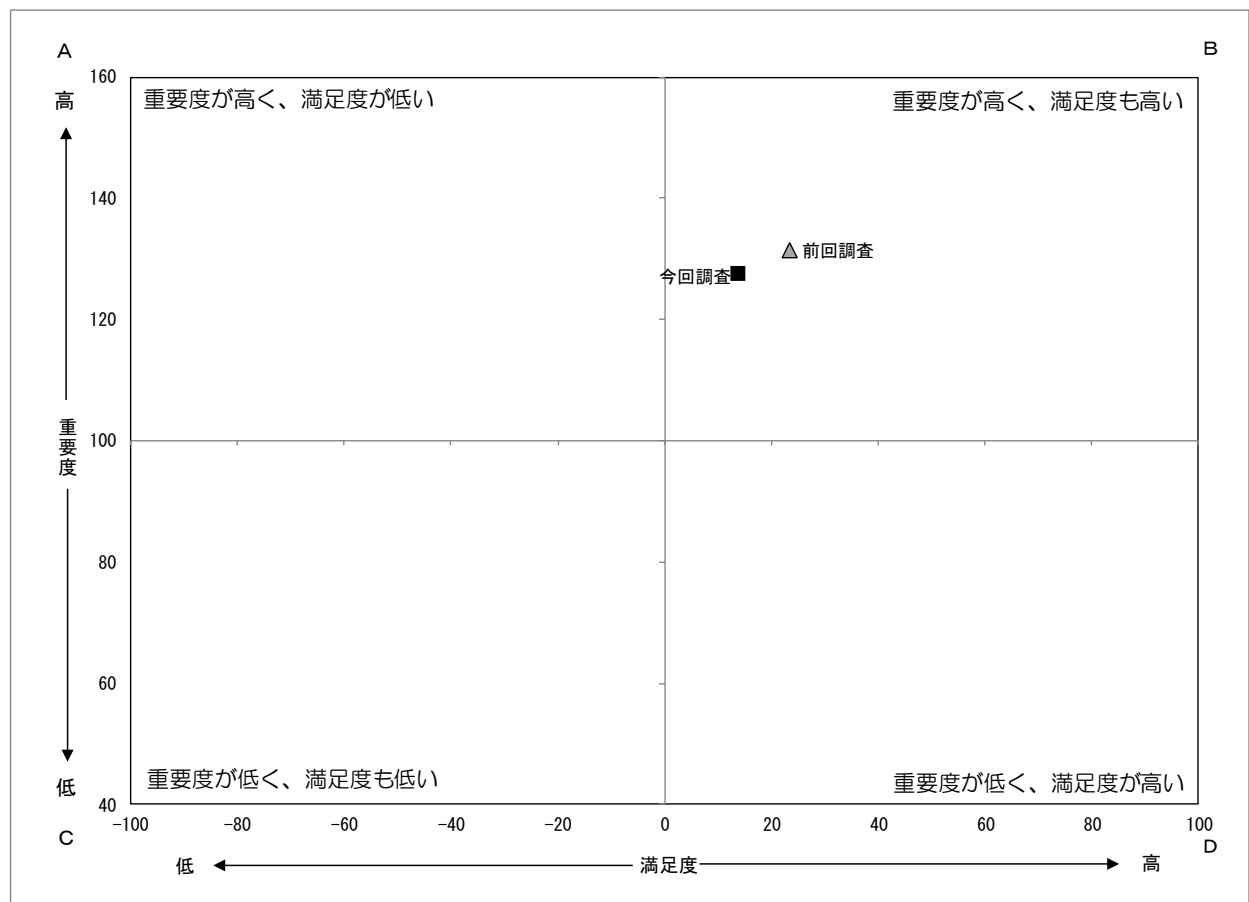
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに低くなっている。



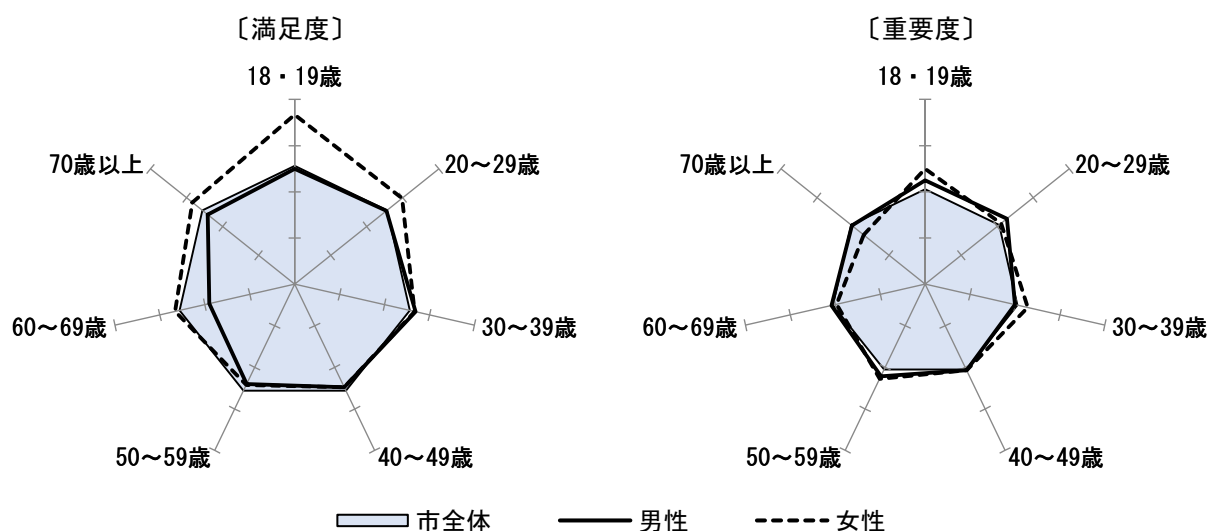
地域における教育・学習環境を整備する

〔生涯学習を推進する〕

（５）生涯学習の機会や環境

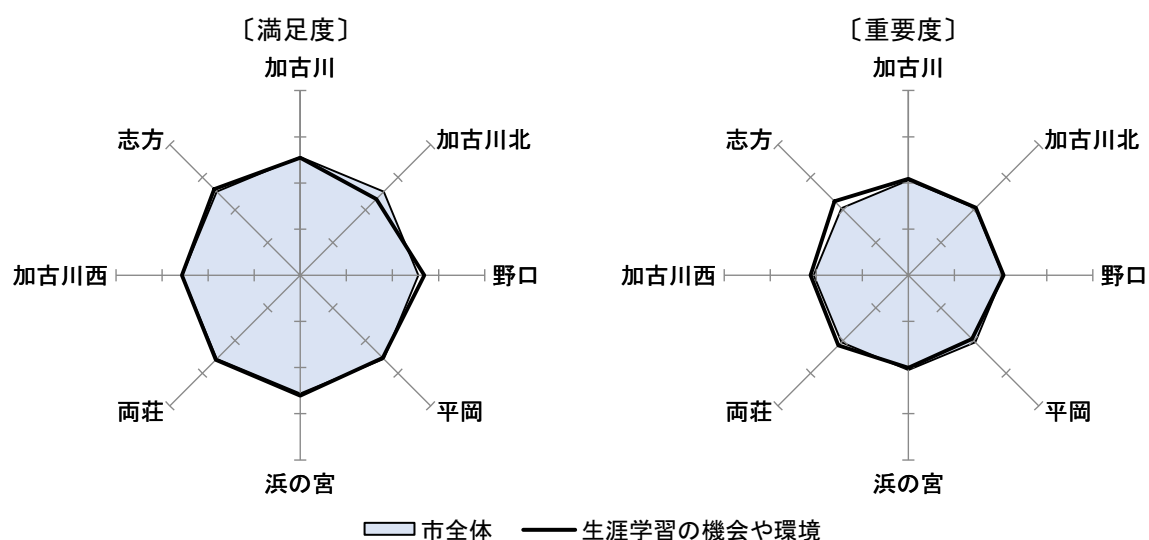
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、30歳代の男女と、18・19歳、20歳代、60～70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、40～50歳代の男女と、60歳代の男性と、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



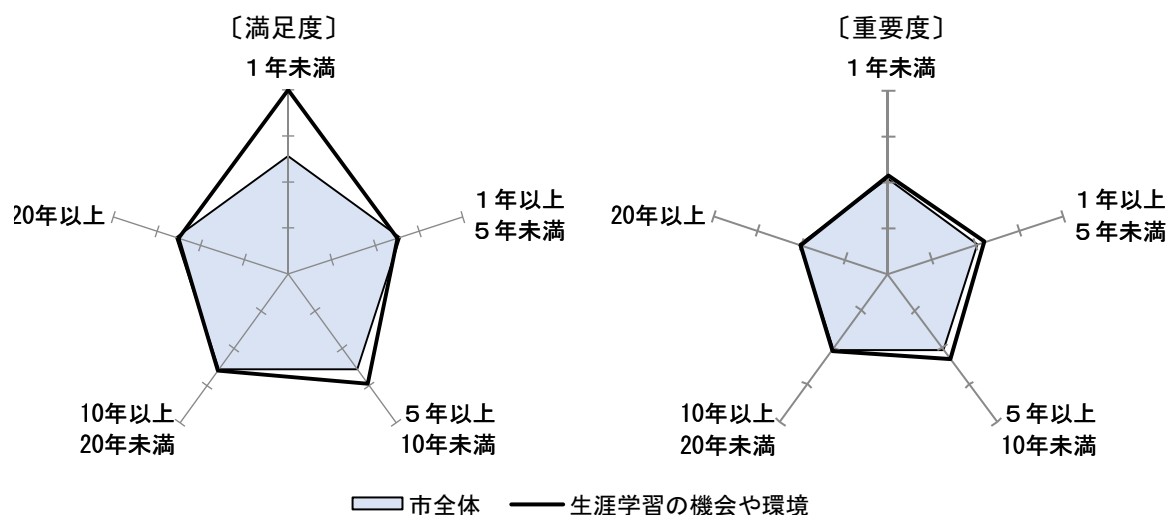
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・浜の宮・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



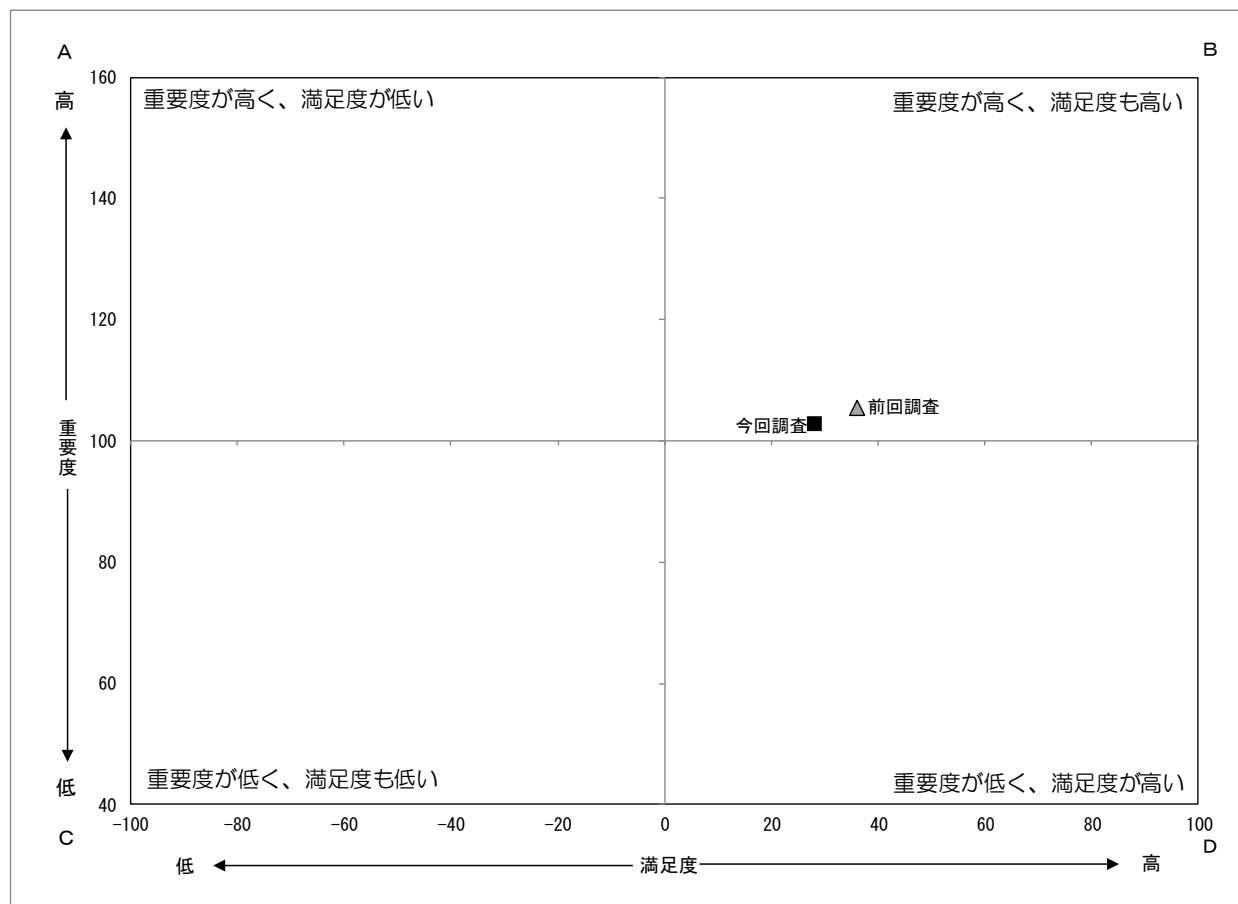
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

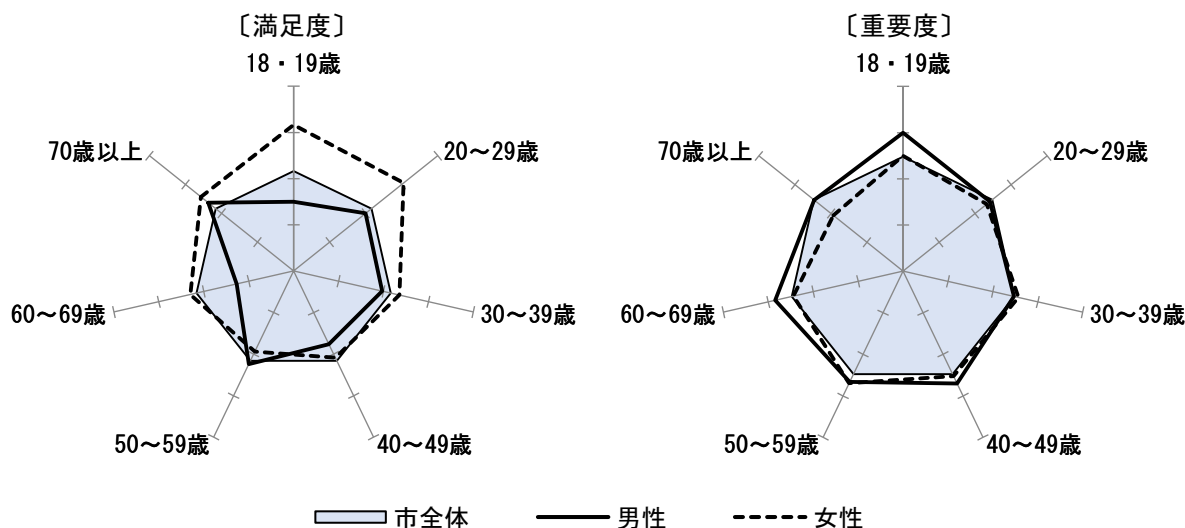


〔地域総がかりで青少年の健全な育成を図る〕

（６）青少年の健全な育成

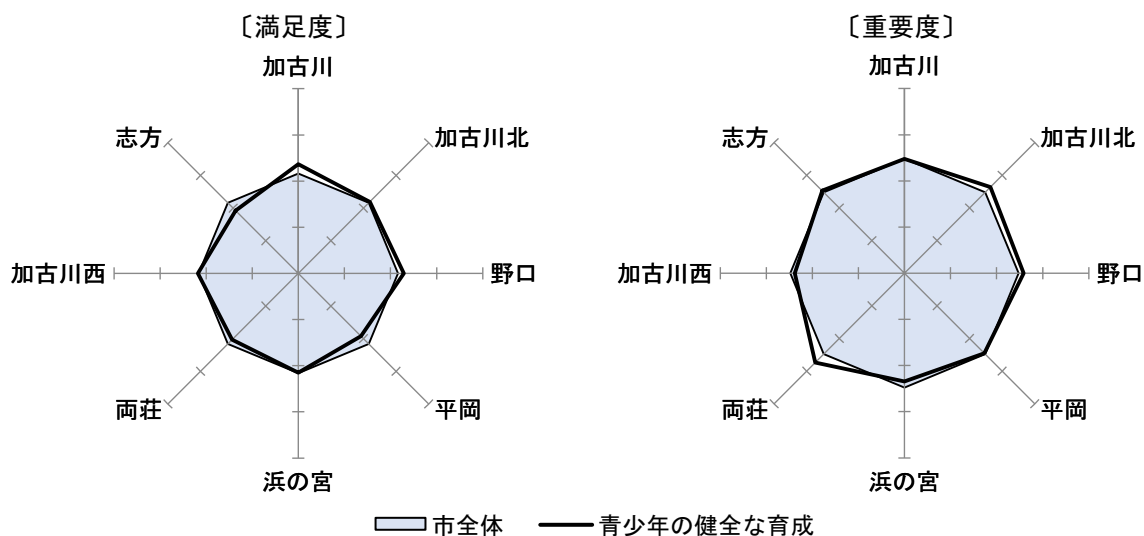
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、50歳代の男性、18・19歳、20～30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、40～50歳代の男女と、60歳代の男性と、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



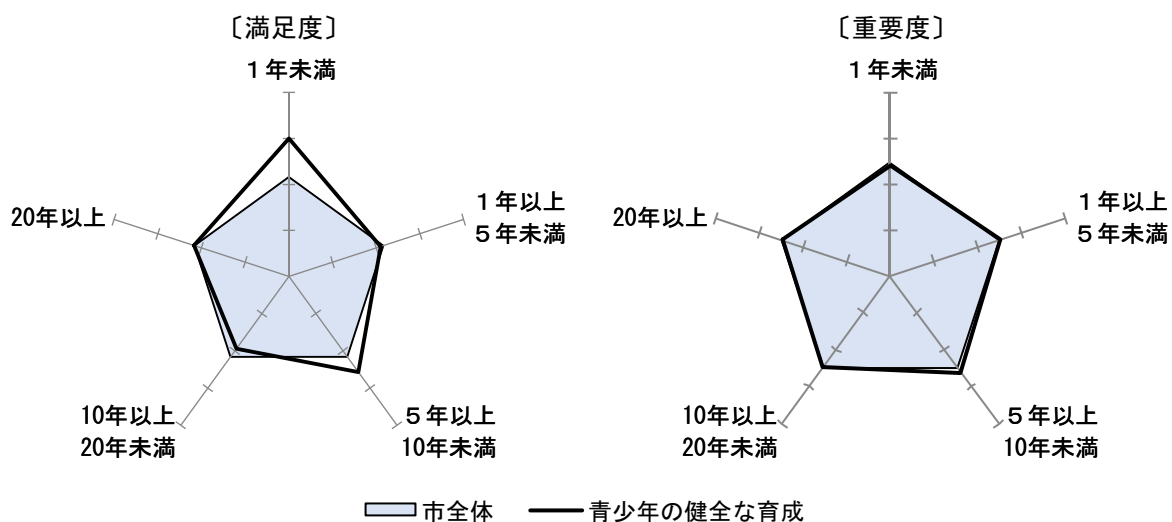
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



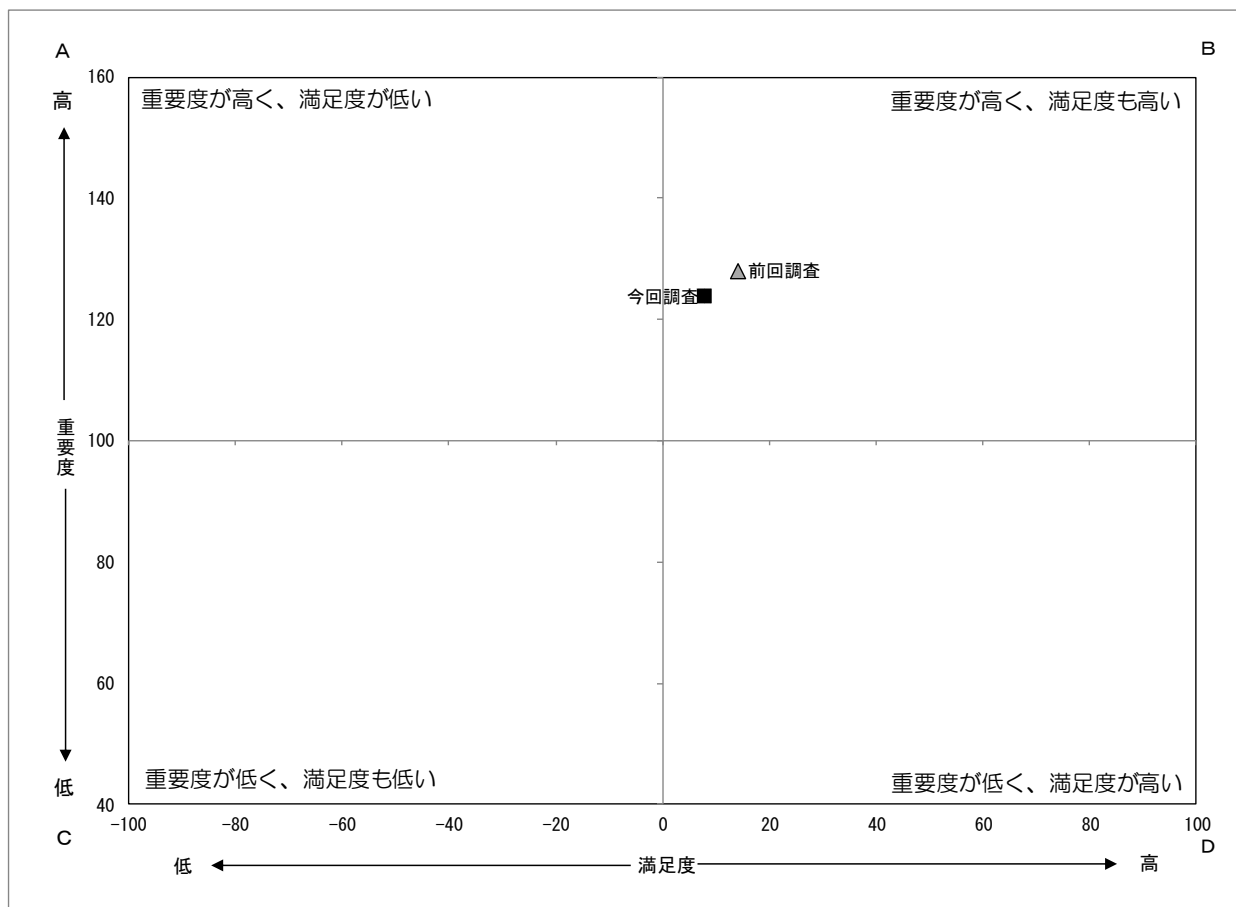
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに低くなっている。



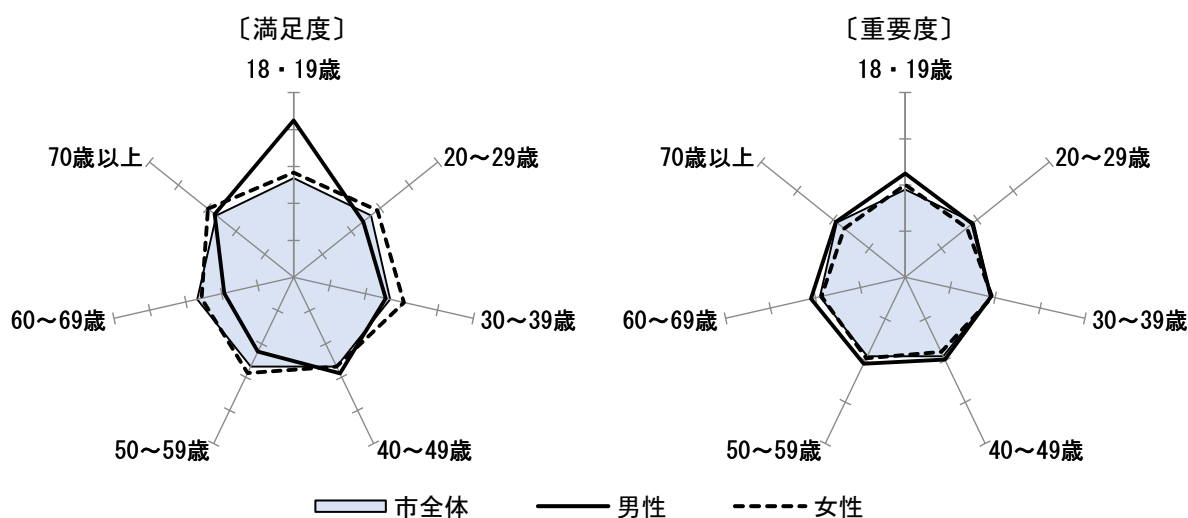
スポーツや文化・芸術を振興する

〔スポーツ・レクリエーション活動を推進する〕

（７）スポーツ・レクリエーション活動機会の提供

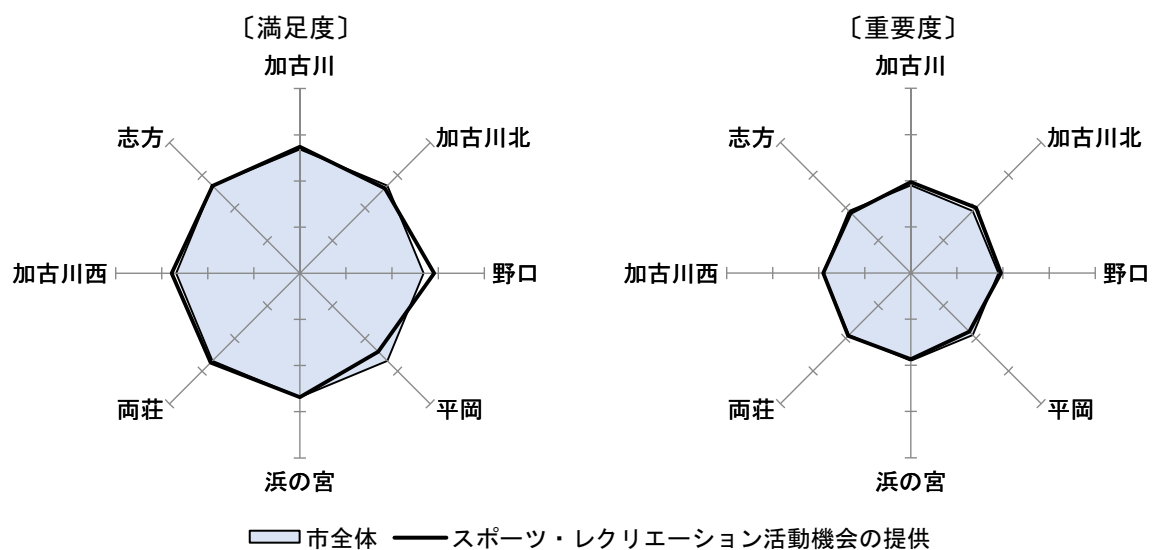
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、40歳代の男性、20～30歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、50歳代の男女と、40歳代、60～70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。



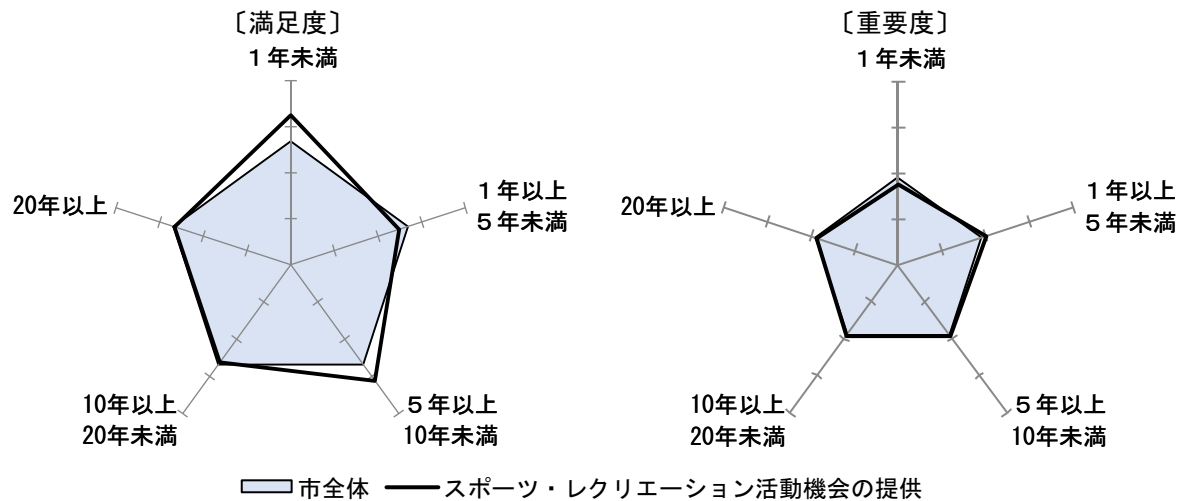
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘地区で市全体平均より高くなっている。



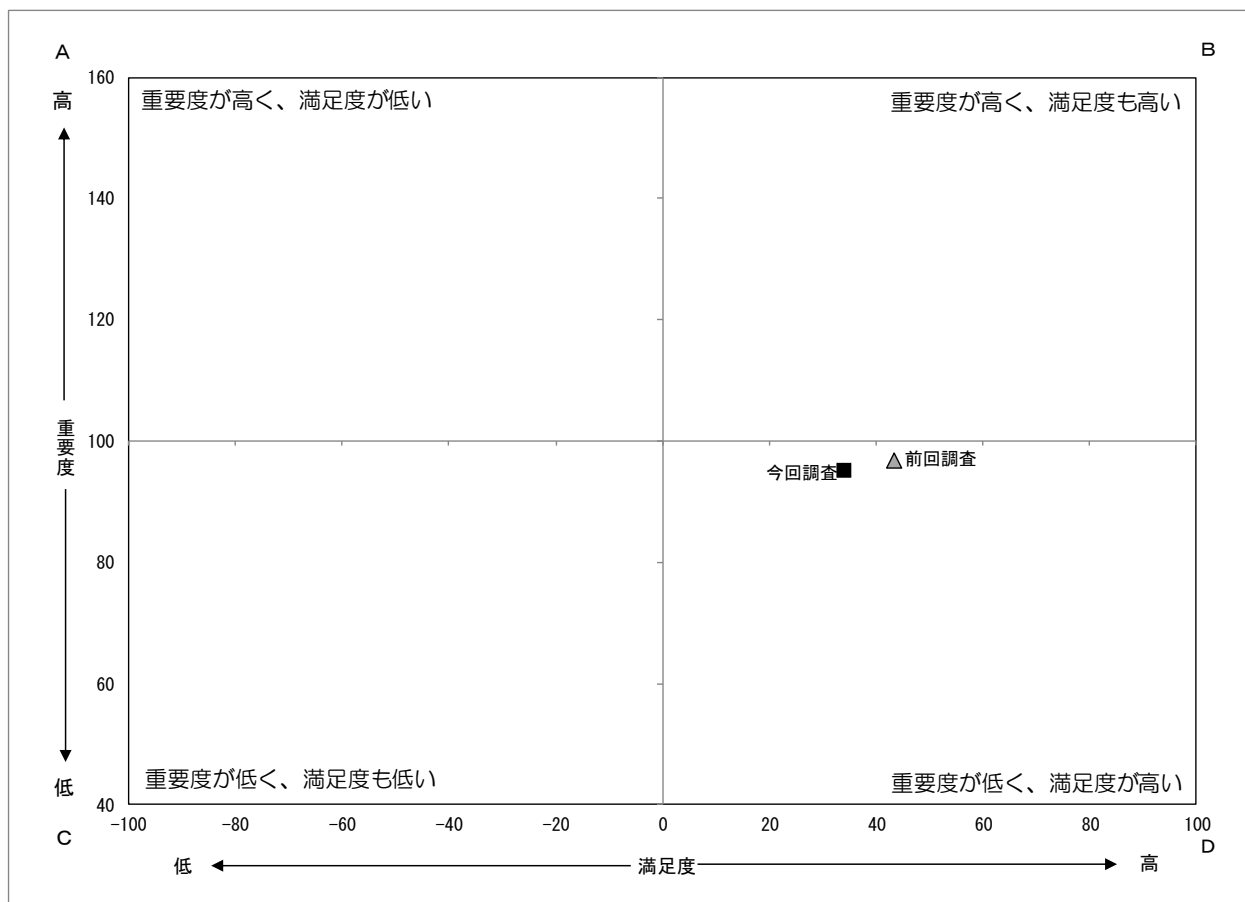
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

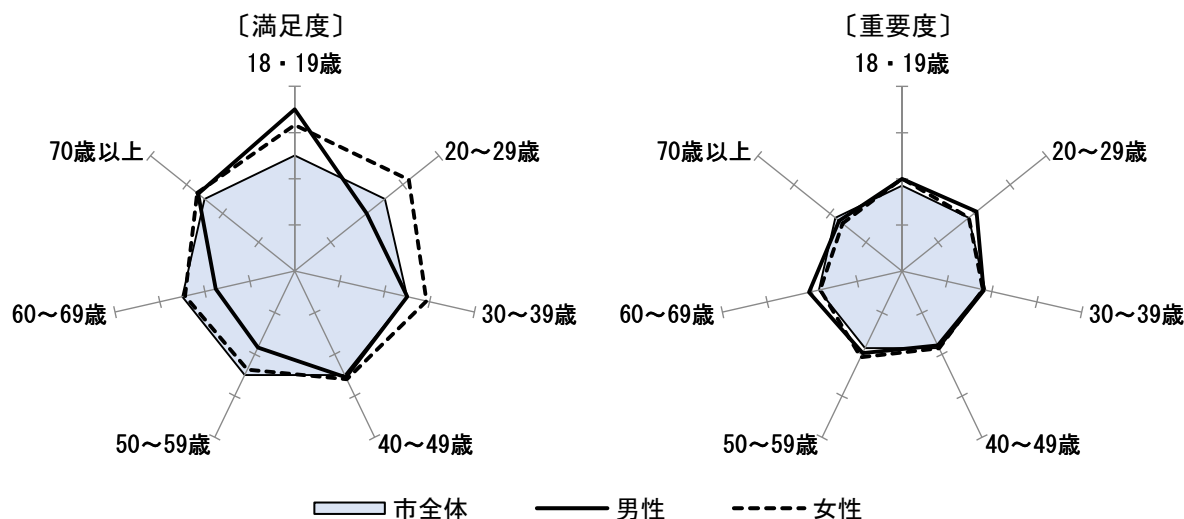


〔豊かな文化・芸術をはぐくむ〕

（８）文化・芸術に接する機会の提供

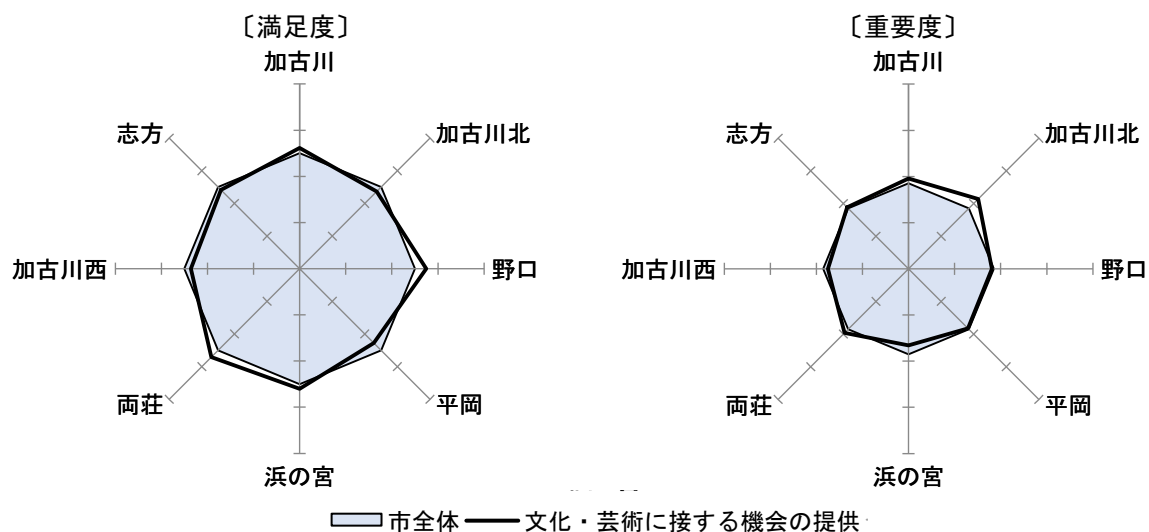
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、18・19歳、40歳代、70歳以上の男女と、20～30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、50歳代の男女と、60歳代の男性と、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



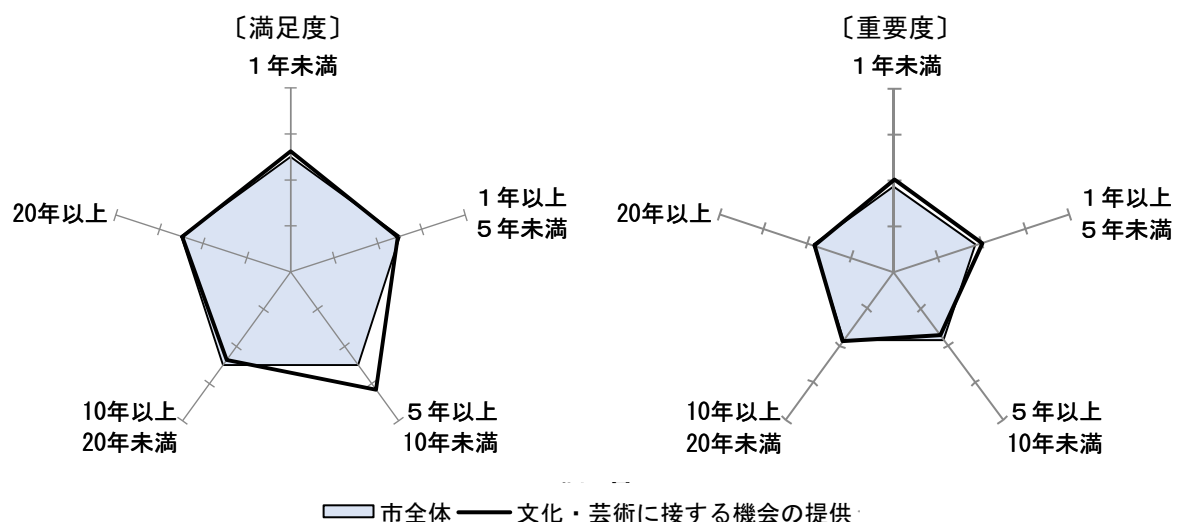
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・野口・浜の宮・両荘地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・両荘・志方地区では市全体平均より高くなっている。



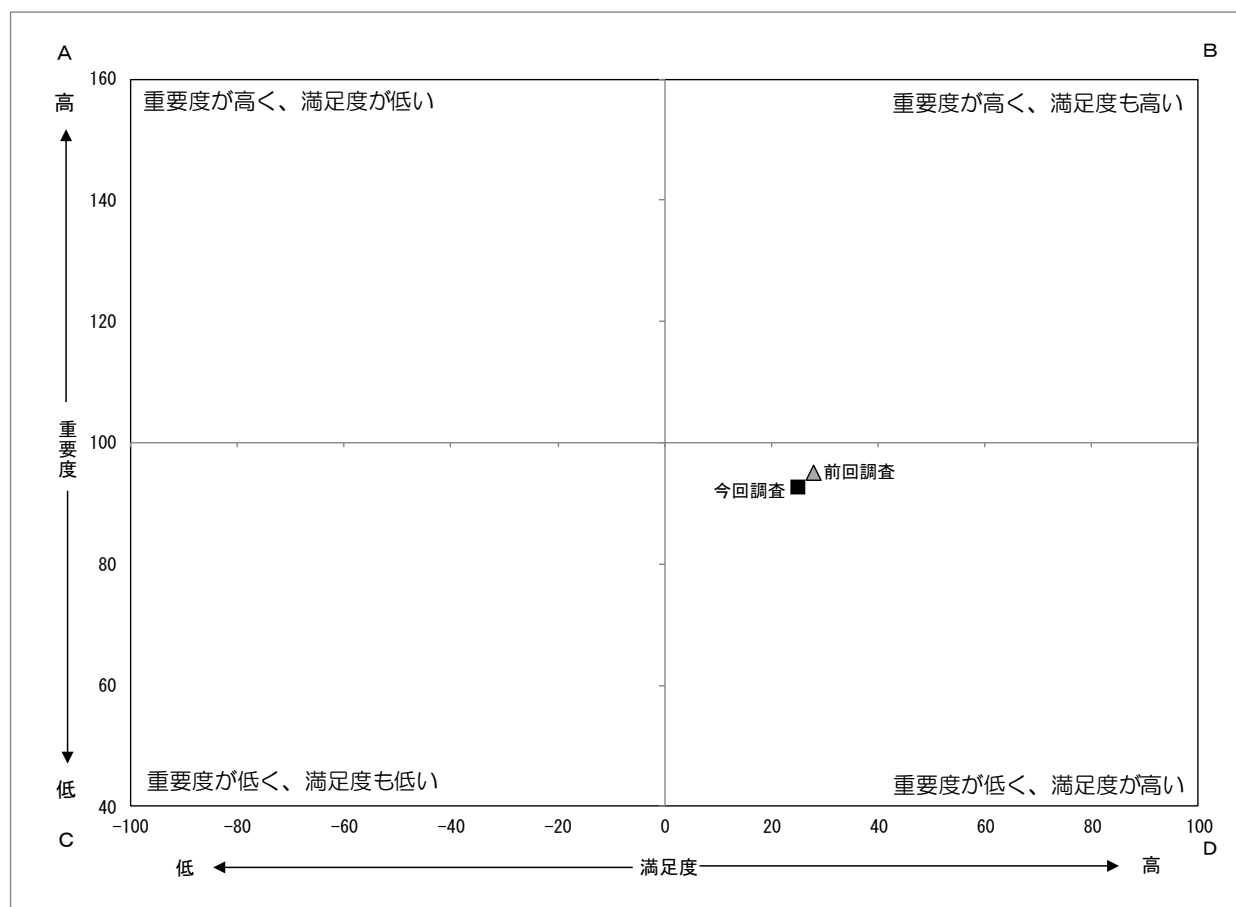
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。



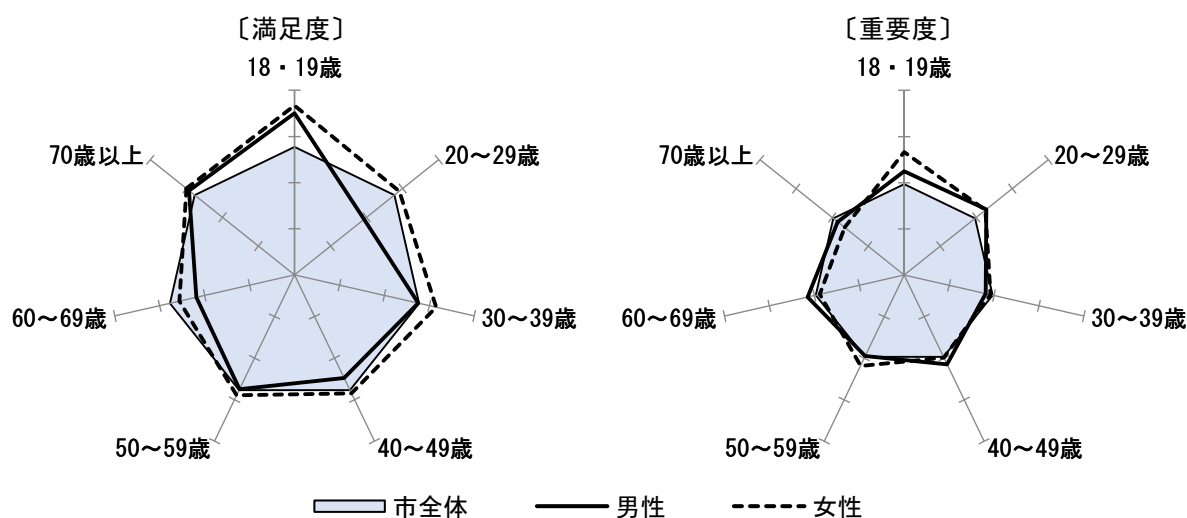
互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する

〔人権文化を確立する〕

（９）人権教育や人権啓発の推進

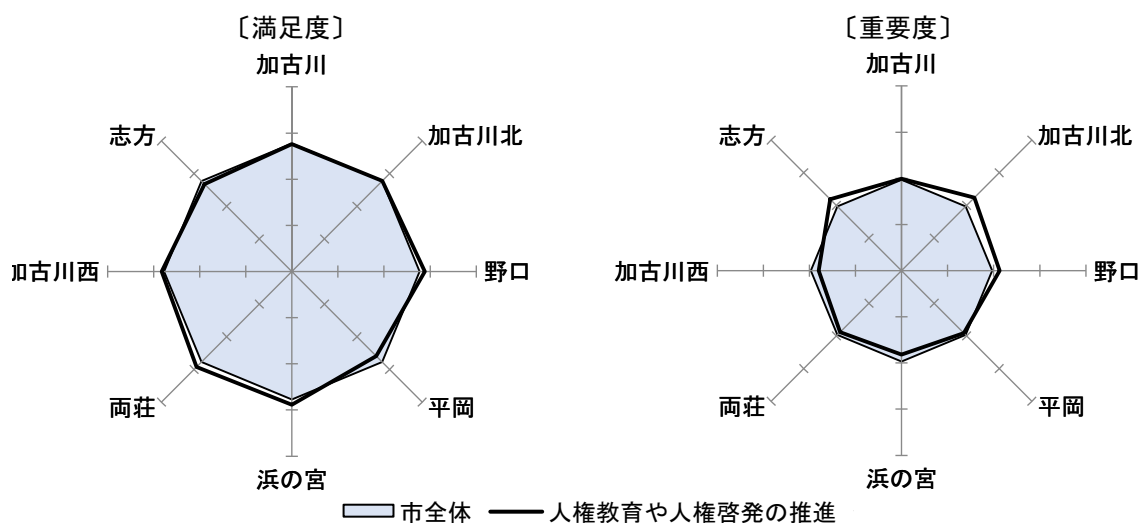
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、40歳代の男女と、60歳代の男性、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



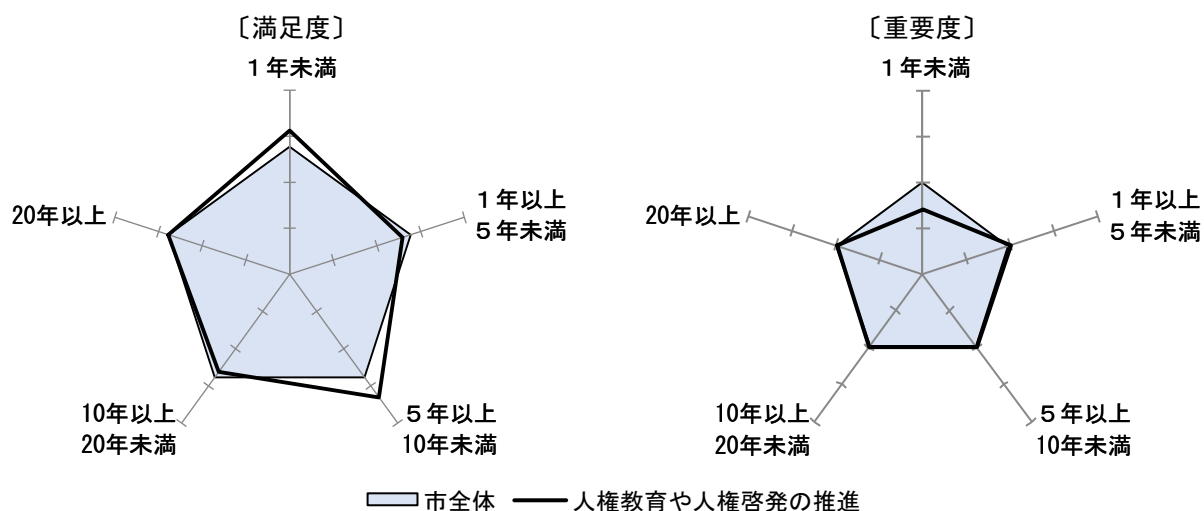
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・浜の宮・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。



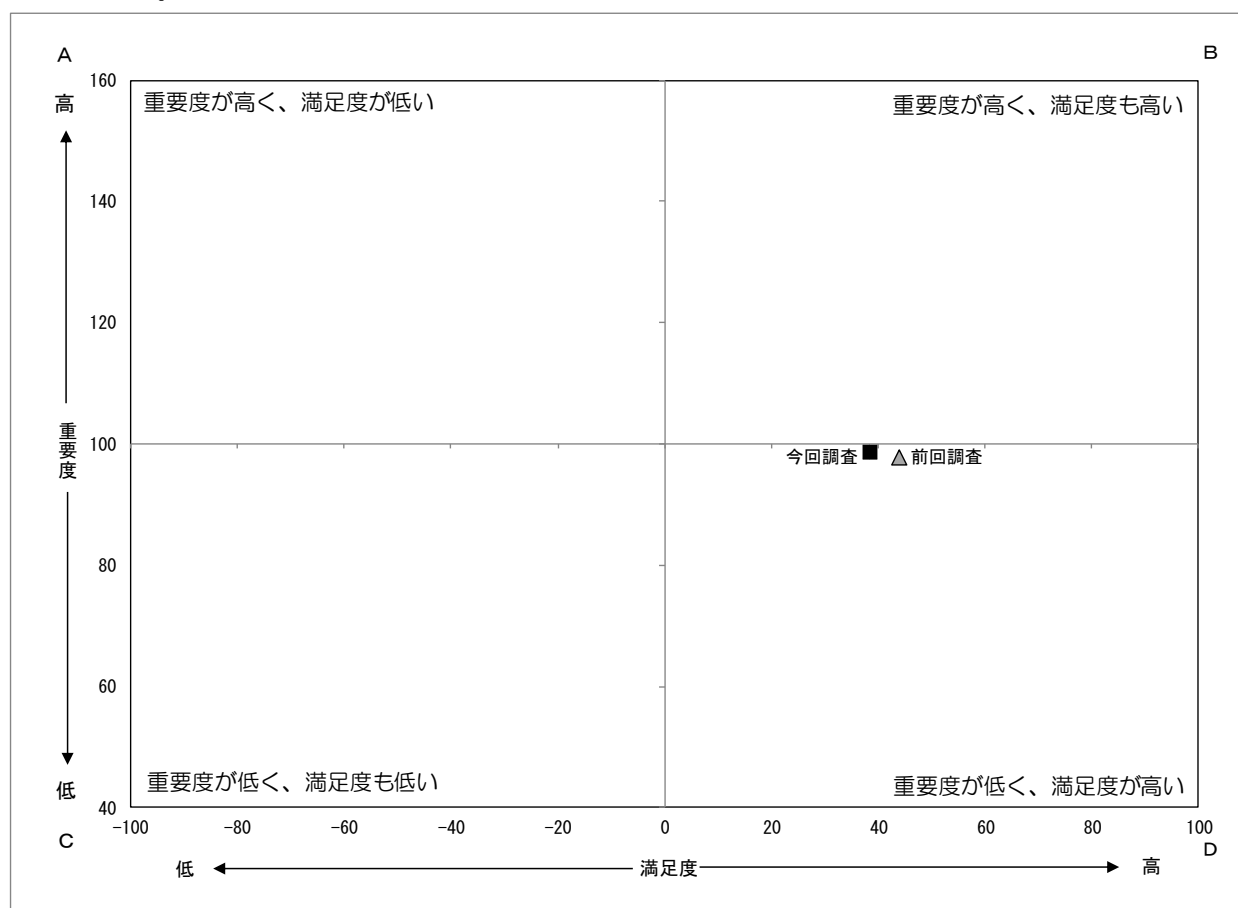
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

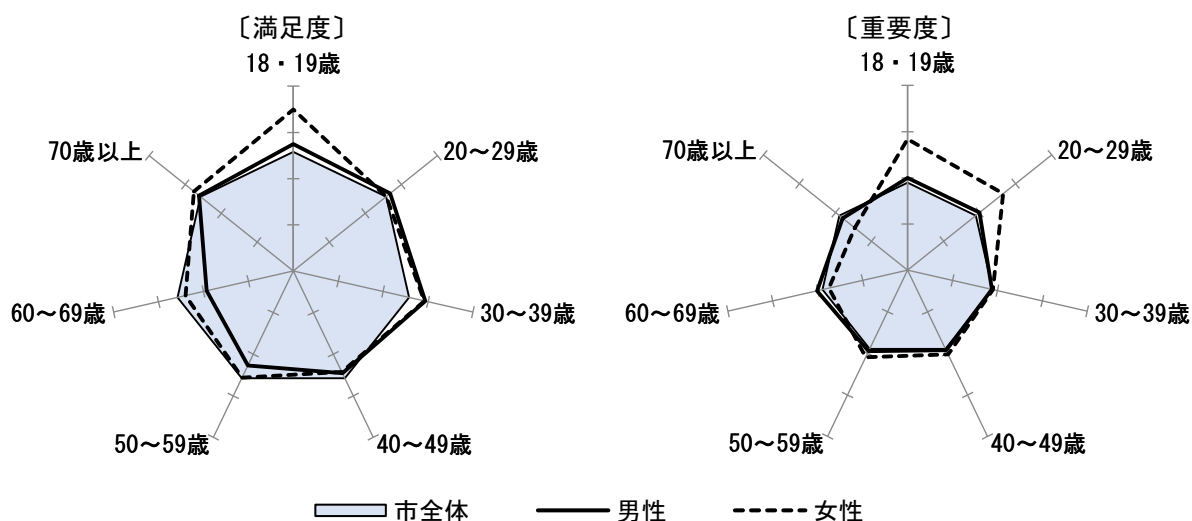


〔男女共同参画社会の形成を推進する〕

(10) 男女共同参画の啓発

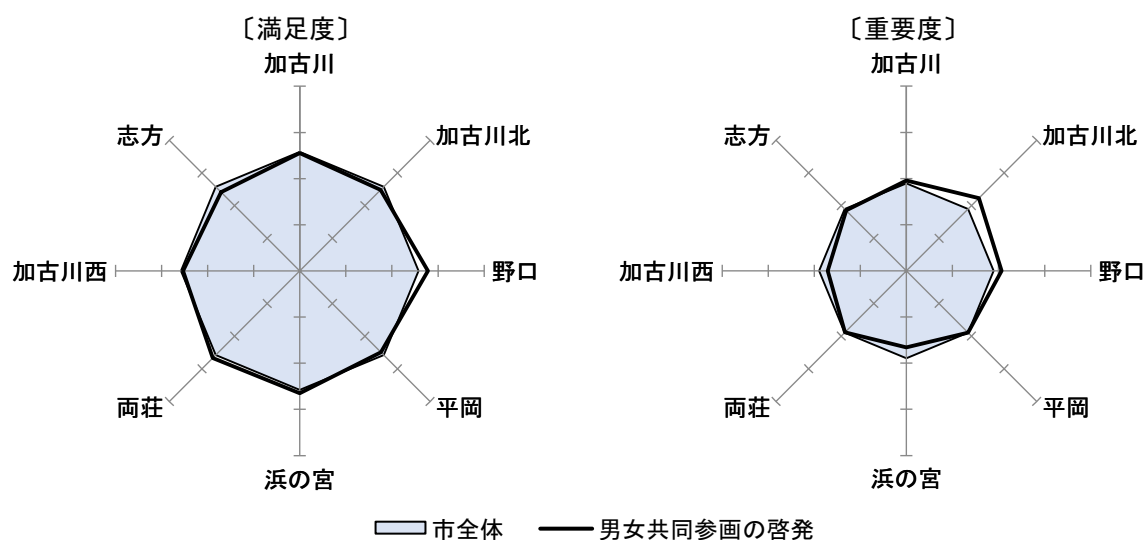
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、40～50歳代の男女と、60歳代の男性、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



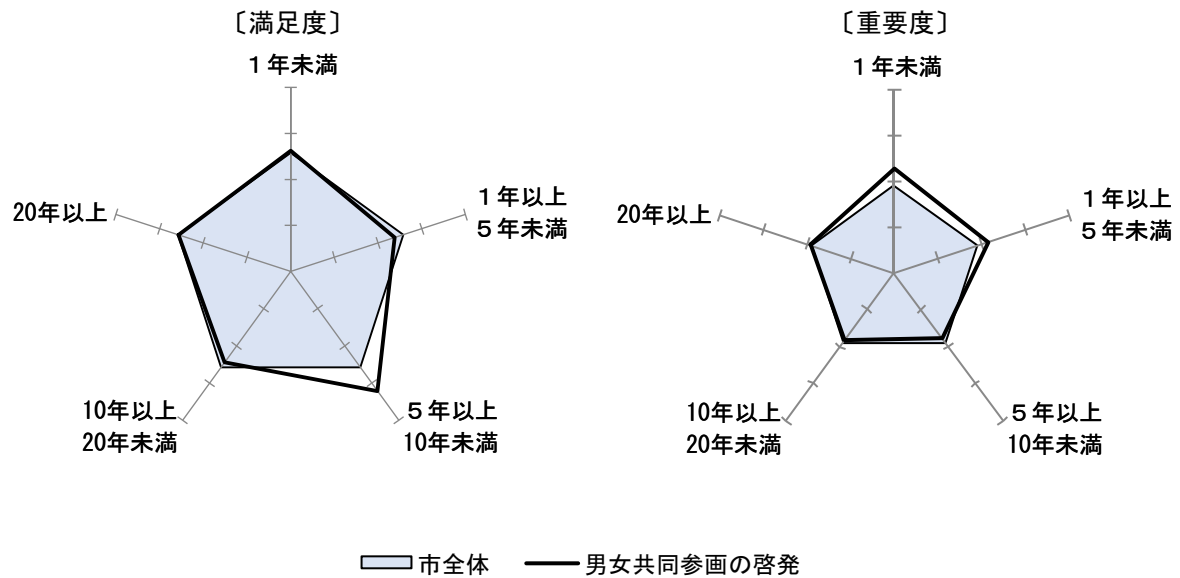
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・浜の宮・両荘地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口地区で市全体平均より高くなっている。



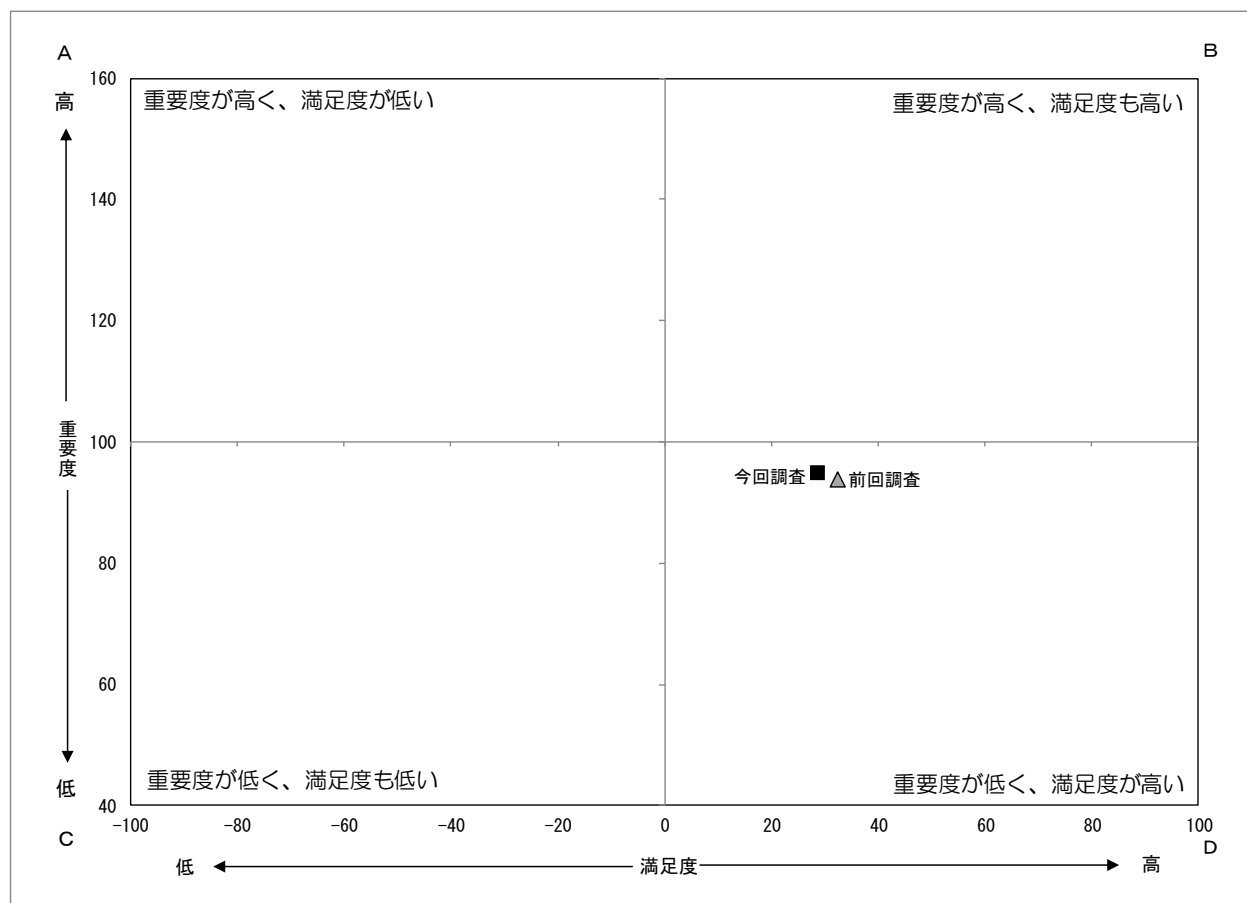
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

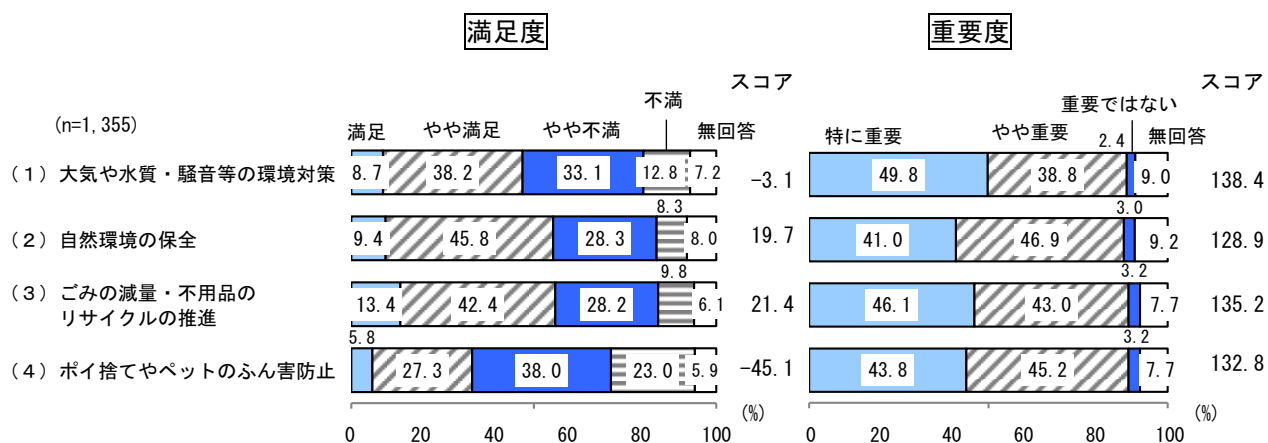
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



3-3 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進”で、最も低い項目は“(4) ポイ捨てやペットのふん害防止”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(1) 大気や水質・騒音等の環境対策”で、最も低い項目は“(2) 自然環境の保全”となっている。

《全体》



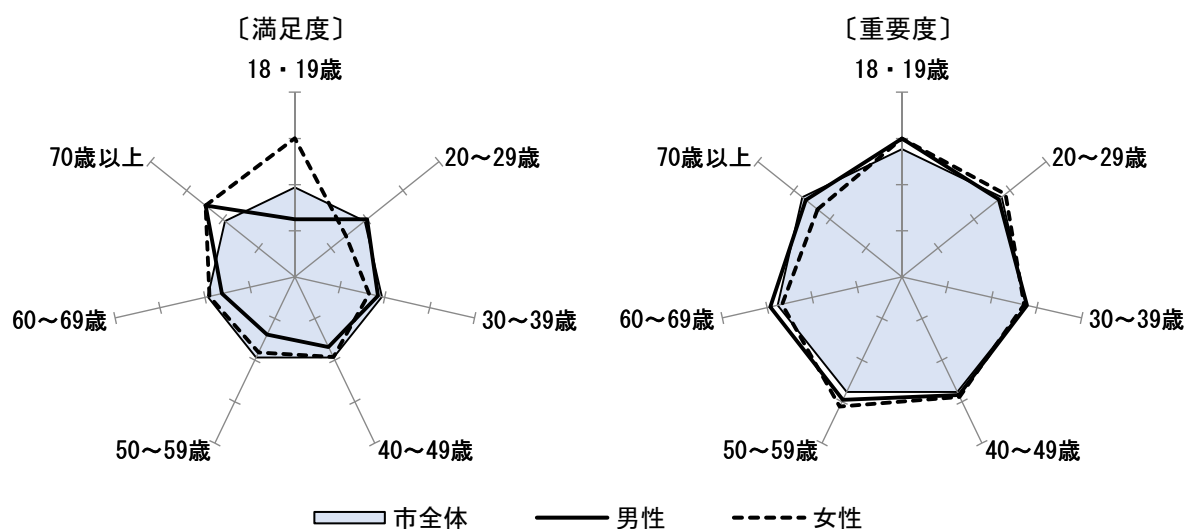
地球環境と地域の環境を保全する

〔環境保全を実践する〕

（１）大気や水質・騒音等の環境対策

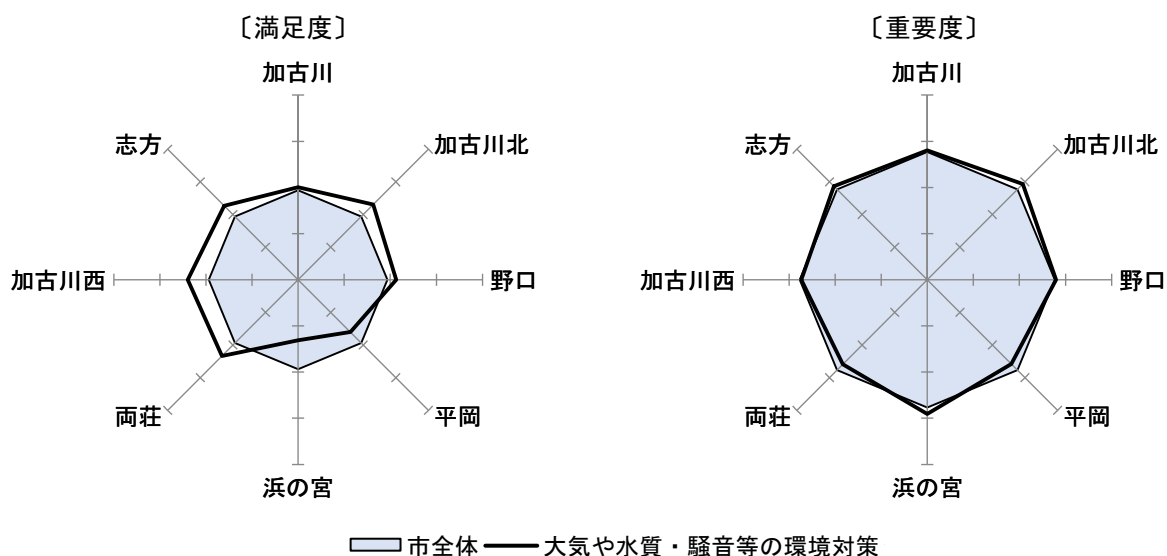
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、20歳代の男性、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、40～50歳代の男女と、30歳代、60歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



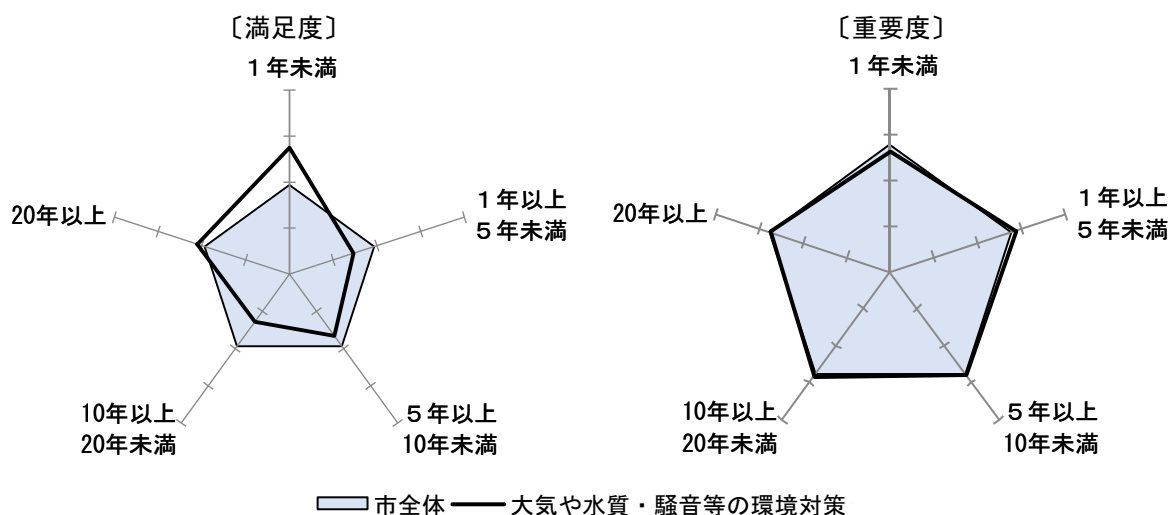
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮・志方地区で市全体平均より高くなっている。



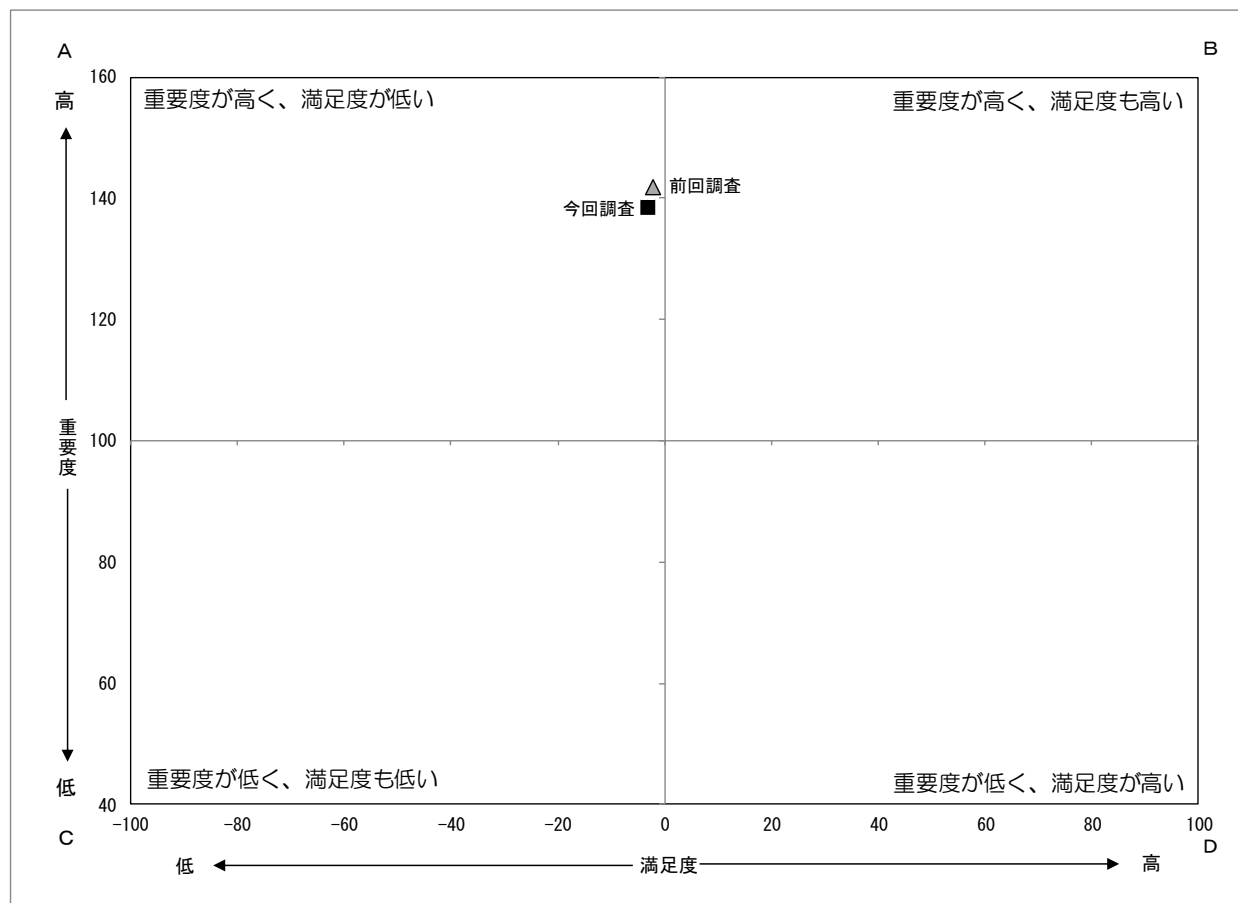
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は低くなり、満足度は変わらない。

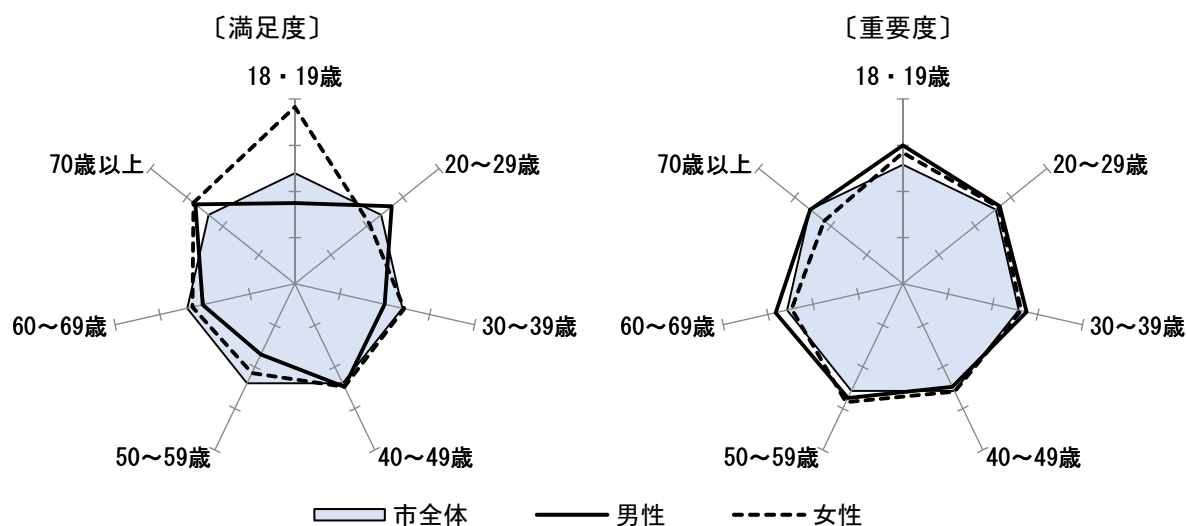


〔地域の自然環境を守る〕

（２）自然環境の保全

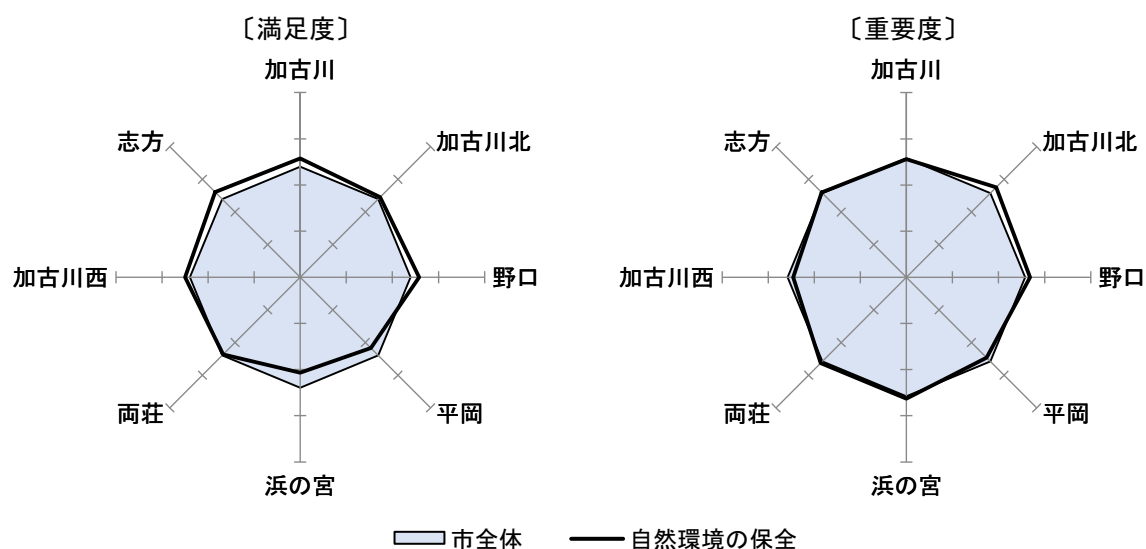
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、40歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性、18・19歳、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、50歳代の男女と、60歳代の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



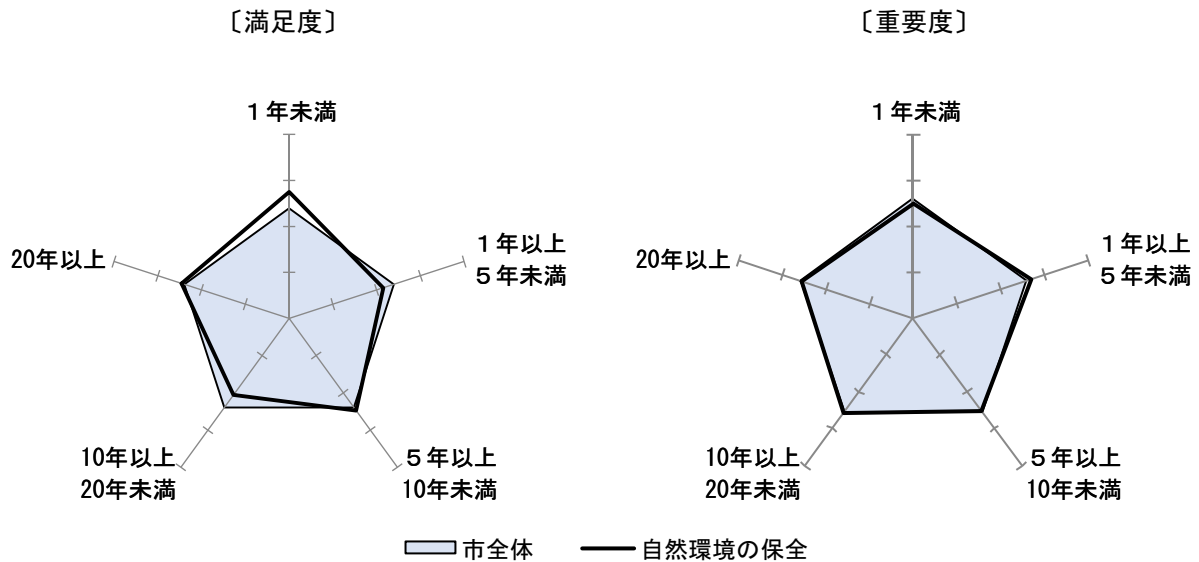
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・浜の宮・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



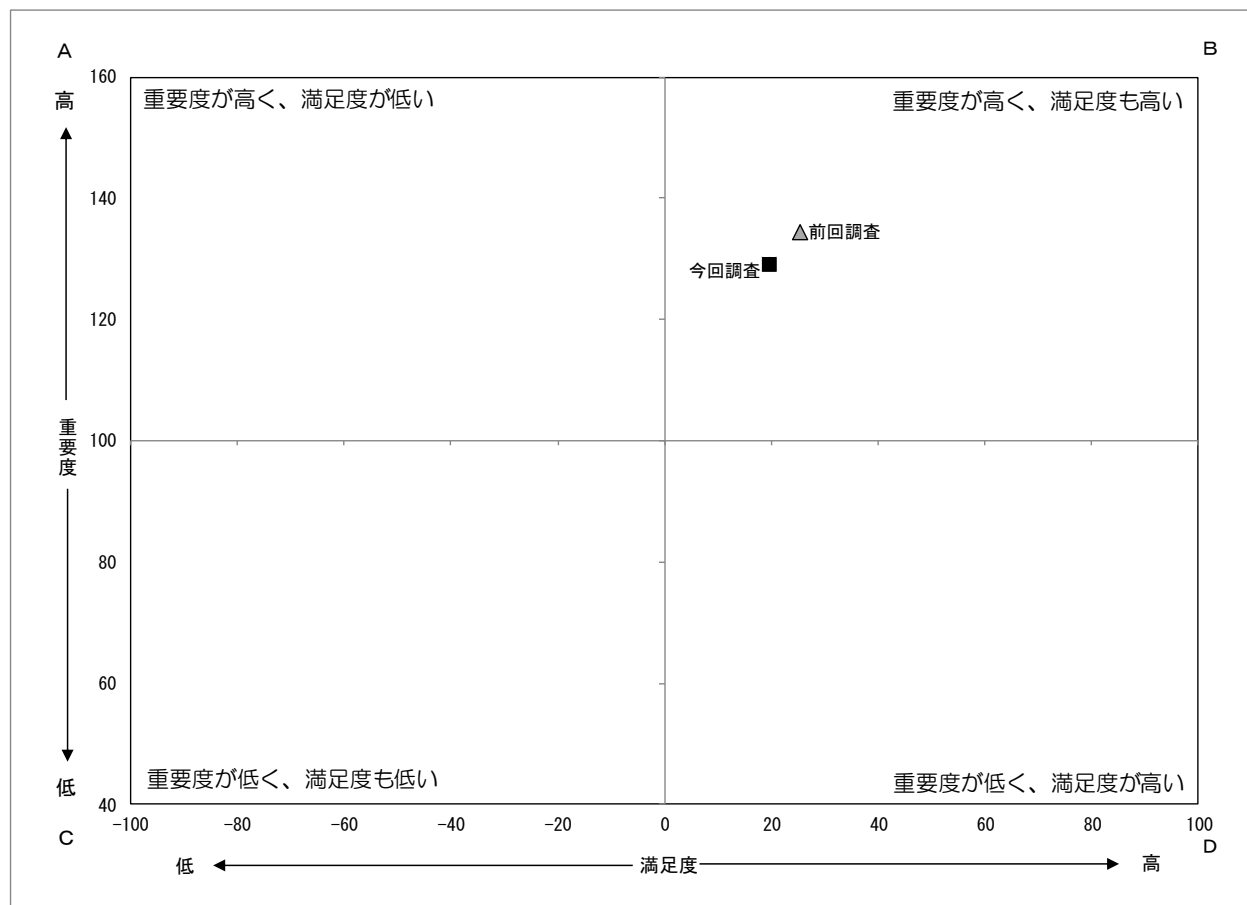
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに低くなっている。



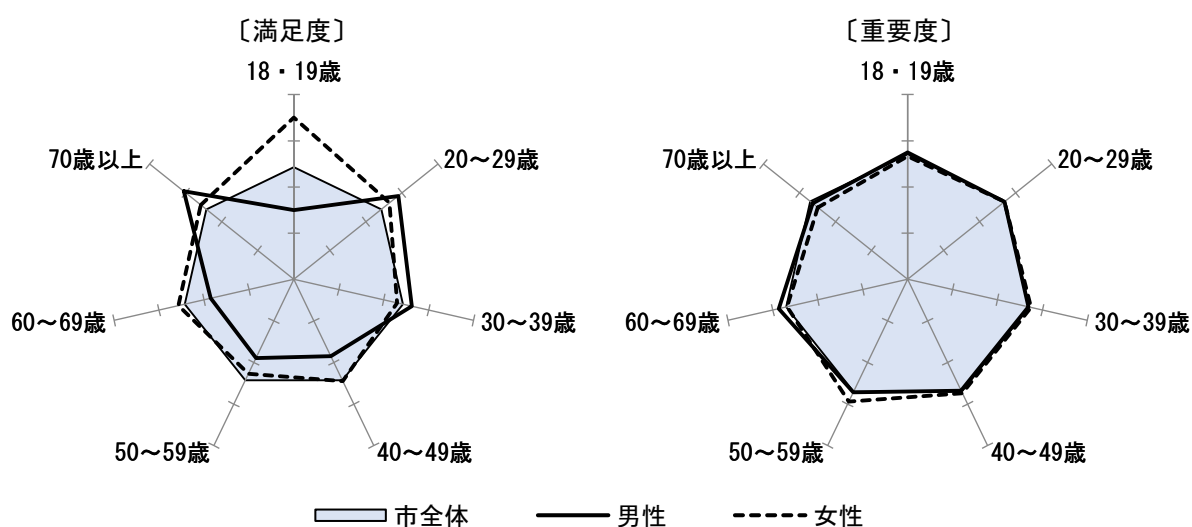
資源の循環と環境美化を推進する

〔ごみを減らし、リサイクルを進める〕

（３）ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

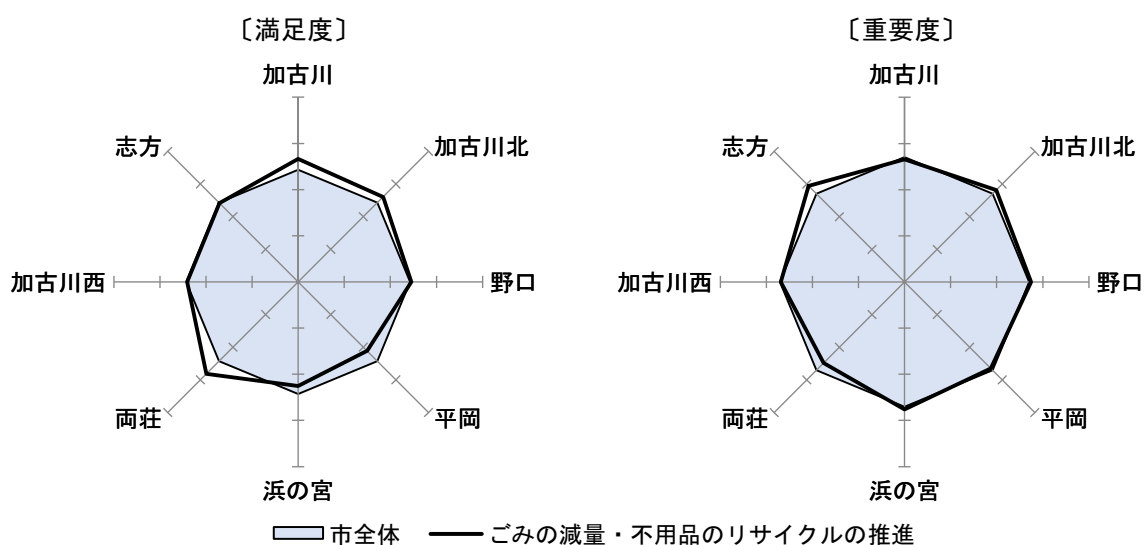
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、18・19歳、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代の男女と、18・19歳、60歳代の男性、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



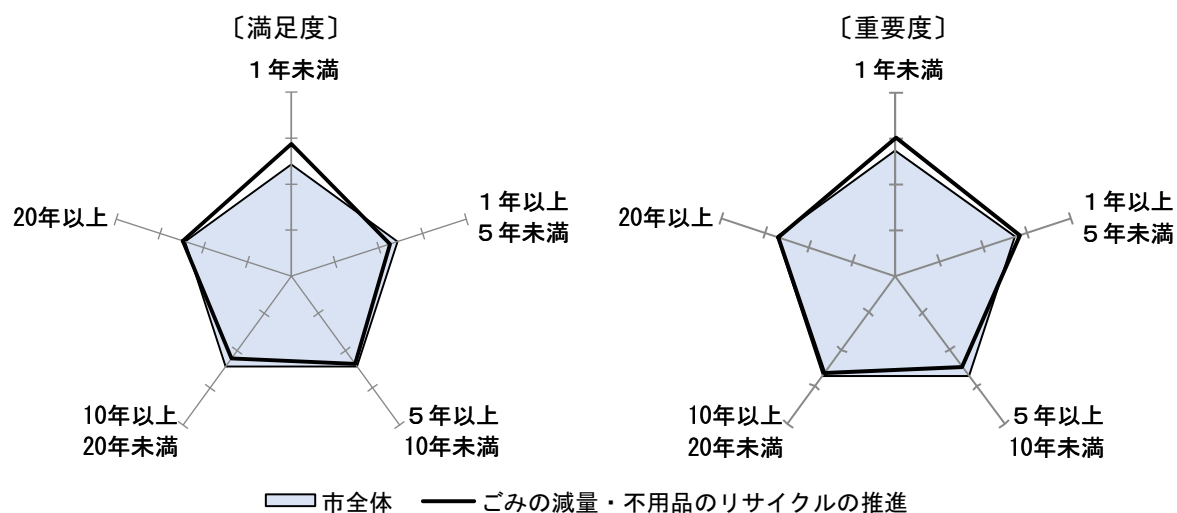
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・浜の宮・志方地区で市全体平均より高くなっている。



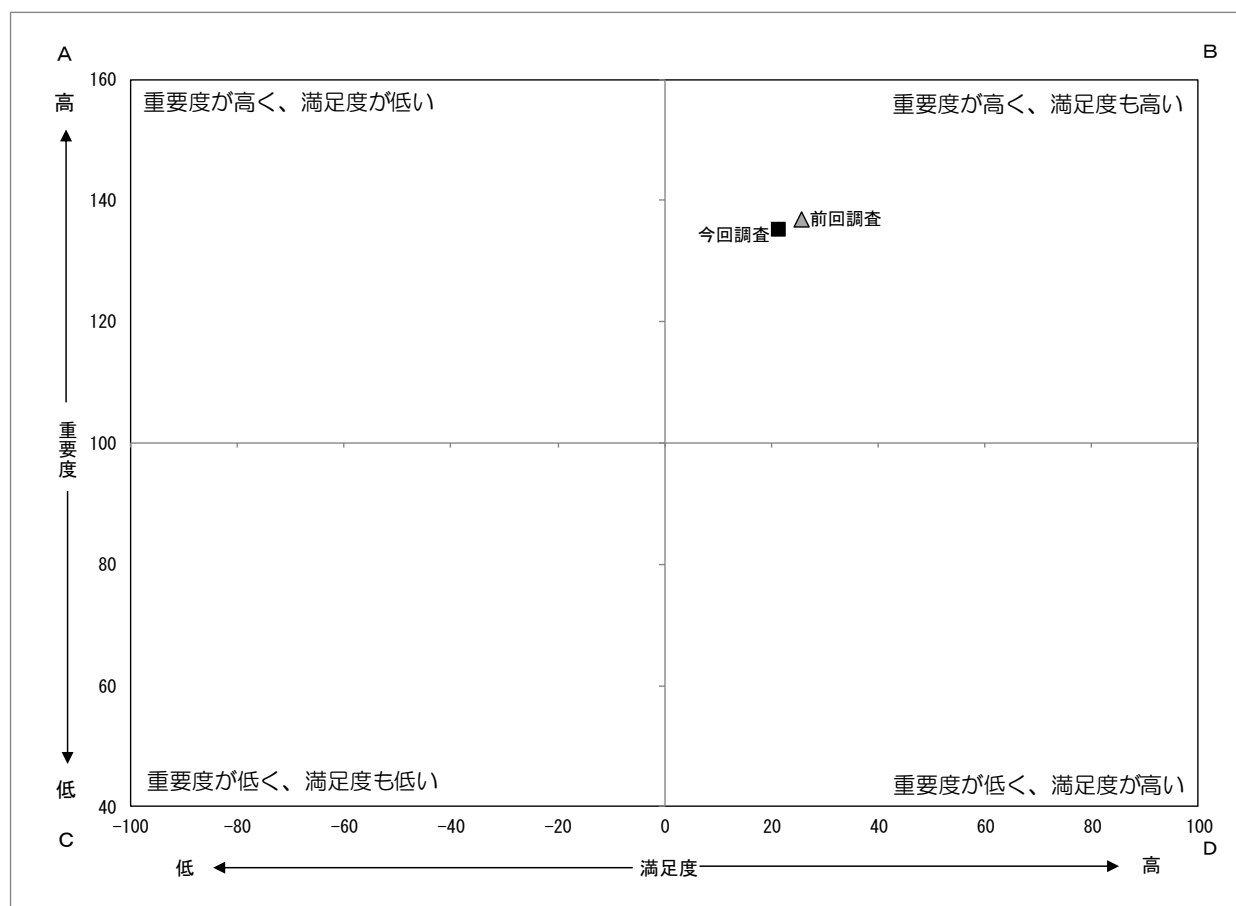
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

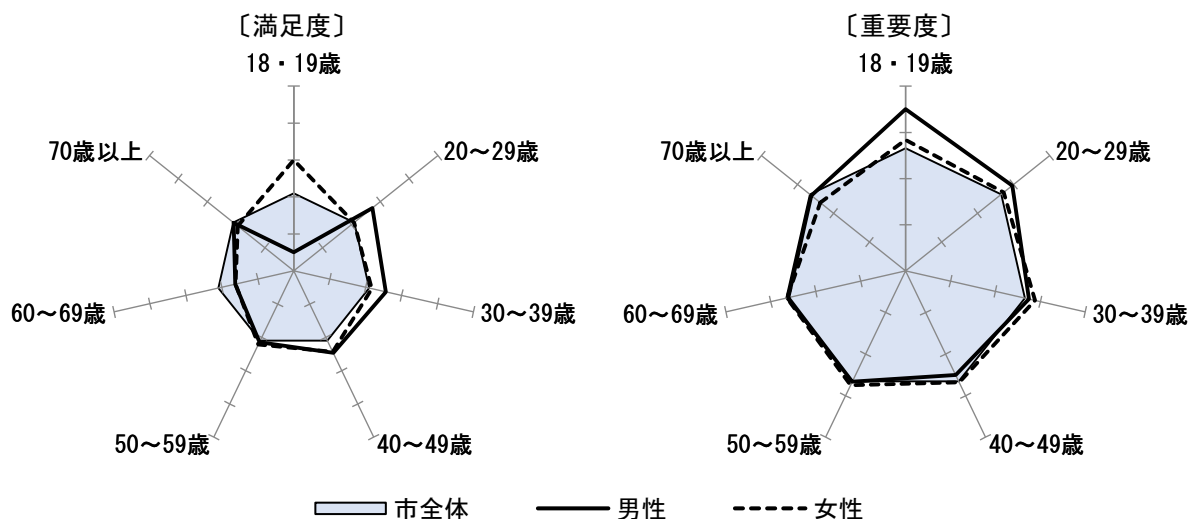


〔清潔で美しい環境をつくる〕

（４）ポイ捨てやペットのふん害防止

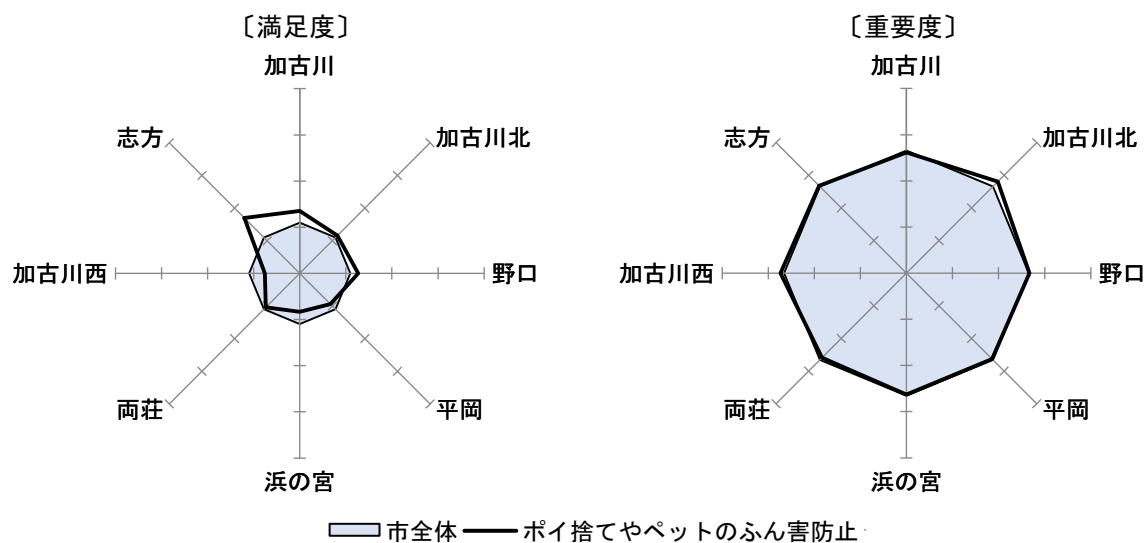
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、30～50歳代の男女と、20歳代の男性、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20～30歳代、50歳代の男女、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



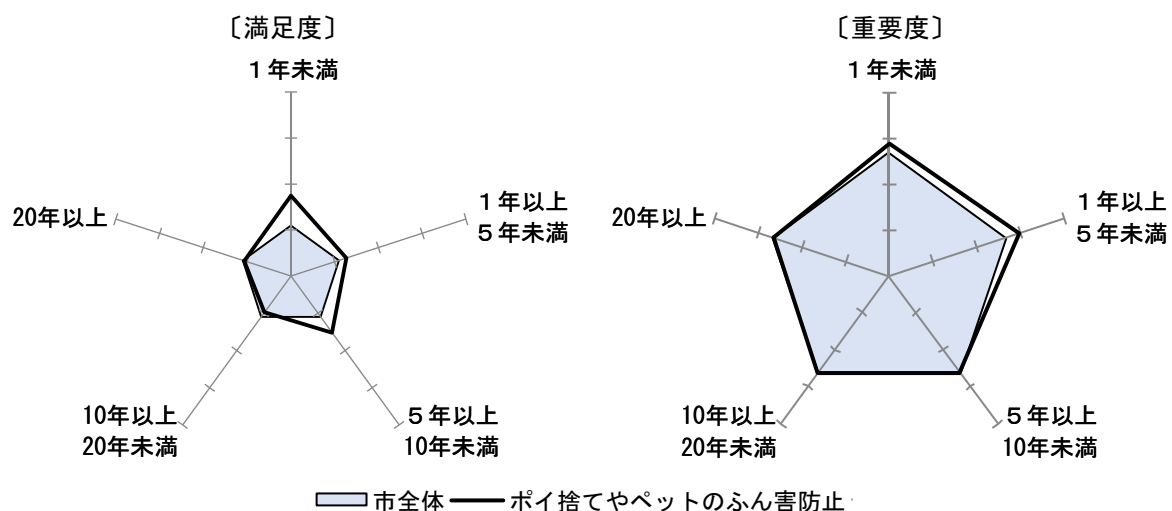
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



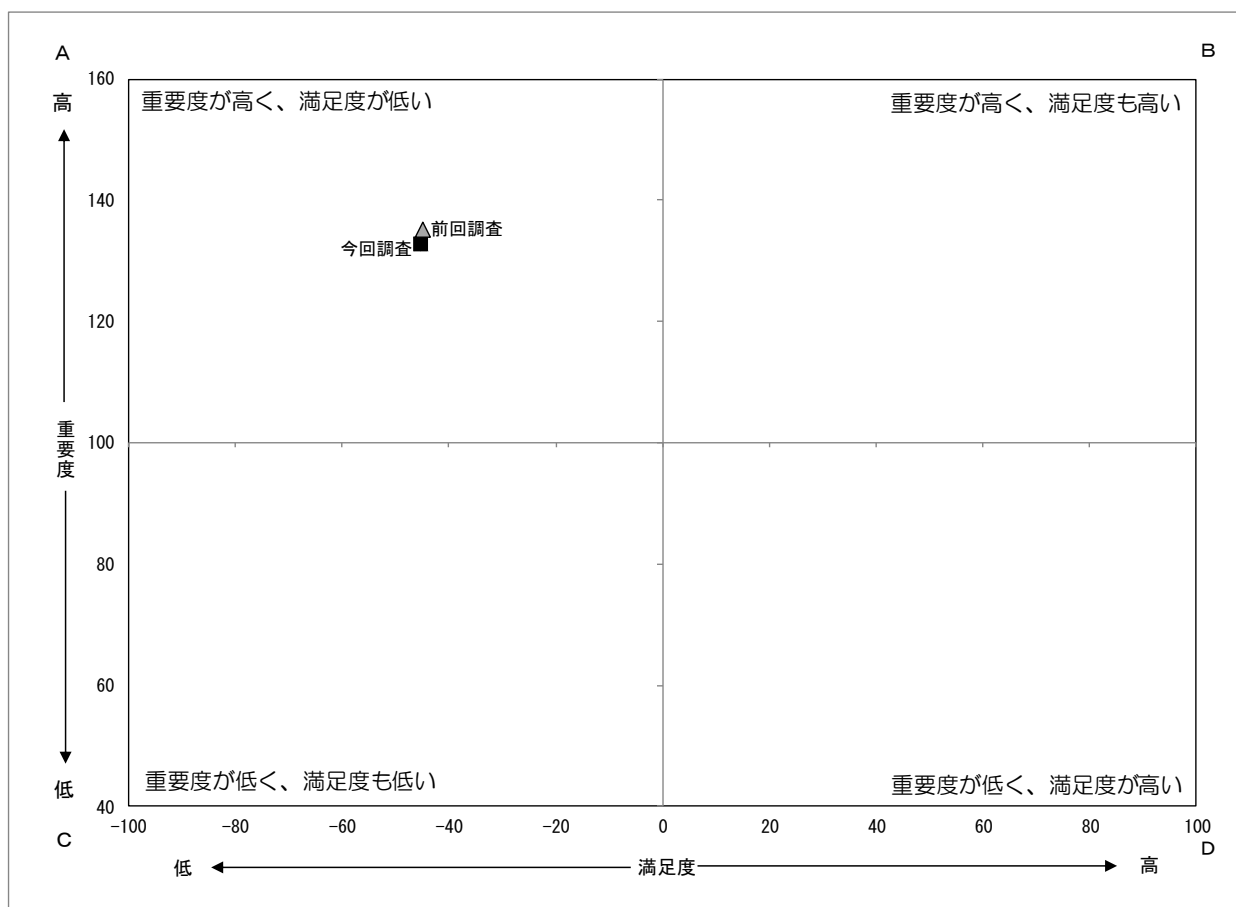
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

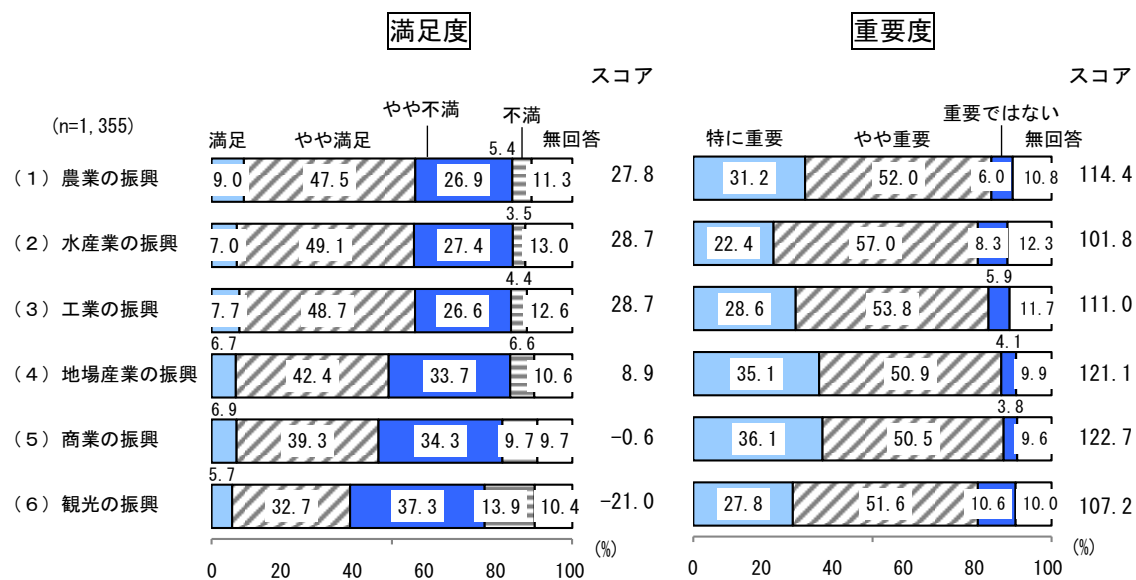
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。



3-4 にぎわいの中で暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(2) 水産業の振興”、“(3) 工業の振興”、次いで“(1) 農業の振興”となっている。一方、最も低いのは“(6) 観光の振興”、次いで“(5) 商業の振興”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(5) 商業の振興”、次いで“(4) 地場産業の振興”となっている。一方、最も低い項目は“(2) 水産業の振興”、次いで“(6) 観光の振興”となっている。

《全体》



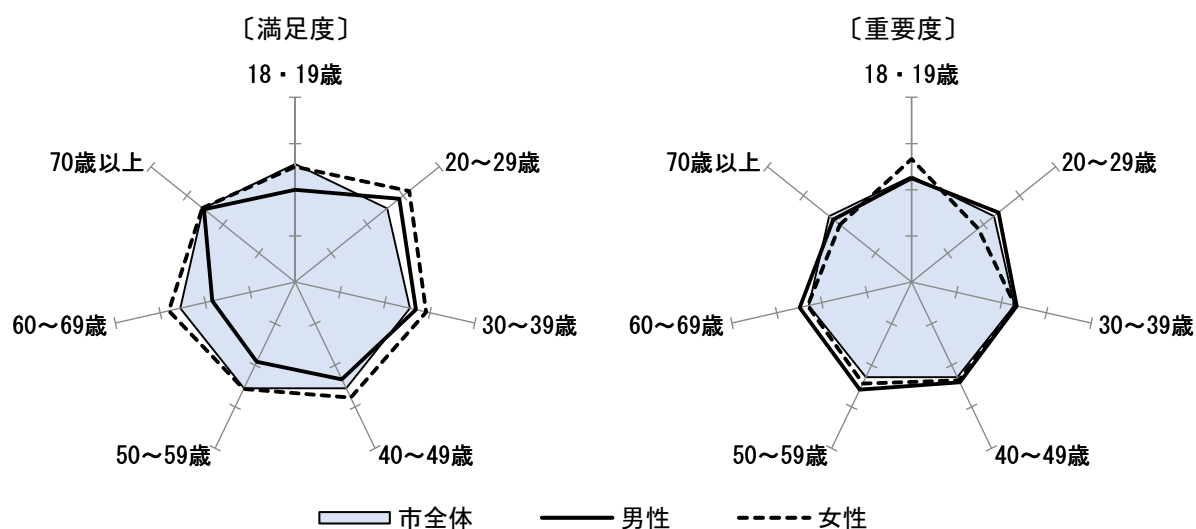
農業・水産業を振興する

〔農業を振興する〕

（１）農業の振興

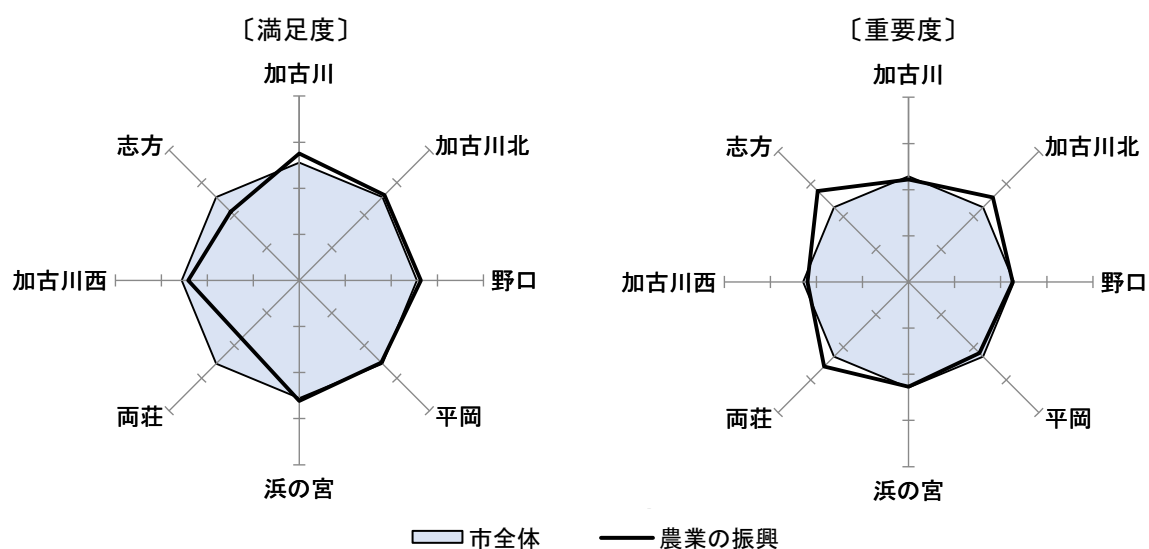
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20～30歳代の男女、40～70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30～60歳代の男女と、20歳代の男性、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。



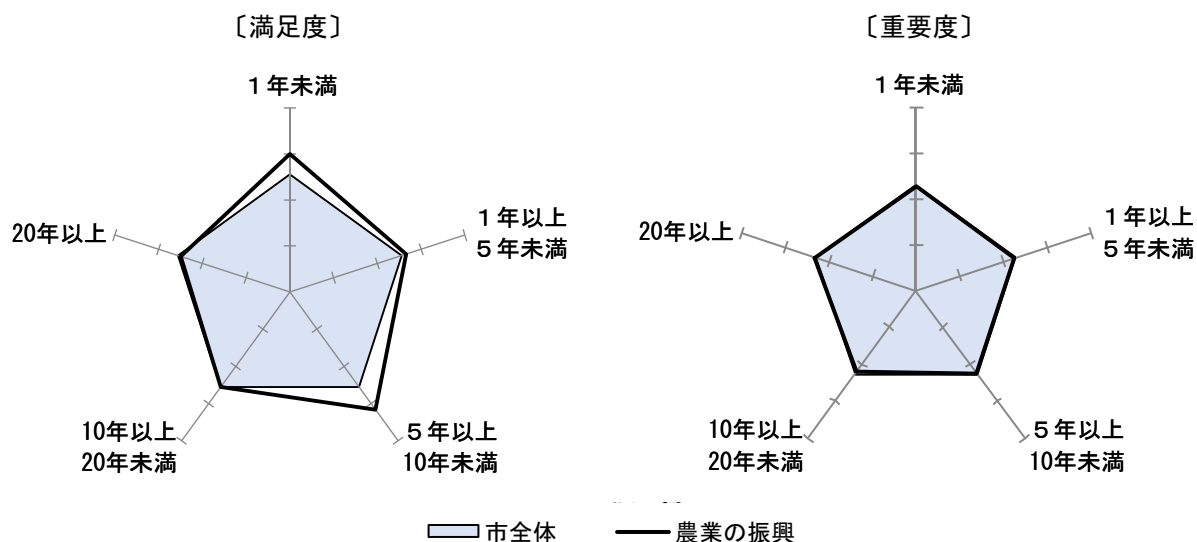
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



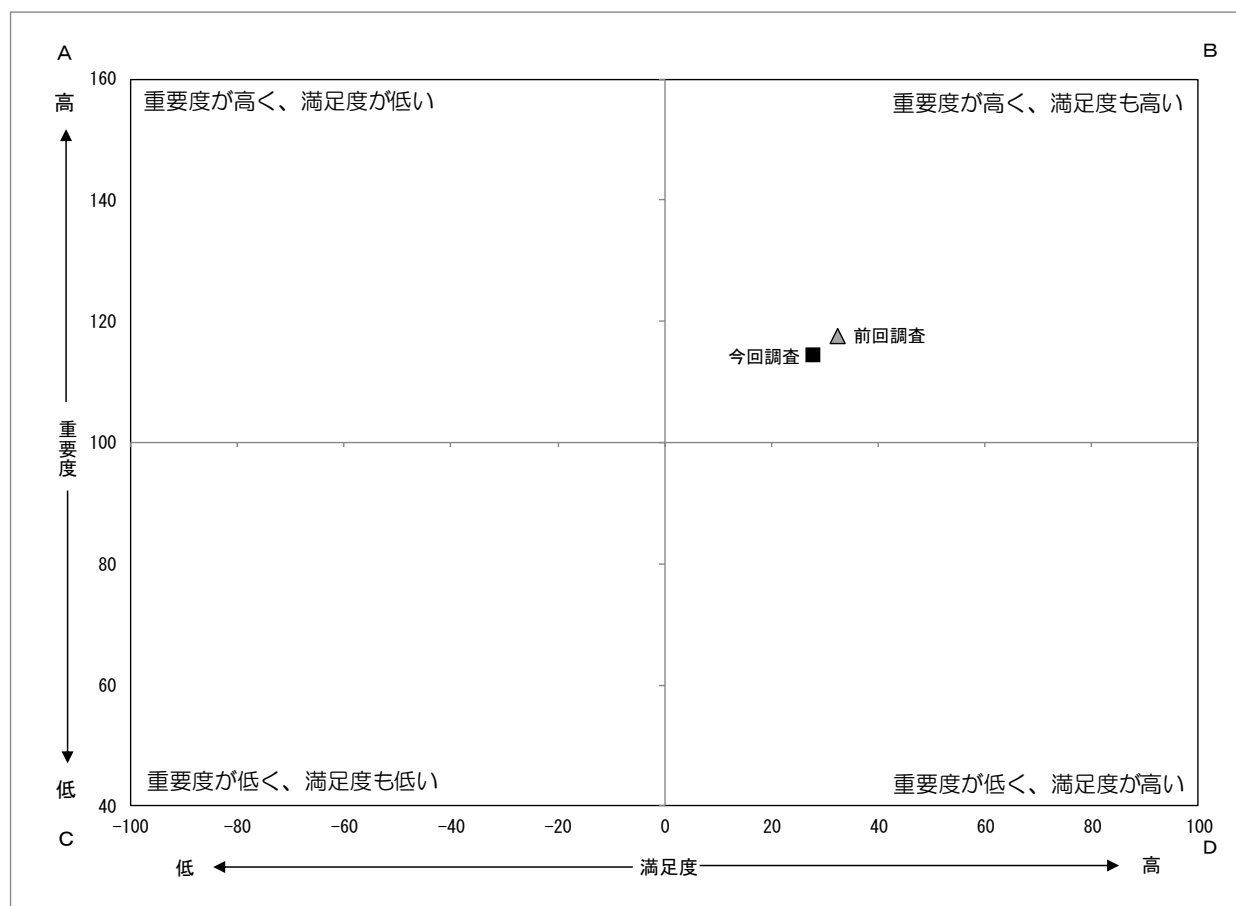
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに低くなっている。

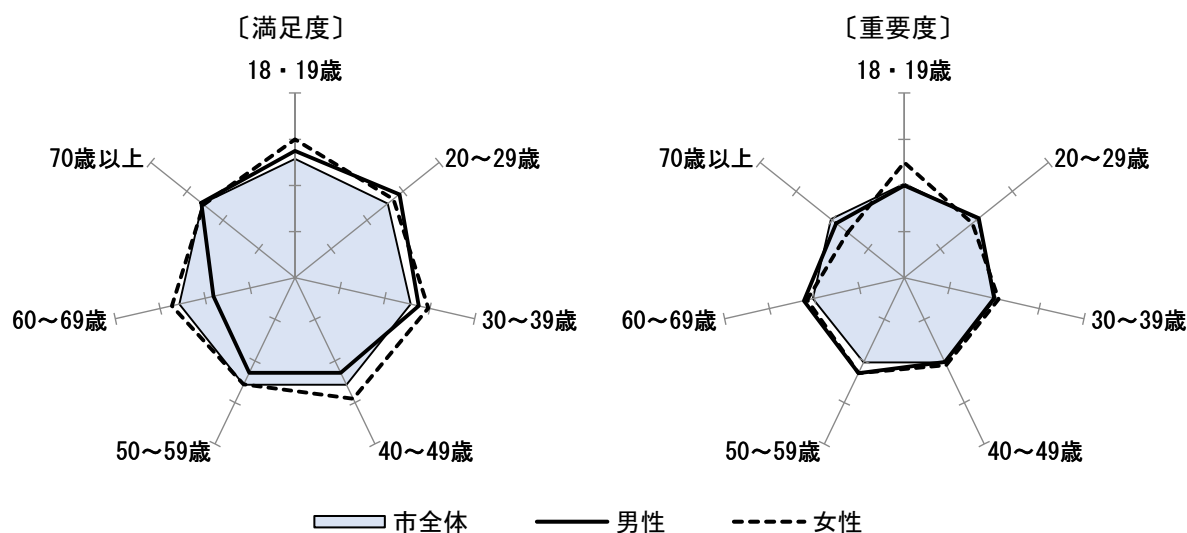


〔水産業を振興する〕

（２）水産業の振興

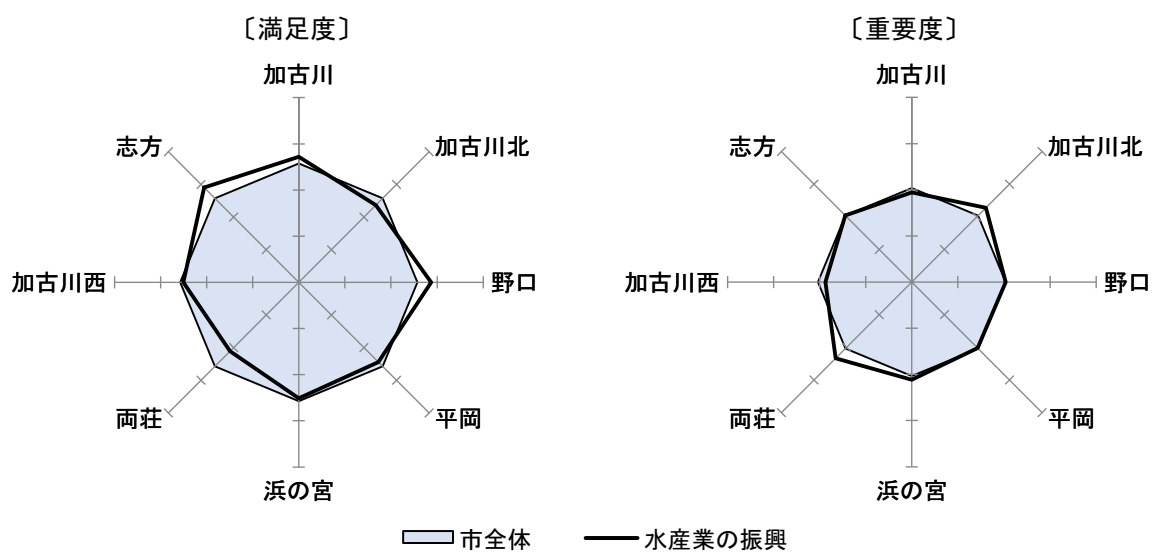
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代の男女と、70歳以上の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50～60歳代の男女と、20歳代の男性、18・19歳、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



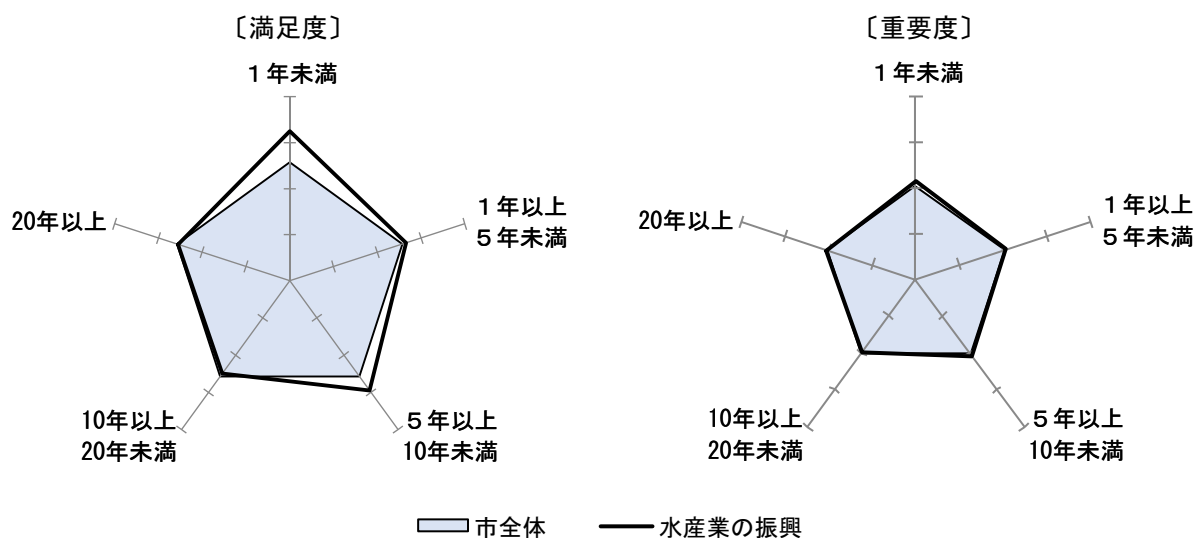
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・浜の宮・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



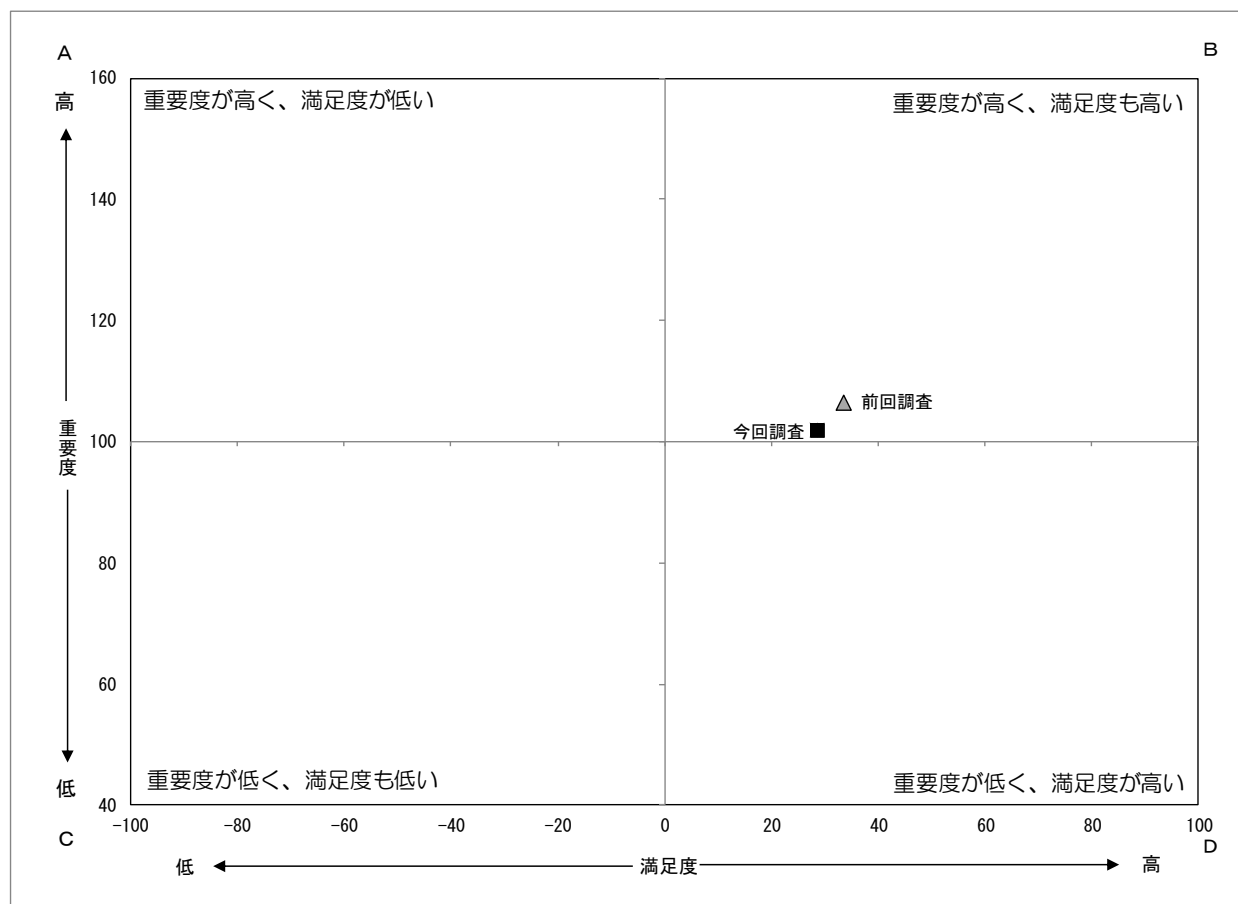
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに低くなっている。



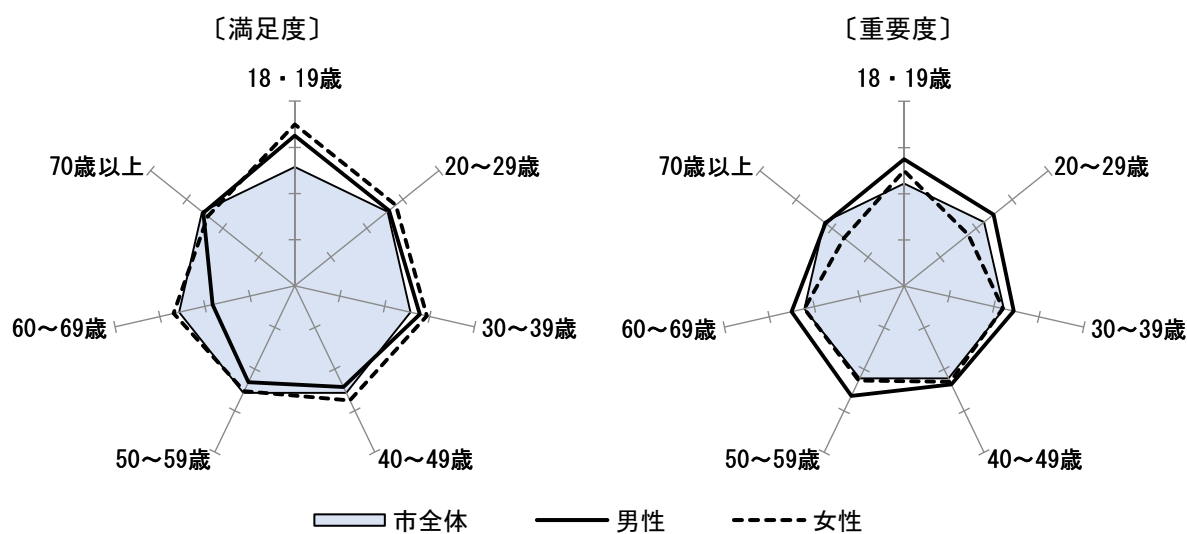
工業・地場産業を振興する

〔工業を振興する〕

(3) 工業の振興

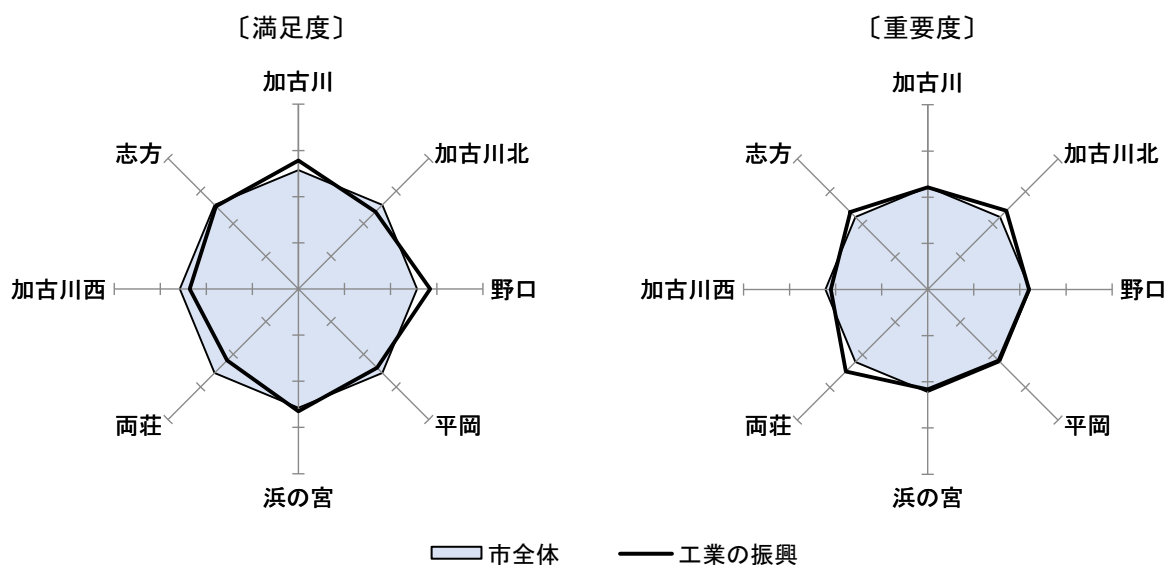
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代の男女と、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、40～60歳代の男女と、20～30歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



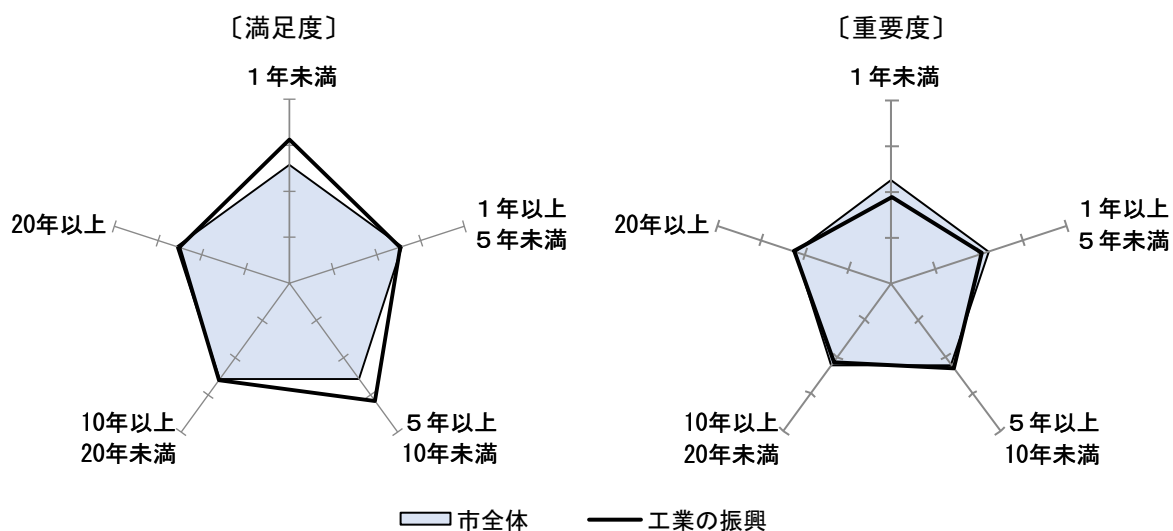
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



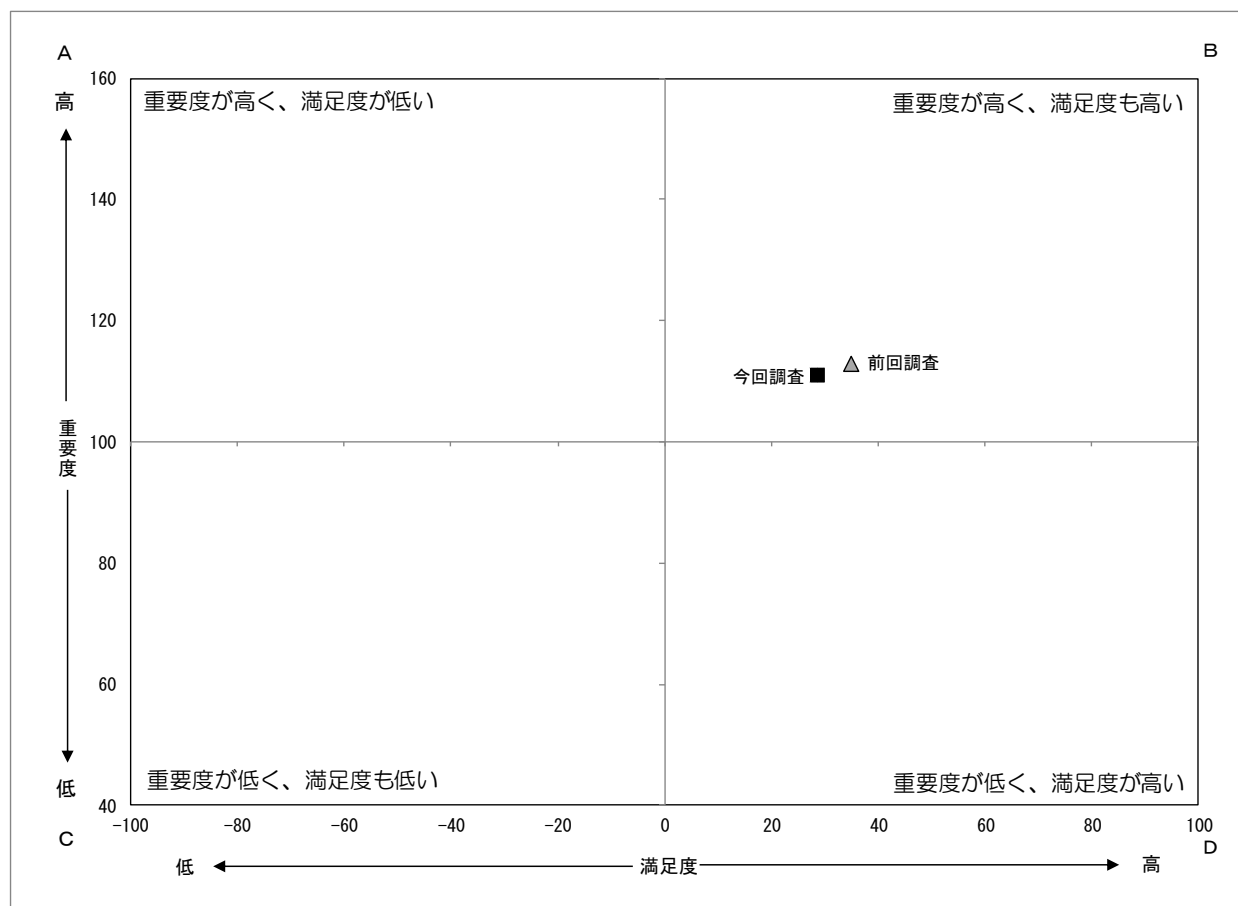
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

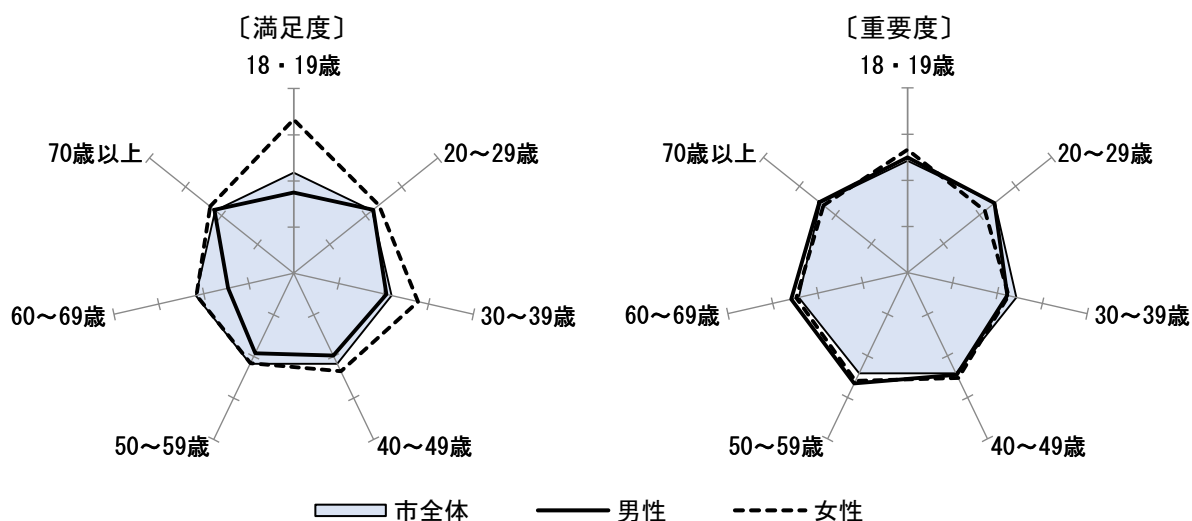


〔地場産業を振興する〕

（４）地場産業の振興

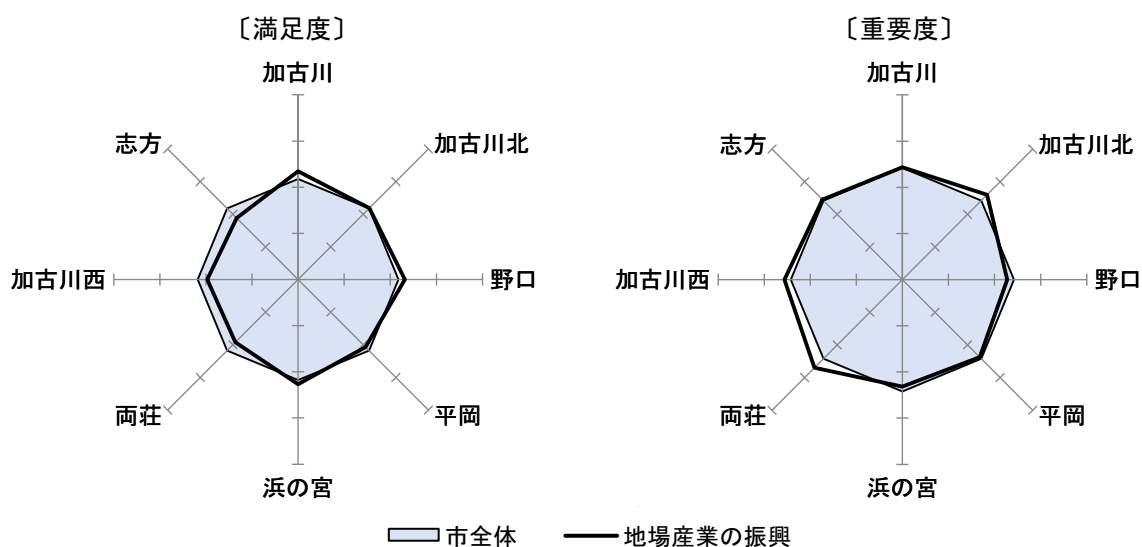
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、30～40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、40～60歳代の男女と、70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。



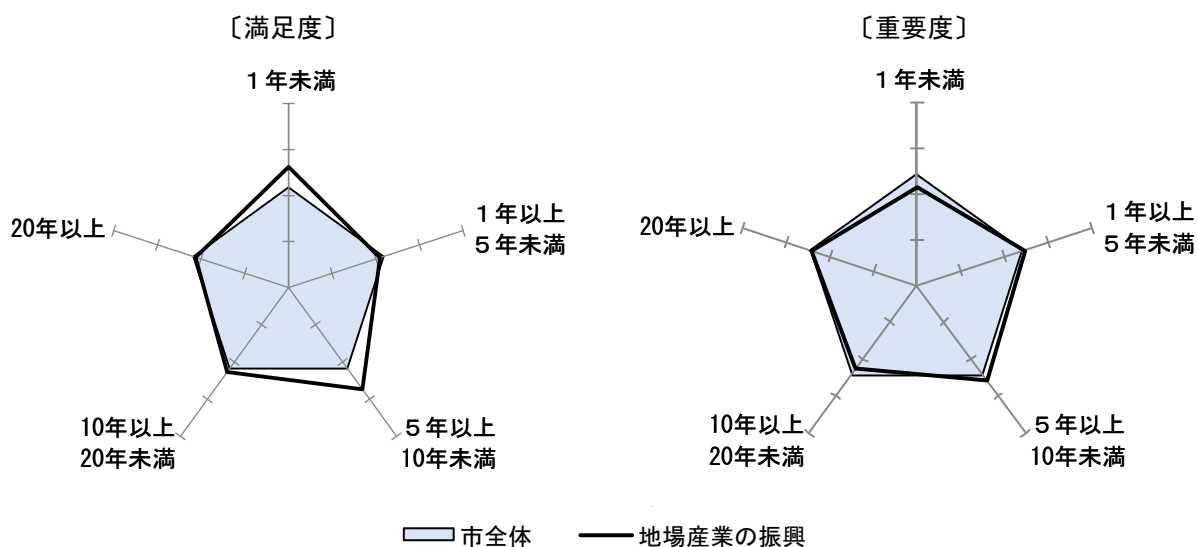
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



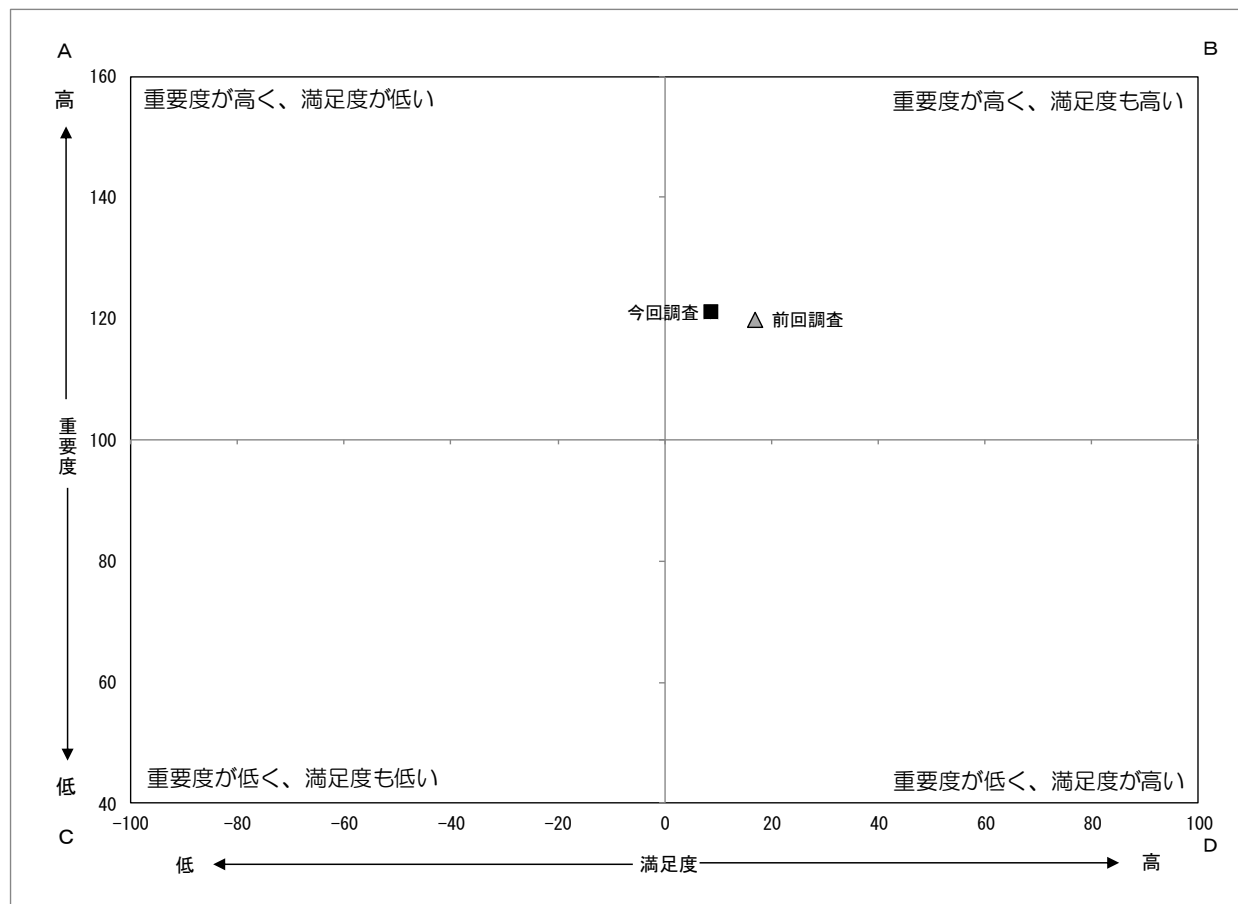
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



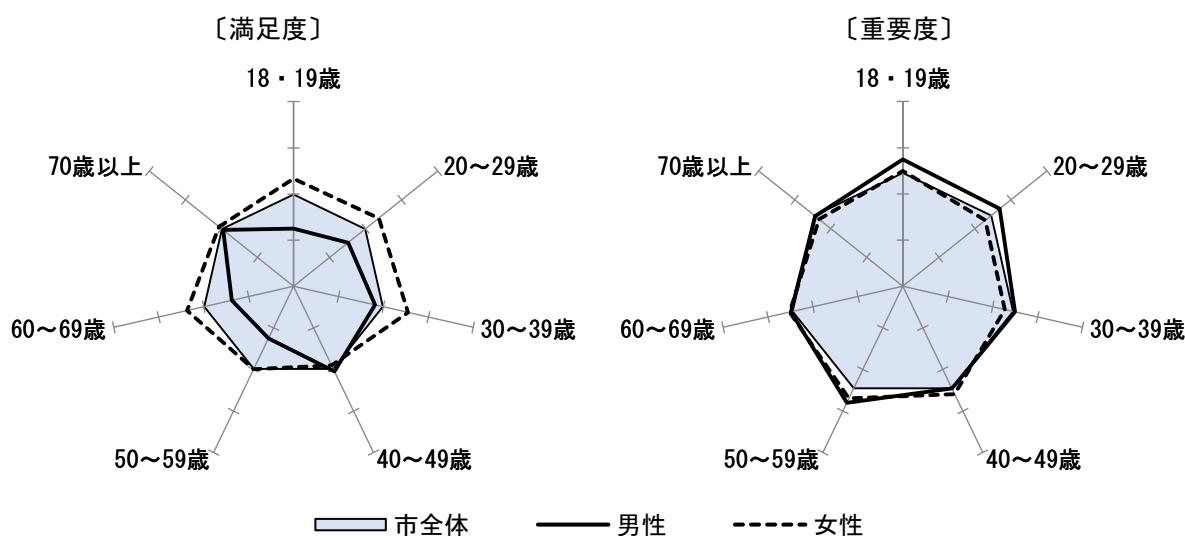
商業・観光を振興する

〔商業・サービス業を振興する〕

（５）商業の振興

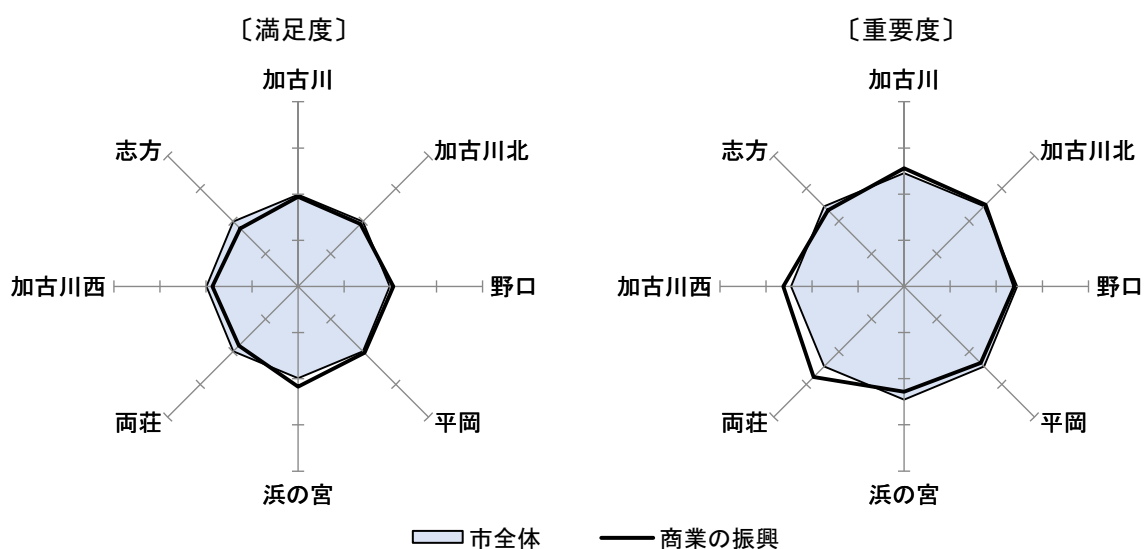
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、40歳代の男性と、18・19歳、20～30歳代、50～70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、40～60歳代の男女、20～30歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



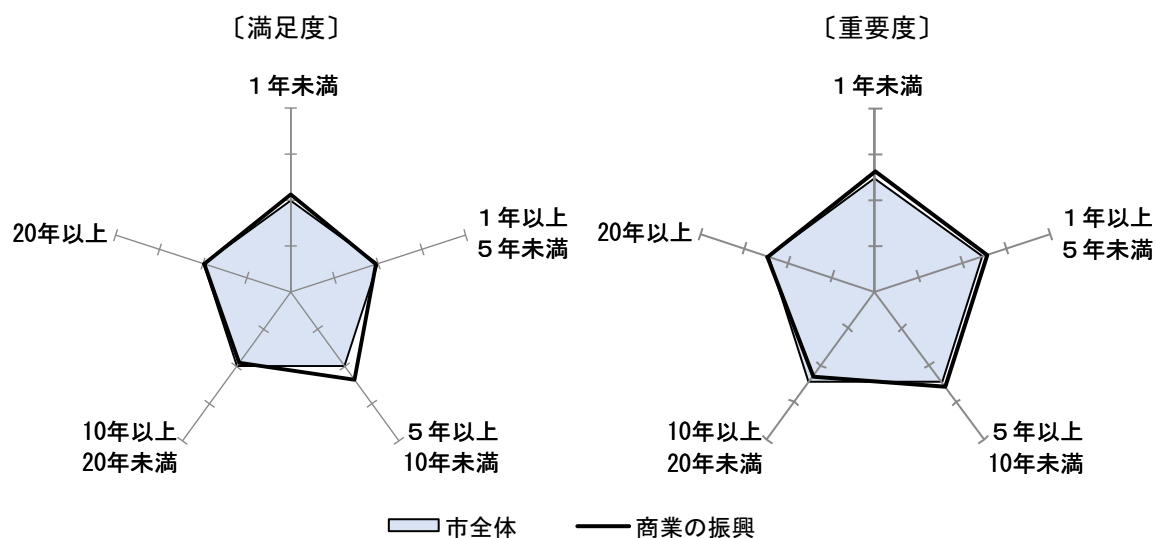
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。



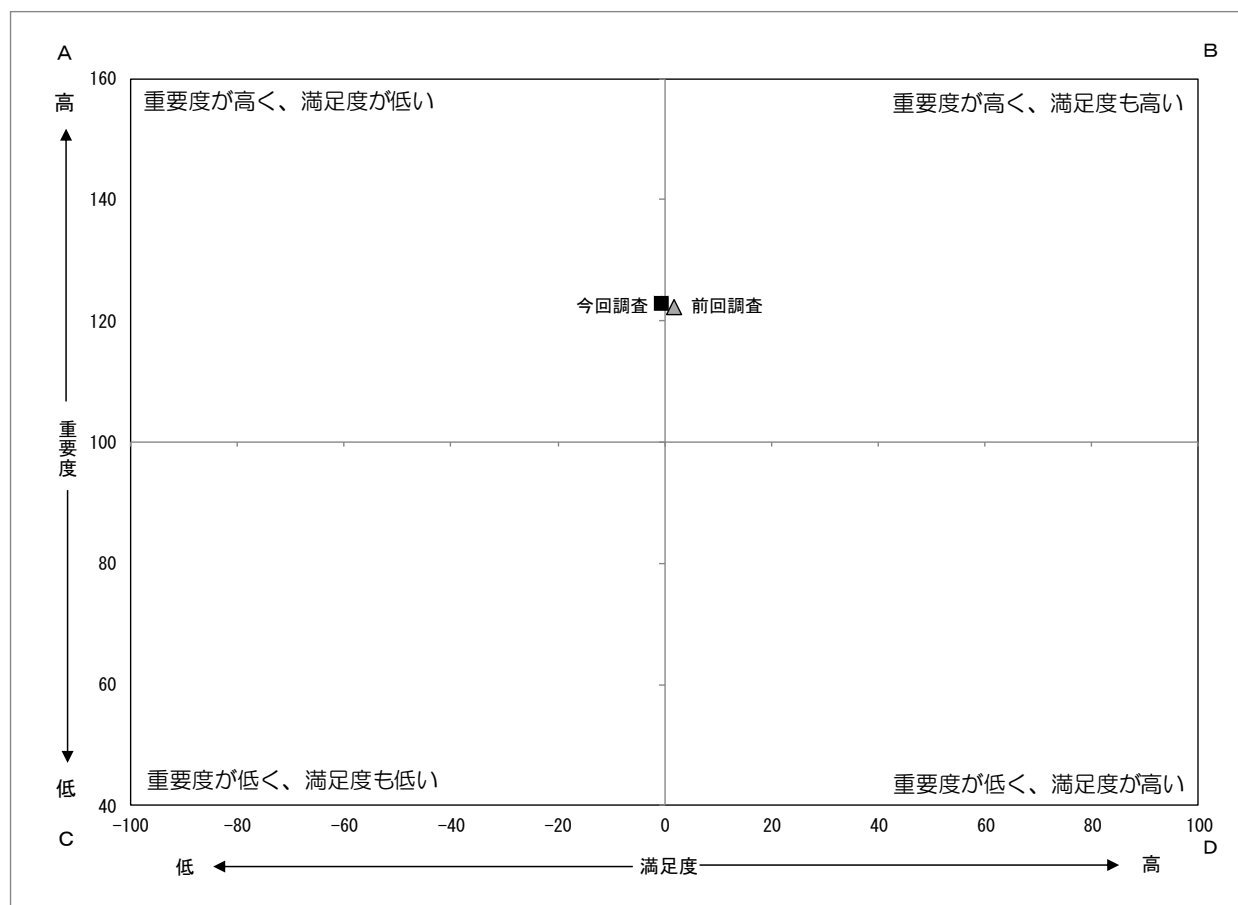
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

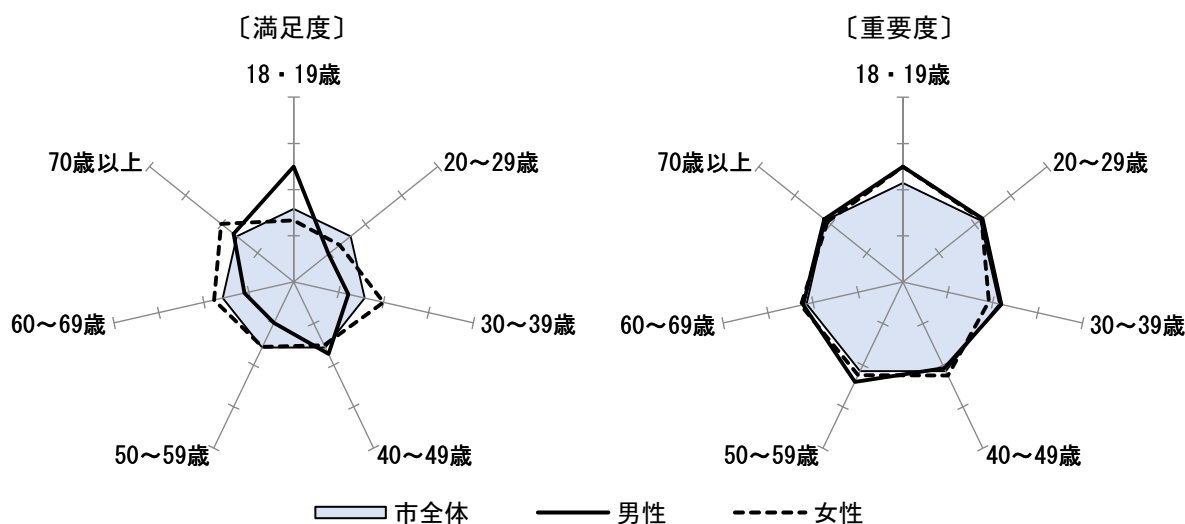


〔観光を振興する〕

（６）観光の振興

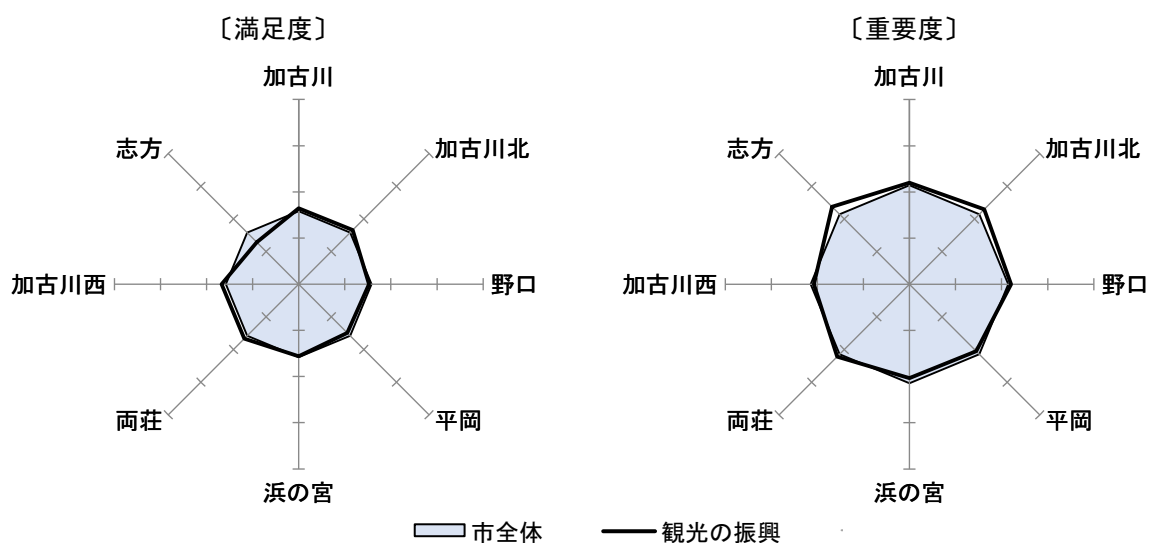
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代の男性、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、20歳代、50～60歳代の男女と、30歳代、70歳以上の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



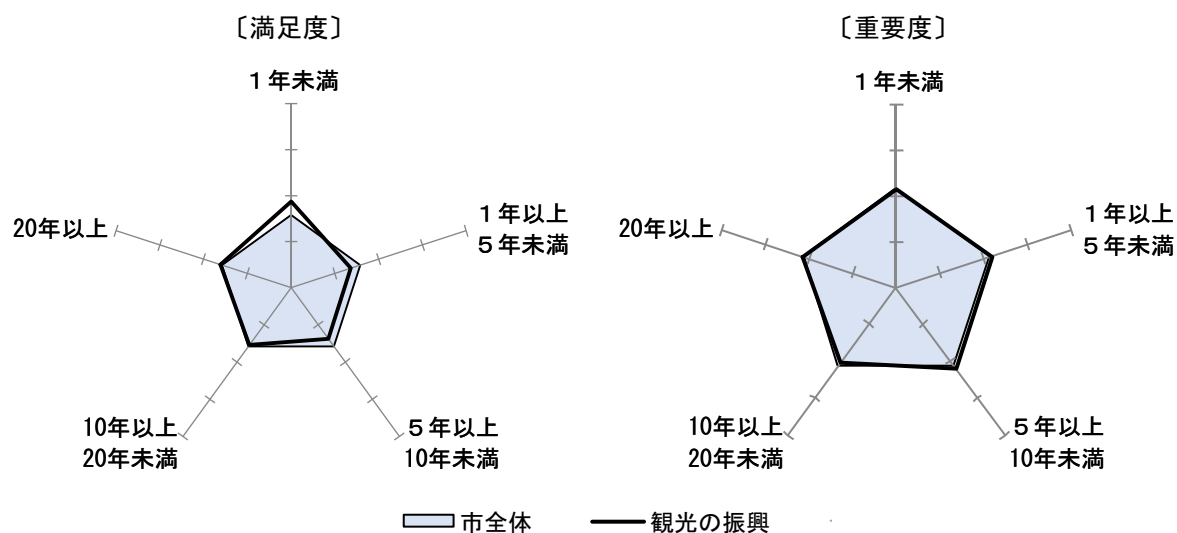
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



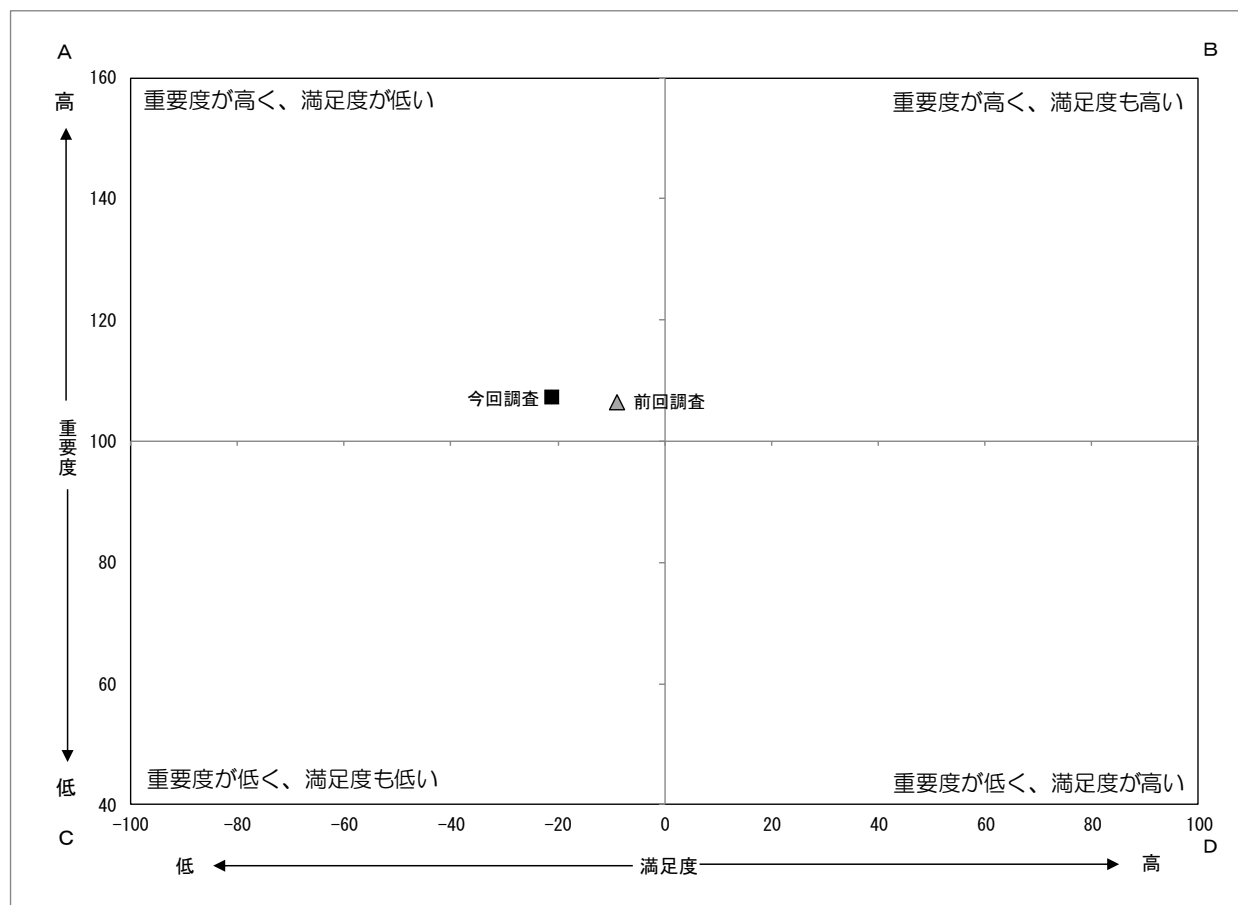
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

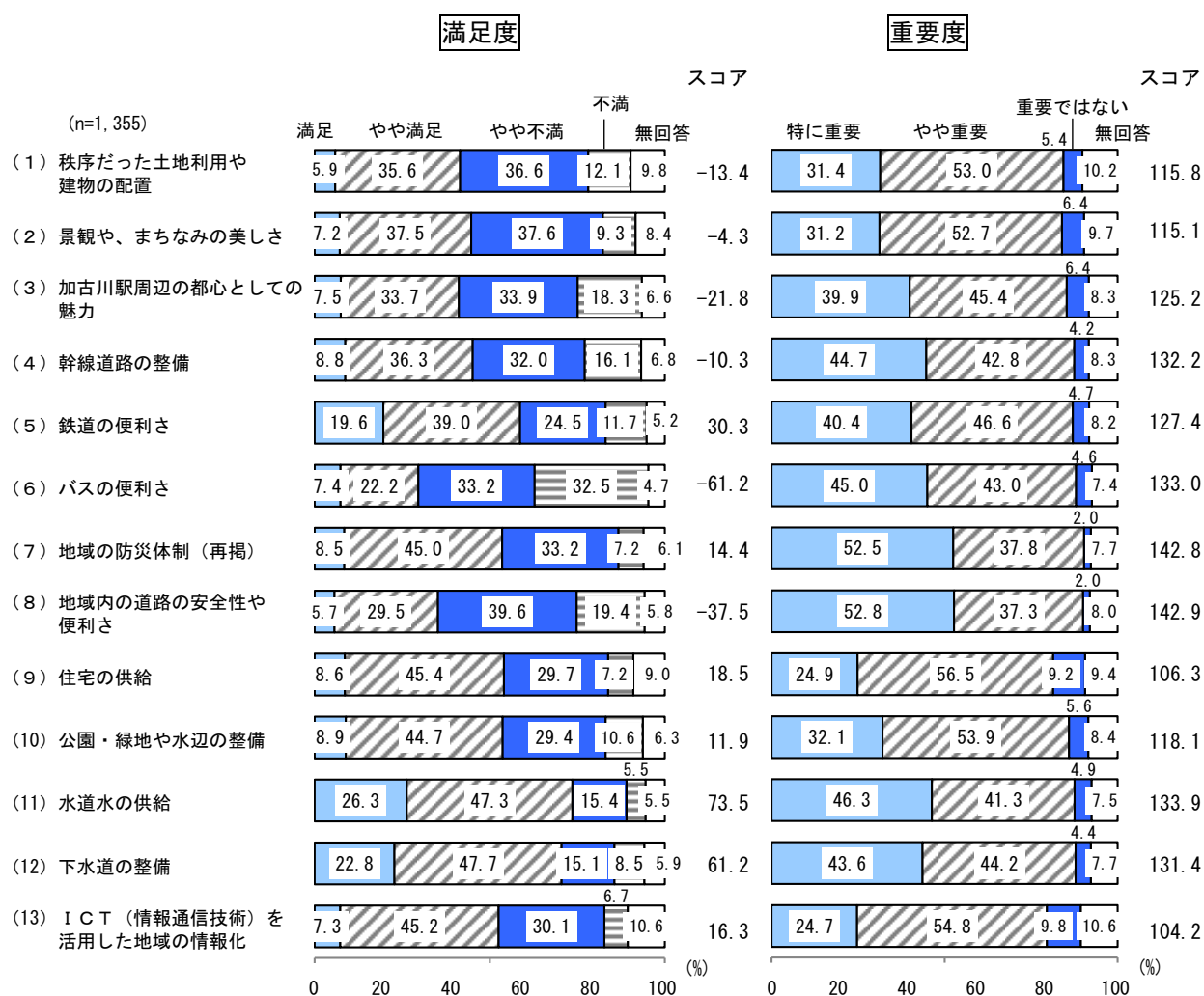
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



3-5 快適に暮らせるまちをめざして

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(11) 水道水の供給”、次いで“(12) 下水道の整備”となっている。一方、最も低い項目は“(6) バスの便利さ”、次いで“(8) 地域内の道路の安全性や便利さ”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(8) 地域内の道路の安全性や便利さ”、次いで“(7) 地域の防災体制（再掲）”となっている。一方、最も低い項目は“(13) ICT（情報通信技術）を活用した地域の情報化”、次いで“(9) 住宅の供給”となっている。

《全体》



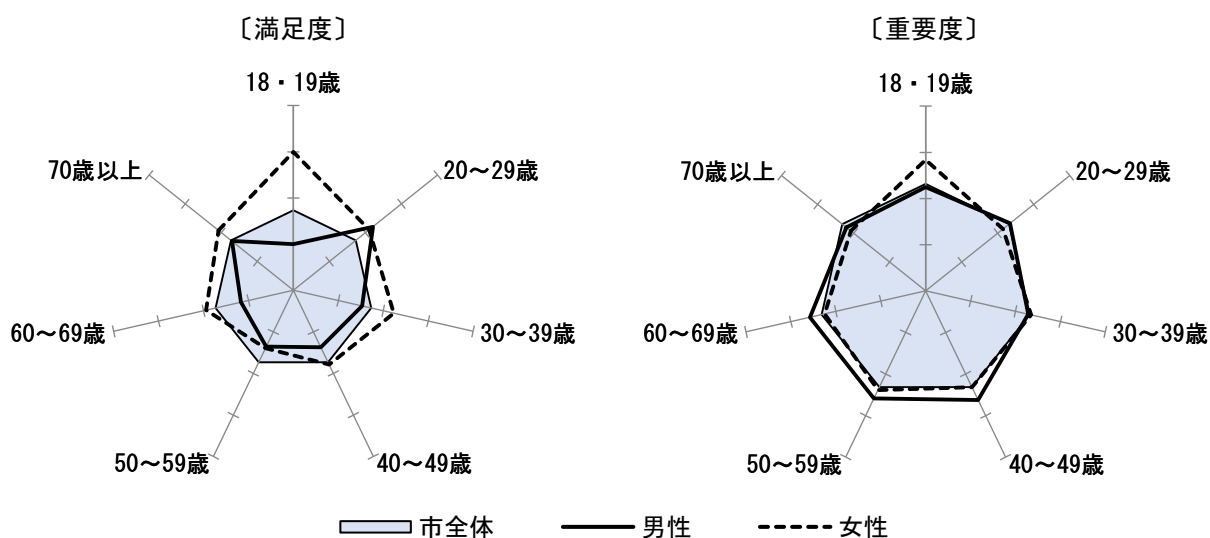
機能的・効率的なまちを形成する

〔計画的な土地利用を進める〕

（１）秩序だった土地利用や建物の配置

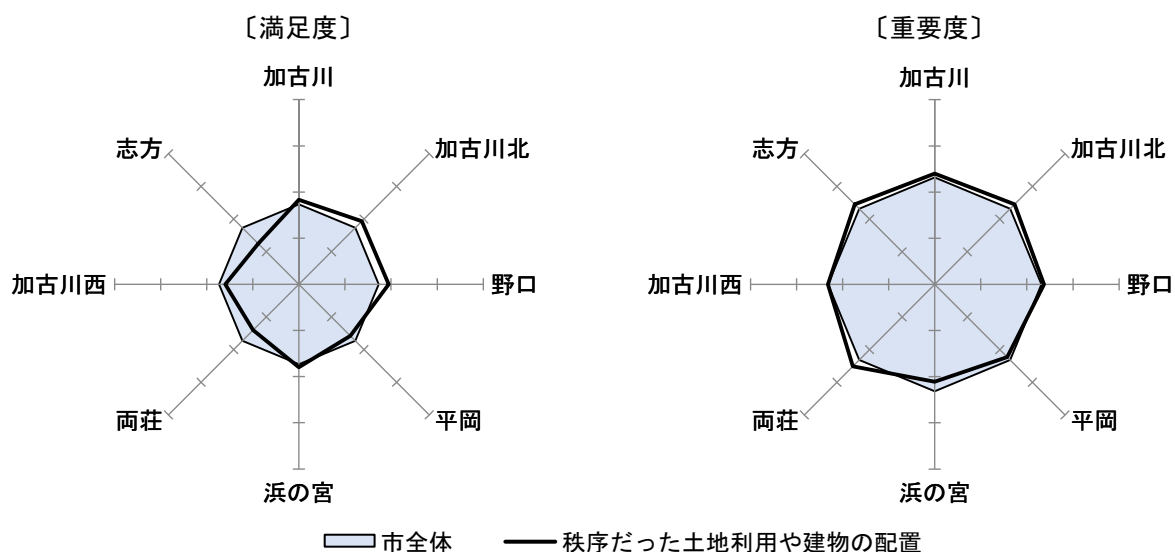
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代の男女と、18・19歳、30～40歳代、60～70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、40～50歳代の男女と、20歳代、60歳代の男性、18・19歳、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



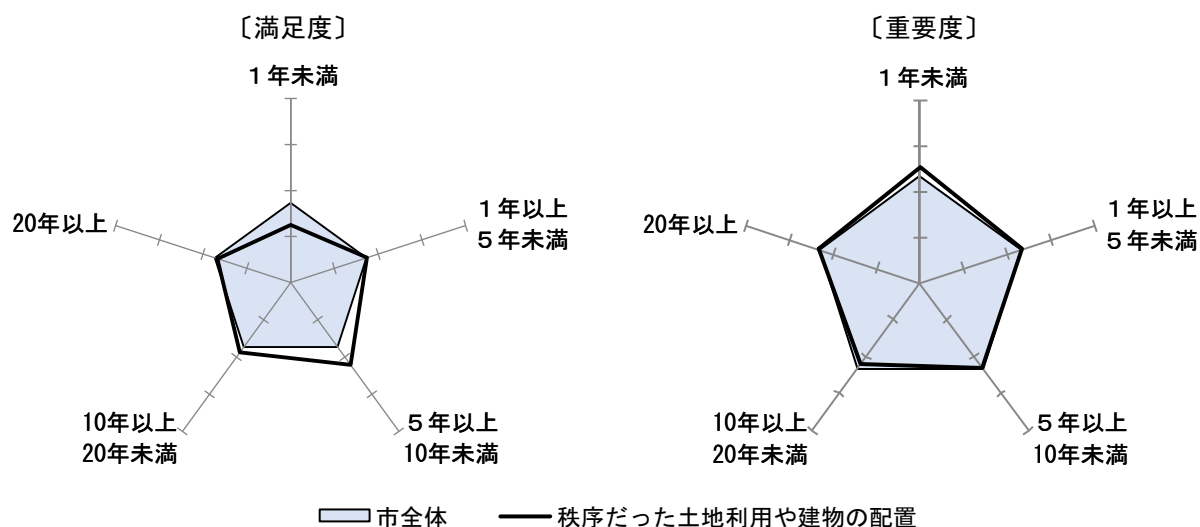
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



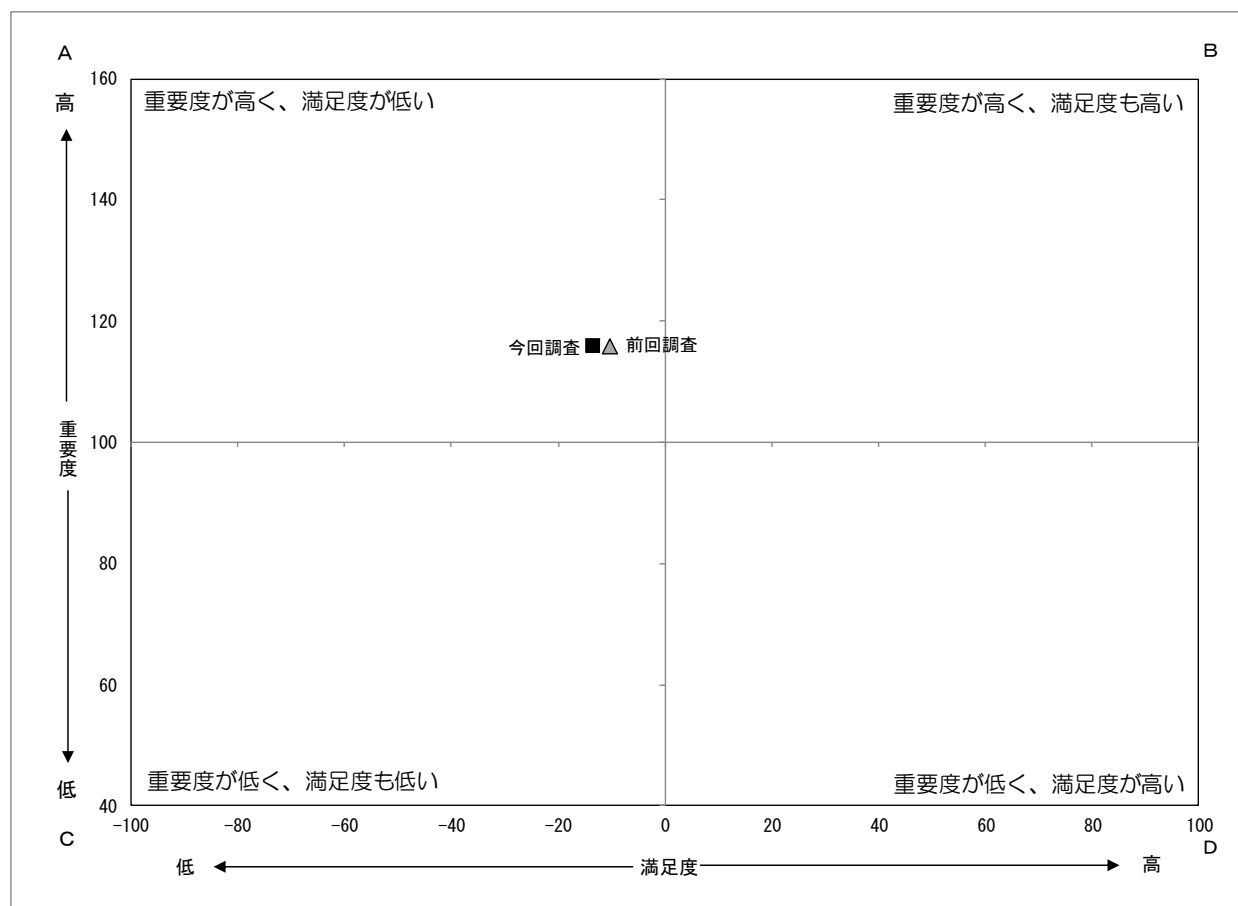
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

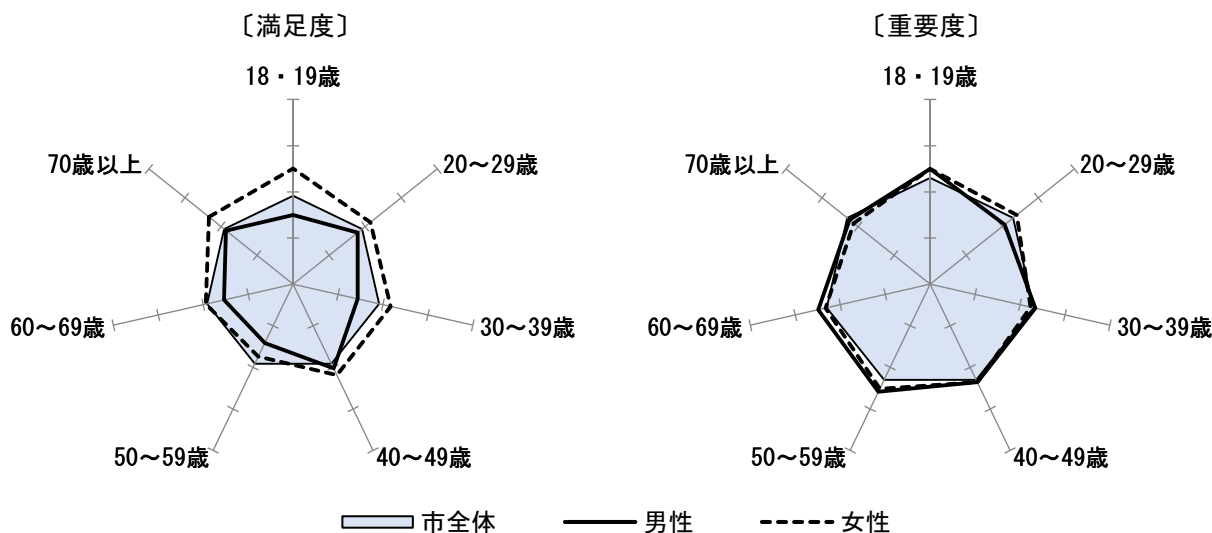


〔秩序あるまちなみを形成する〕

（２）景観や、まちなみの美しさ

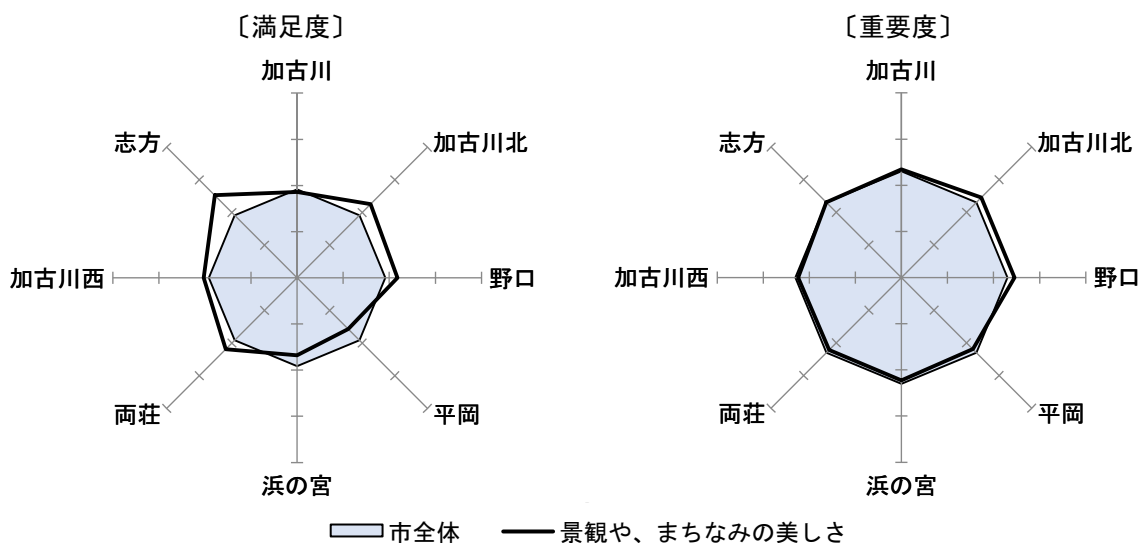
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、40歳代の男女と、18・19歳、20～30歳代、60～70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、18・19歳、40～60歳代の男女と、30歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



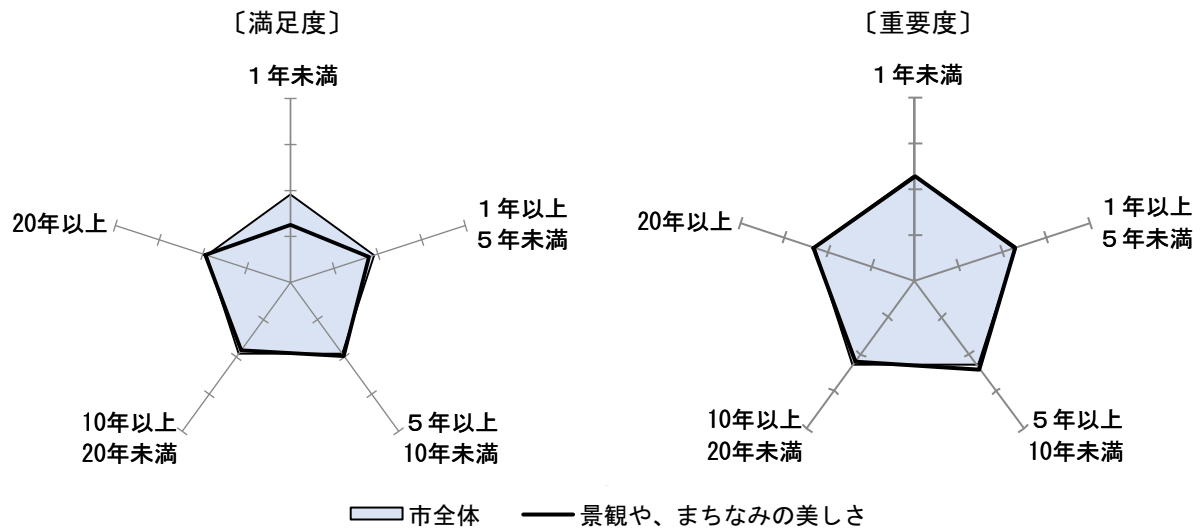
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川北・野口・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口地区で市全体平均より高くなっている。



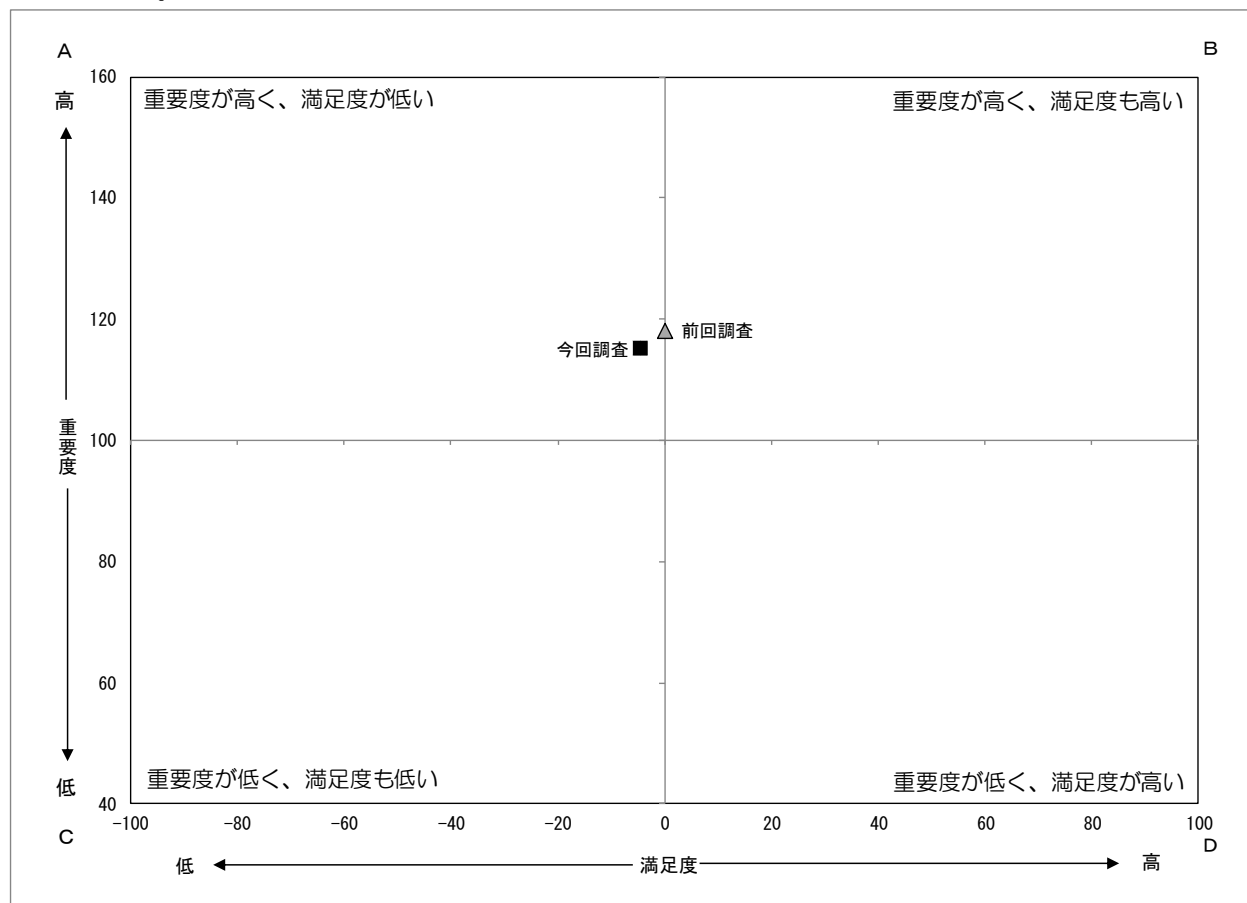
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

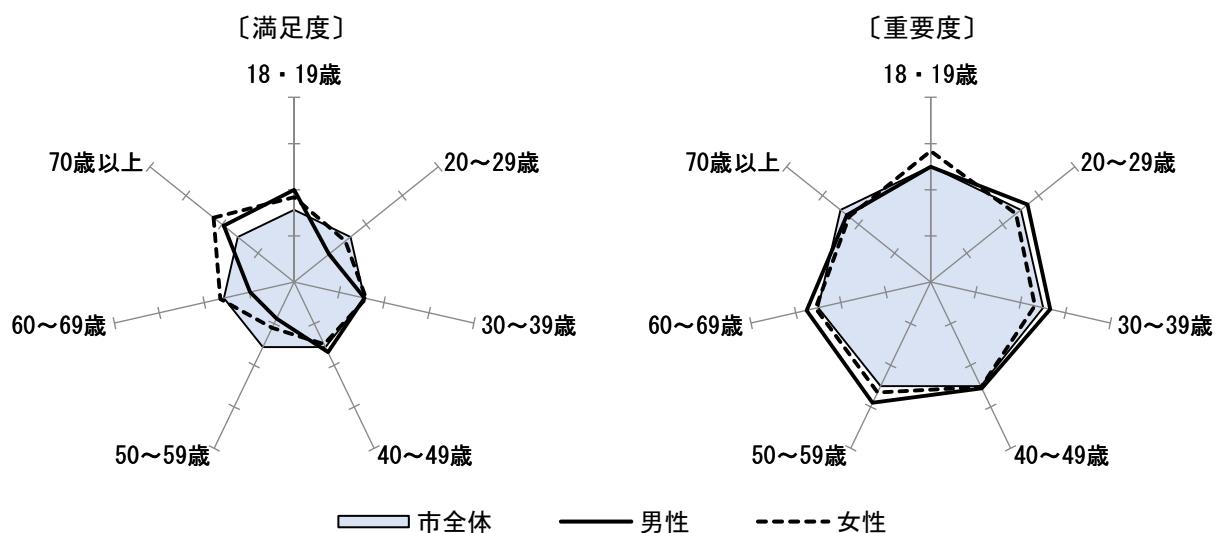


〔都市拠点の機能を充実する〕

（３）加古川駅周辺の都心としての魅力

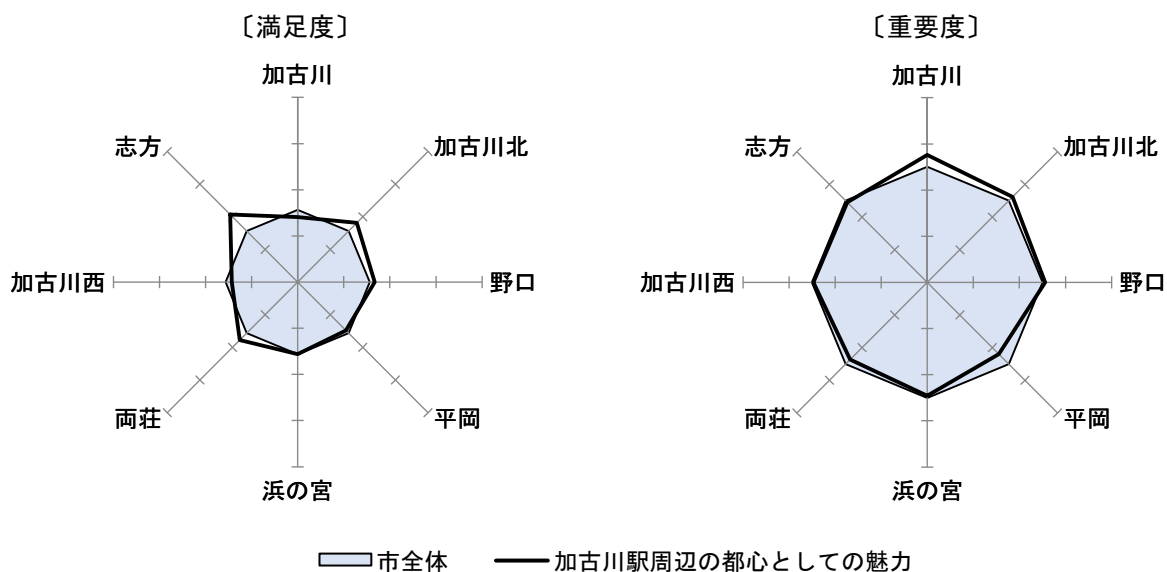
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、40歳代の男性、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、40～60歳代の男女と、20～30歳代の男性、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。



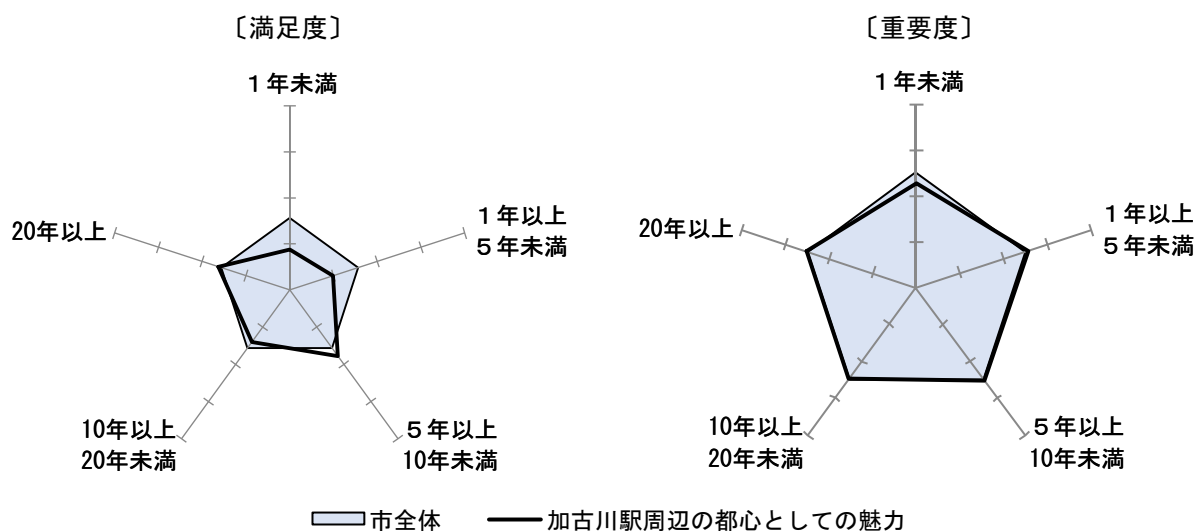
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口地区で市全体平均より高くなっている。



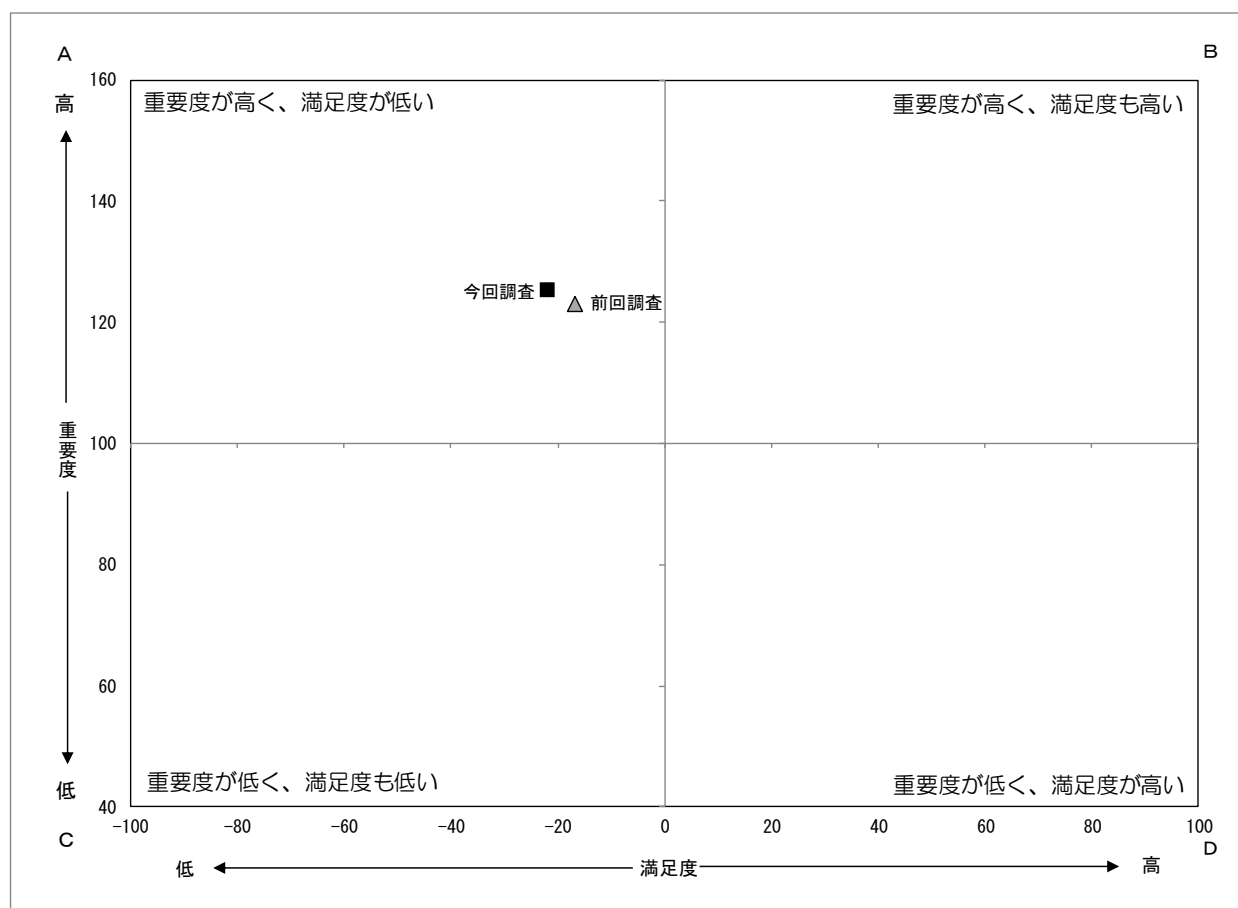
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

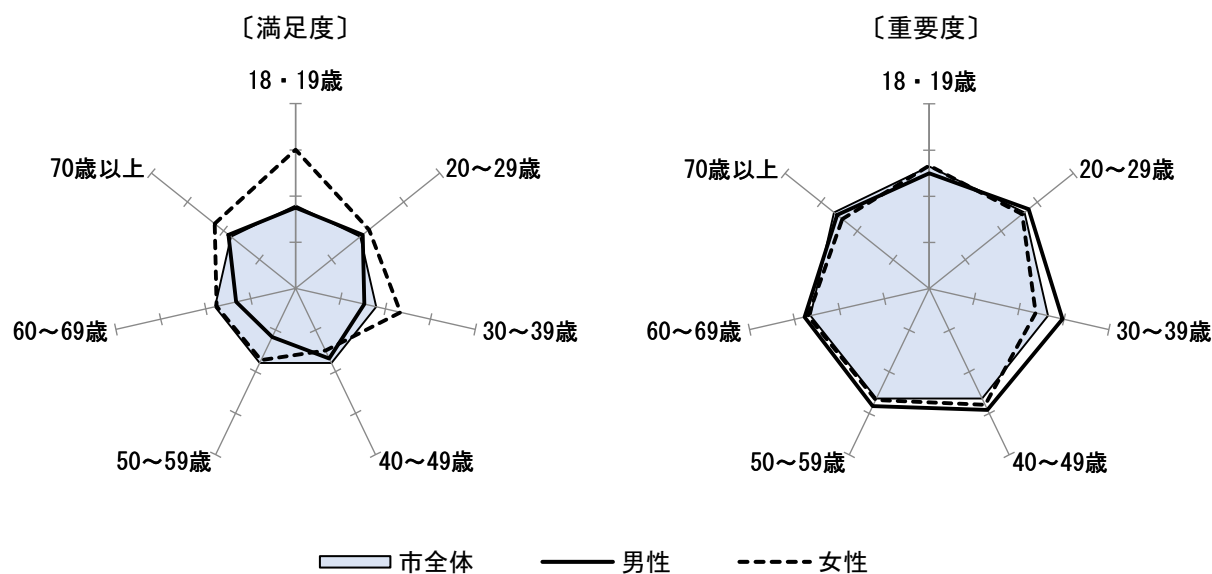


〔幹線道路・港湾機能を充実する〕

（４）幹線道路の整備

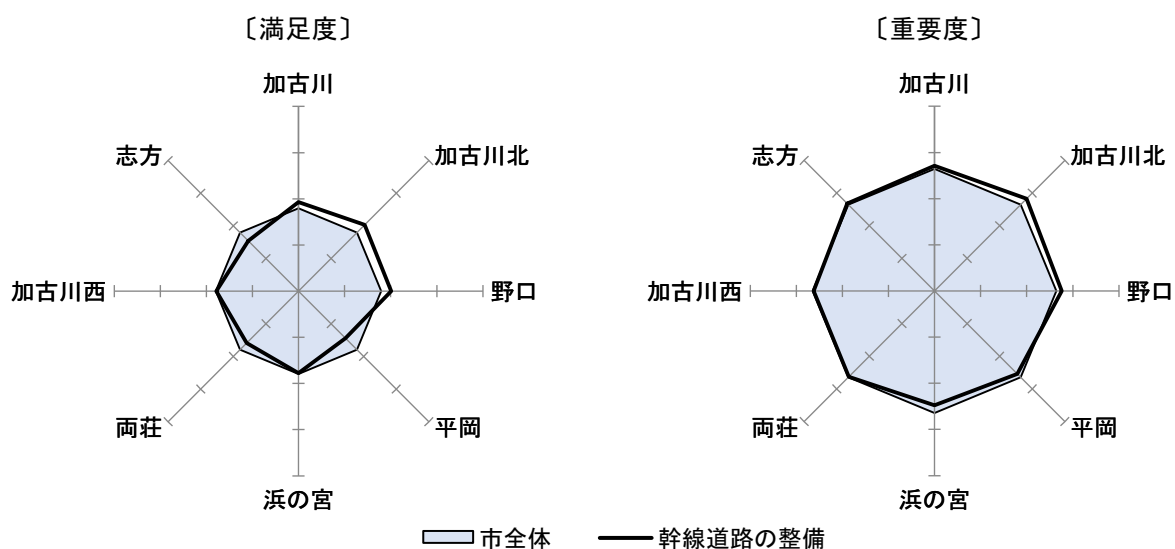
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、40～60歳代の男女と、20～30歳代の男性、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。



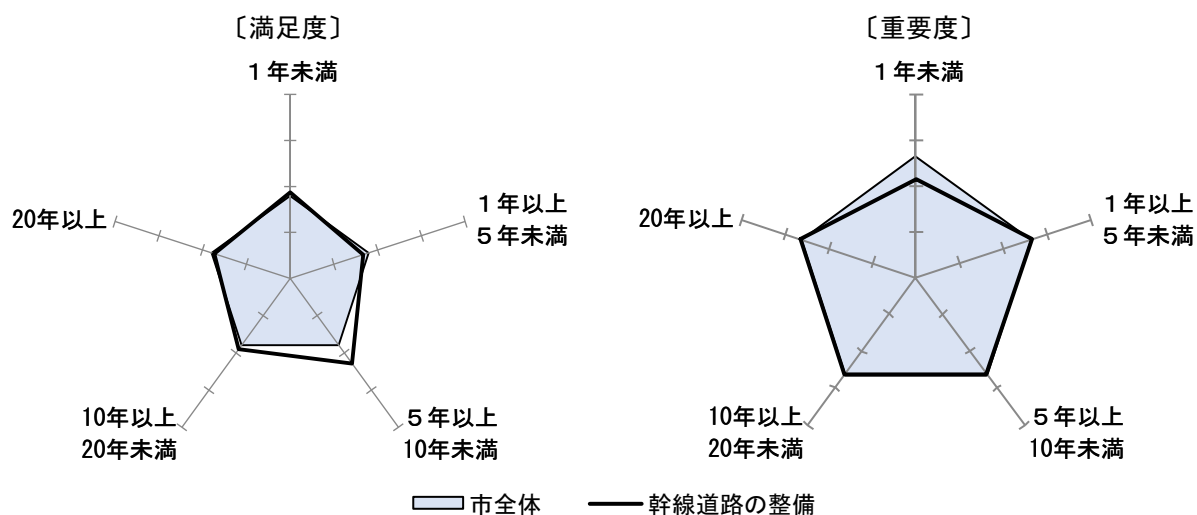
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・志方地区で市全体平均より高くなっている。



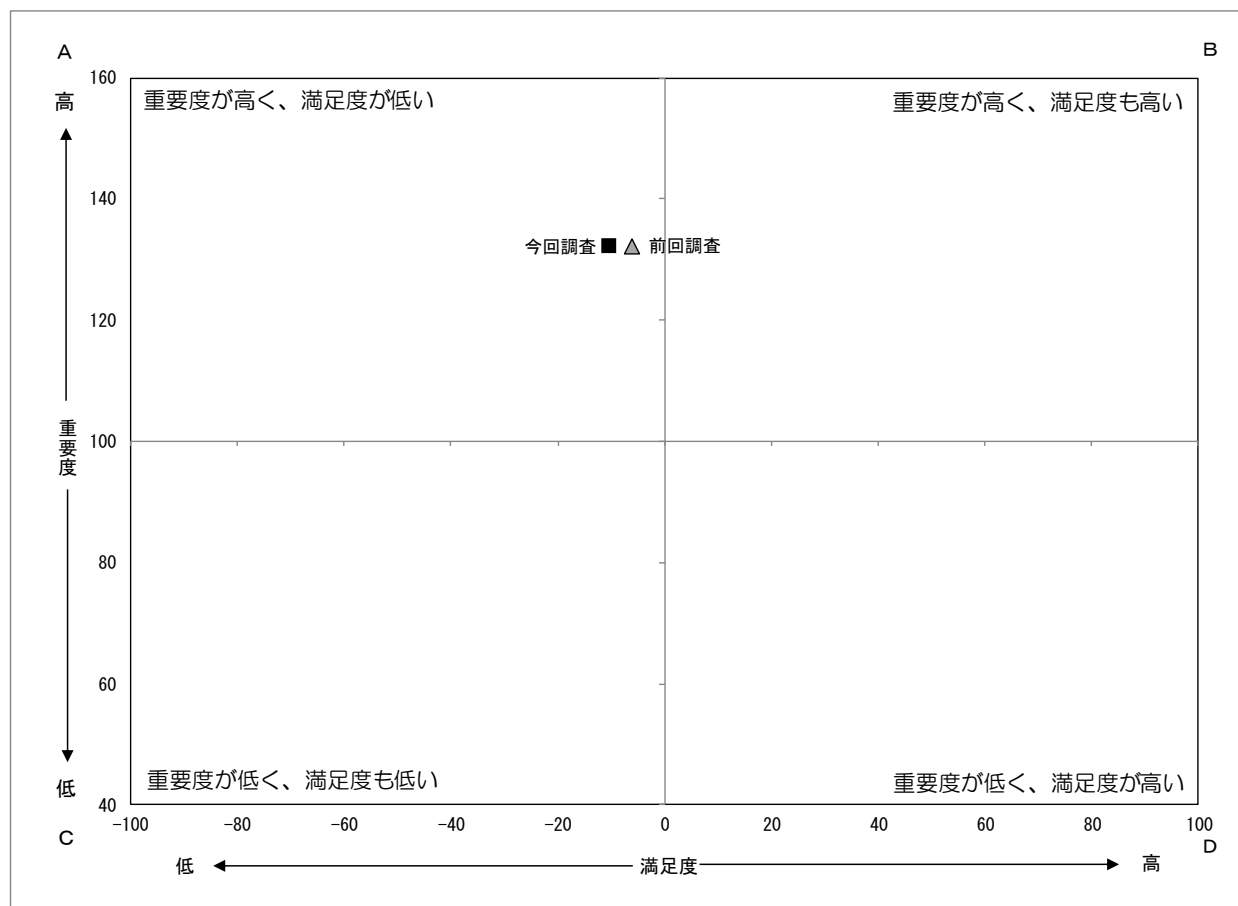
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

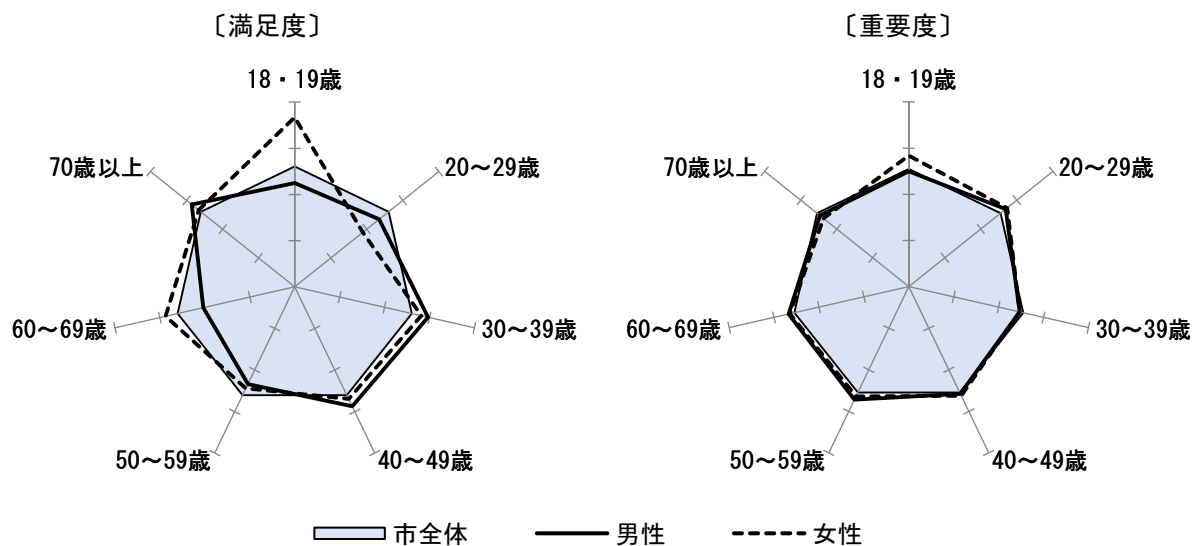


〔公共交通機能を充実する〕

（５）鉄道の便利さ

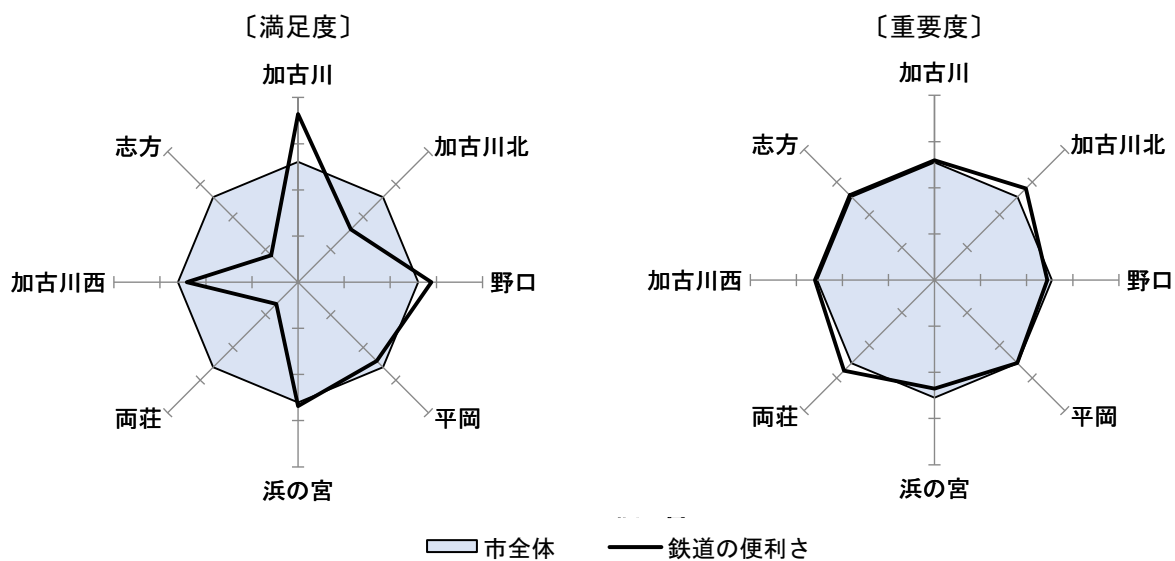
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、30～40歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、40～60歳代の男女と、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。



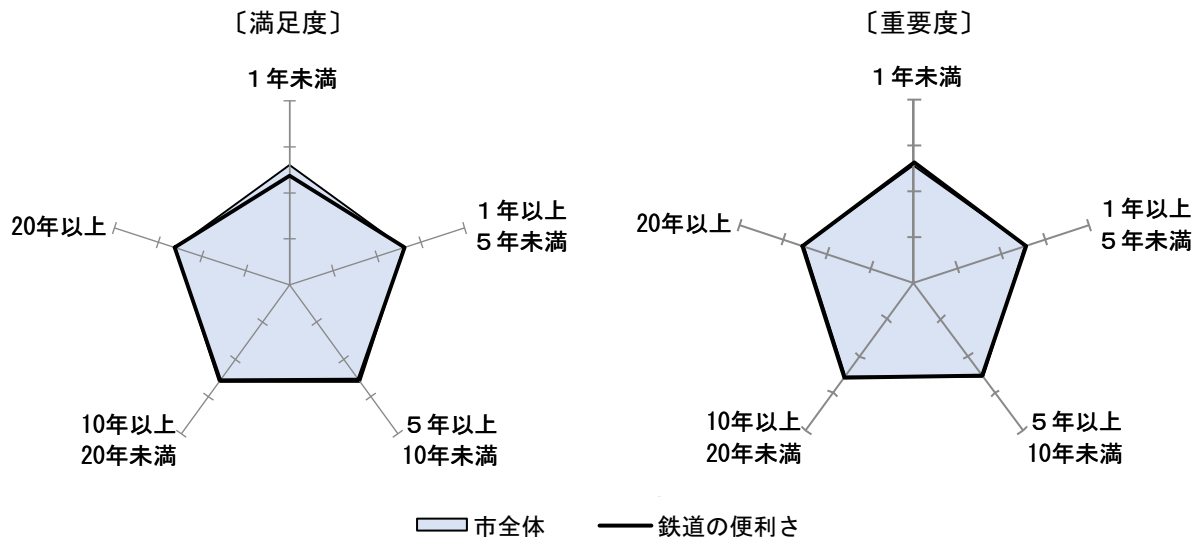
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



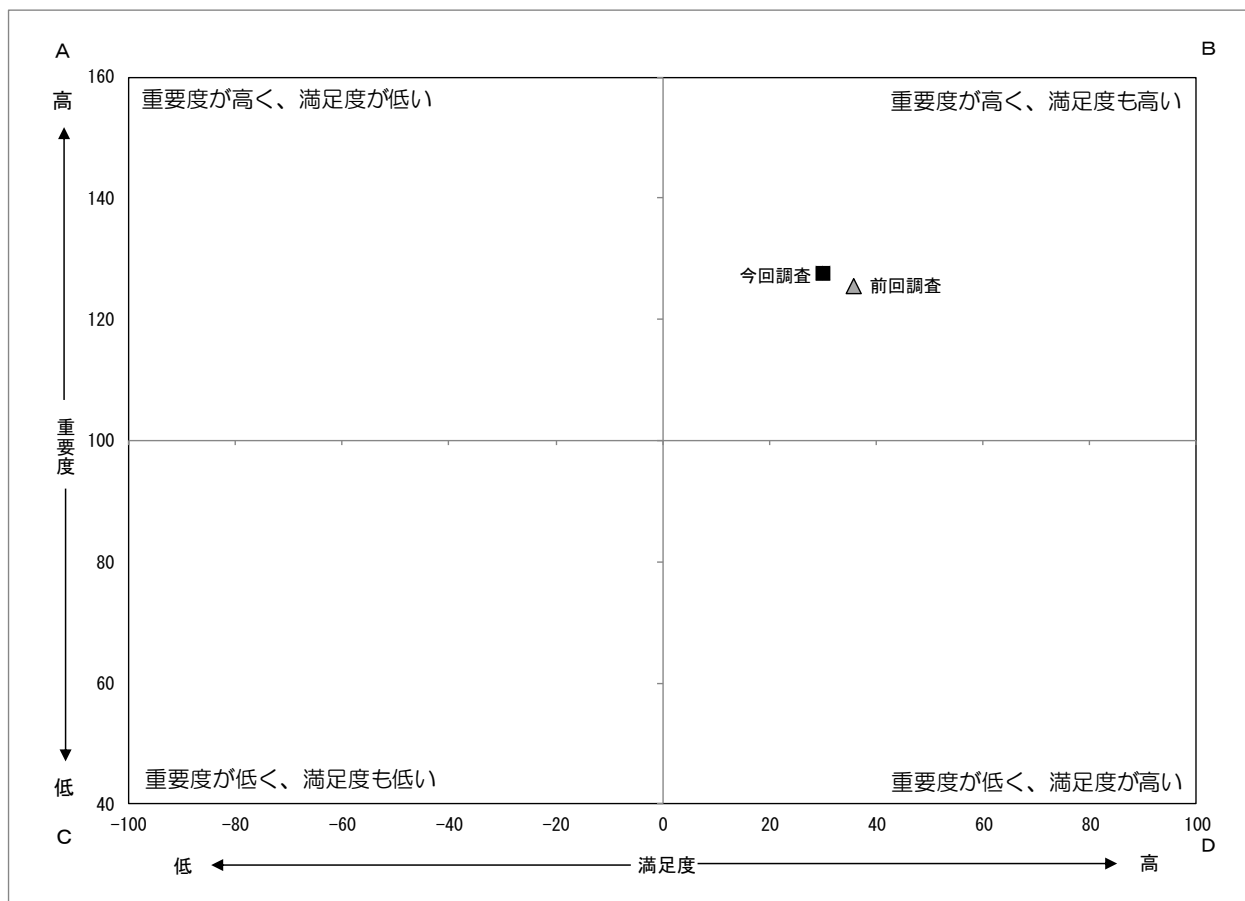
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“20年以上”で市全体平均よりも高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均よりも高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

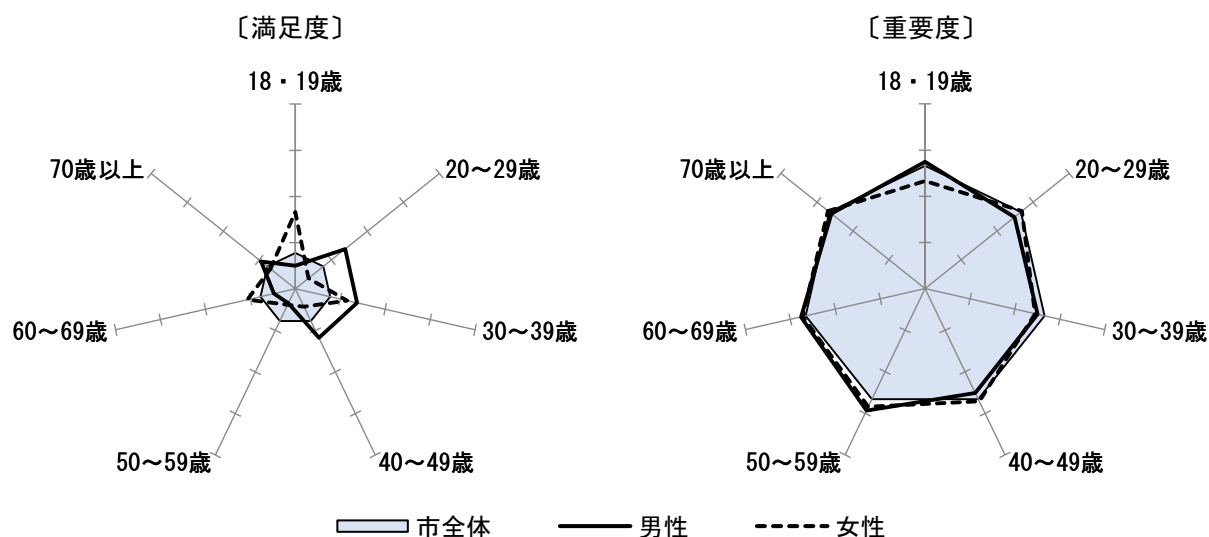


〔公共交通機能を充実する〕

（６）バスの便利さ

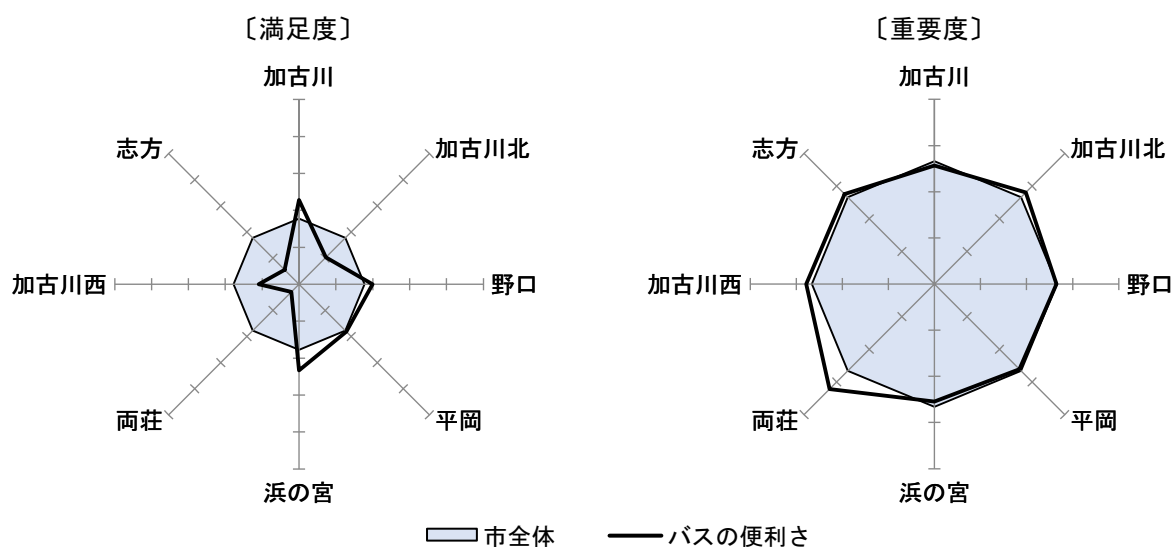
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、30歳代の男女と、20歳代、40歳代、70歳以上の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50～60歳代の男女と、18・19歳の男性、20歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



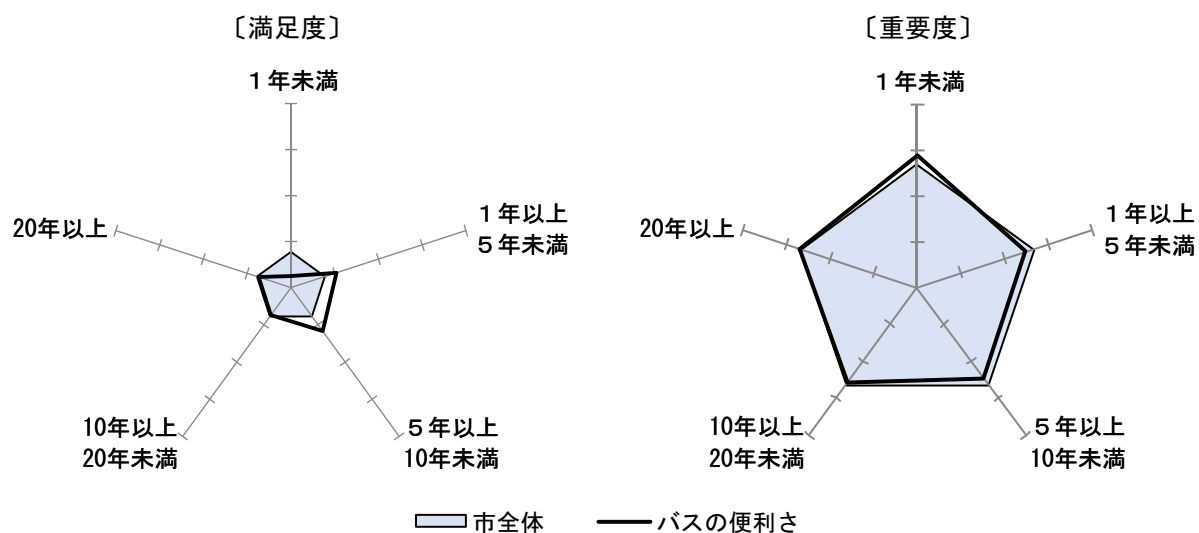
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・両荘・加古川西・志方西地区で市全体平均より高くなっている。



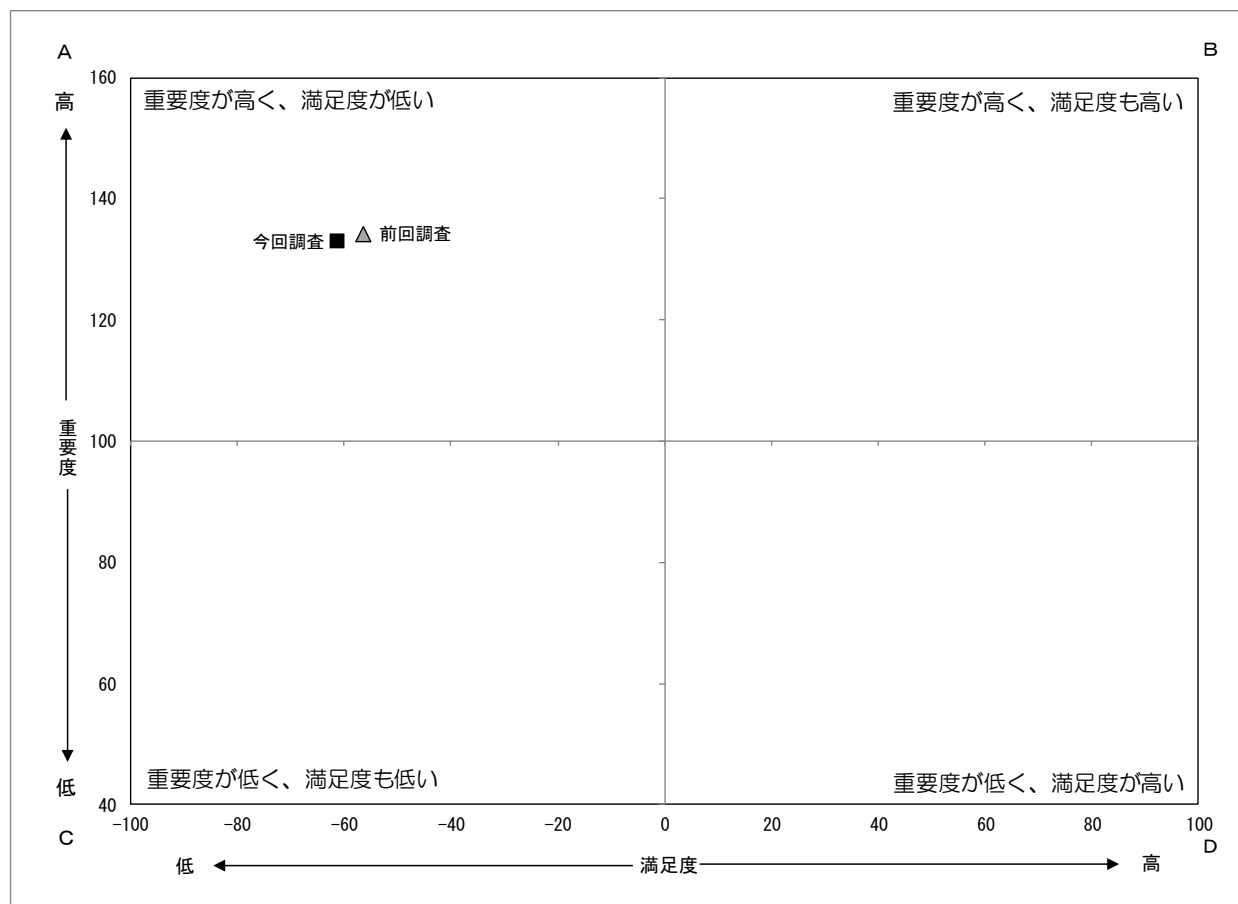
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

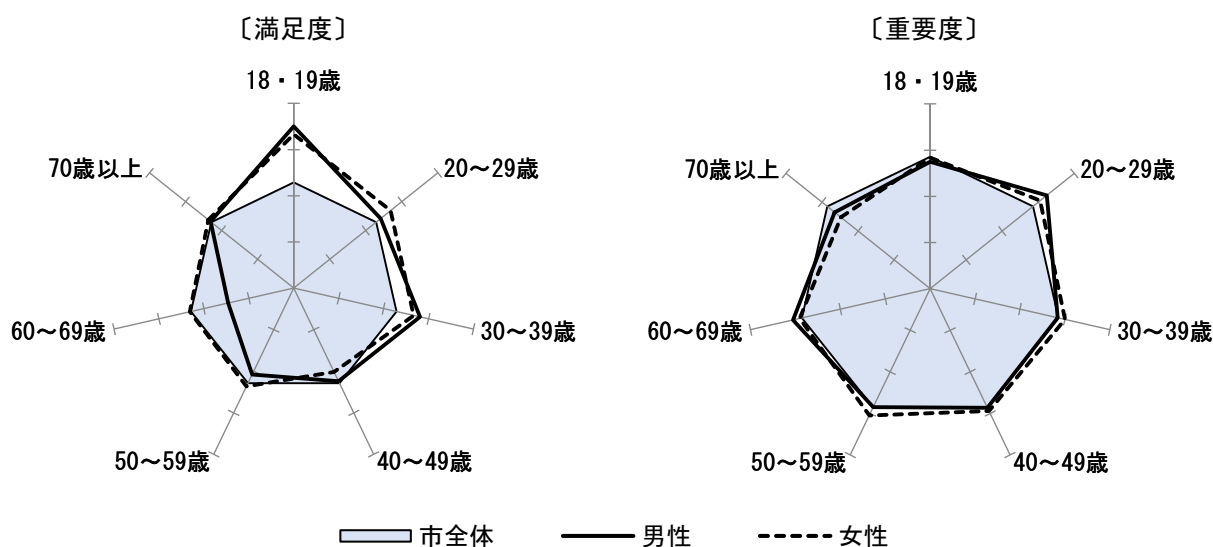


安全で快適な暮らしの基盤を整備する
〔防災・防犯のための基盤を整備する〕

(7) 地域の防災体制（再掲）

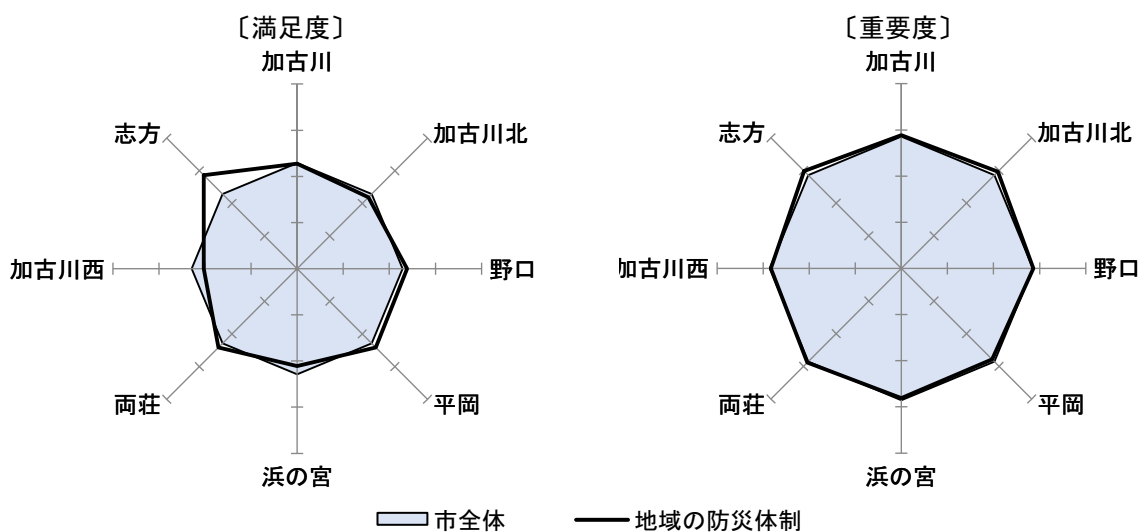
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20～30歳代、70歳以上の男女と、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、40歳代、60歳代の男女と、30歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



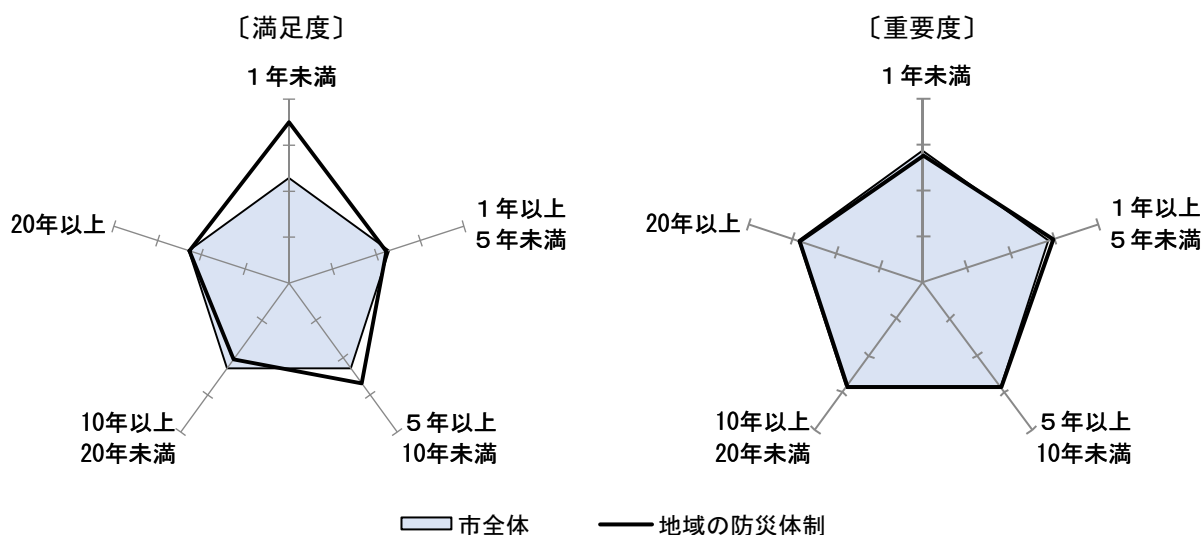
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口・平岡・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



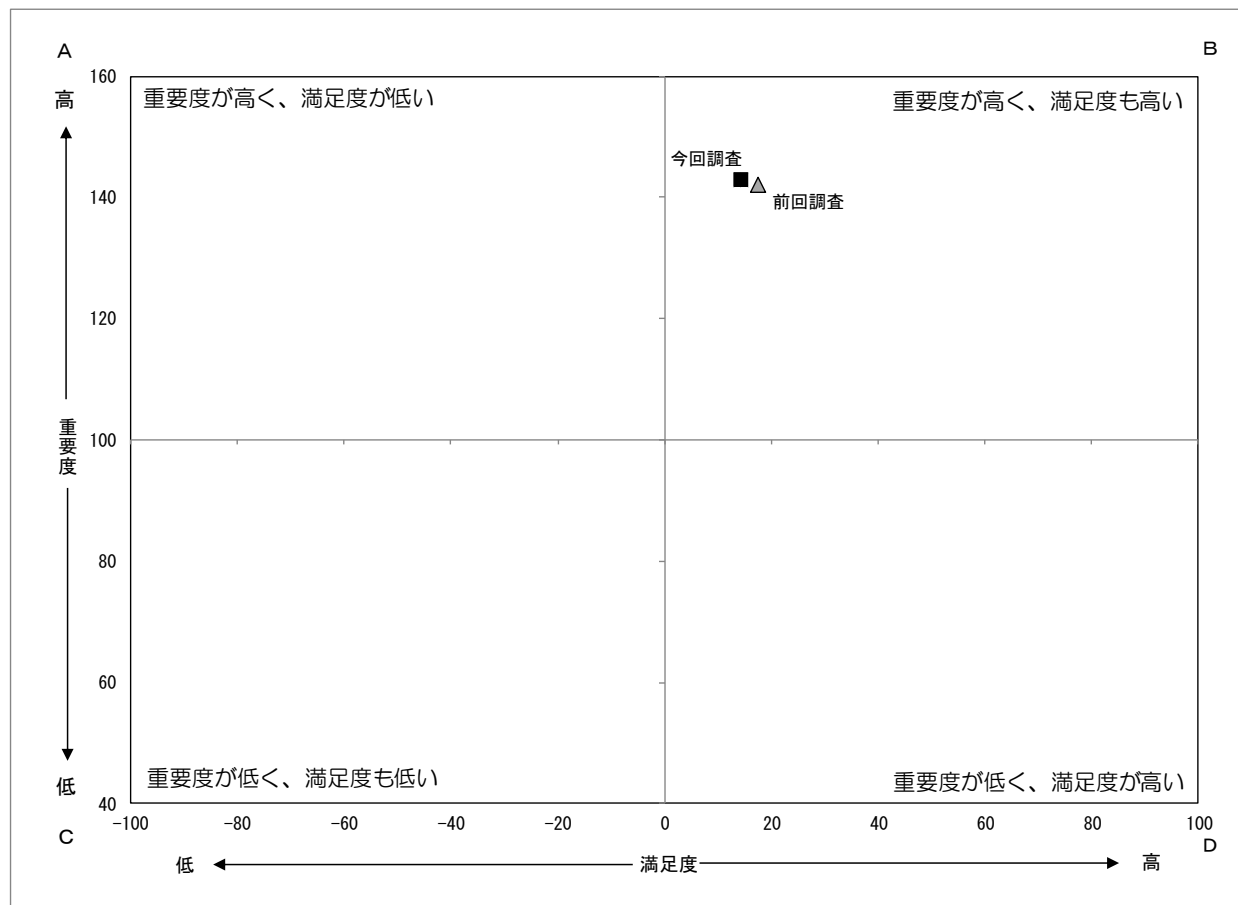
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

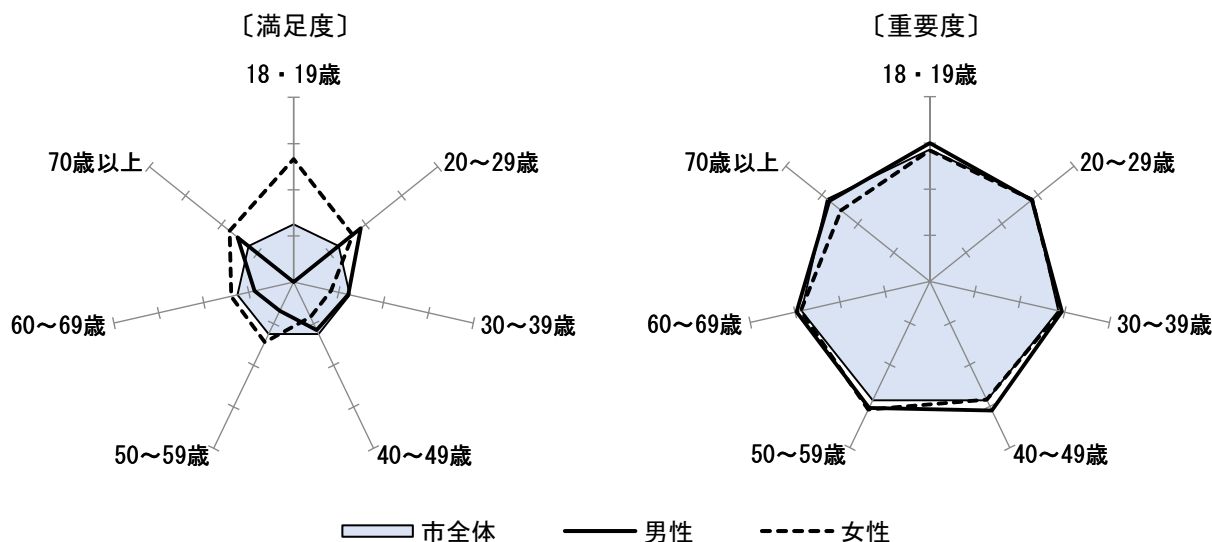


〔生活に身近な道路を整備する〕

（８）地域内の道路の安全性や便利さ

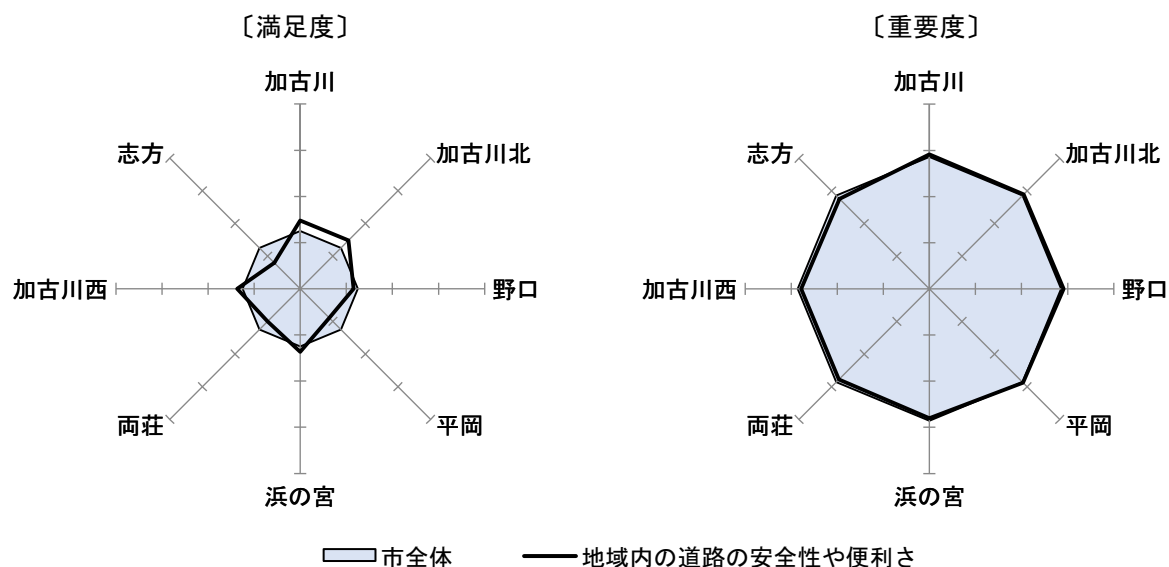
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代、50～60歳代の男女と、18・19歳、40歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



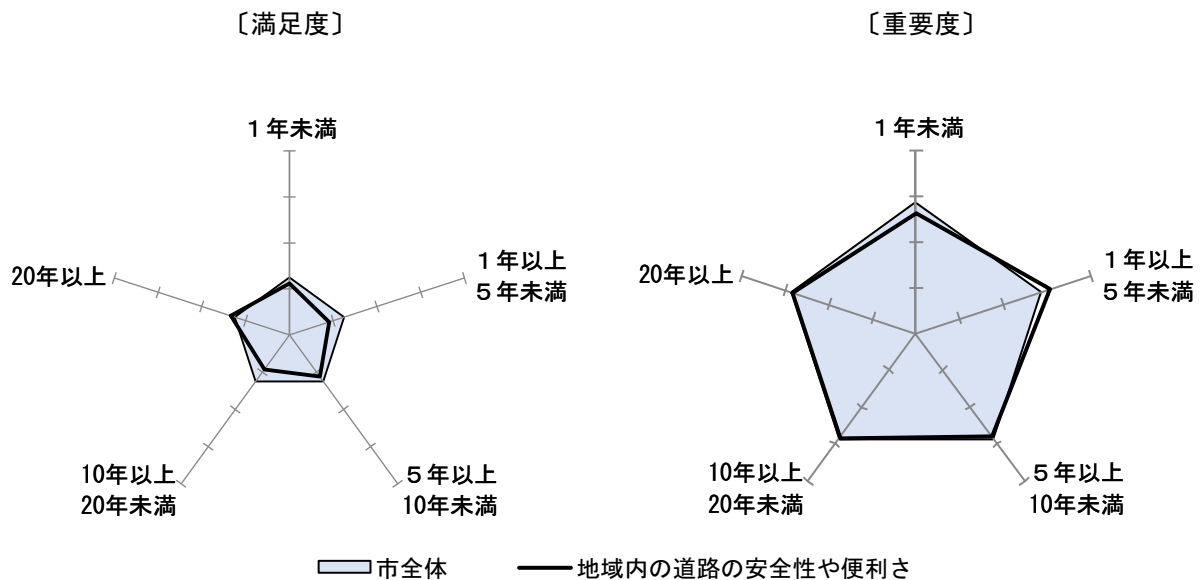
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・平岡地区で市全体平均より高くなっている。



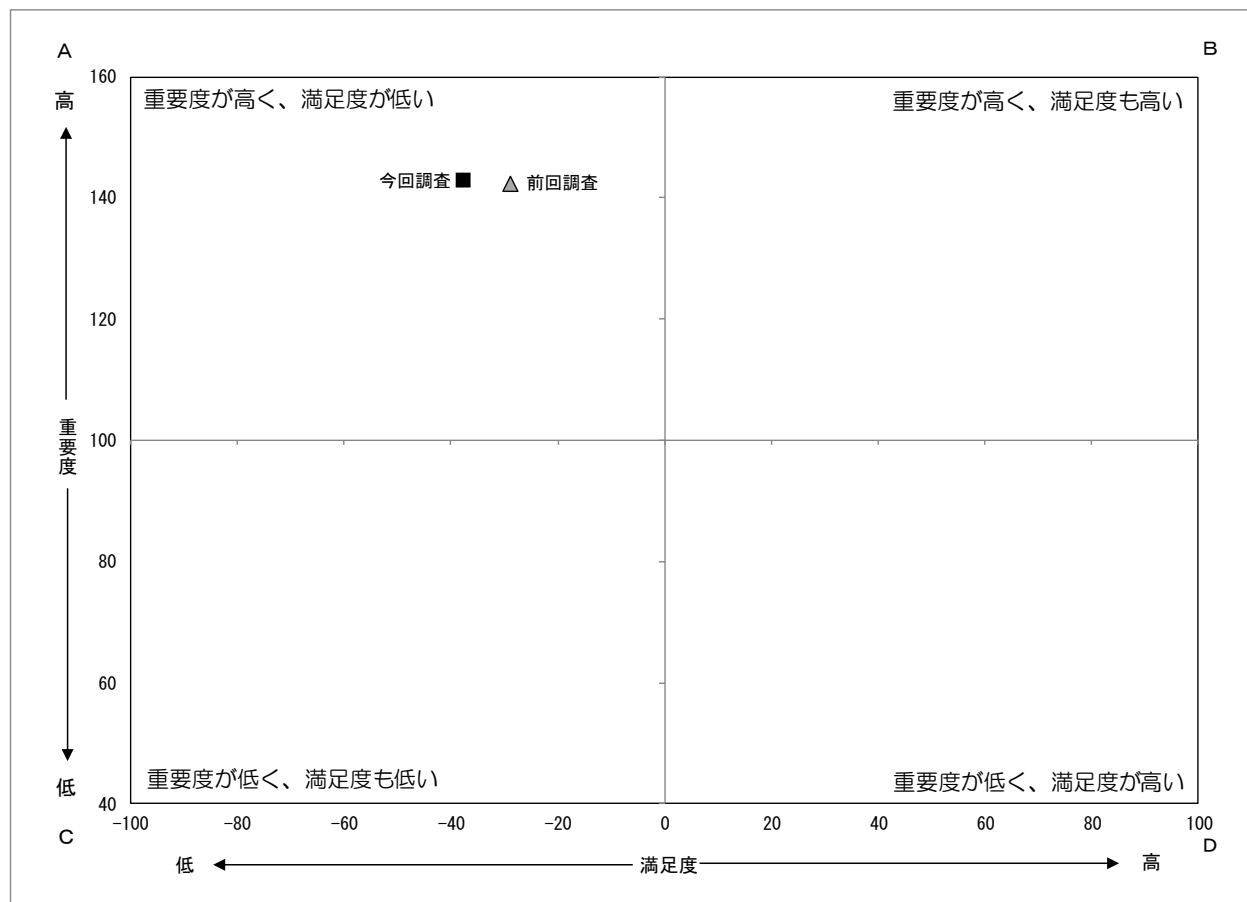
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

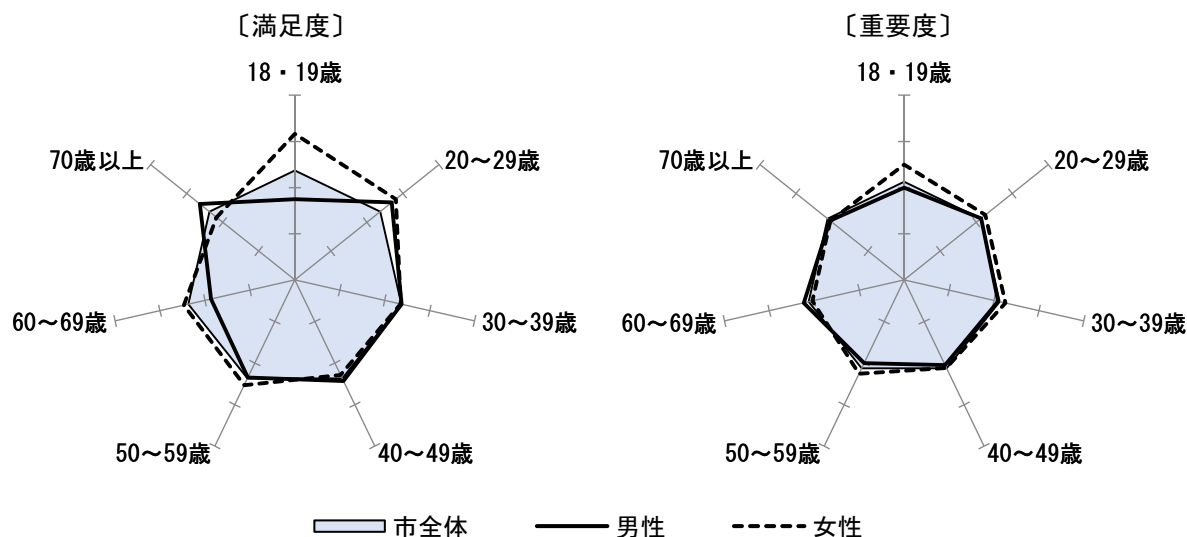


〔良質な住宅供給を促進する〕

（９）住宅の供給

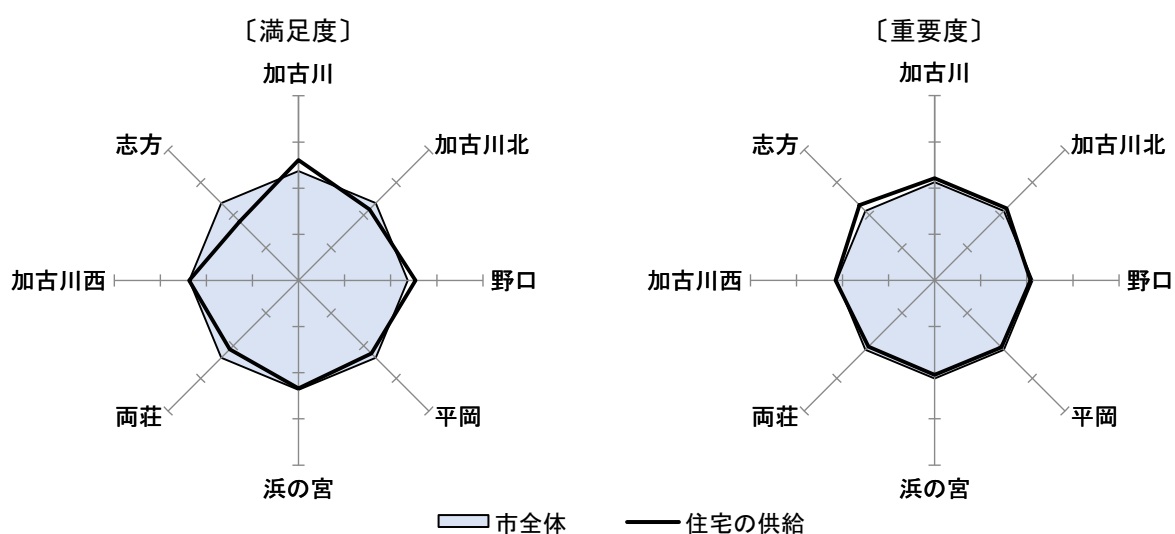
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代の男女と、30～40歳代、70歳以上の男性、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代の男女と、60歳代の男性、18・19歳、30歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



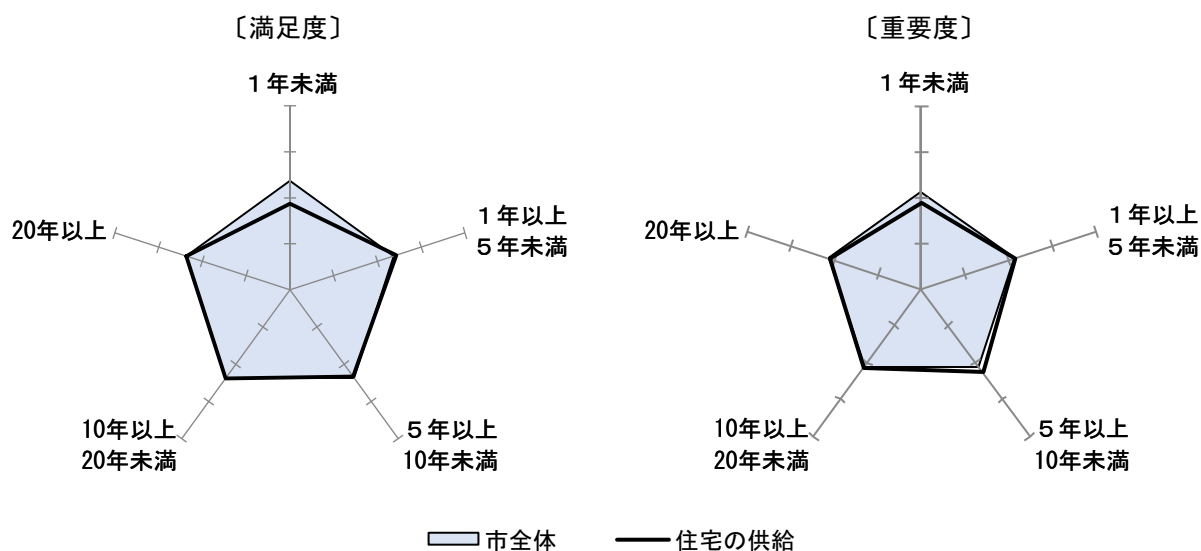
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



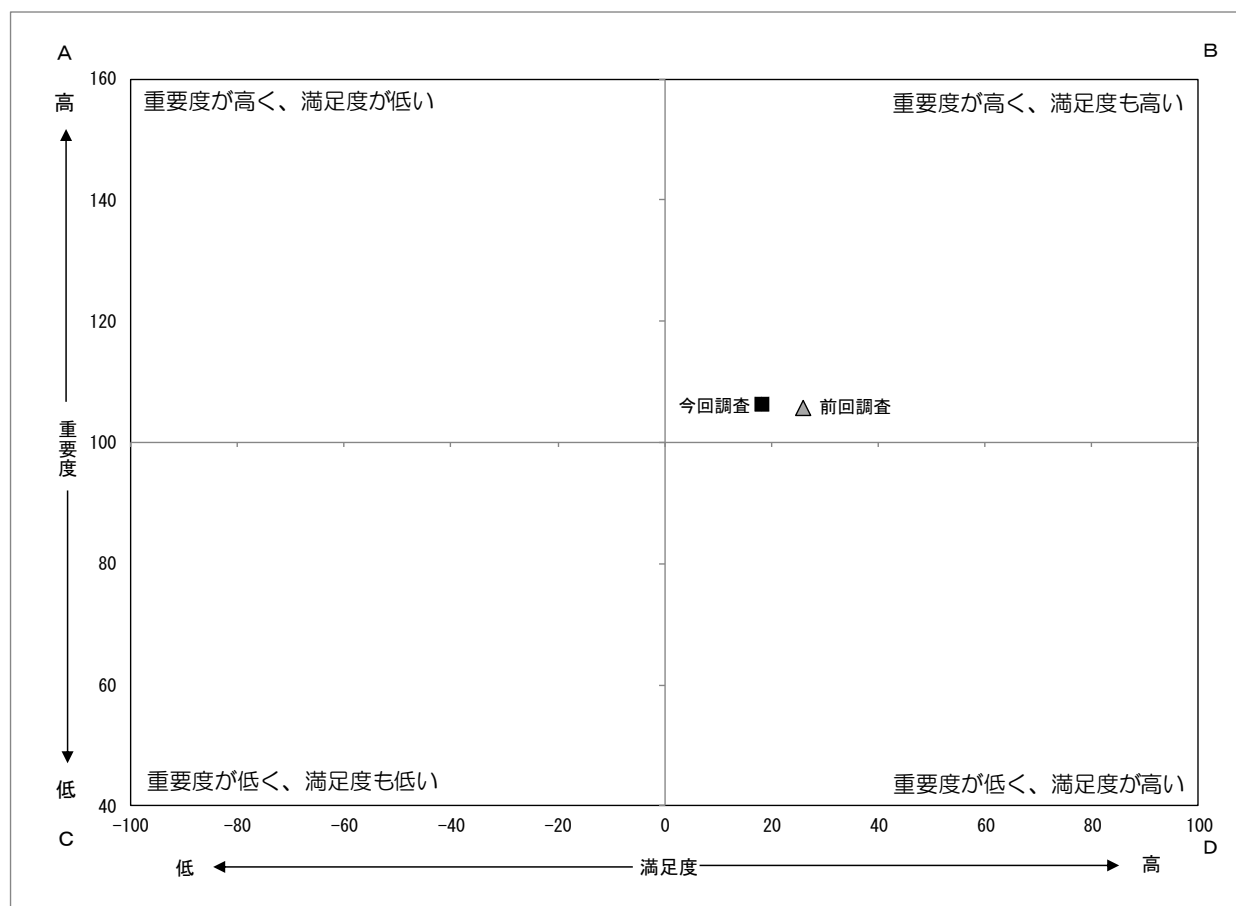
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

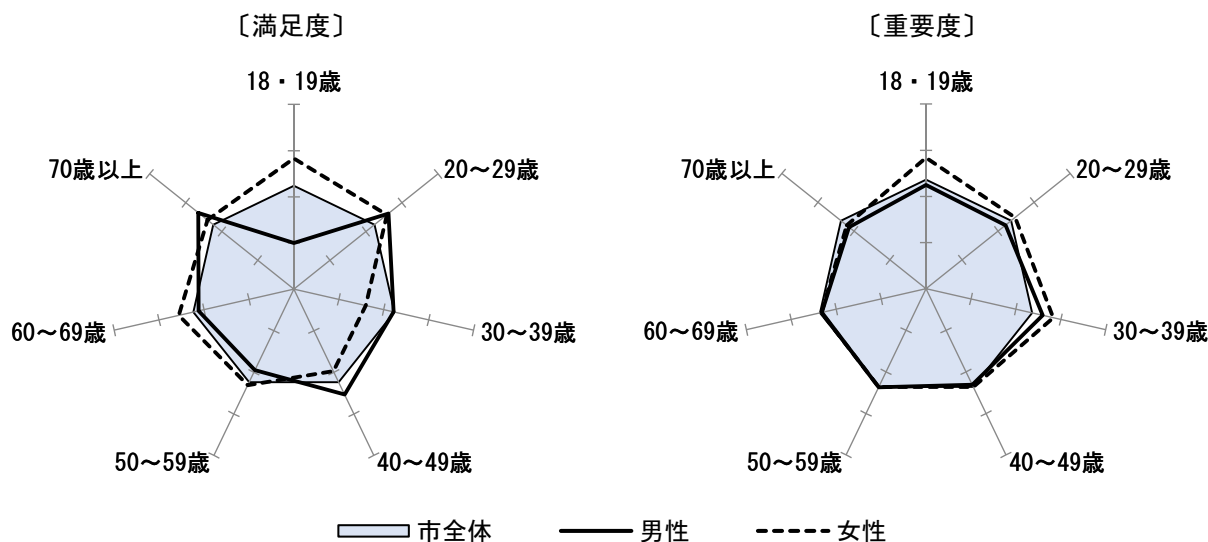


〔水と緑の空間を形成する〕

(10) 公園・緑地や水辺の整備

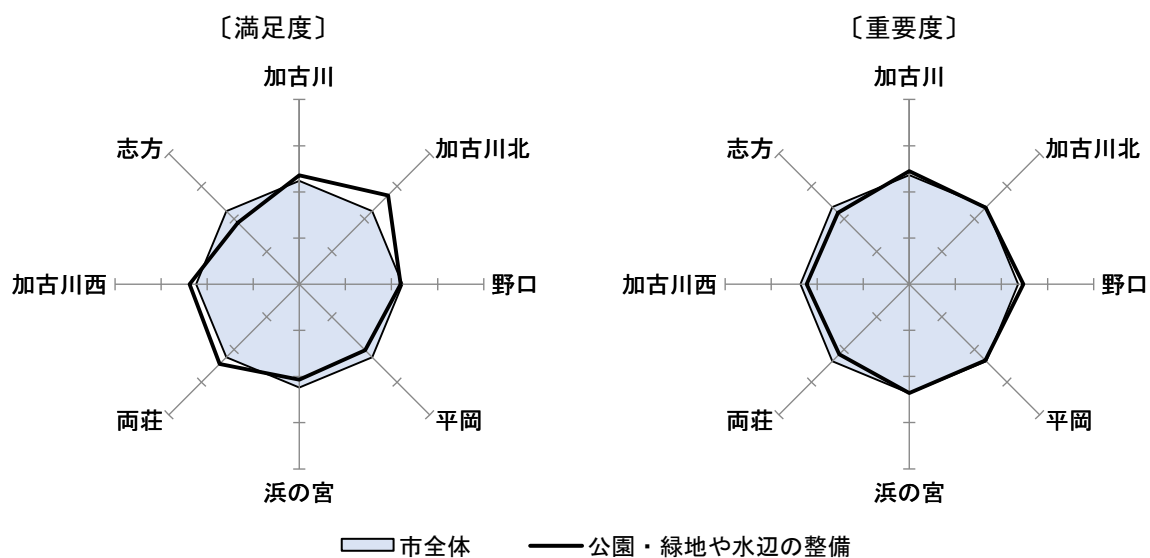
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、40歳代の男性、18・19歳、50～60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代、50歳代の男女と、18・19歳、20歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



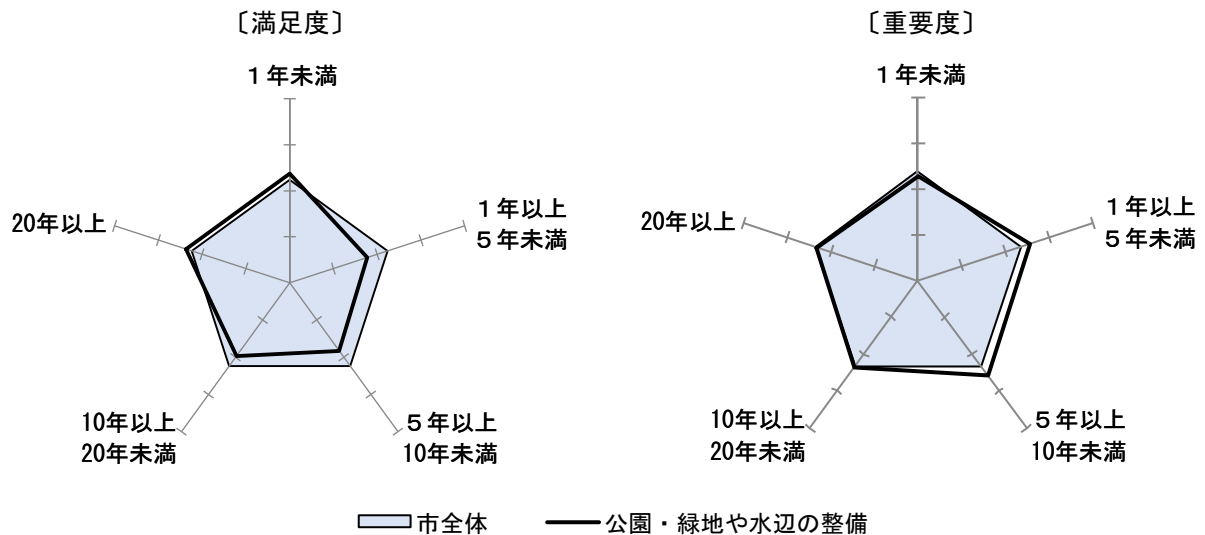
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口地区で市全体平均より高くなっている。



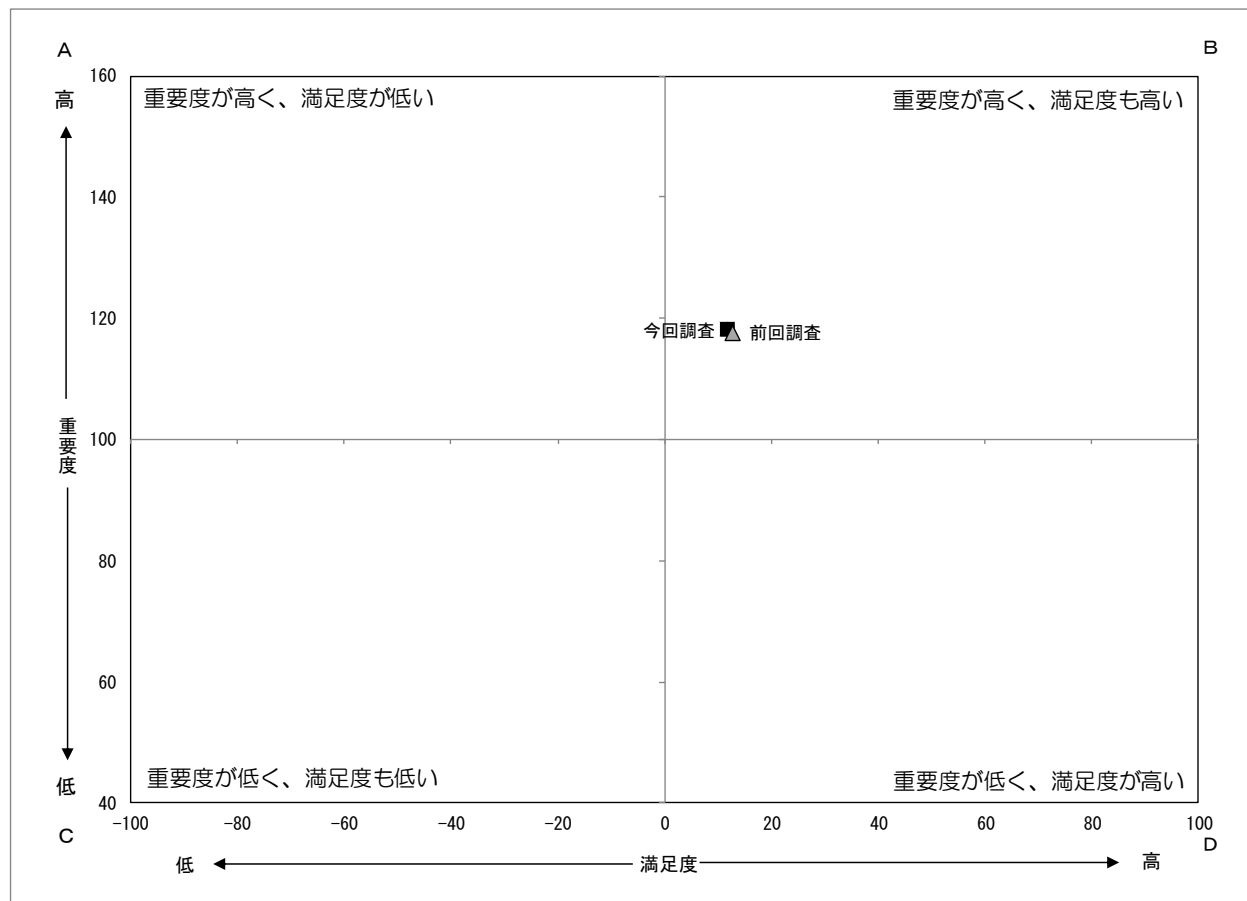
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

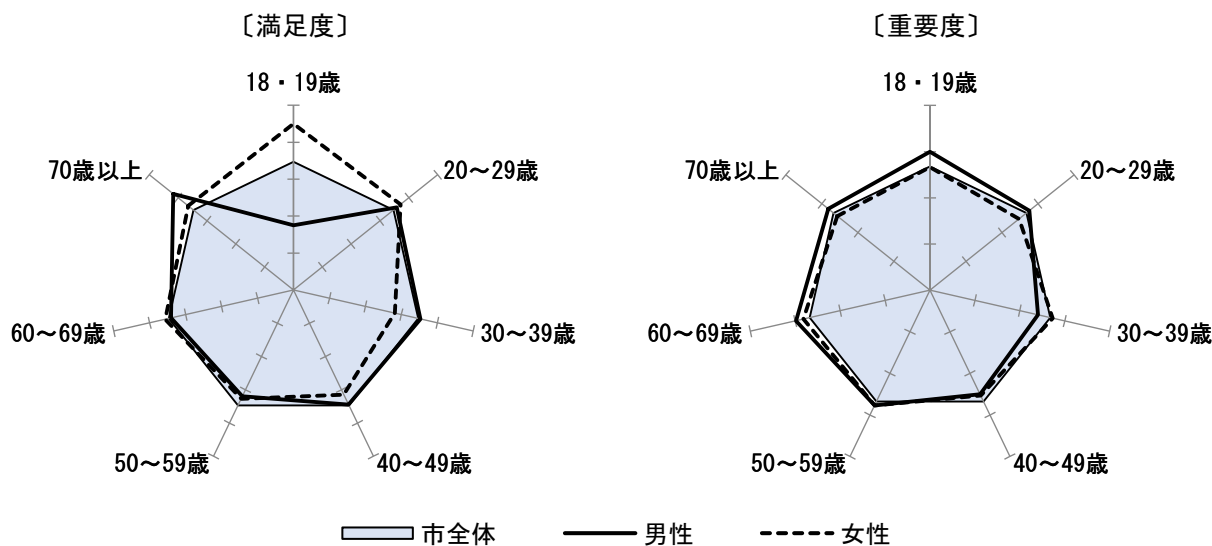


〔安全で良質な水道水を供給する〕

(11) 水道水の供給

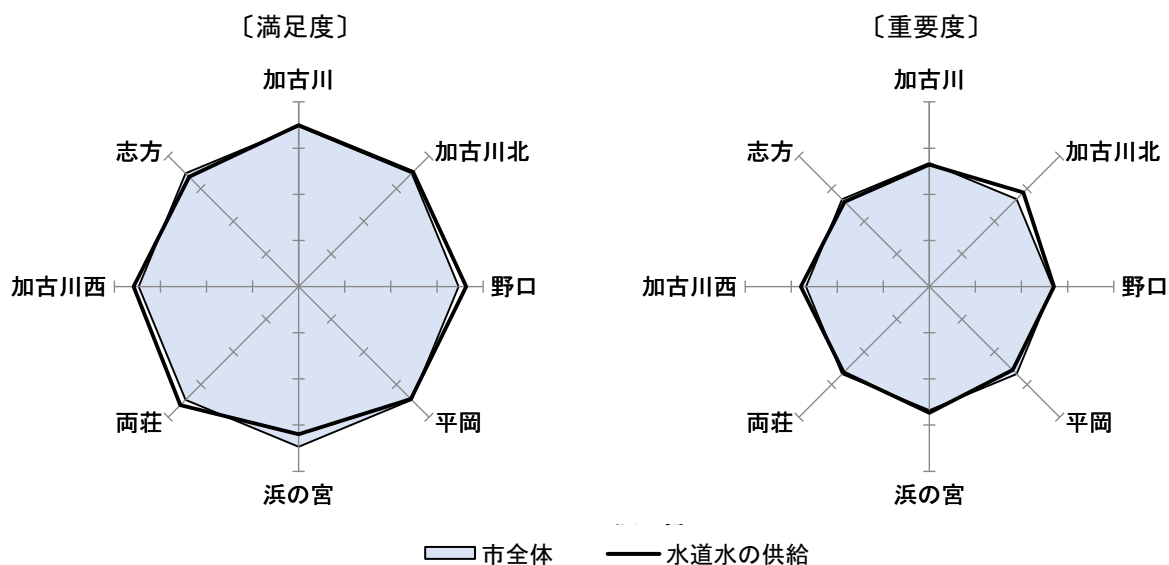
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50～60歳代の男女と、18・19歳、20歳代、70歳以上の男性、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



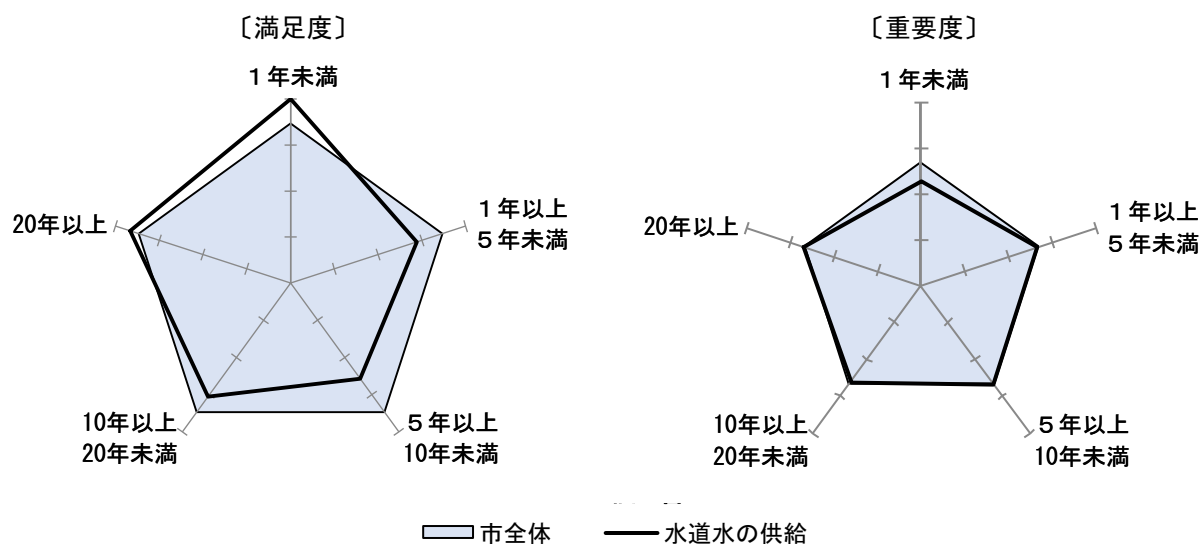
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北・野口・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。



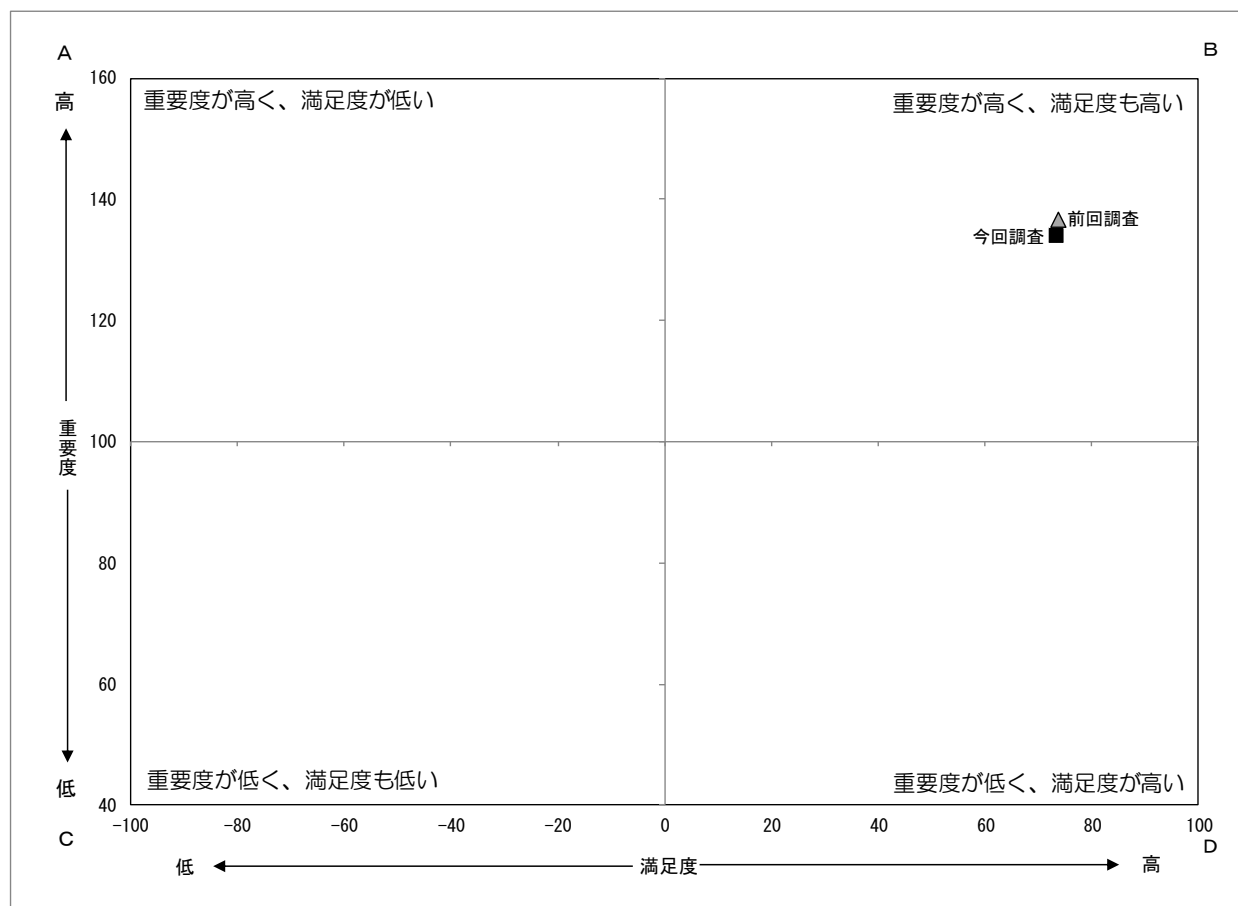
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。

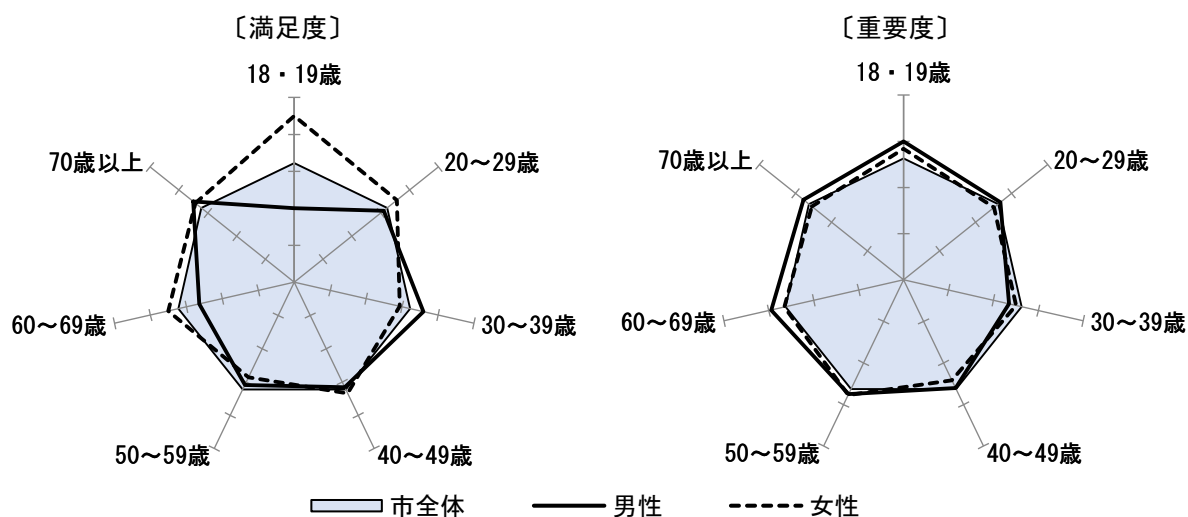


〔雨水・汚水を適切に処理する〕

(12) 下水道の整備

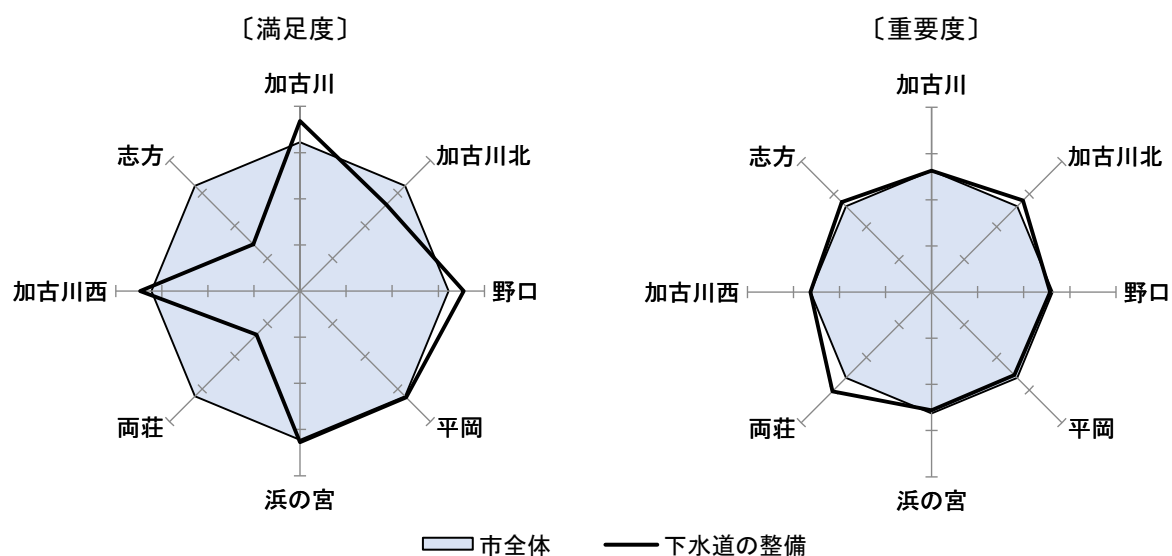
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、30歳代の男性、18・19歳、20歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50～60歳代の男女と、20歳代、70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。



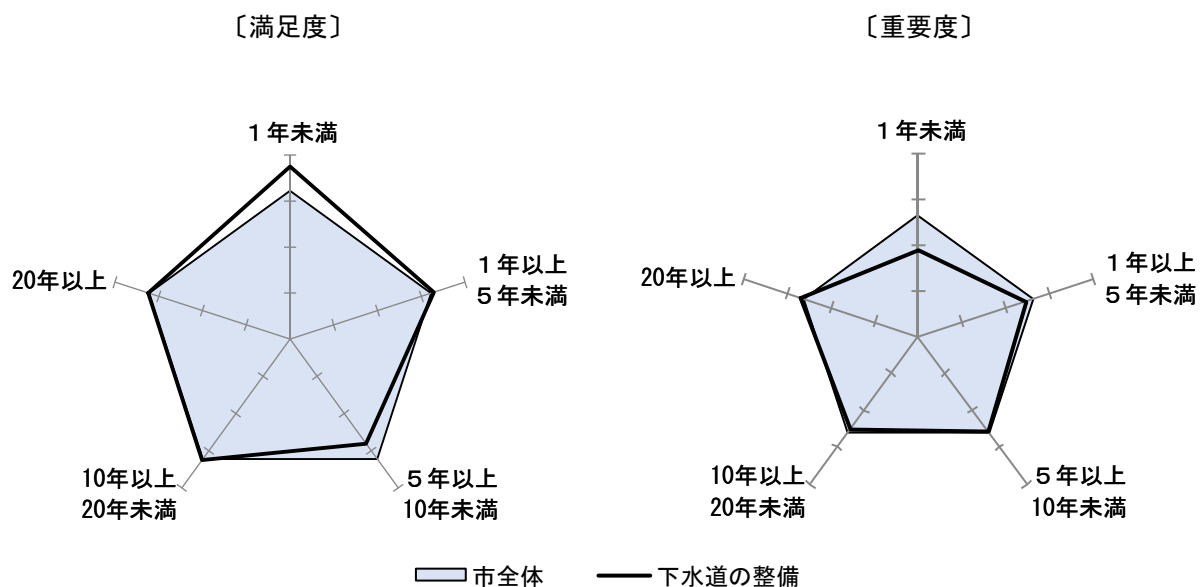
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・野口・平岡・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。



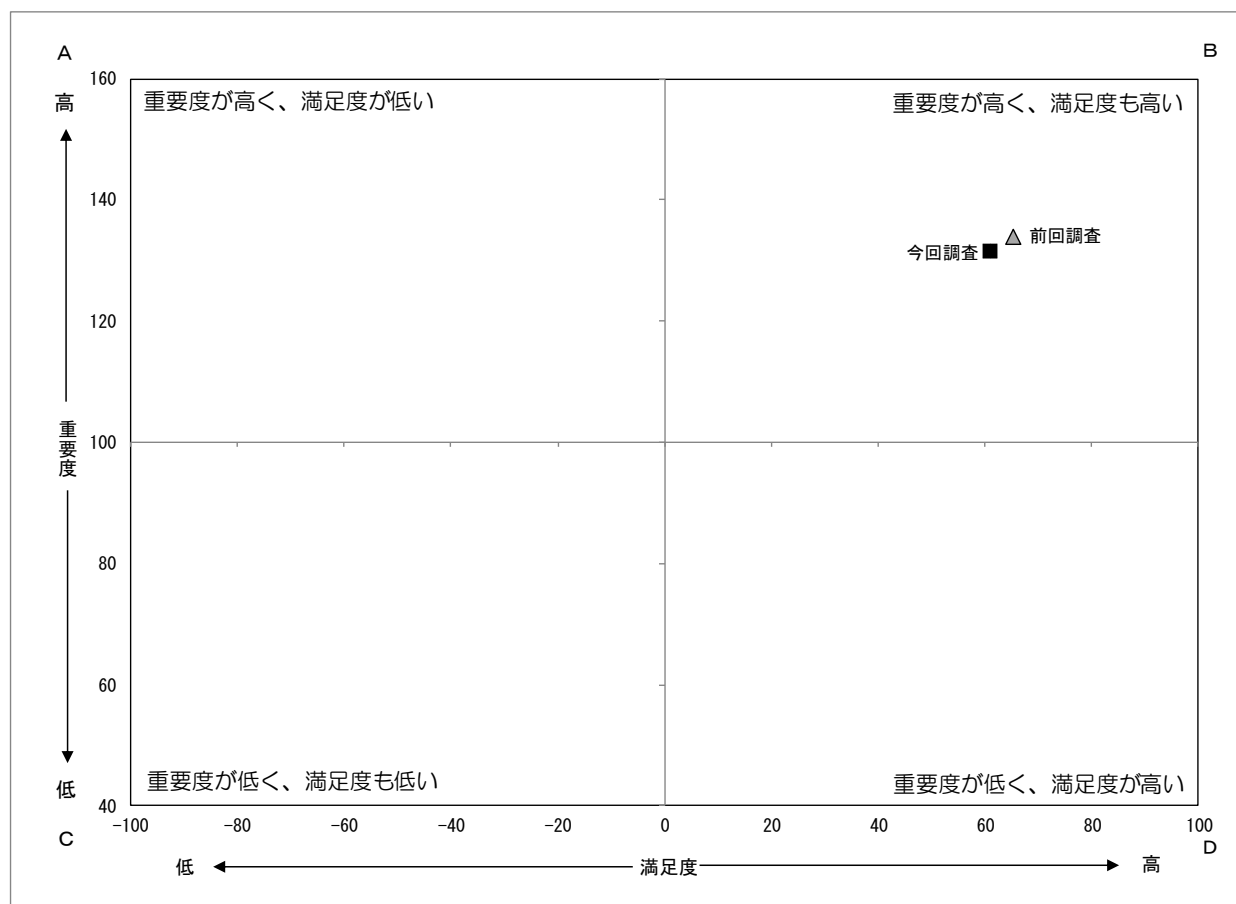
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“10年以上20年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

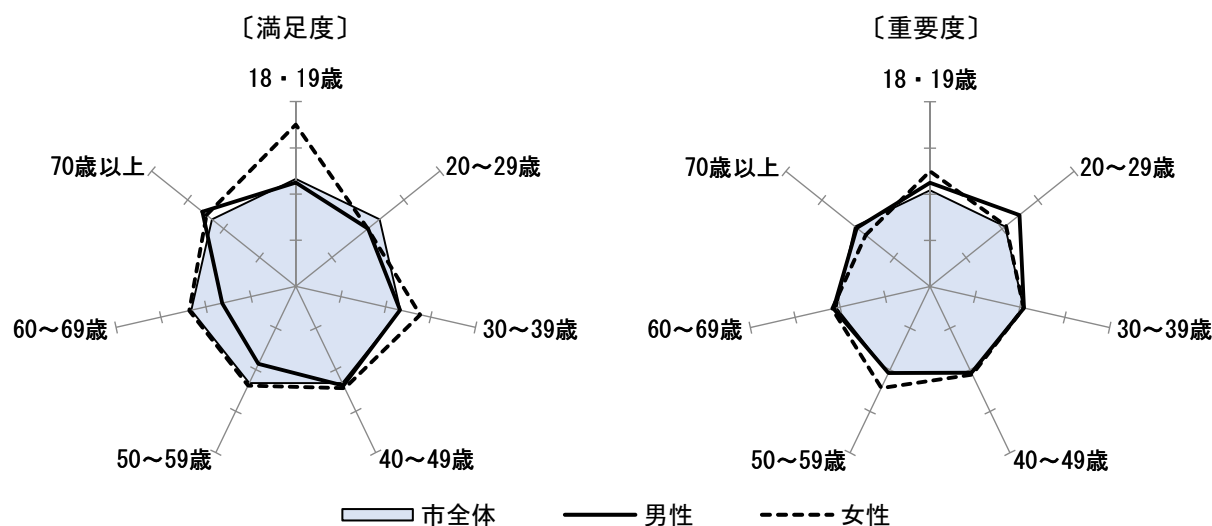


〔地域の情報化を推進する〕

(13) ICT（情報通信技術）を活用した地域の情報化

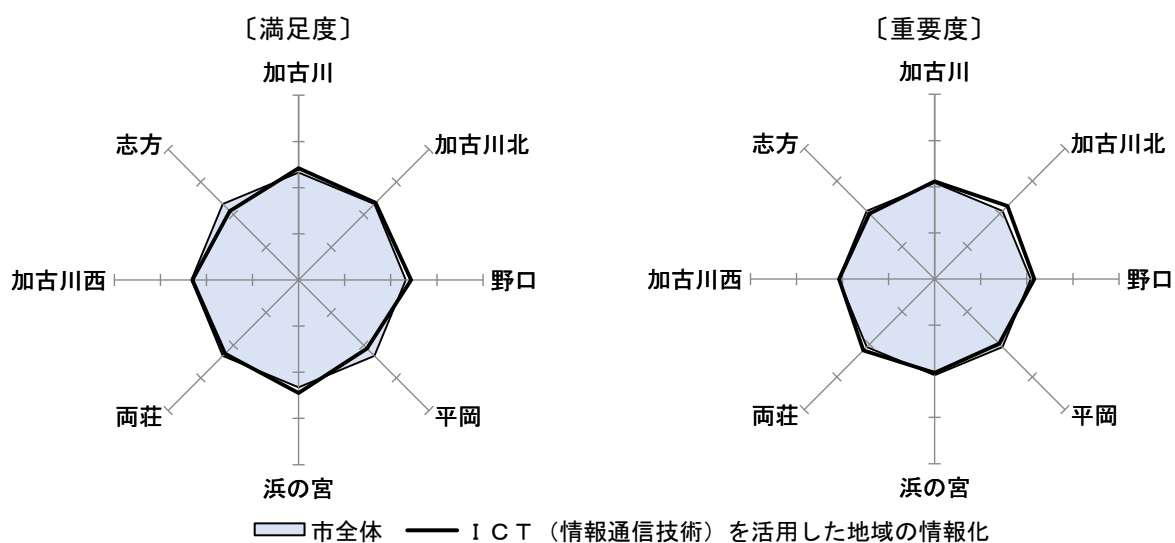
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、40歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代、50～60歳の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、60歳代の男女と、30歳代の男性、40～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



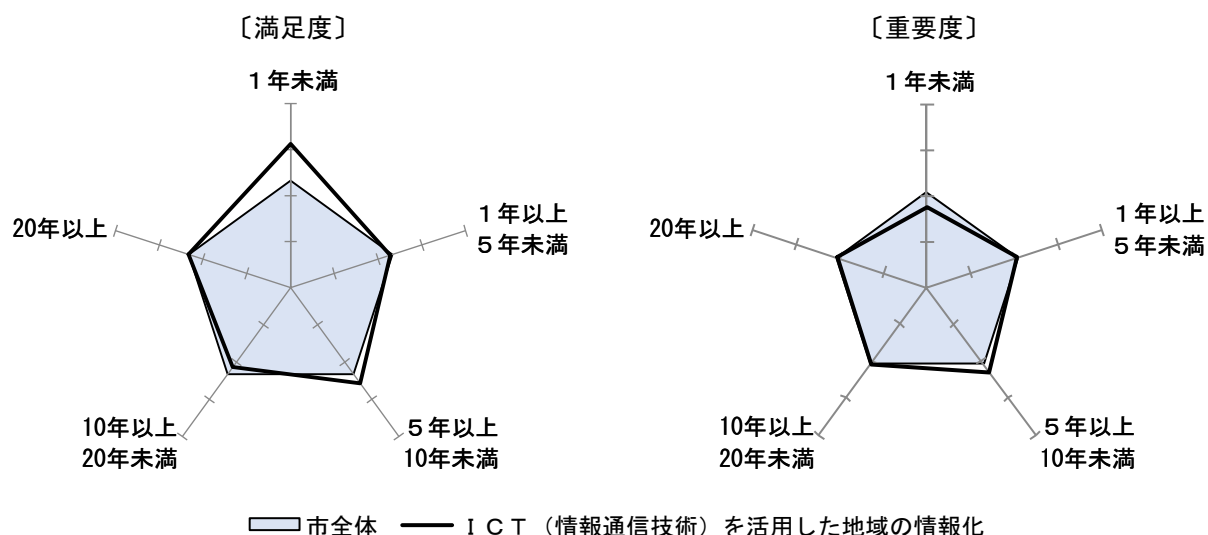
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・浜の宮地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘地区で市全体平均より高くなっている。



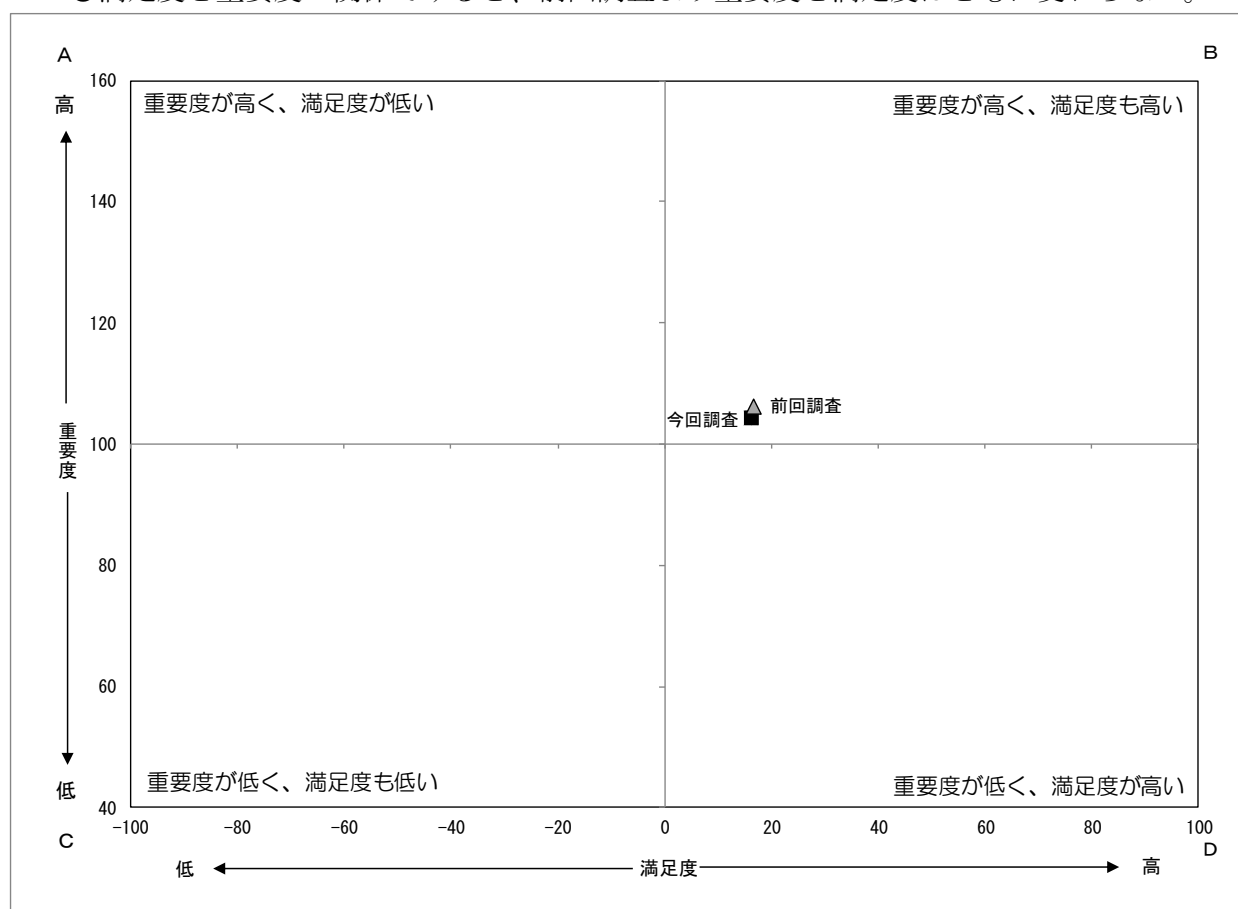
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

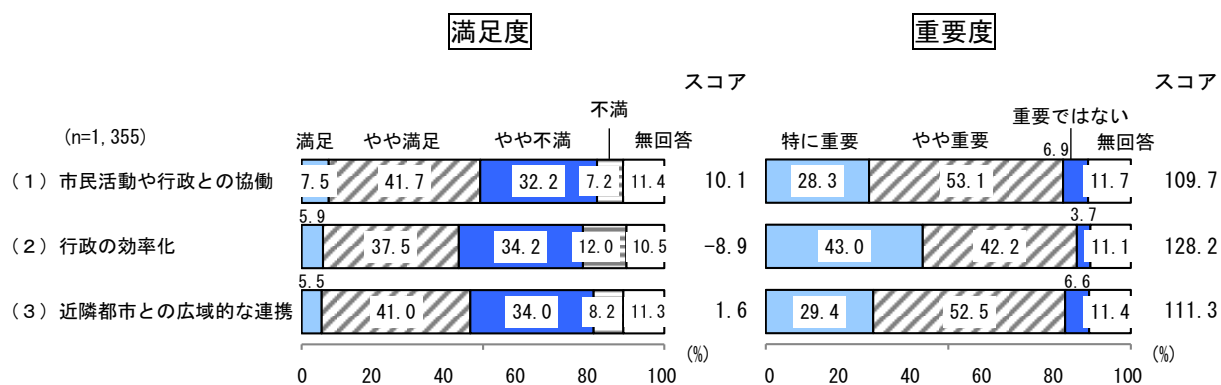
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度と満足度はともに変わらない。



3-6 まちづくりの進め方

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は“(1) 市民活動や行政との協働”、次いで“(3) 近隣都市との広域的な連携”、“(2) 行政の効率化”となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は“(2) 行政の効率化”、次いで“(3) 近隣都市との広域的な連携”、“(1) 市民活動や行政との協働”となっている。

《全体》



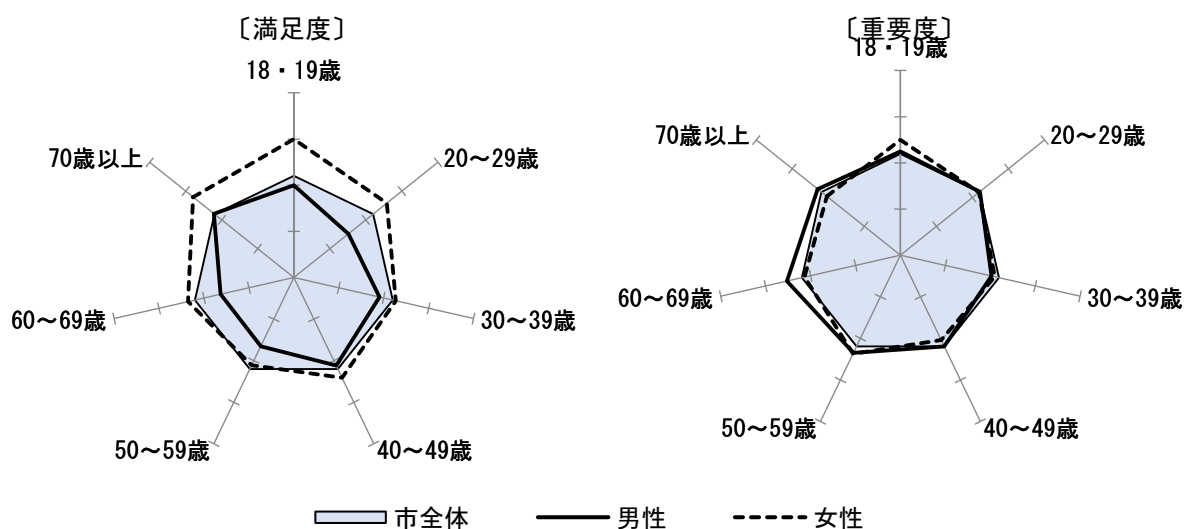
まちづくりの進め方

〔市民と行政との協働によるまちづくり〕

（１）市民活動や行政との協働

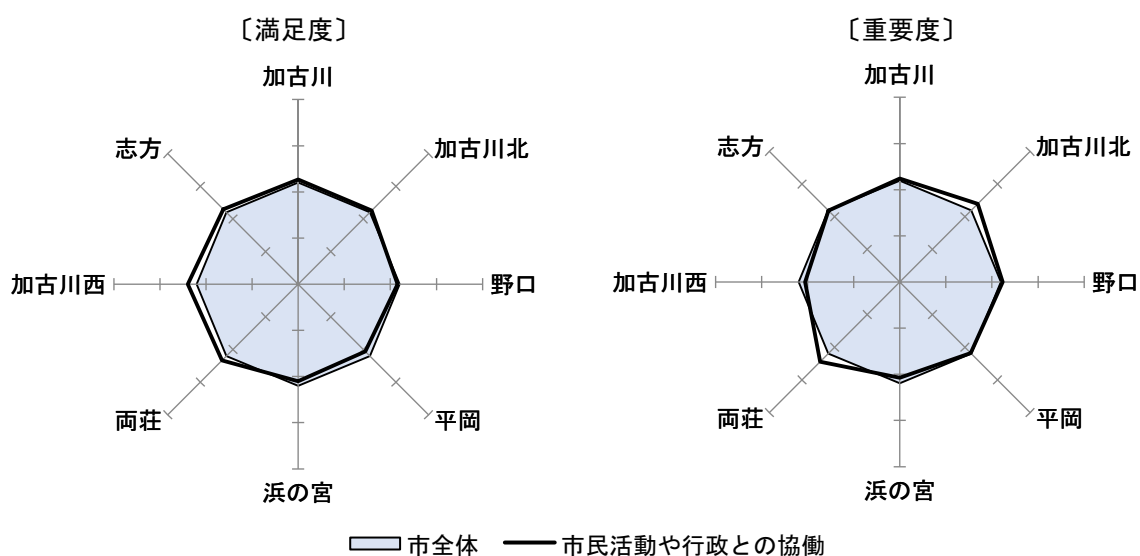
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20～40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、20歳代、60～70歳以上の男性で市全体平均より高くなっている。



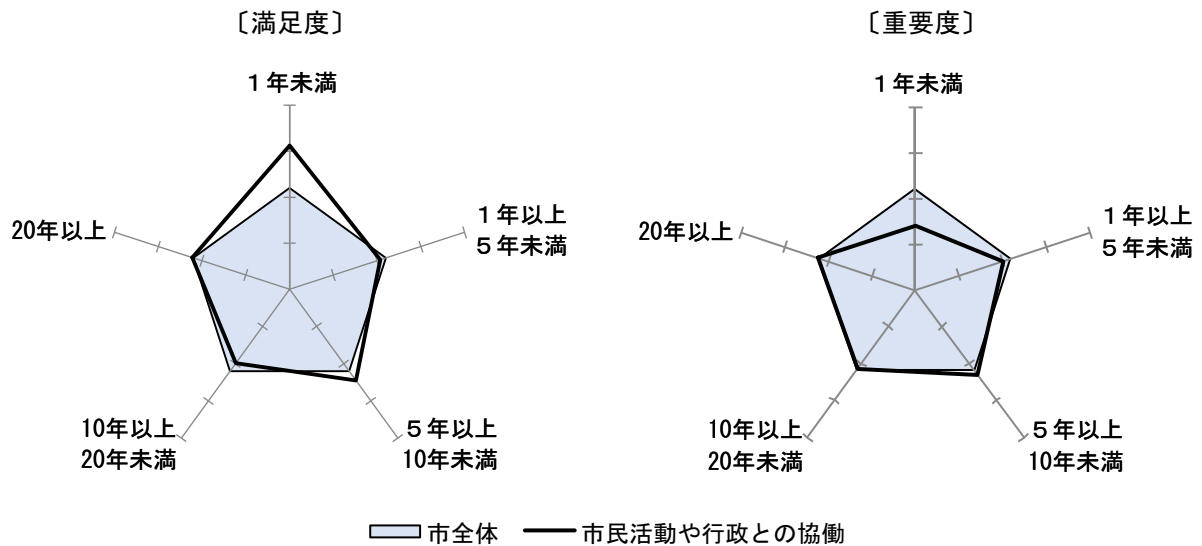
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・両荘・加古川西・志方地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・野口・両荘地区で市全体平均より高くなっている。



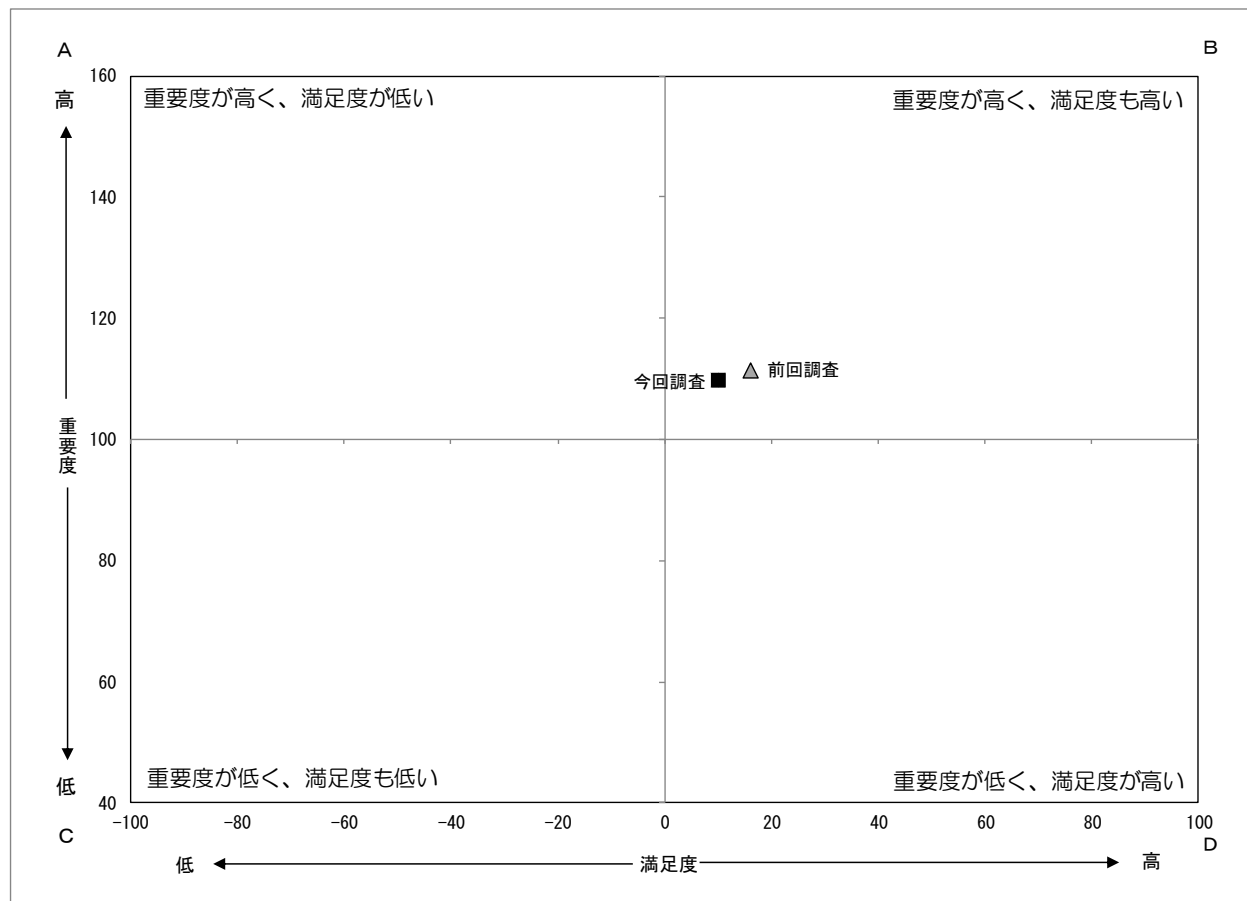
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。

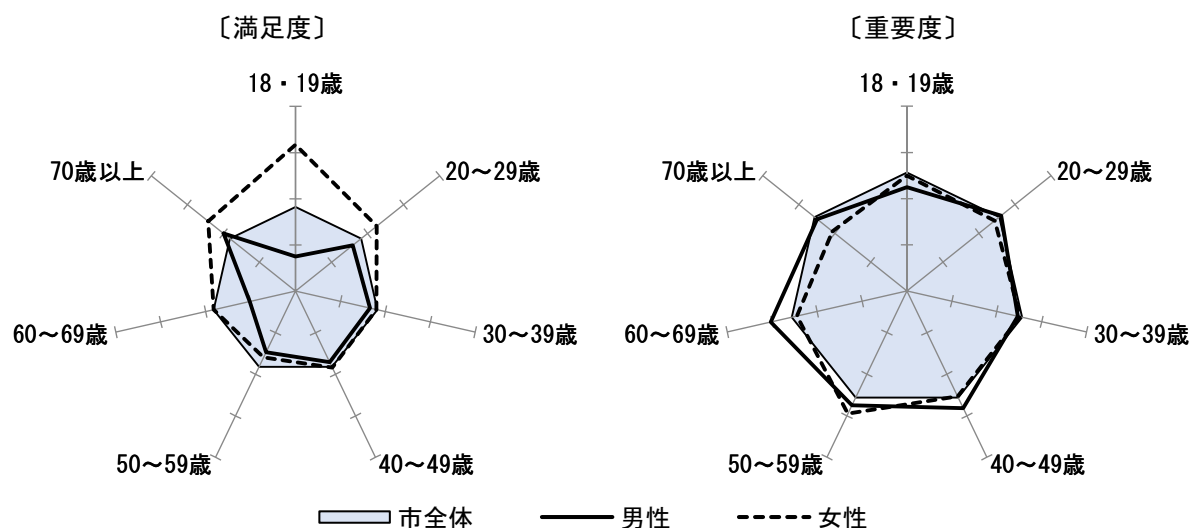


〔効果的・効率的に進めるまちづくり〕

（２）行政の効率化

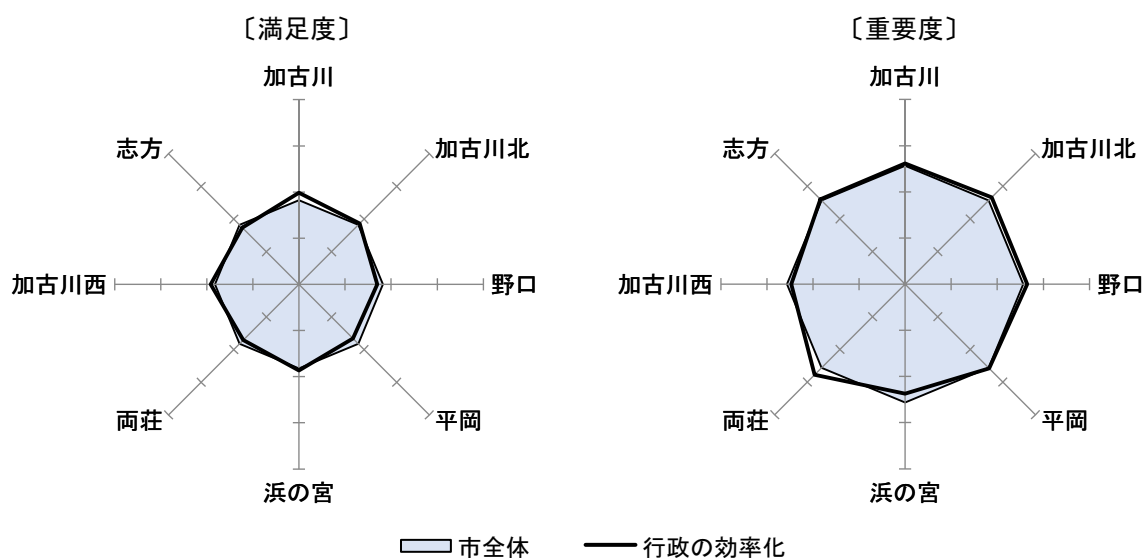
《性年代別》

- 満足度を性年代別で見ると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別で見ると、50歳代の男女と、20歳代、40歳代、60歳代の男性で市全体平均より高くなっている。



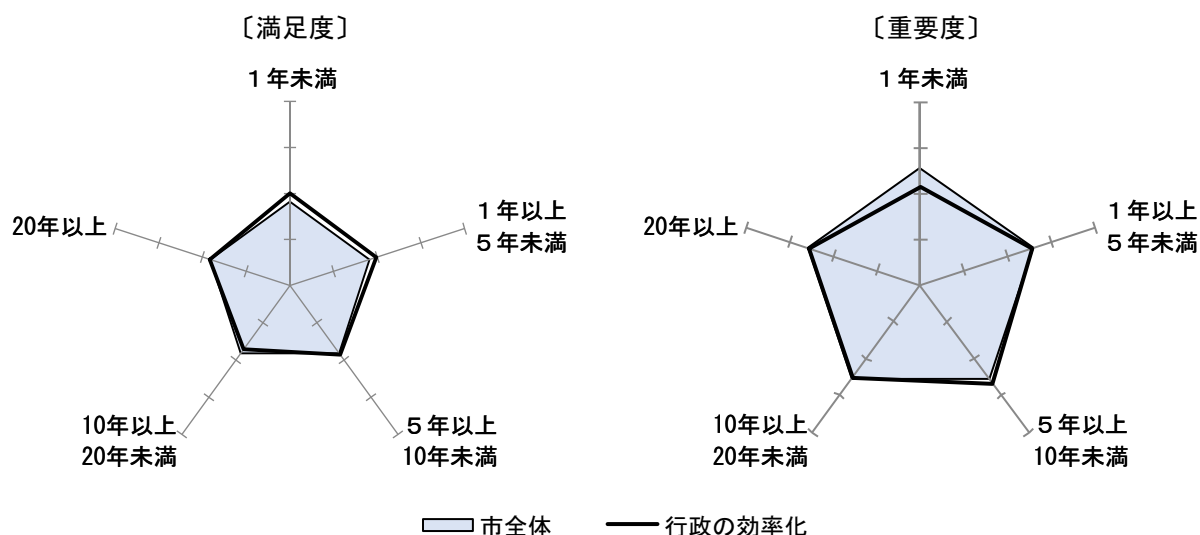
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別で見ると、加古川・加古川北・野口・平岡・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



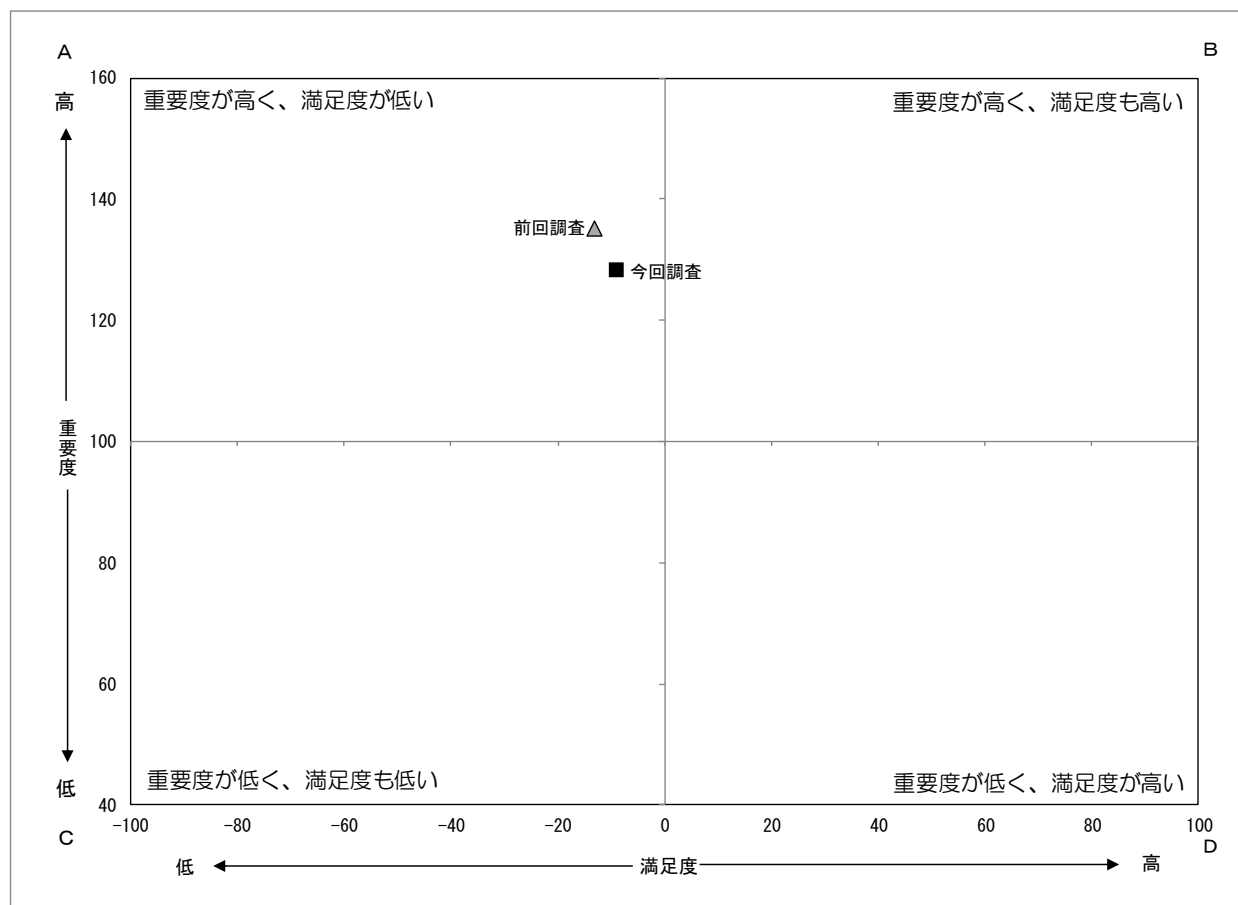
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“5年以上10年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は低くなり、満足度は高くなっている。

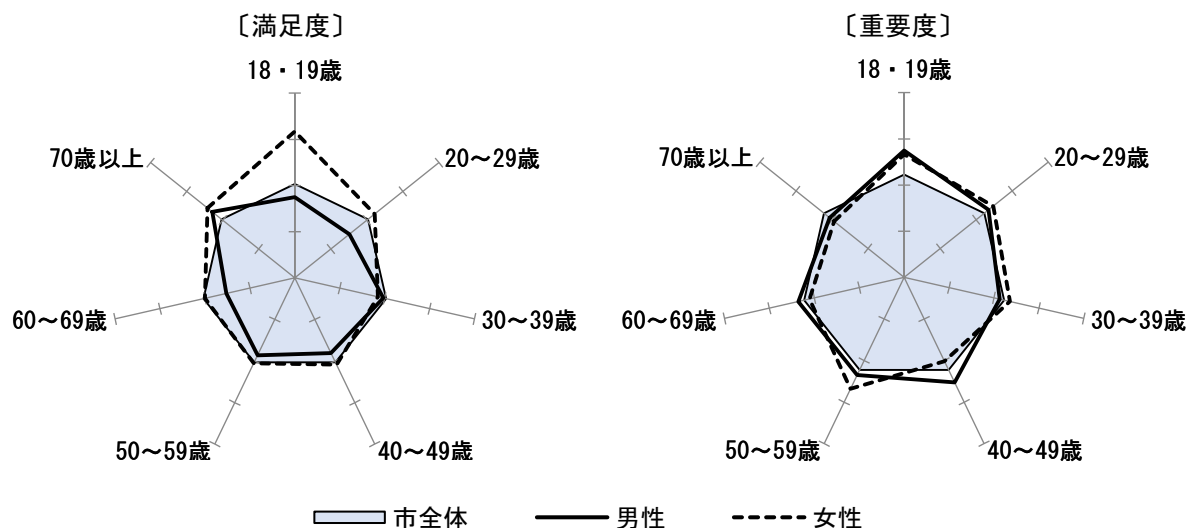


〔広域的な都市間連携によるまちづくり〕

（３）近隣都市との広域的な連携

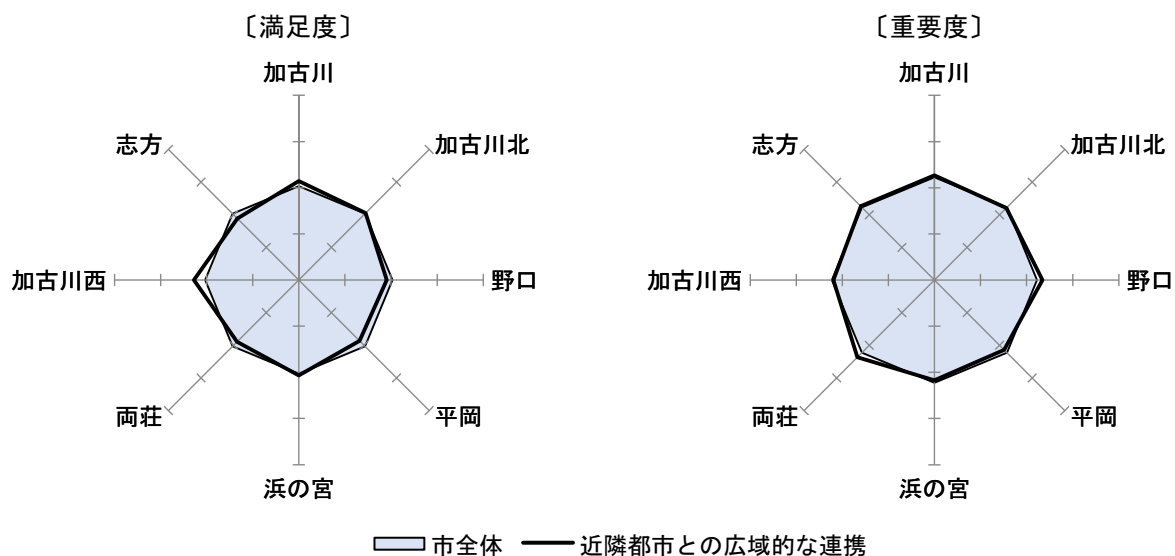
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、40～50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、50歳代の男女と、40歳代、60歳代の男性、30歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



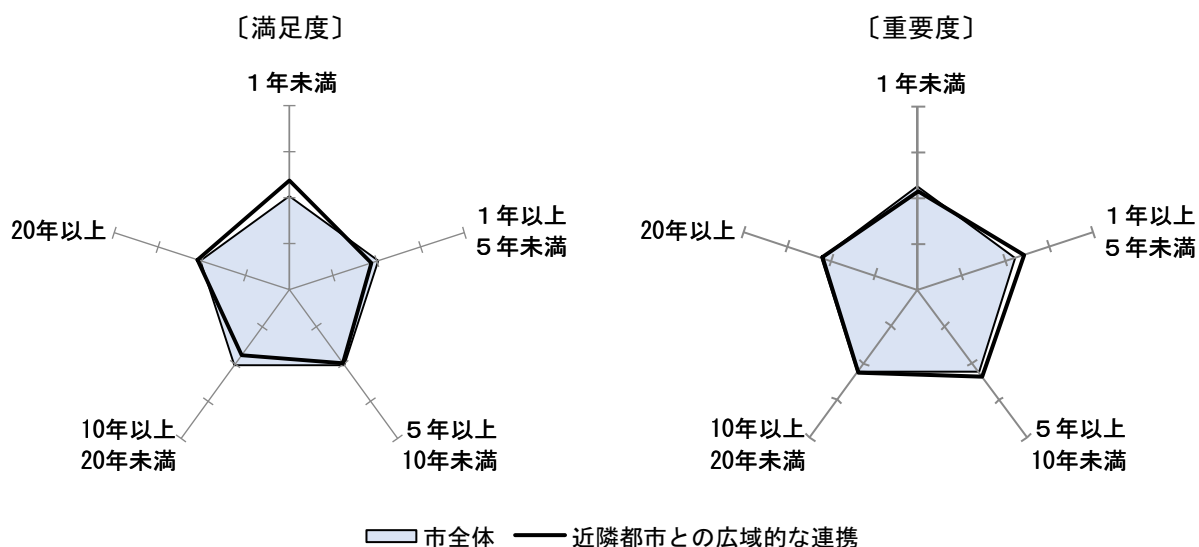
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川・加古川北・浜の宮・加古川西地区で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川・野口・両荘・志方地区で市全体平均より高くなっている。



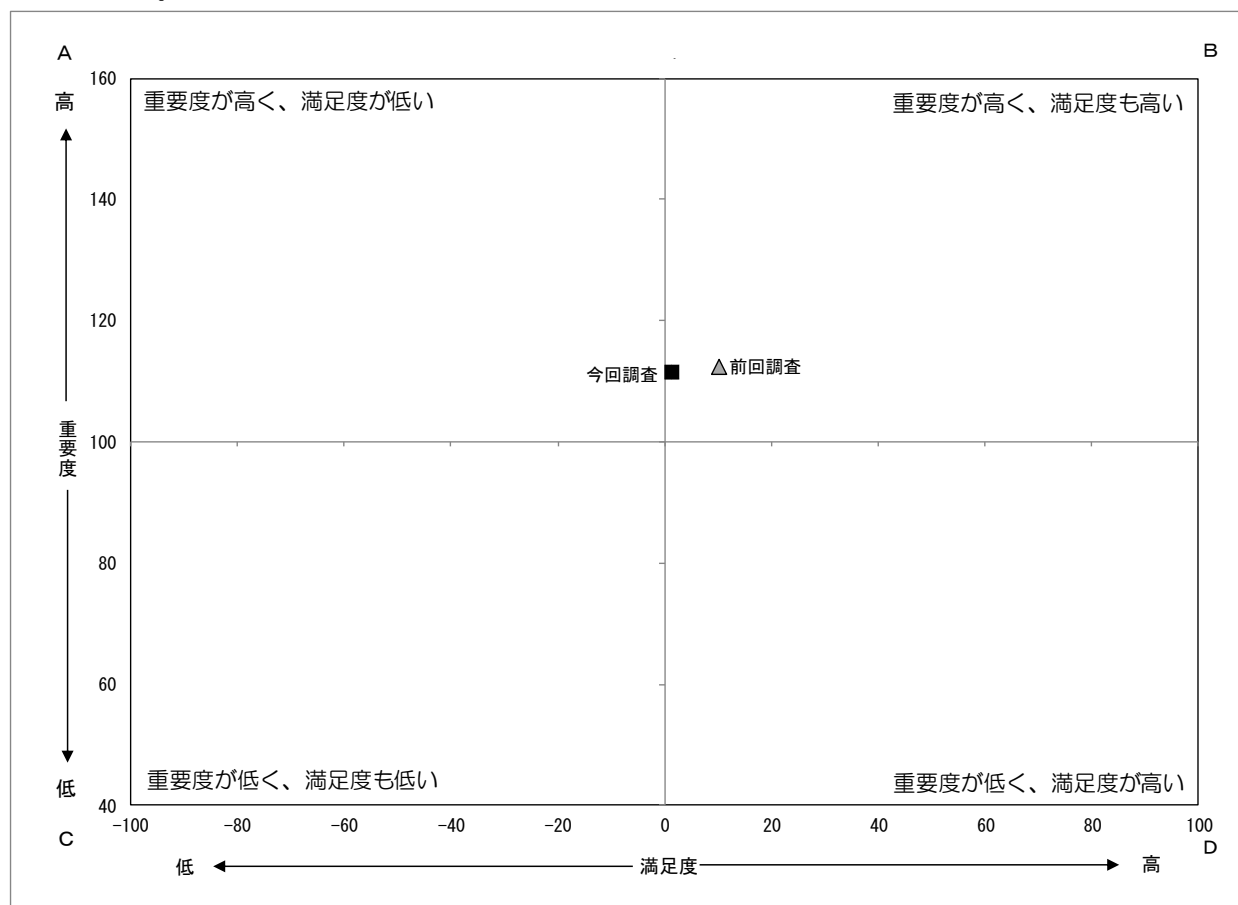
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、“1年未満”、“20年以上”で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、“1年以上5年未満”、“5年以上10年未満”、“10年以上20年未満”で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

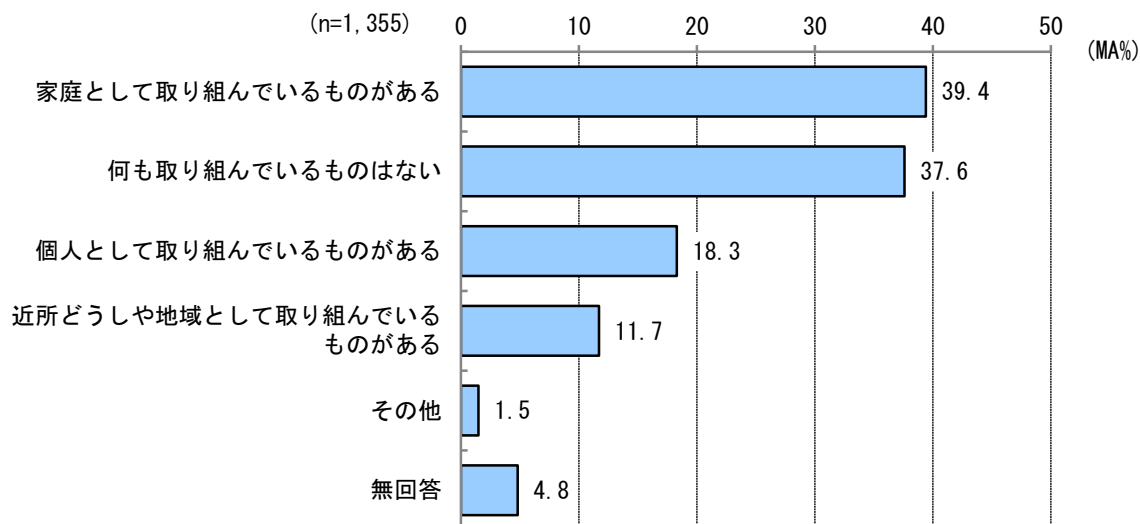
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より重要度は変わらず、満足度は低くなっている。



4. 「防災」対策として地域等で取り組んでいること

問4 「防災」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

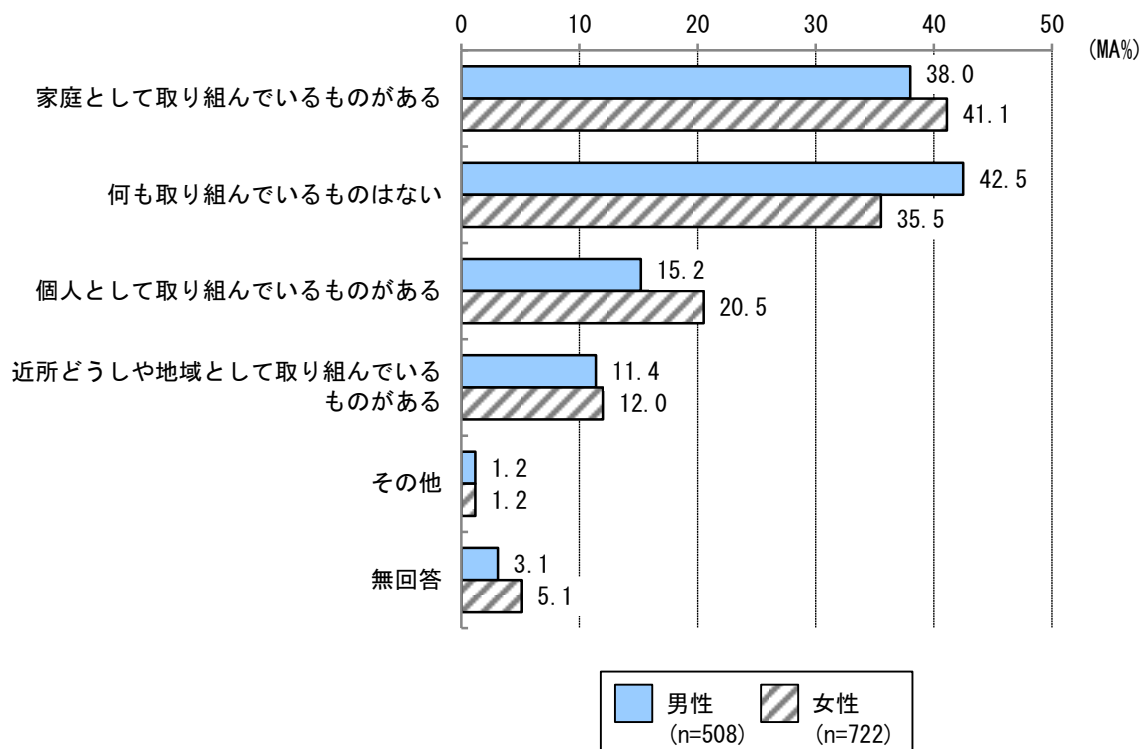
【図4 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



- 「防災」対策として地域等で取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が39.4%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が37.6%、「個人として取り組んでいるものがある」が18.3%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が11.7%となっている。(図4)

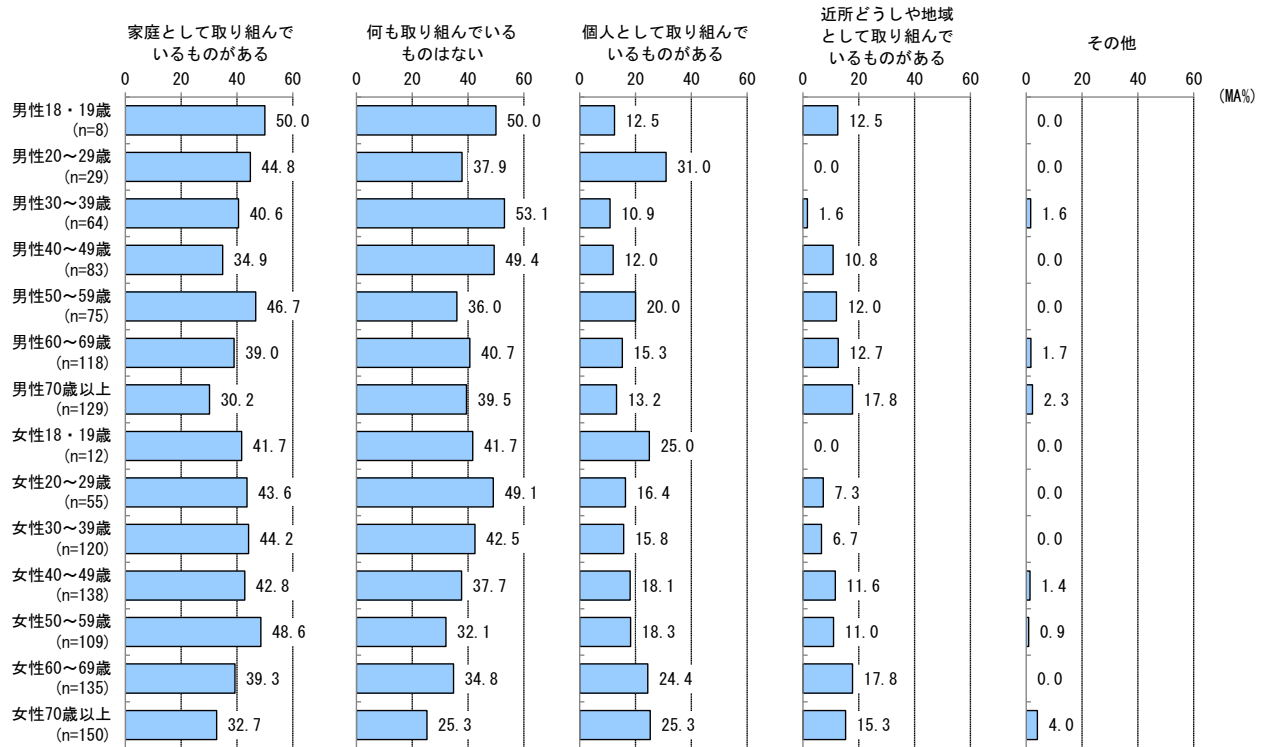
- 性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が42.5%と最も高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が41.1%と最も高くなっている。(図4-1)

【図4-1 性別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



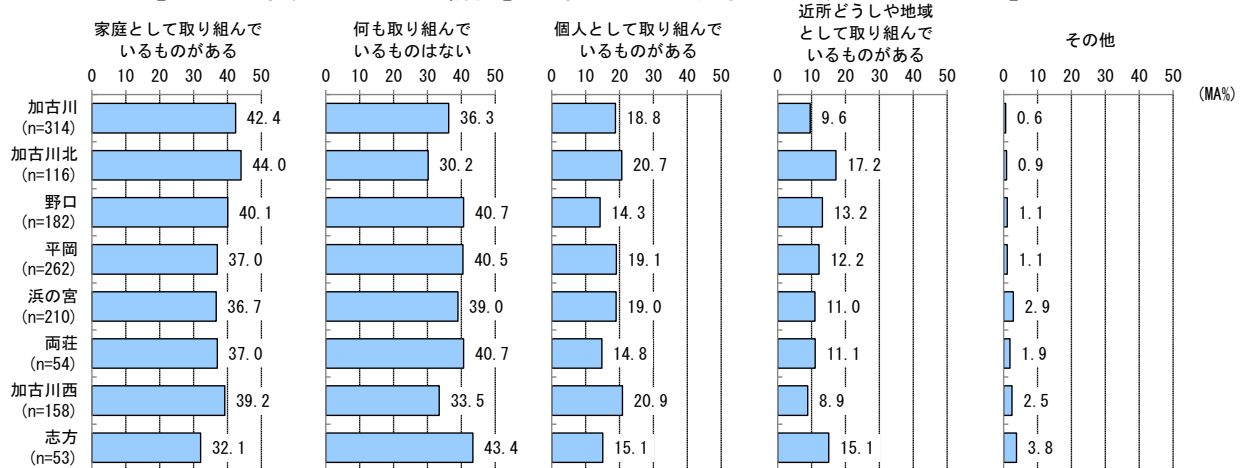
- 性年代別でみると、男性18・19歳では「家庭として取り組んでいるものがある」と「何も取り組んでいるものはない」が50.0%と最も高く、男性20～29歳、男性50～59歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ44.8%、46.7%、44.2%、42.8%、48.6%、39.3%、32.7%と最も高く、男性30～39歳、男性40～49歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ53.1%、49.4%、40.7%、39.5%、49.1%と最も高く、女性18・19歳では「家庭として取り組んでいるものがある」と「何も取り組んでいるものはない」が41.7%と最も高くなっている。（図4-2）

【図4-2 性年代別 「防災」対策として地域等に取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ42.4%、44.0%、39.2%と最も高く、野口、平岡、浜の宮、両荘、志方では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ40.7%、40.5%、39.0%、40.7%、43.4%と最も高くなっている。（図4-3）

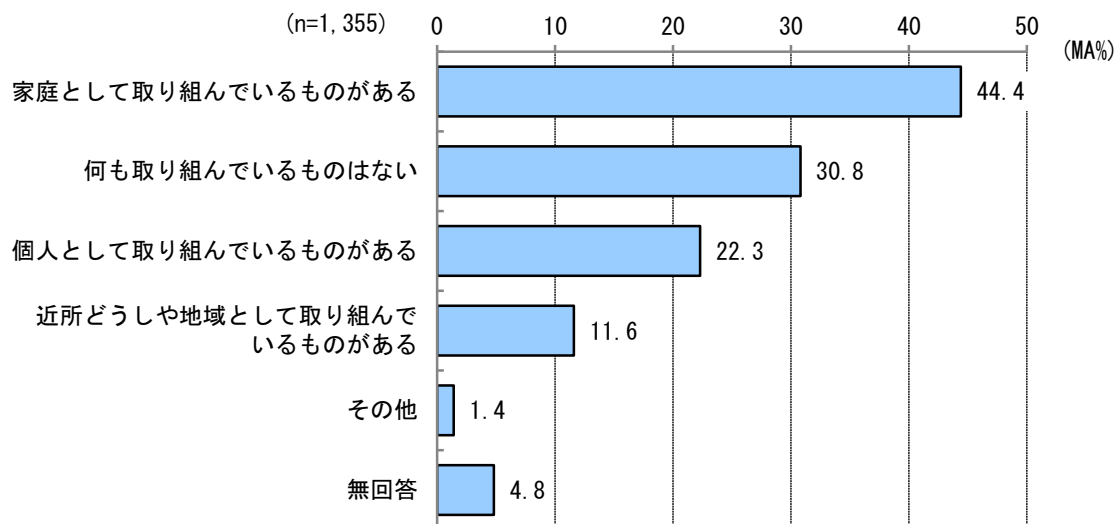
【図4-3 居住地区別 「防災」対策として地域等に取り組んでいること】



5. 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること

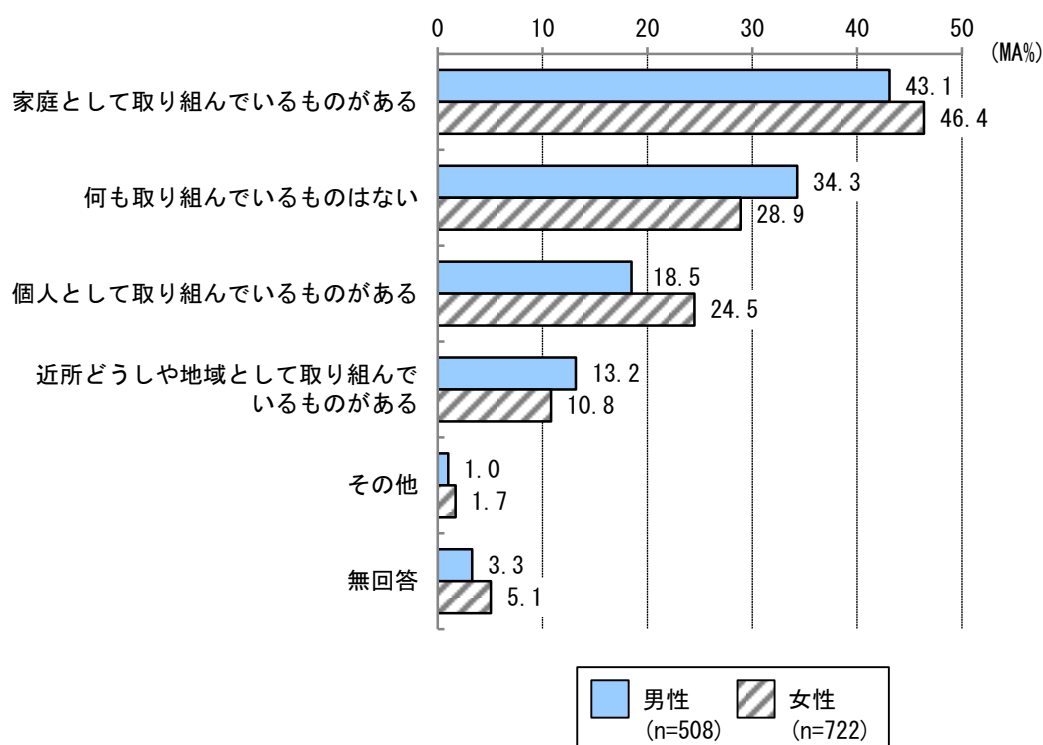
問5 「防犯」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図5 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



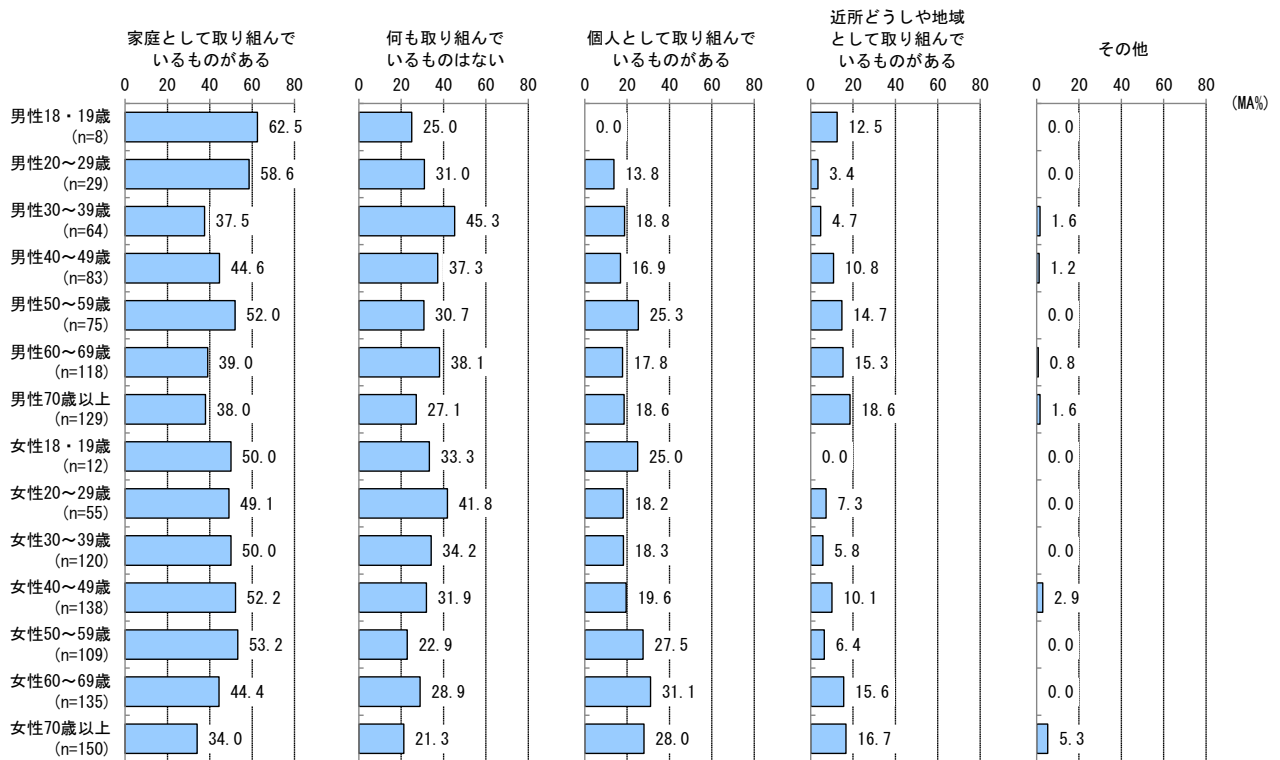
- 「防犯」対策として地域等で取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が44.4%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が30.8%、「個人として取り組んでいるものがある」が22.3%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が11.6%となっている。(図5)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「家庭として取り組んでいるものがある」が高く、男性では43.1%、女性では46.4%となっている。(図5-1)

【図5-1 性別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



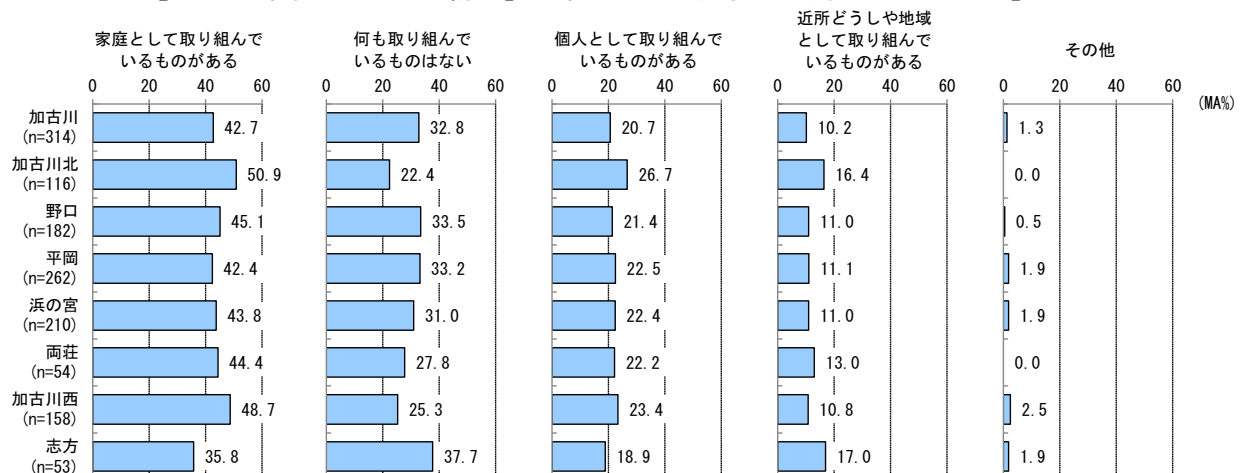
- 性年代別でみると、男性18・19歳、男性20～29歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性18・19歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ62.5%、58.6%、44.6%、52.0%、39.0%、38.0%、50.0%、49.1%、50.0%、52.2%、53.2%、44.4%、34.0%と最も高く、男性30～39歳では「何も取り組んでいるものはない」が45.3%と最も高くなっている。(図5-2)

【図5-2 性年代別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、浜の宮、両荘、加古川西では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ42.7%、50.9%、45.1%、42.4%、43.8%、44.4%、48.7%と最も高く、志方では「何も取り組んでいるものはない」が37.7%と最も高くなっている。(図5-3)

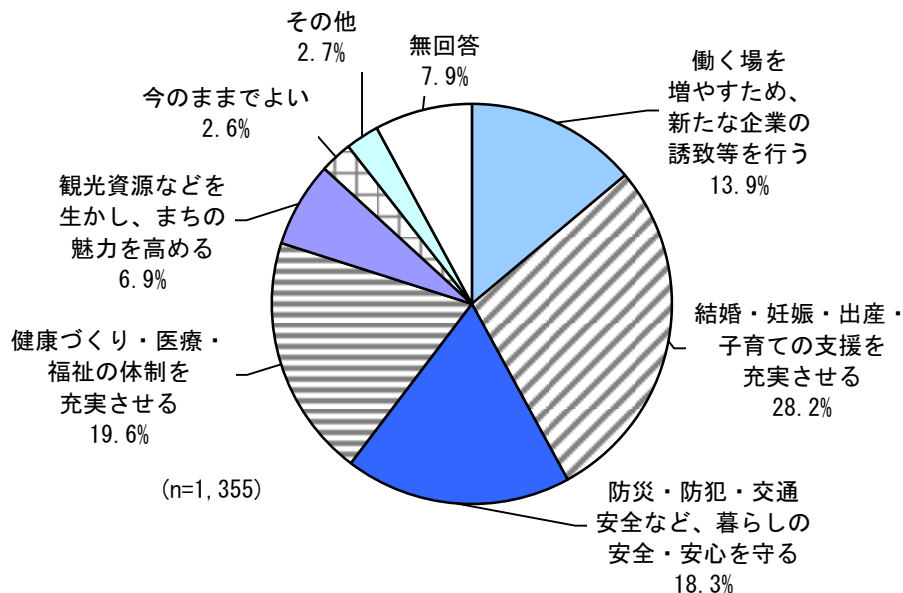
【図5-3 居住地区別 「防犯」対策として地域等で取り組んでいること】



6. 加古川市が今後取り組むべきまちづくり

問6 全国的にも、少子化や大都市圏への人口集中が課題となっている中、加古川市の今後のまちづくりについて、最も重要だと思われる取組を1つ選んで番号に○をつけてください。

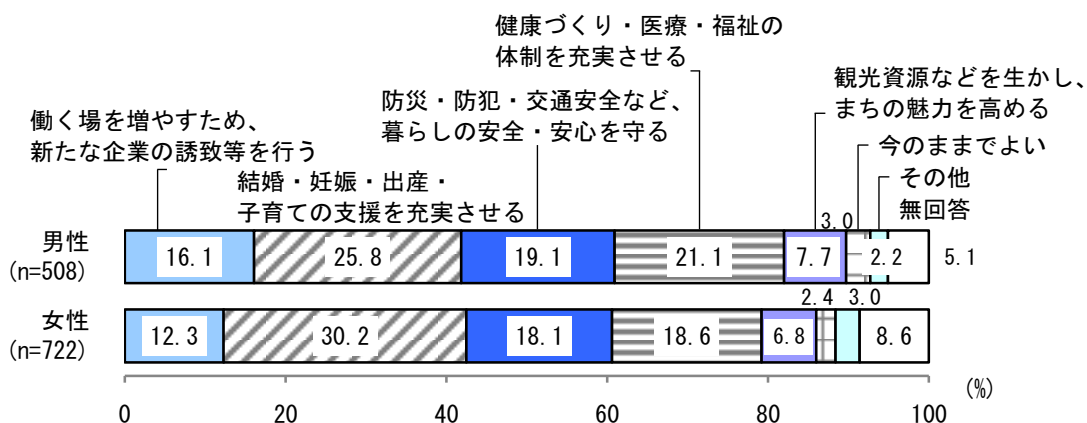
【図6-1 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



●加古川市が今後取り組むべきまちづくりについては、「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が28.2%と最も高く、次いで、「健康づくり・医療・福祉の体制を充実させる」が19.6%、「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が18.3%、「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」が13.9%、「観光資源などを生かし、まちの魅力を高める」が6.9%となっている。(図6-1)

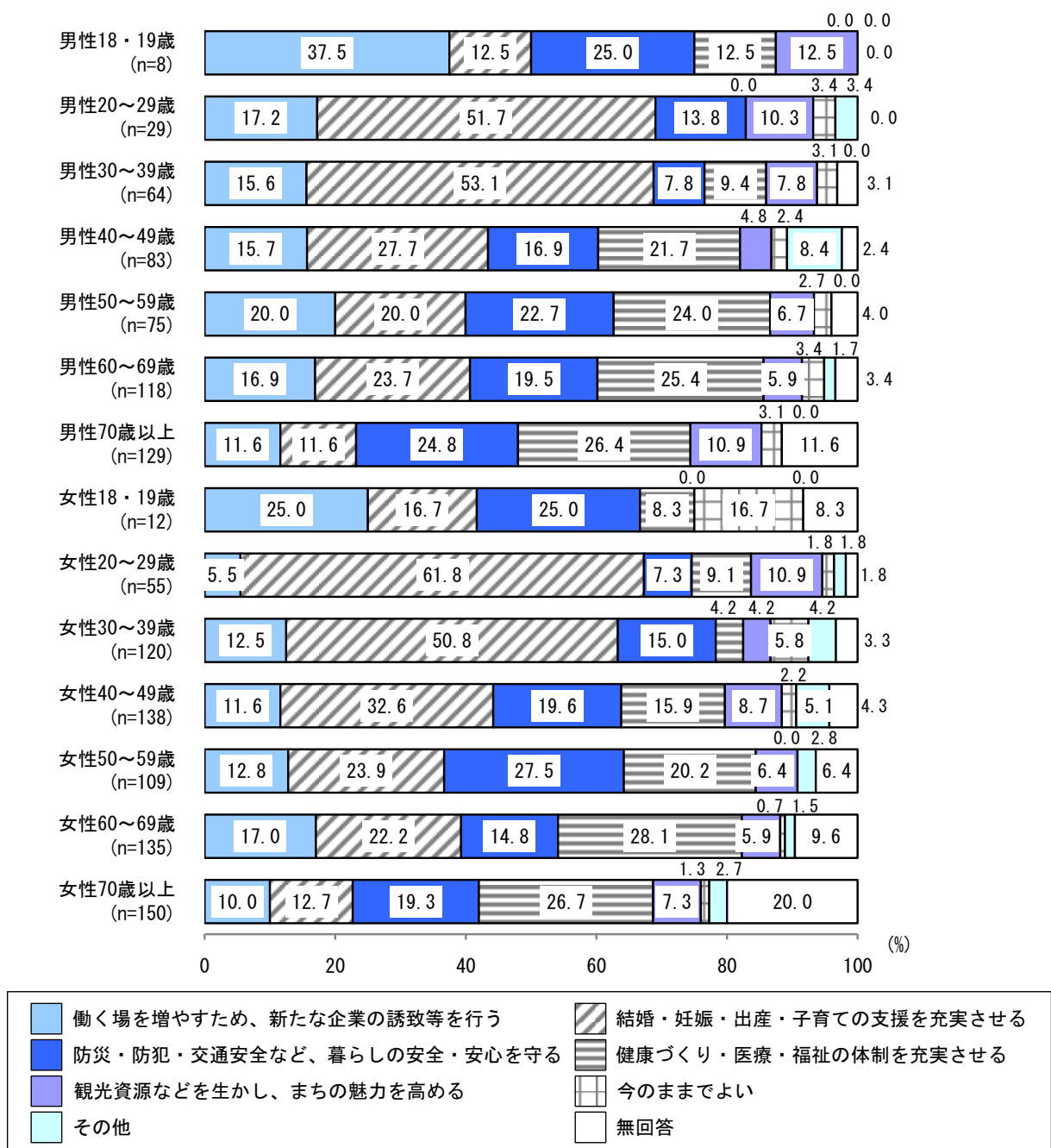
●性別でみると、すべてのカテゴリーで「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が高く、男性では25.8%、女性では30.2%となっている。(図6-1-1)

【図6-1-1 性別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



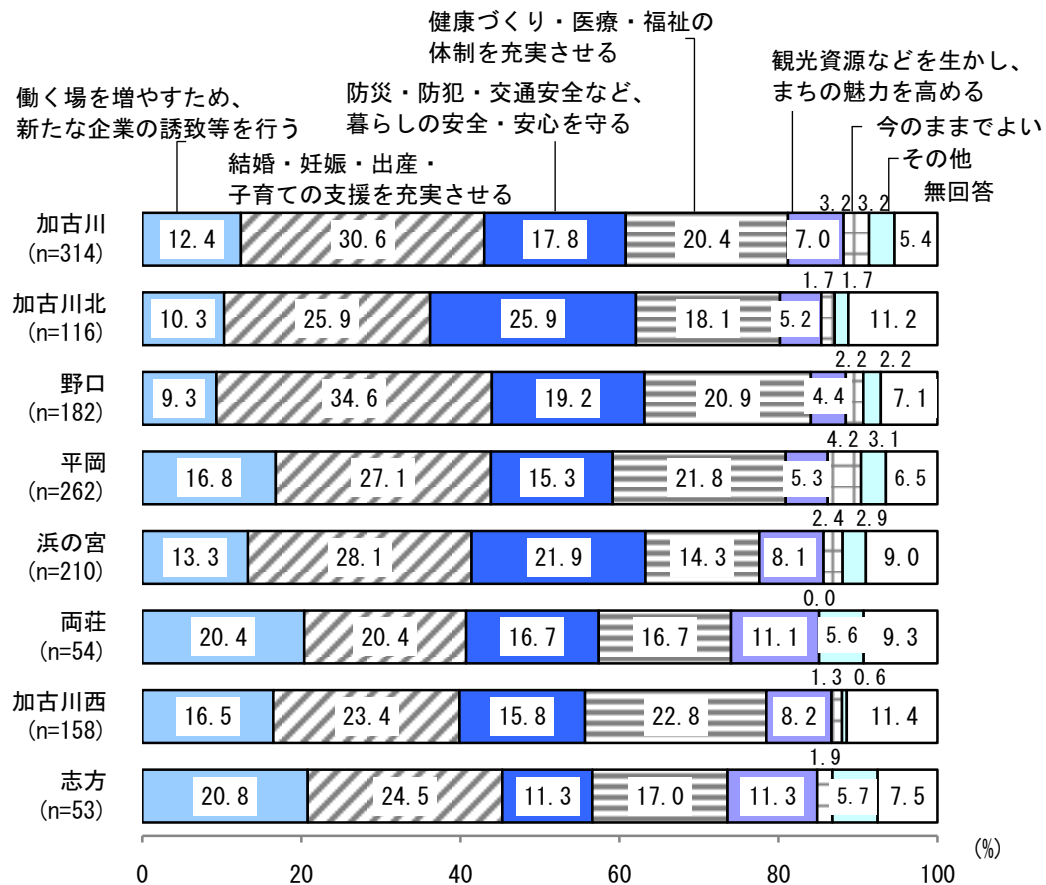
●性年代別でみると、男性18・19歳では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」が37.5%と最も高く、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」がそれぞれ51.7%、53.1%、27.7%、61.8%、50.8%、32.6%と最も高く、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性60～69歳、女性70歳以上では「健康づくり・医療・福祉の体制を充実させる」がそれぞれ24.0%、25.4%、26.4%、28.1%、26.7%と最も高く、女性18・19歳では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」と「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が25.0%と最も高く、女性50～59歳では「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が27.5%と最も高くなっている。(図6-1-2)

【図6-1-2 性年代別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



●居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西、志方では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」がそれぞれ30.6%、34.6%、27.1%、28.1%、23.4%、24.5%と最も高く、加古川北では「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」と「防災・防犯・交通安全など、暮らしの安全・安心を守る」が25.9%と最も高く、両荘では「働く場を増やすため、新たな企業の誘致等を行う」と「結婚・妊娠・出産・子育ての支援を充実させる」が20.4%と最も高くなっている。(図6-1-3)

【図6-1-3 居住地区別 加古川市が今後取り組むべきまちづくり】



7. 公共交通（バス）について

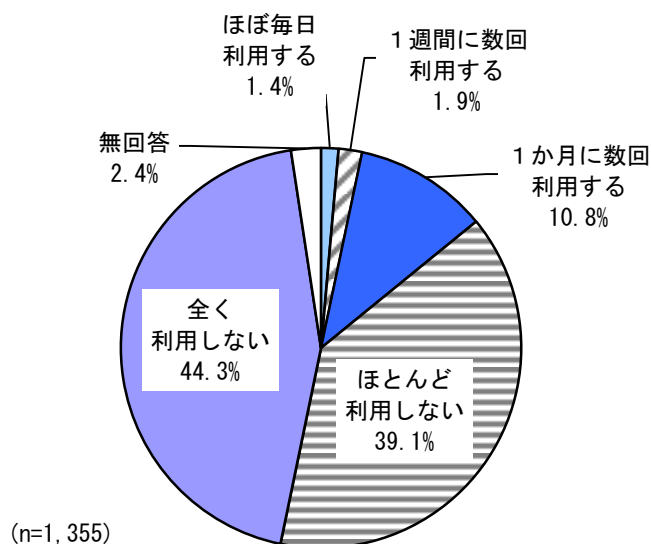
（1）バスの利用有無

問7 あなたは、バス（※）を利用しますか。

あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

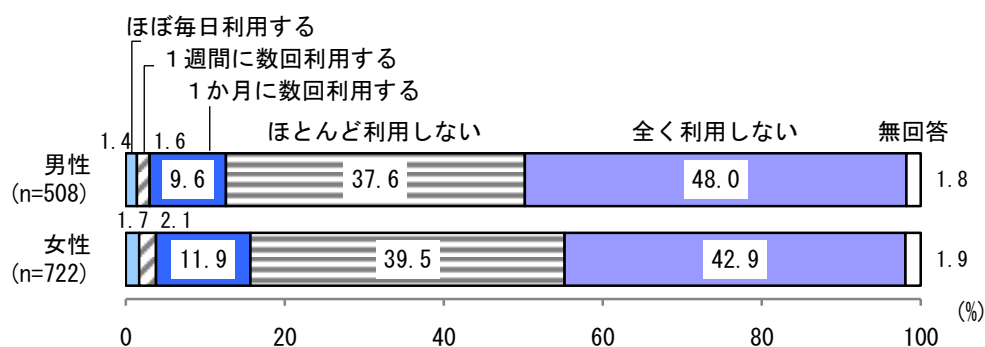
※バスとは、神姫バス、かこバス、かこバスミニ（かこタクシー、上莊くるりん号を含む）のことを指します。

【図7-1 バスの利用有無】



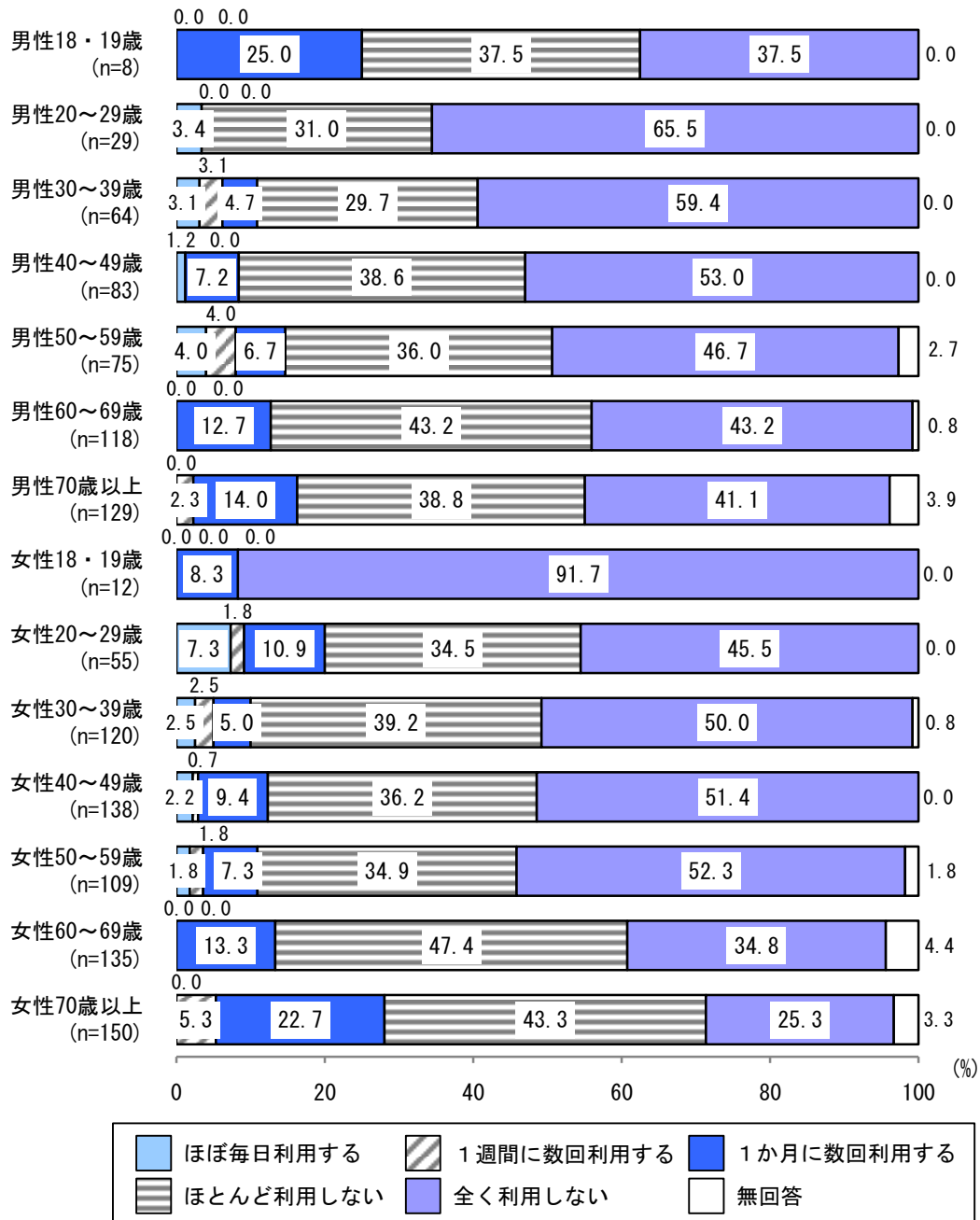
- バスの利用有無については、「全く利用しない」が44.3%と最も高く、次いで、「ほとんど利用しない」が39.1%、「1か月に数回利用する」が10.8%、「1週間に数回利用する」が1.9%、「ほぼ毎日利用する」が1.4%となっている。（図7-1）
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「全く利用しない」が高く、男性では48.0%、女性では42.9%となっている。（図7-1-1）

【図7-1-1 性別 バスの利用有無】



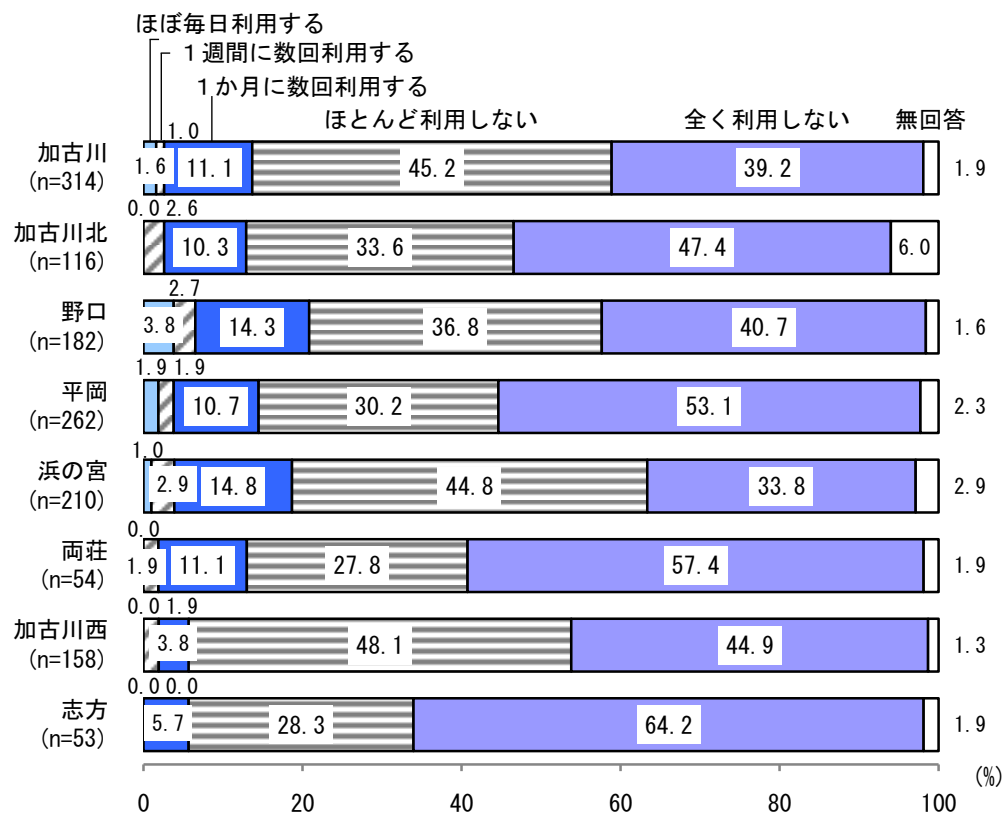
●性年代別でみると、男性18・19歳では「ほとんど利用しない」と「全く利用しない」が37.5%と最も高く、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性70歳以上、女性18・19歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳では「全く利用しない」がそれぞれ65.5%、59.4%、53.0%、46.7%、41.1%、91.7%、45.5%、50.0%、51.4%、52.3%と最も高く、男性60～69歳では「ほとんど利用しない」と「全く利用しない」が43.2%と最も高く、女性60～69歳、女性70歳以上では「ほとんど利用しない」がそれぞれ47.4%、43.3%と最も高くなっている。(図7-1-2)

【図7-1-2 性年代別 バスの利用有無】



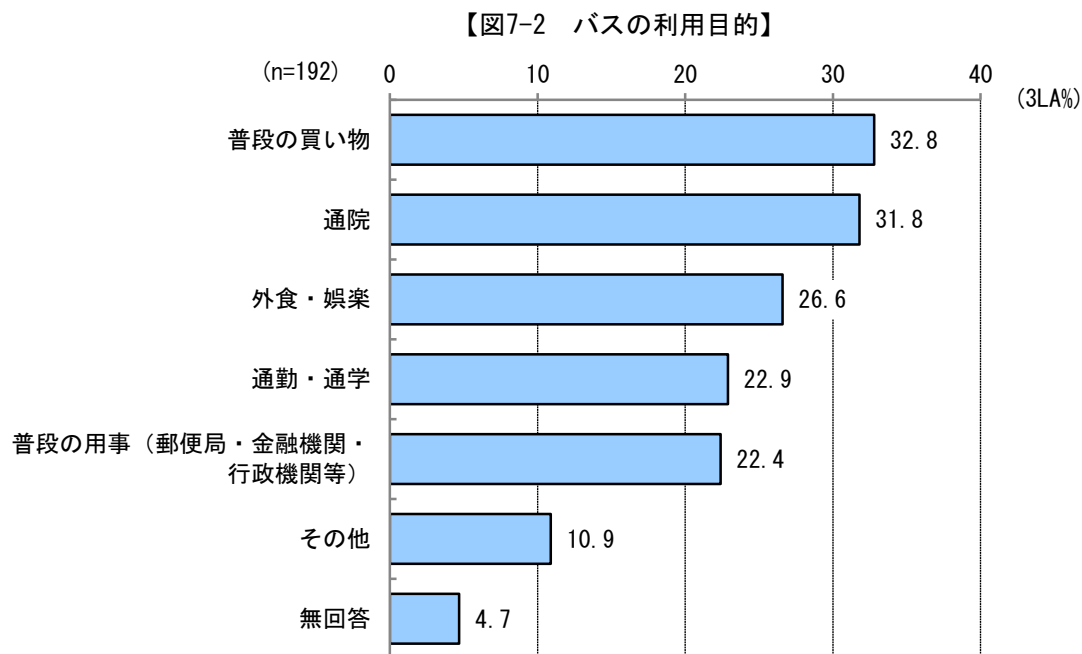
- 居住地区別でみると、加古川、浜の宮、加古川西では「ほとんど利用しない」がそれぞれ45.2%、44.8%、48.1%と最も高く、加古川北、野口、平岡、両荘、志方では「全く利用しない」がそれぞれ47.4%、40.7%、53.1%、57.4%、64.2%と最も高くなっている。(図7-1-3)

【図7-1-3 居住地区別 バスの利用有無】



(2) バスの利用目的

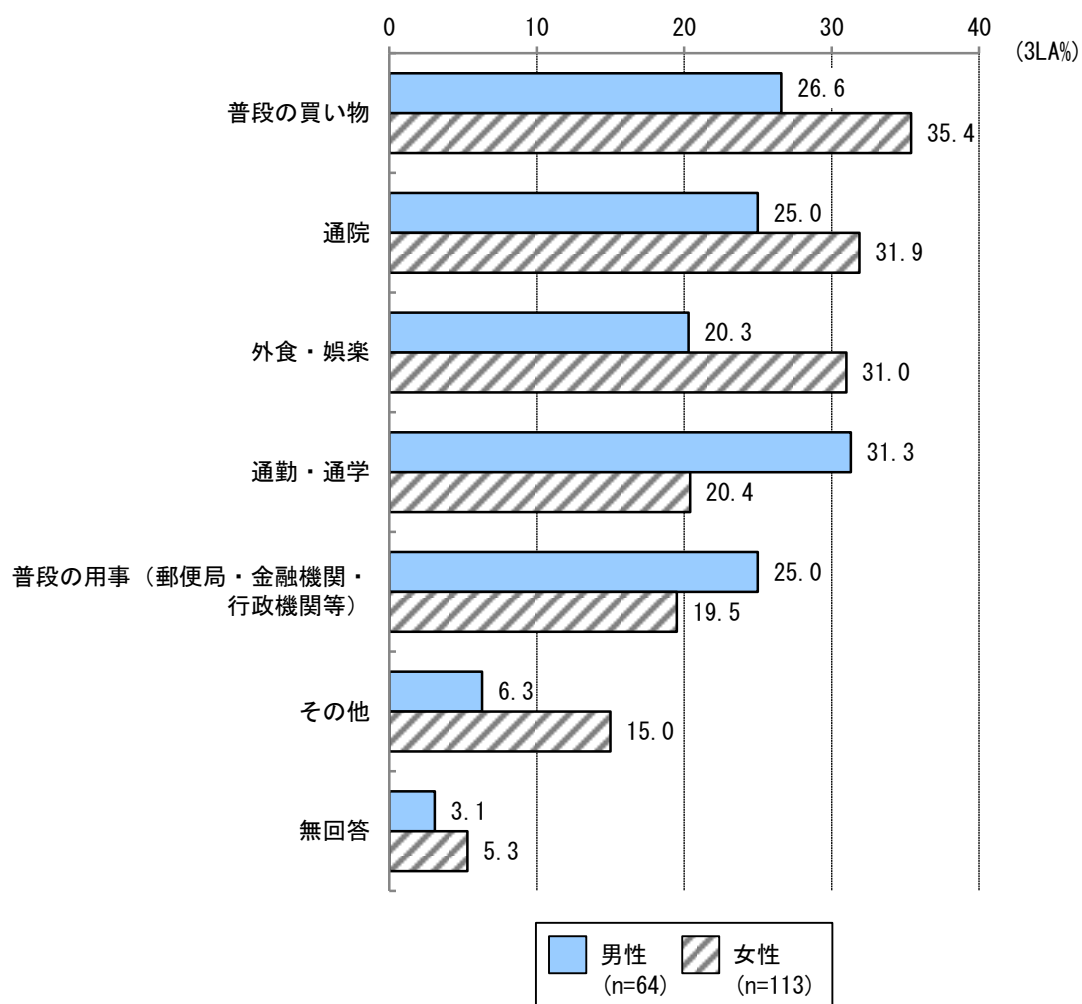
問7-① 問7で「1. ほぼ毎日利用する」、「2. 1週間に数回利用する」
または「3. 1か月に数回利用する」を選ばれた方におたずねします。
あなたが、バスを利用する目的は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで番号に
○をつけてください。



- バスの利用目的については、「普段の買い物」が32.8%と最も高く、次いで、「通院」が31.8%、「外食・娯楽」が26.6%、「通勤・通学」が22.9%、「普段の用事（郵便局・金融機関・行政機関等）」が22.4%となっている。（図7-2）

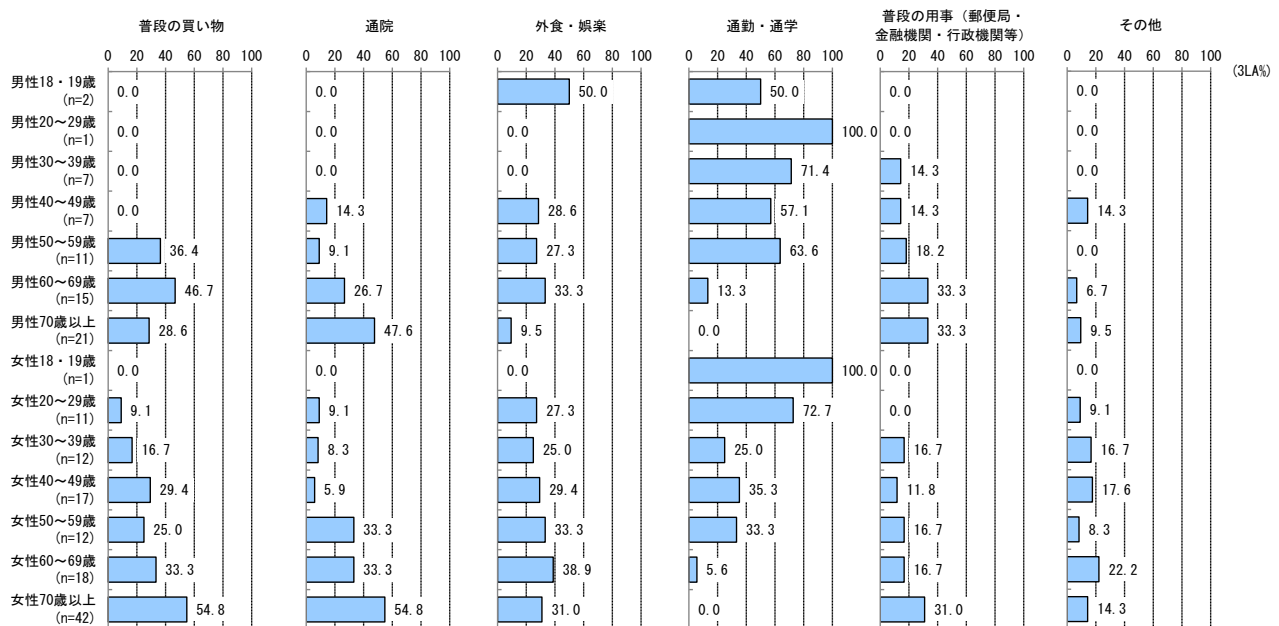
- 性別でみると男性では「通勤・通学」が31.3%と最も高く、女性では「普段の買い物」が35.4%と最も高くなっている。(図7-2-1)

【図7-2-1 性別 バスの利用目的】



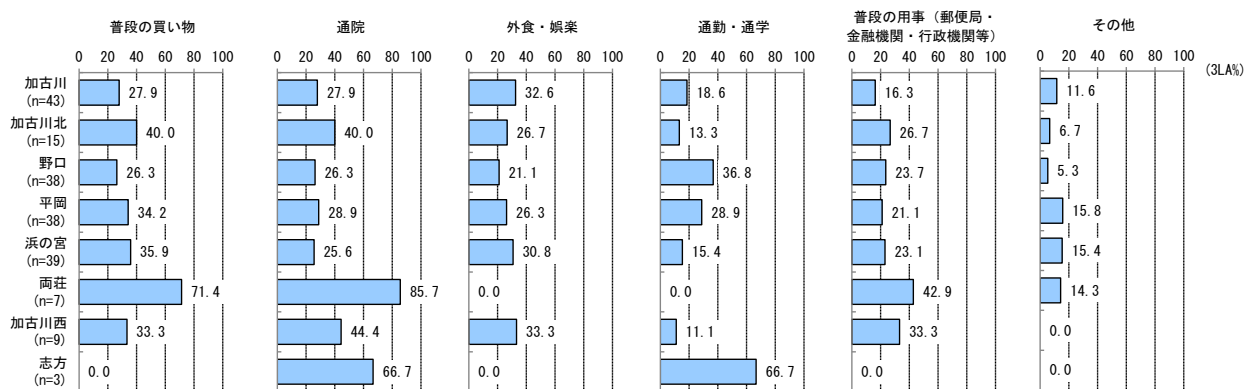
- 性年代別でみると、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、女性20～29歳、女性40～49歳では「通勤・通学」がそれぞれ71.4%、57.1%、63.6%、72.7%、35.3%と最も高く、男性60～69歳では「普段の買い物」が46.7%と最も高く、男性70歳以上では「通院」が47.6%と最も高く、女性30～39歳では「外食・娯楽」と「通勤・通学」が25.0%と最も高く、女性50～59歳では「通院」と「外食・娯楽」、「通勤・通学」が33.3%と最も高く、女性60～69歳では「外食・娯楽」が38.9%と最も高く、女性70歳以上では「普段の買い物」と「通院」が54.8%と最も高くなっている。(図7-2-2)

【図7-2-2 性年代別 バスの利用目的】



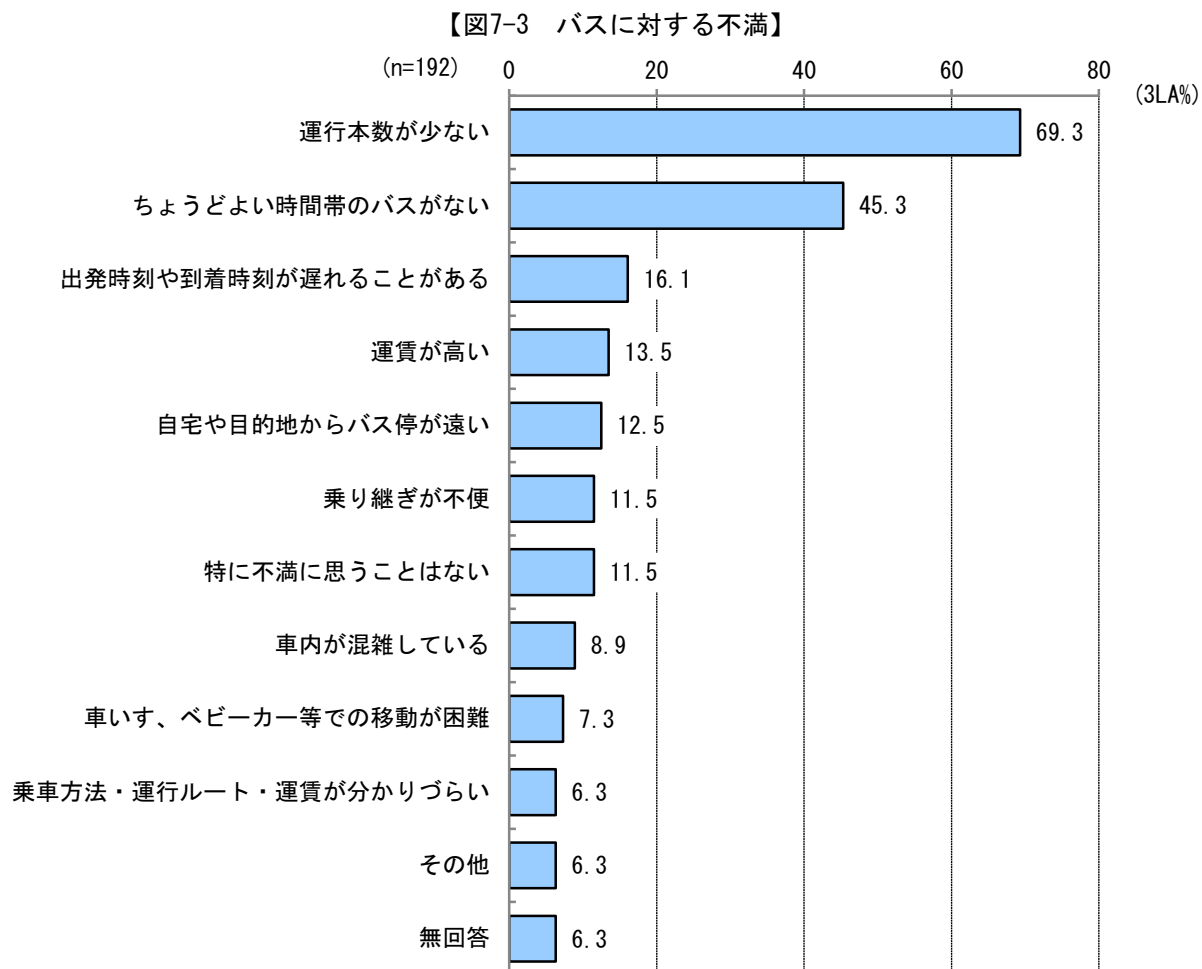
- 居住地区別でみると、加古川では「外食・娯楽」が32.6%と最も高く、加古川北では「普段の買い物」と「通院」が40.0%と最も高く、野口では「通勤・通学」が36.8%と最も高く、平岡、浜の宮では「普段の買い物」がそれぞれ34.2%、35.9%と最も高く、両荘、加古川西では「通院」がそれぞれ85.7%、44.4%と最も高く、志方では「通院」と「通勤・通学」が66.7%と最も高くなっている。(図7-2-3)

【図7-2-3 居住地区別 バスの利用目的】



(3) バスに対する不満

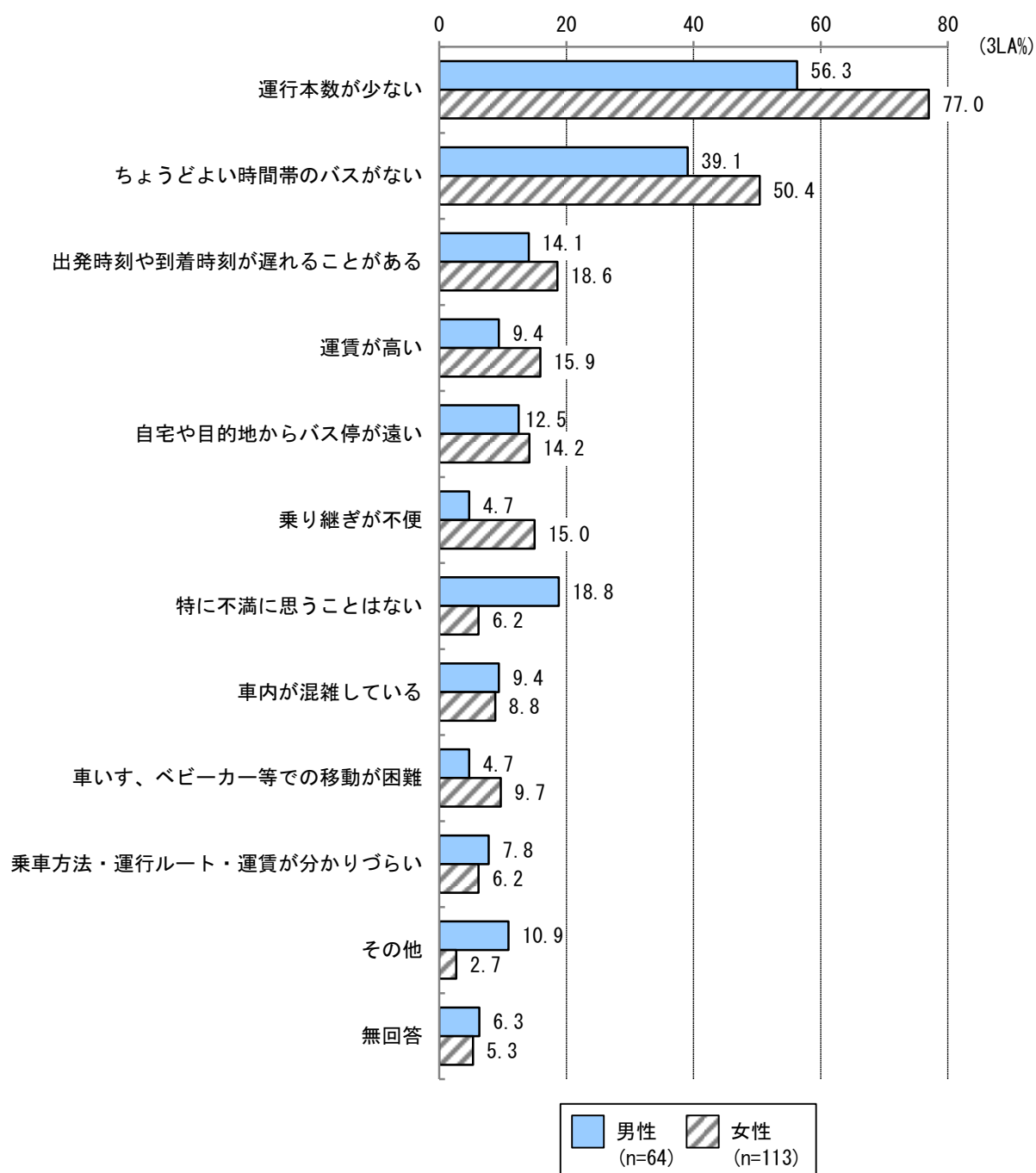
問7-② 問7で「1. ほぼ毎日利用する」、「2. 1週間に数回利用する」
 または「3. 1か月に数回利用する」を選ばれた方におたずねします。
 あなたは、バスのどのような点に不満を感じますか。あてはまるものを3つまで
 選んで番号に○をつけてください。



- バスに対する不満については、「運行本数が少ない」が69.3%と最も高く、次いで、「ちょうどよい時間帯のバスがない」が45.3%、「出発時刻や到着時刻が遅れることがある」が16.1%、「運賃が高い」が13.5%、「自宅や目的地からバス停が遠い」が12.5%となっている。
 (図7-3)

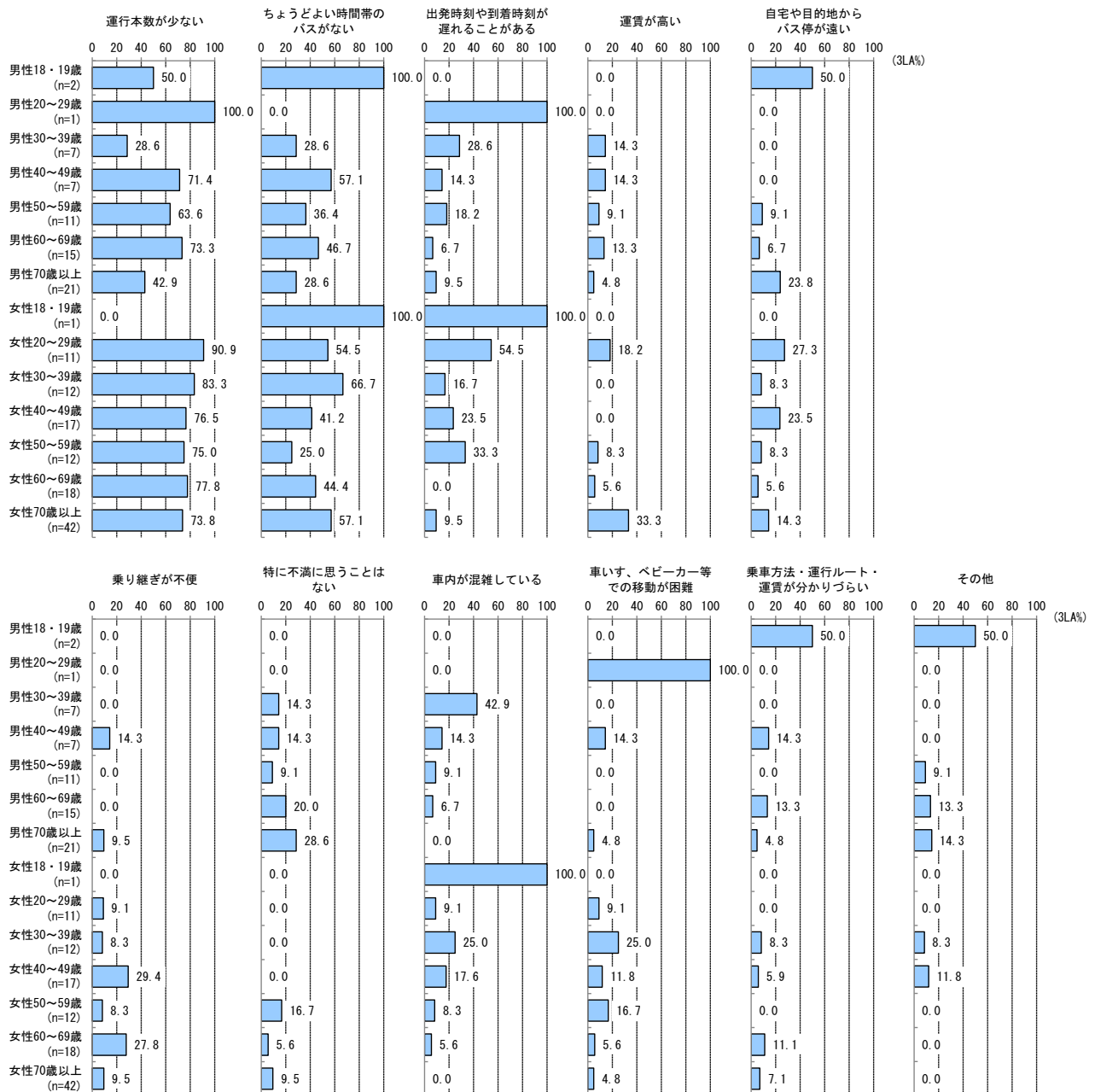
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「運行本数が少ない」が高く、男性では56.3%、女性では77.0%となっている。(図7-3-1)

【図7-3-1 性別 バスに対する不満】



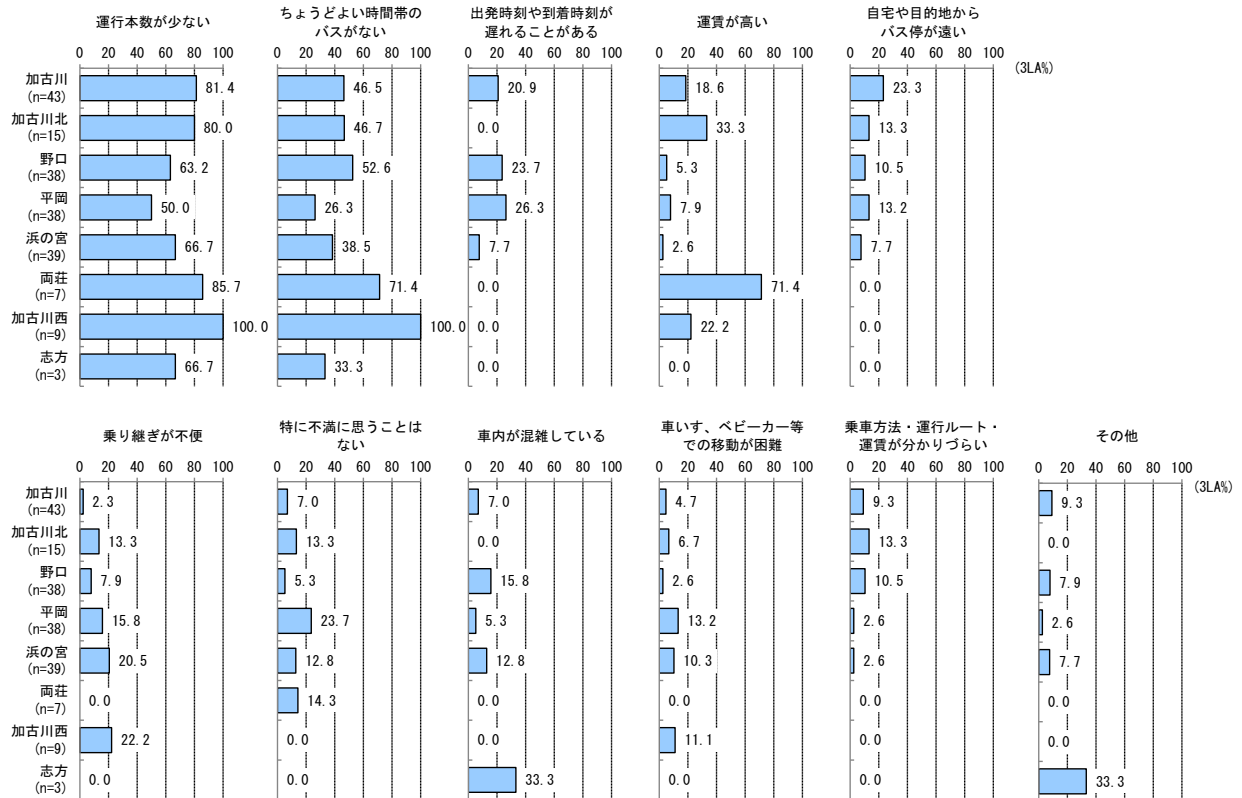
●性年代別でみると、男性30～39歳では「車内が混雑している」が42.9%と最も高く、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「運行本数が少ない」がそれぞれ71.4%、63.6%、73.3%、42.9%、90.9%、83.3%、76.5%、75.0%、77.8%、73.8%と最も高くなっている。(図7-3-2)

【図7-3-2 性年代別 バスに対する不満】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、浜の宮、両荘、志方では「運行本数が少ない」がそれぞれ81.4%、80.0%、63.2%、50.0%、66.7%、85.7%、66.7%と最も高く、加古川西では「運行本数が少ない」と「ちょうどよい時間帯のバスがない」が100.0%と最も高くなっている。(図7-3-3)

【図7-3-3 居住地区別 バスに対する不満】



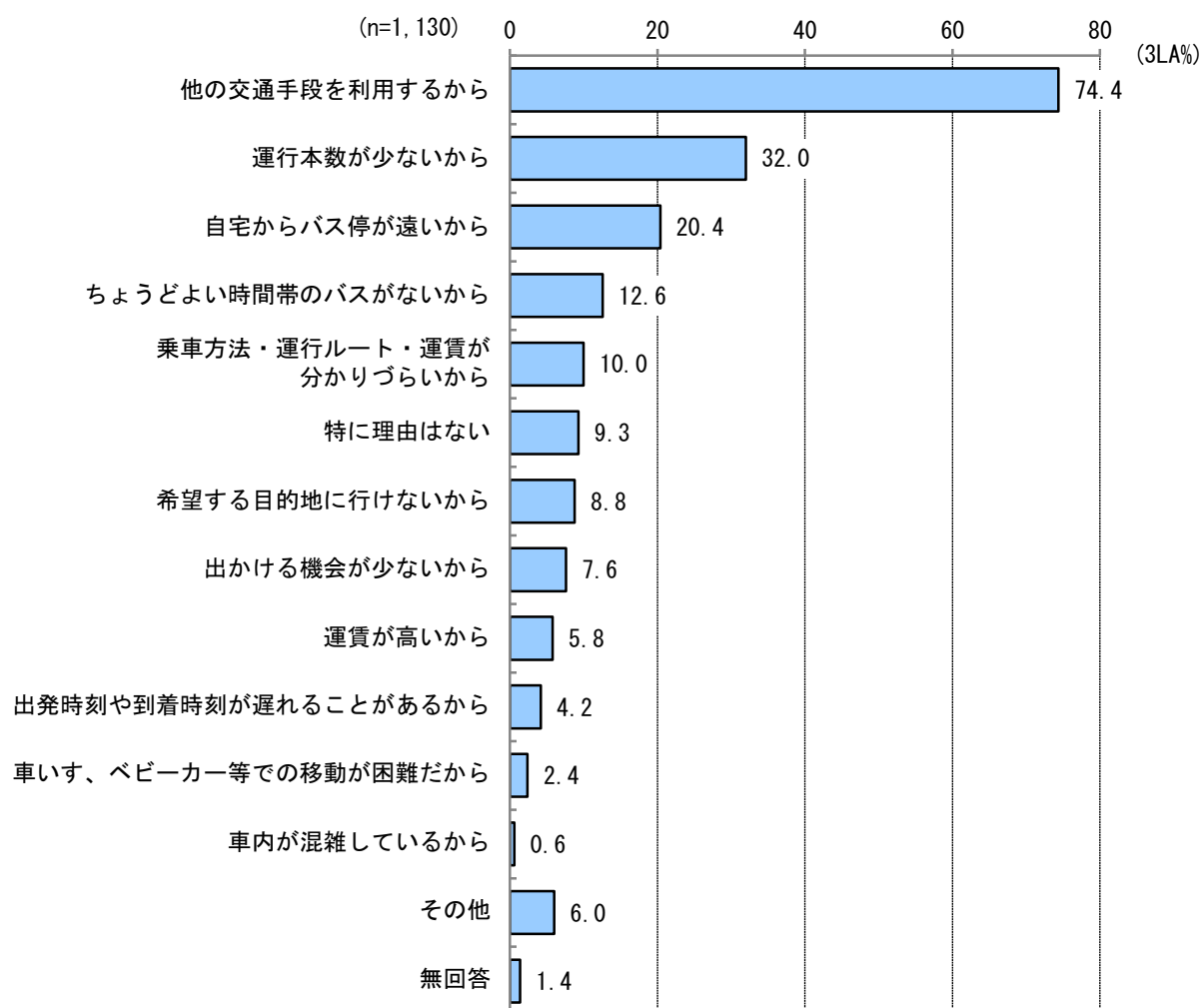
(4) バスを利用しない理由

問7-③ 問7で「4. ほとんど利用しない」

または「5. 全く利用しない」を選ばれた方におたずねします。

あなたが、バスを利用しない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

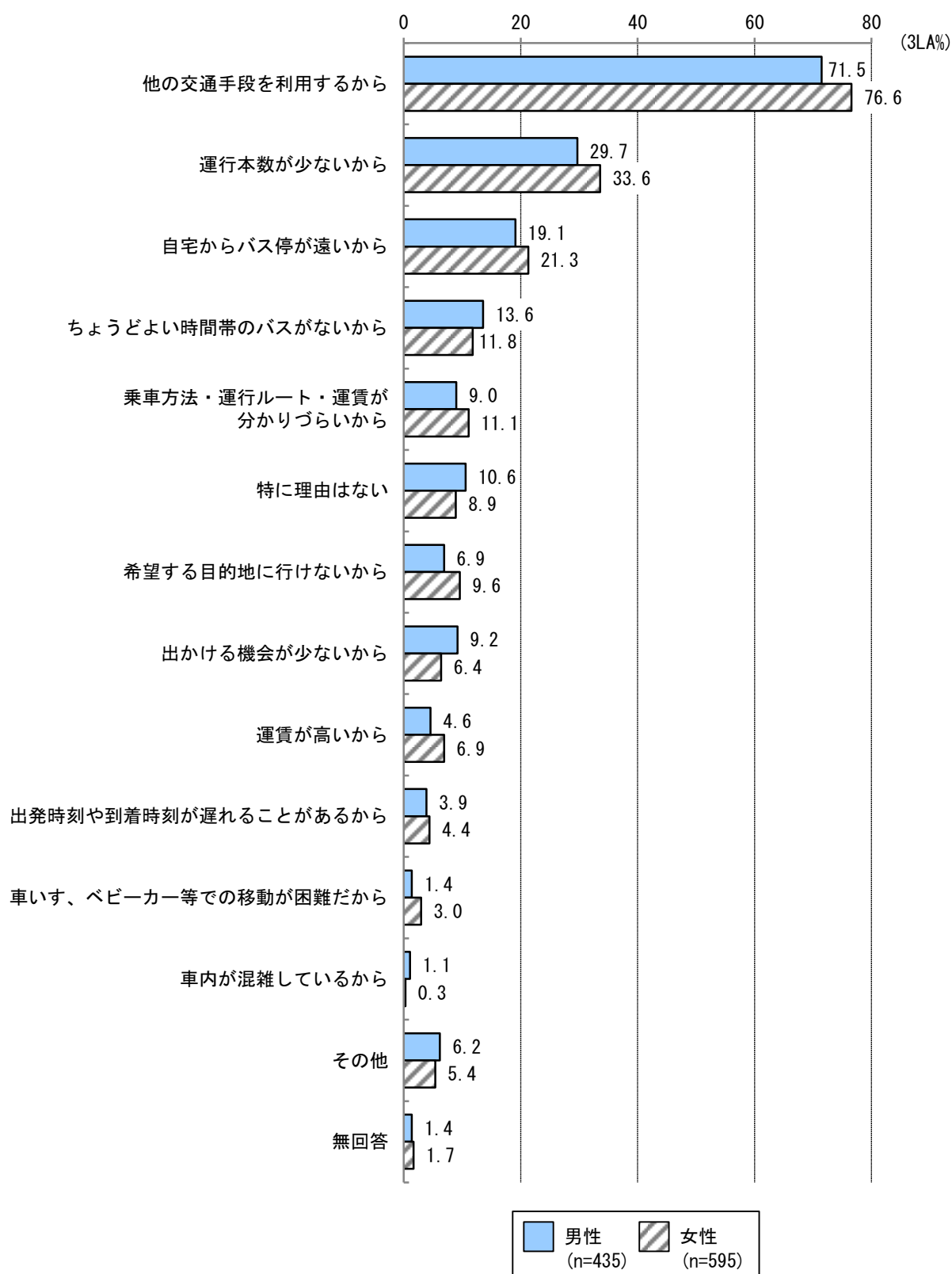
【図7-4 バスを利用しない理由】



- バスを利用しない理由については、「他の交通手段を利用するから」が74.4%と最も高く、次いで、「運行本数が少ないから」が32.0%、「自宅からバス停が遠いから」が20.4%、「ちょうどよい時間帯のバスがないから」が12.6%、「乗車方法・運行ルート・運賃が分かりづらいから」が10.0%となっている。(図7-4)

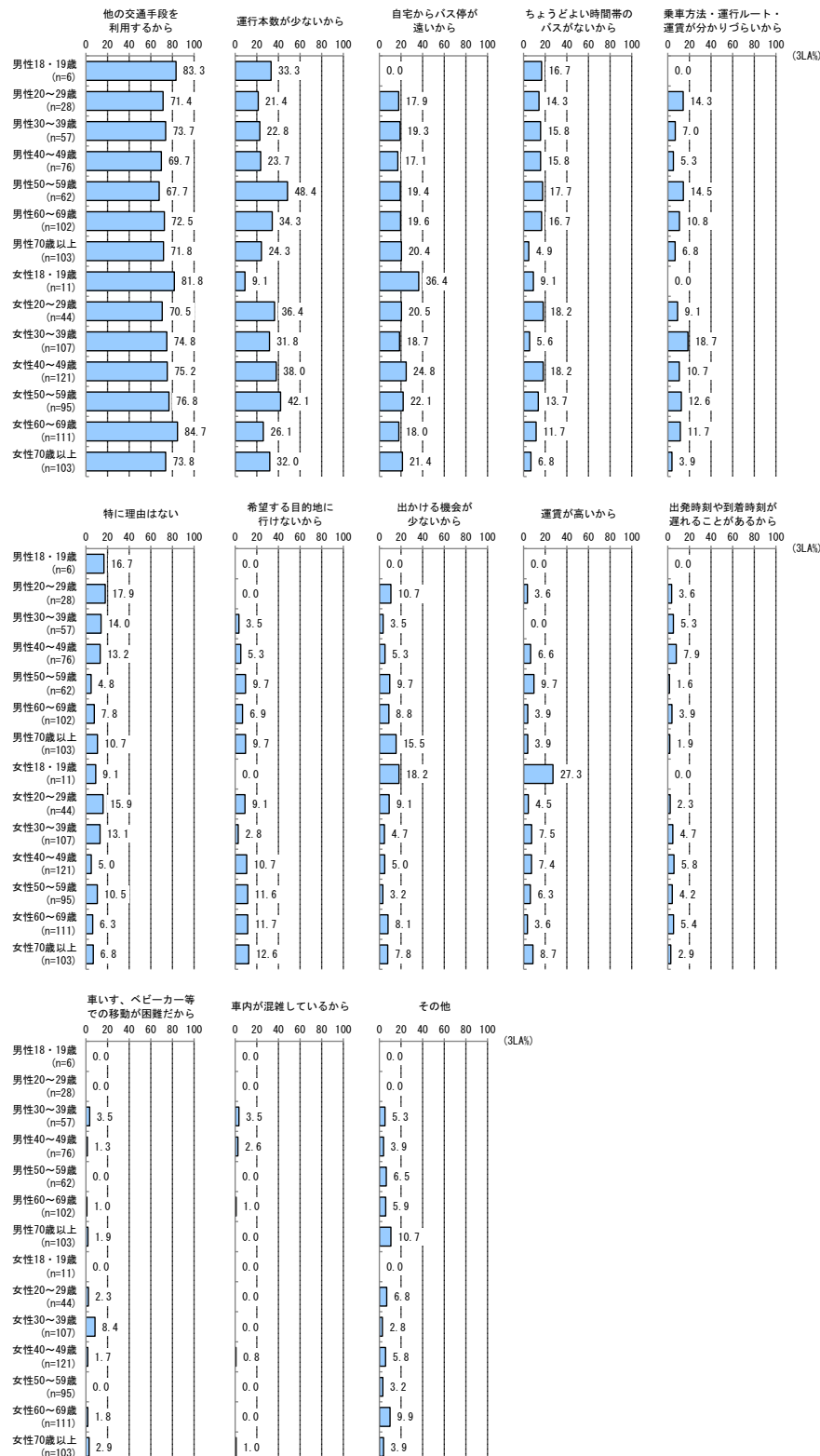
●性別でみると、すべてのカテゴリで「他の交通手段を利用するから」が高く、男性では71.5%、女性では76.6%となっている。(図7-4-1)

【図7-4-1 性別 バスを利用しない理由】



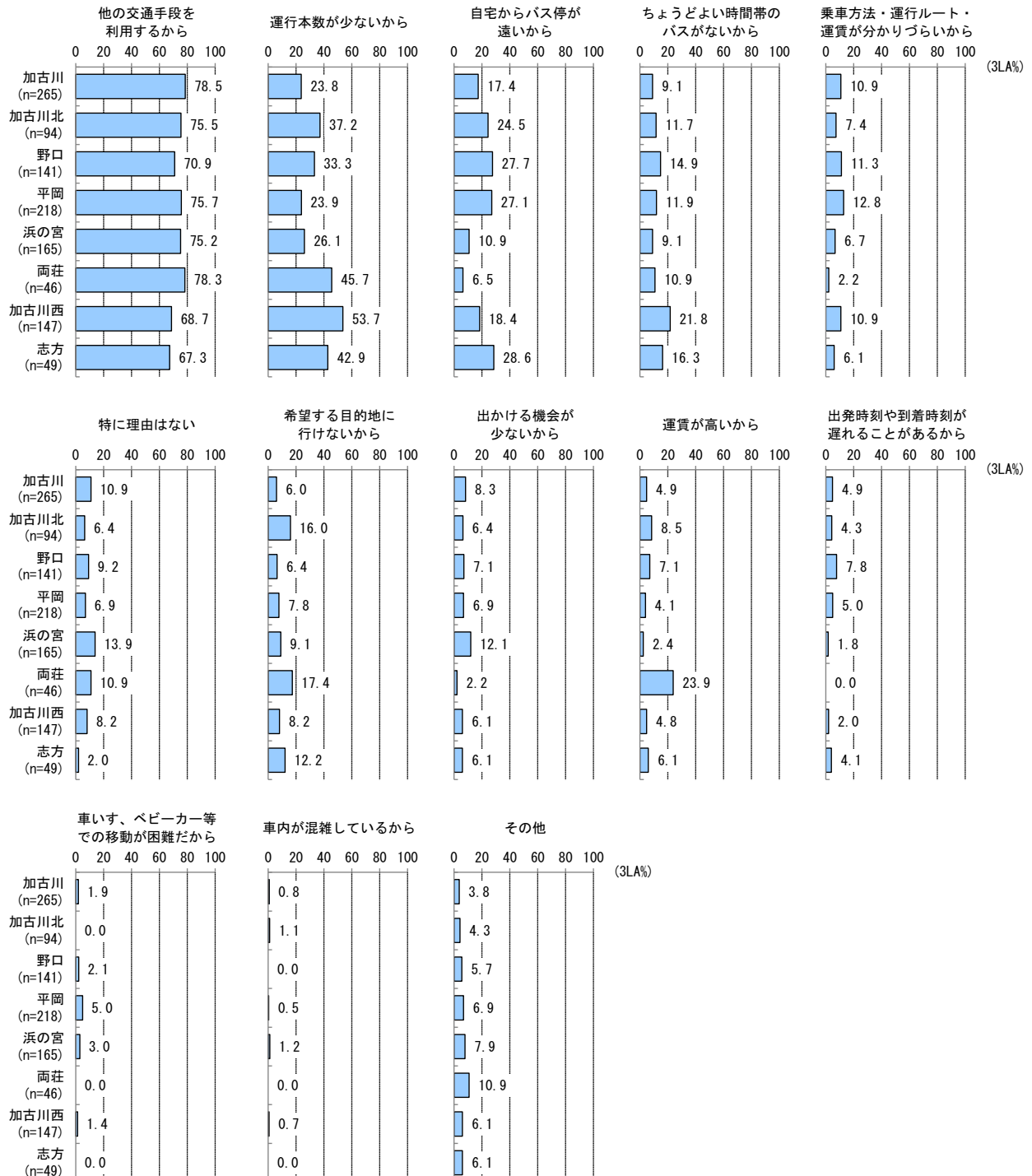
●性年代別でみると、すべてのカテゴリーで「他の交通手段を利用するから」が高く、男性18・19歳では83.3%、男性20～29歳では71.4%、男性30～39歳では73.7%、男性40～49歳では69.7%、男性50～59歳では67.7%、男性60～69歳では72.5%、男性70歳以上では71.8%、女性18・19歳では81.8%、女性20～29歳では70.5%、女性30～39歳では74.8%、女性40～49歳では75.2%、女性50～59歳では76.8%、女性60～69歳では84.7%、女性70歳以上では73.8%となっている。(図7-4-2)

【図7-4-2 性年代別 バスを利用しない理由】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「他の交通手段を利用するから」が高く、加古川では78.5%、加古川北では75.5%、野口では70.9%、平岡では75.7%、浜の宮では75.2%、両荘では78.3%、加古川西では68.7%、志方では67.3%となっている。（図7-4-3）

【図7-4-3 居住地区別 バスを利用しない理由】



(5) 希望する目的地

問7-④ 問7-③で「7. 希望する目的地に行けないから」を選ばれた方におたずねします。
その目的地はどこですか。具体的にお書きください。
例) 医療機関 (〇〇病院)、スーパー (△△ストア) など

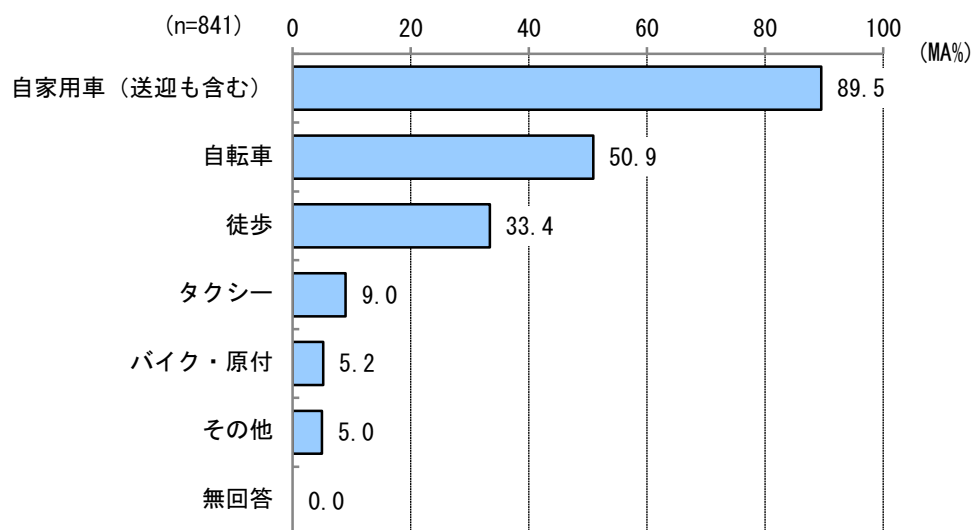
有効回答数1,355件のうち、記述があったのは99件で、カテゴリごとに分類して集計した件数は136件となった。カテゴリごとの件数は以下のとおりである。

a	医療機関	42件
b	駅	29件
c	商業施設 (スーパー等)	25件
d	学校・職場	11件
e	趣味・レジャー施設	6件
f	公的機関	3件
g	その他	20件

(6) バス以外の交通手段

問7-⑤ 問7-③で「10. 他の交通手段を利用するから」を選ばれた方におたずねします。
他の交通手段は何ですか。
あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

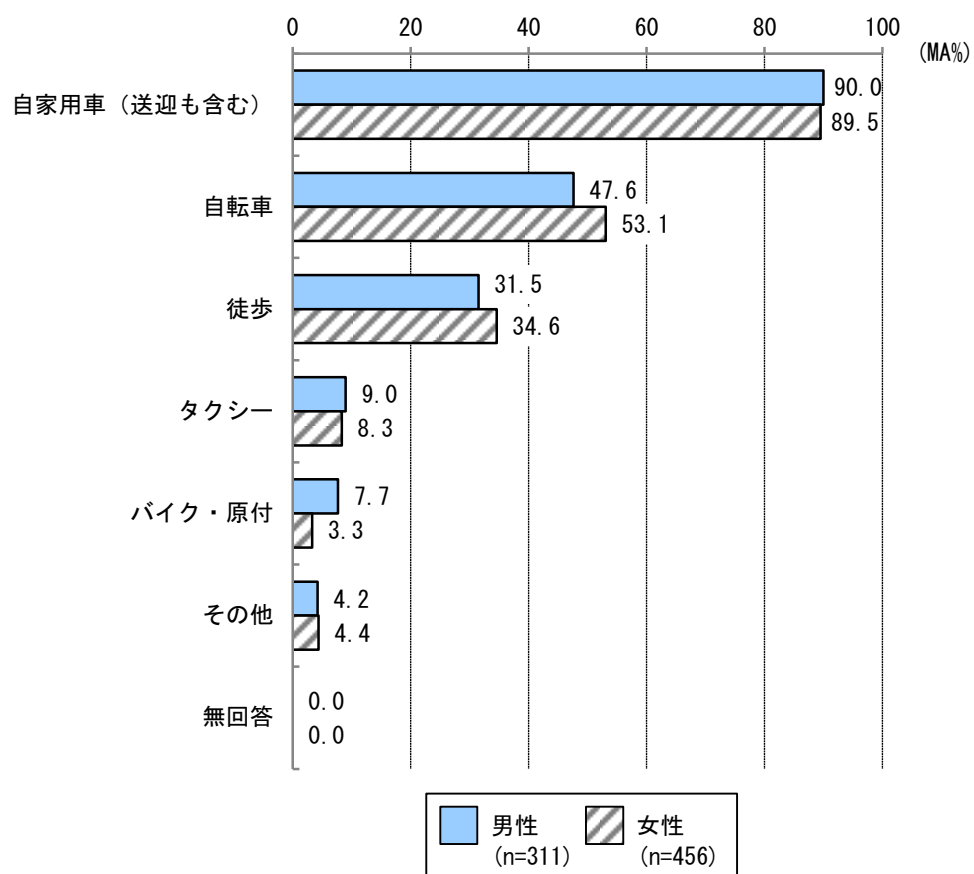
【図7-5 バス以外の交通手段】



- バス以外の交通手段については、「自家用車（送迎も含む）」が89.5%と最も高く、次いで、「自転車」が50.9%、「徒歩」が33.4%、「タクシー」が9.0%、「バイク・原付」が5.2%となっている。（図7-5）

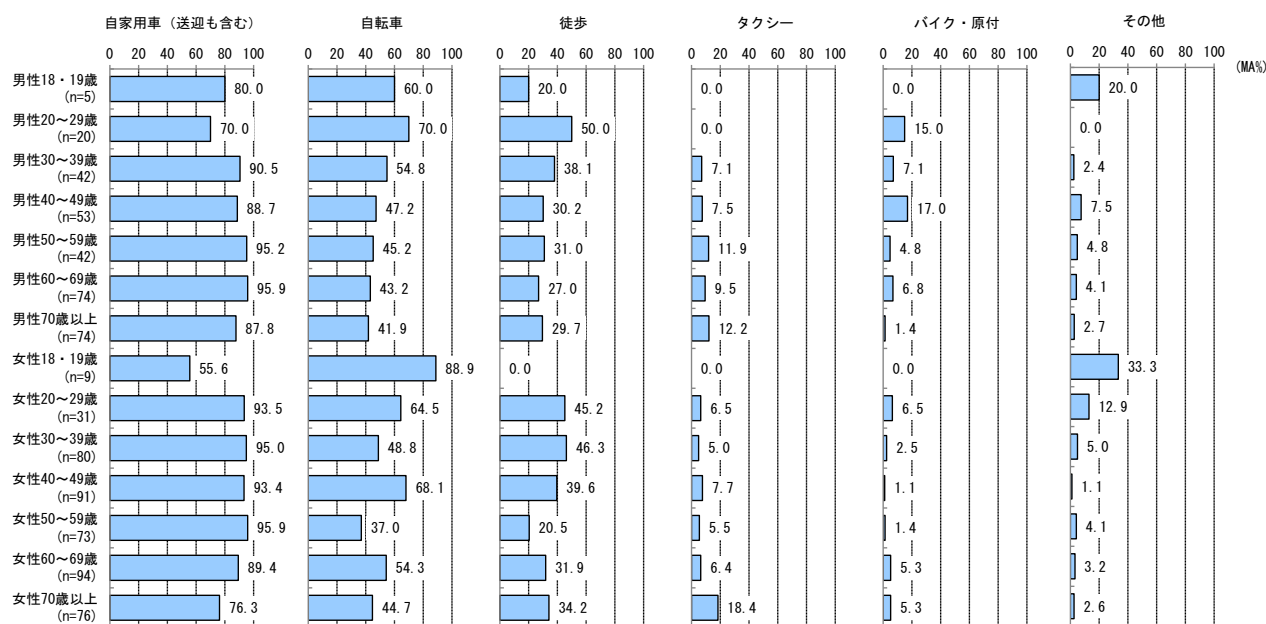
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「自家用車（送迎も含む）」が高く、男性では90.0%、女性では89.5%となっている。（図7-5-1）

【図7-5-1 性別 バス以外の交通手段】



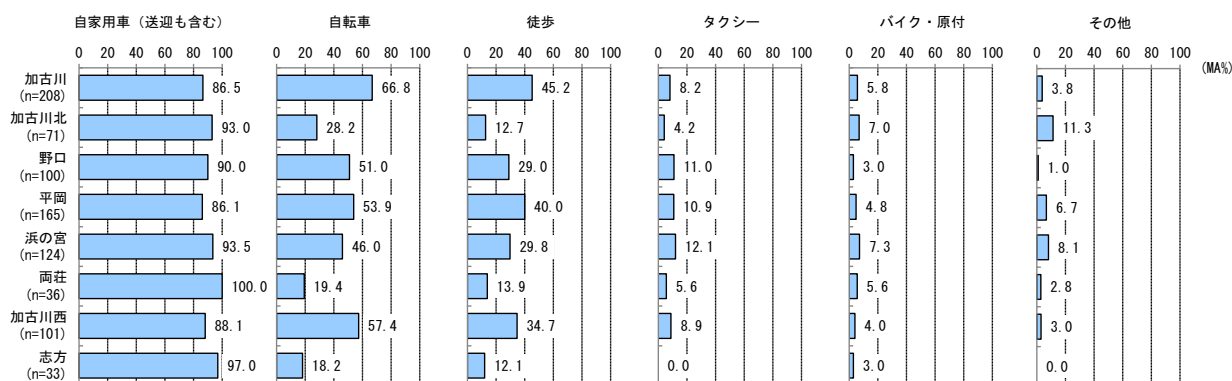
- 性年代別でみると、男性18・19歳、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「自家用車（送迎も含む）」がそれぞれ80.0%、90.5%、88.7%、95.2%、95.9%、87.8%、93.5%、95.0%、93.4%、95.9%、89.4%、76.3%と最も高く、男性20～29歳では「自家用車（送迎も含む）」と「自転車」が70.0%と最も高く、女性18・19歳では「自転車」が88.9%と最も高くなっている。（図7-5-2）

【図7-5-2 性年代別 バス以外の交通手段】



- 居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「自家用車（送迎も含む）」が高く、加古川では86.5%、加古川北では93.0%、野口では90.0%、平岡では86.1%、浜の宮では93.5%、両荘では100.0%、加古川西では88.1%、志方では97.0%となっている。（図7-5-3）

【図7-5-3 居住地区別 バス以外の交通手段】

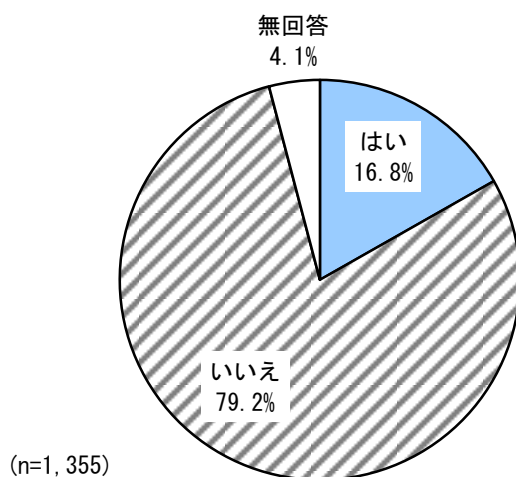


8. 市民活動参加状況

問8 あなたは、市民活動（※）に参加していますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

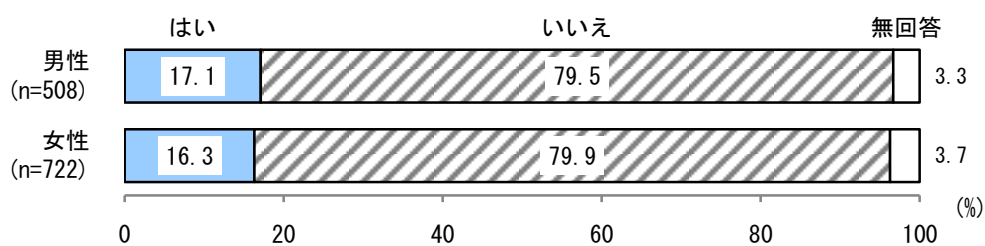
※市民活動とは、営利を目的とせず、多くの人にとって役に立つこと・ためになることを行う活動です。

【図8 市民活動参加状況】



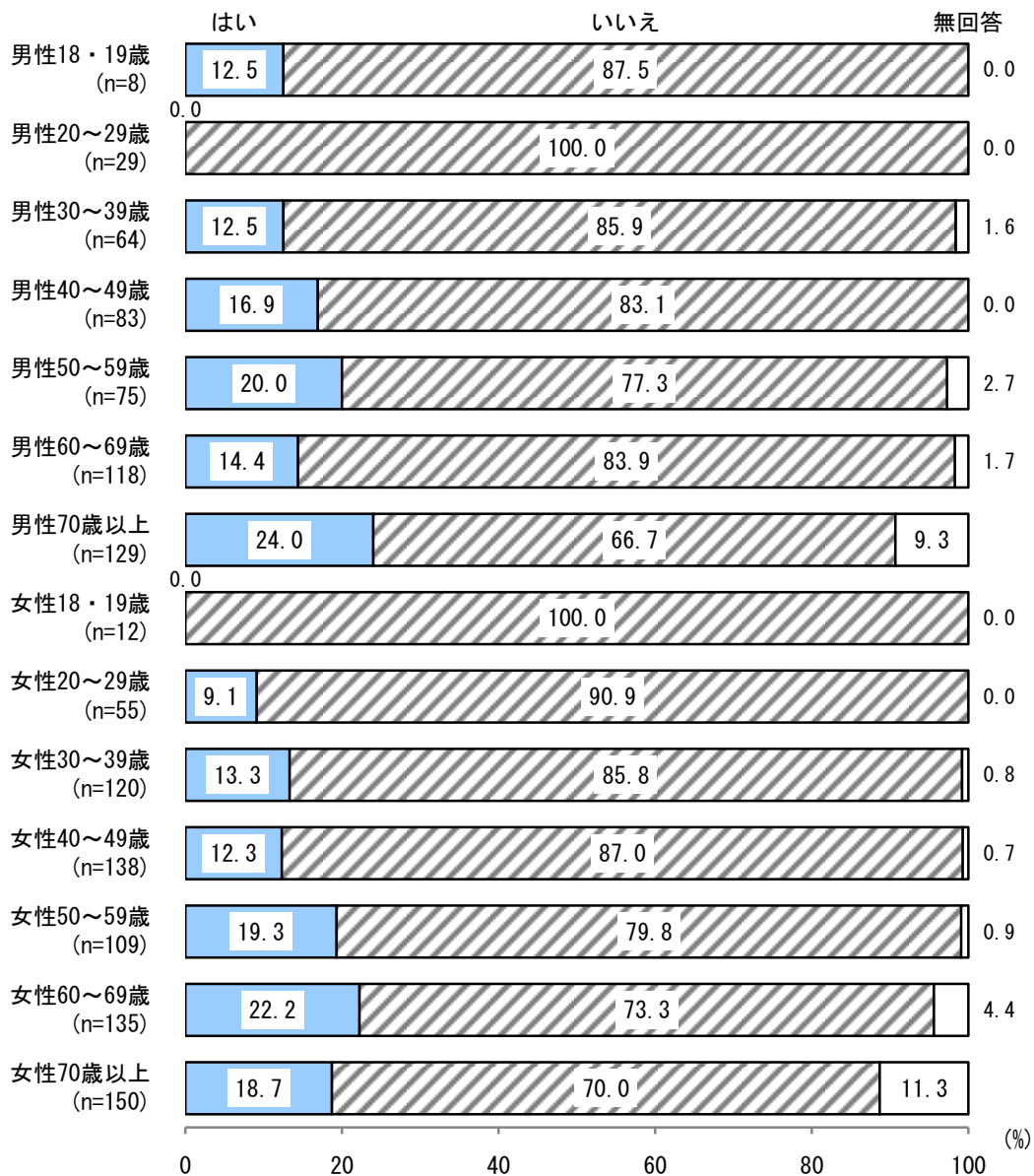
- 市民活動参加状況については、「いいえ」が79.2%と最も高く、次いで、「はい」が16.8%となっている。(図8)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が高く、男性では79.5%、女性では79.9%となっている。(図8-1)

【図8-1 性別 市民活動参加状況】



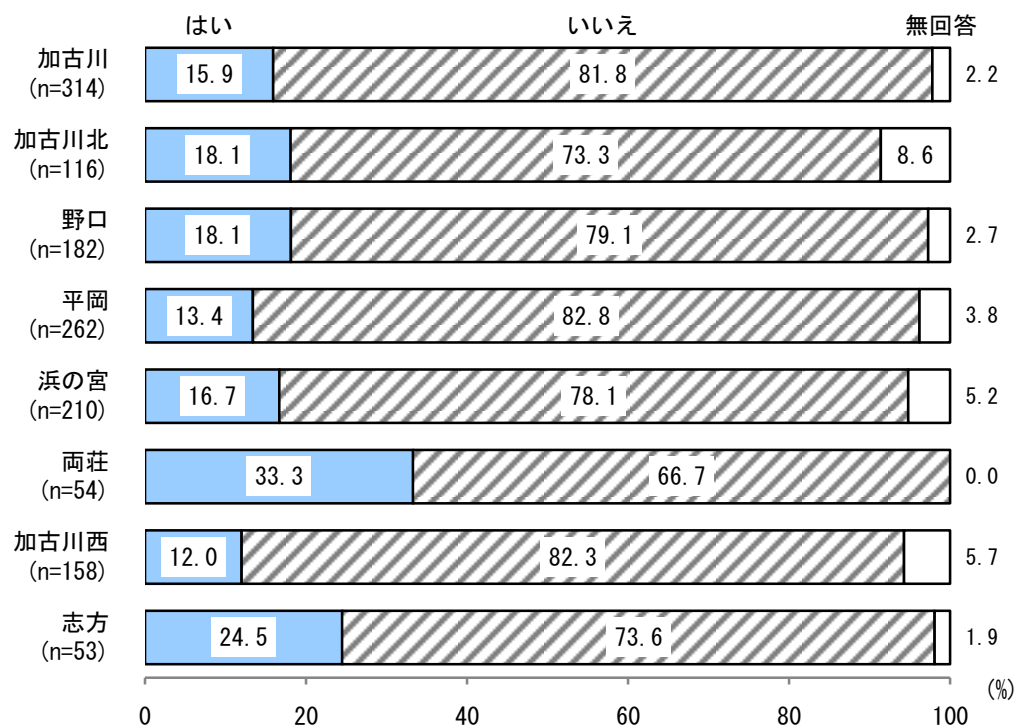
●性年代別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が高く、男性18・19歳では87.5%、男性20～29歳では100.0%、男性30～39歳では85.9%、男性40～49歳では83.1%、男性50～59歳では77.3%、男性60～69歳では83.9%、男性70歳以上では66.7%、女性18・19歳では100.0%、女性20～29歳では90.9%、女性30～39歳では85.8%、女性40～49歳では87.0%、女性50～59歳では79.8%、女性60～69歳では73.3%、女性70歳以上では70.0%となっている。
(図8-2)

【図8-2 性年代別 市民活動参加状況】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「いいえ」が高く、加古川では81.8%、加古川北では73.3%、野口では79.1%、平岡では82.8%、浜の宮では78.1%、両荘では66.7%、加古川西では82.3%、志方では73.6%となっている。（図8-3）

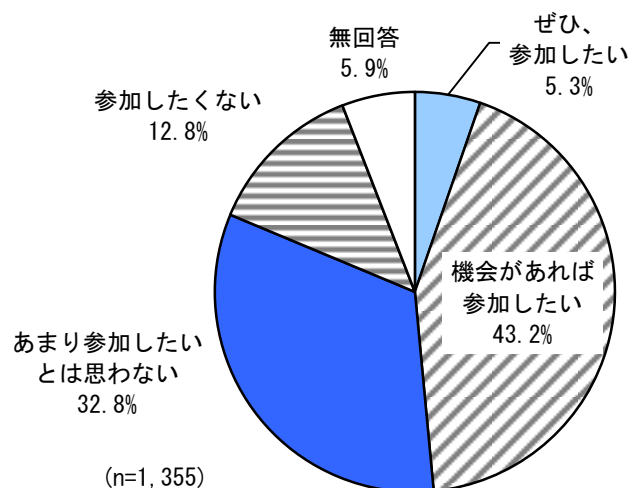
【図8-3 居住地区別 市民活動参加状況】



9. 市民活動への参加意向

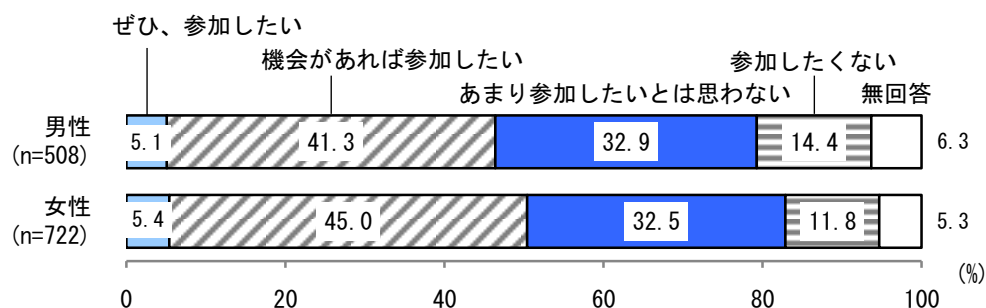
問9 あなたは、問8のような活動に参加したいと思いますか。現在、何らかの活動に参加されている方は、引き続き活動に参加したいと思いますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図9 市民活動への参加意向】



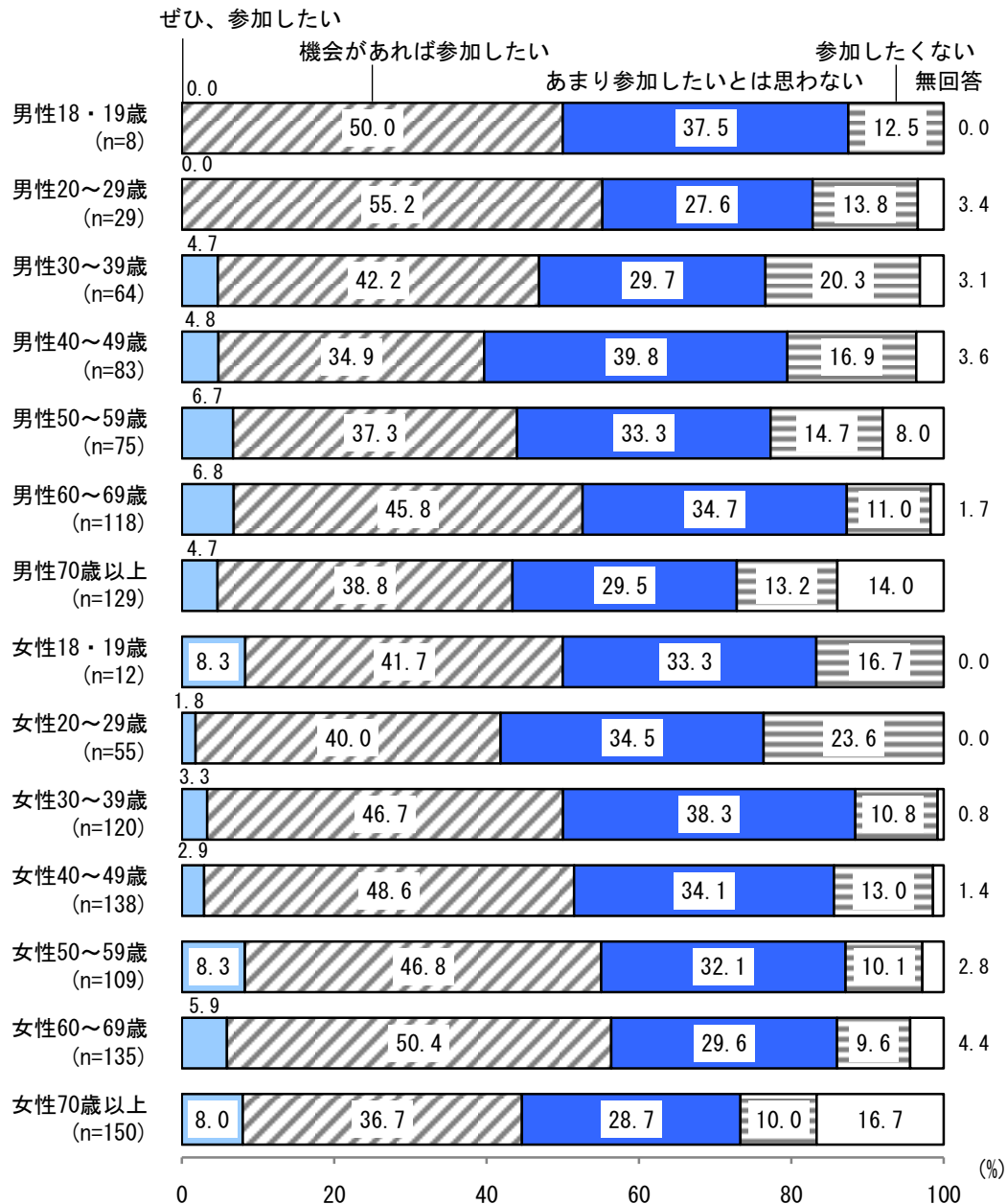
- 市民活動への参加意向については、「機会があれば参加したい」が43.2%と最も高く、次いで、「あまり参加したいとは思わない」が32.8%、「参加したくない」が12.8%、「ぜひ、参加したい」が5.3%となっている。(図9)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「機会があれば参加したい」が高く、男性では41.3%、女性では45.0%となっている。(図9-1)

【図9-1 性別 市民活動への参加意向】



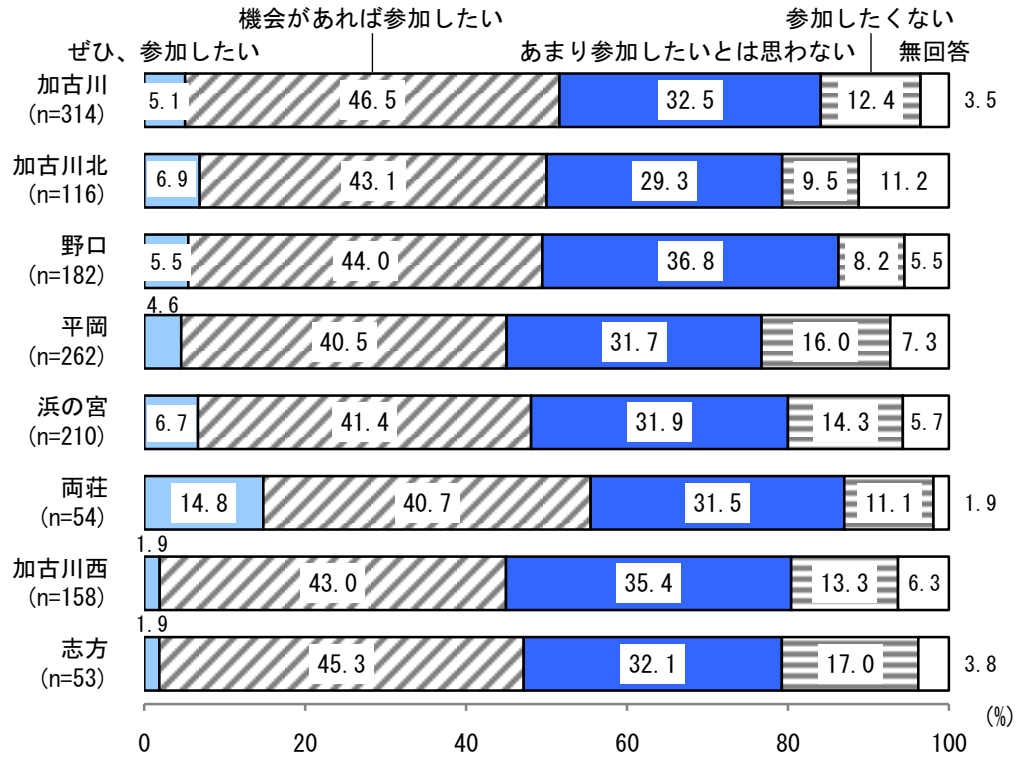
●性年代別でみると、男性18・19歳、男性20～29歳、男性30～39歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性18・19歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「機会があれば参加したい」がそれぞれ50.0%、55.2%、42.2%、37.3%、45.8%、38.8%、41.7%、40.0%、46.7%、48.6%、46.8%、50.4%、36.7%と最も高く、男性40～49歳では「あまり参加したいとは思わない」が39.8%と最も高くなっている。(図9-2)

【図9-2 性年代別 市民活動への参加意向】



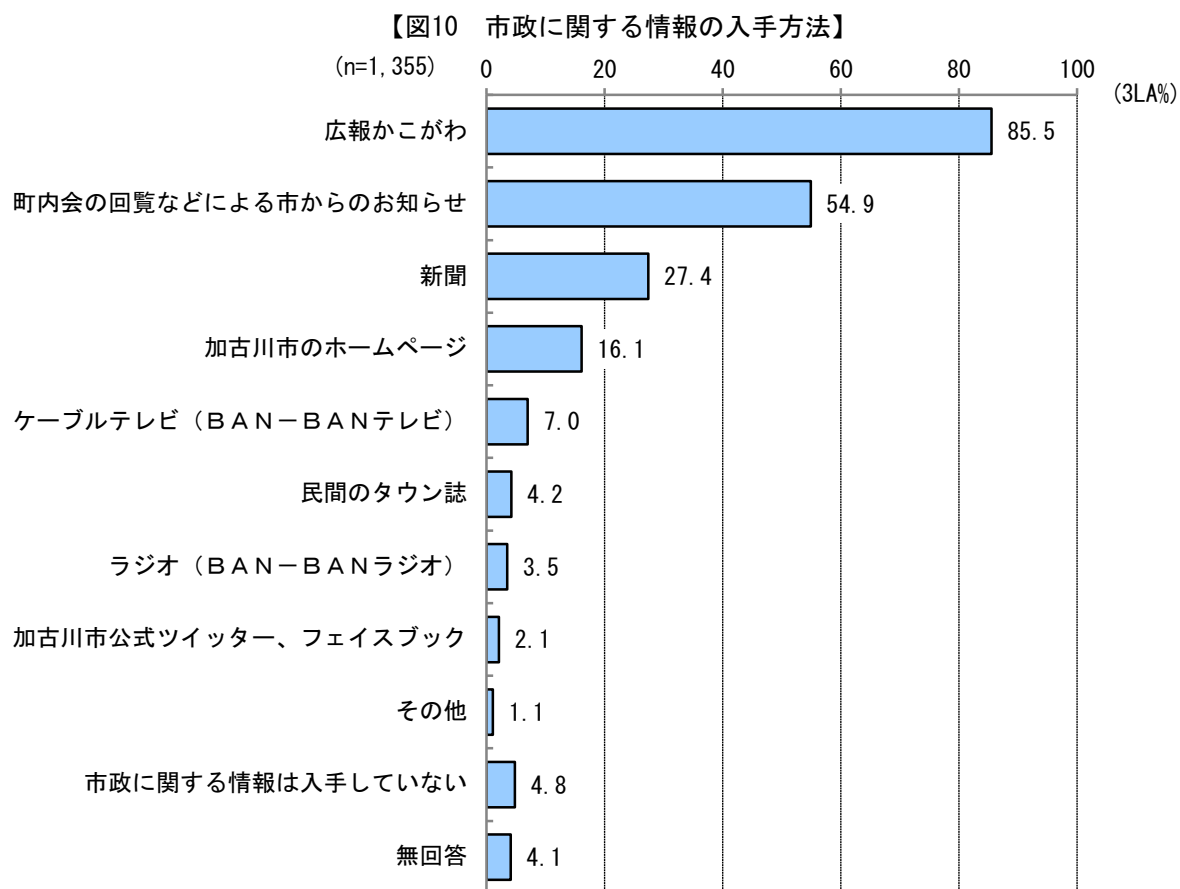
- 居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「機会があれば参加したい」が高く、加古川では46.5%、加古川北では43.1%、野口では44.0%、平岡では40.5%、浜の宮では41.4%、両荘では40.7%、加古川西では43.0%、志方では45.3%となっている。（図9-3）

【図9-3 性年代別 市民活動への参加意向】



10. 市政に関する情報の入手方法

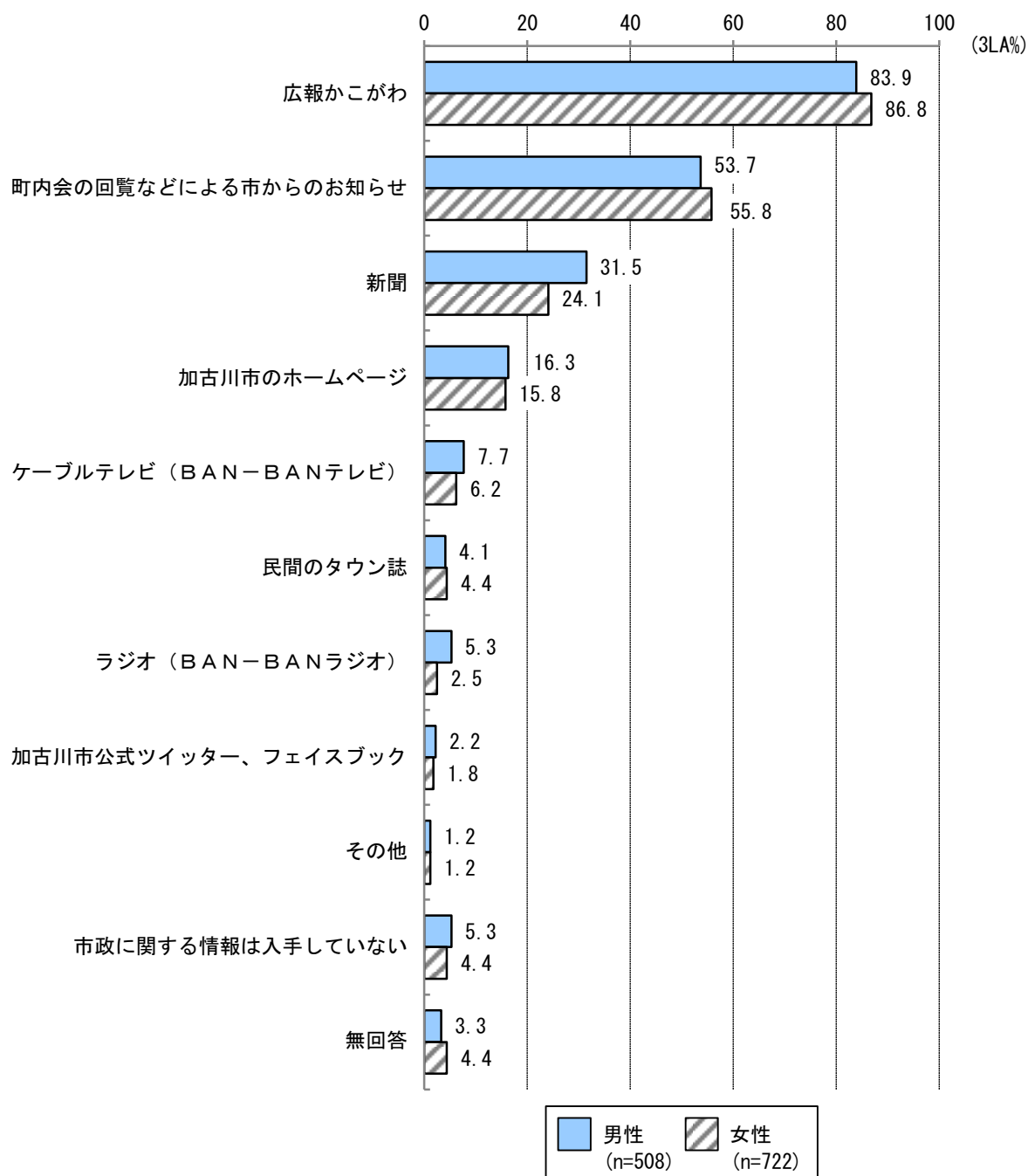
問10 あなたは市政に関する情報について、どのような方法で入手していますか。
あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。



- 市政に関する情報の入手方法については、「広報かこがわ」が85.5%と最も高く、次いで、「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」が54.9%、「新聞」が27.4%、「加古川市のホームページ」が16.1%、「ケーブルテレビ (BAN-BANテレビ)」が7.0%となっている。(図10)

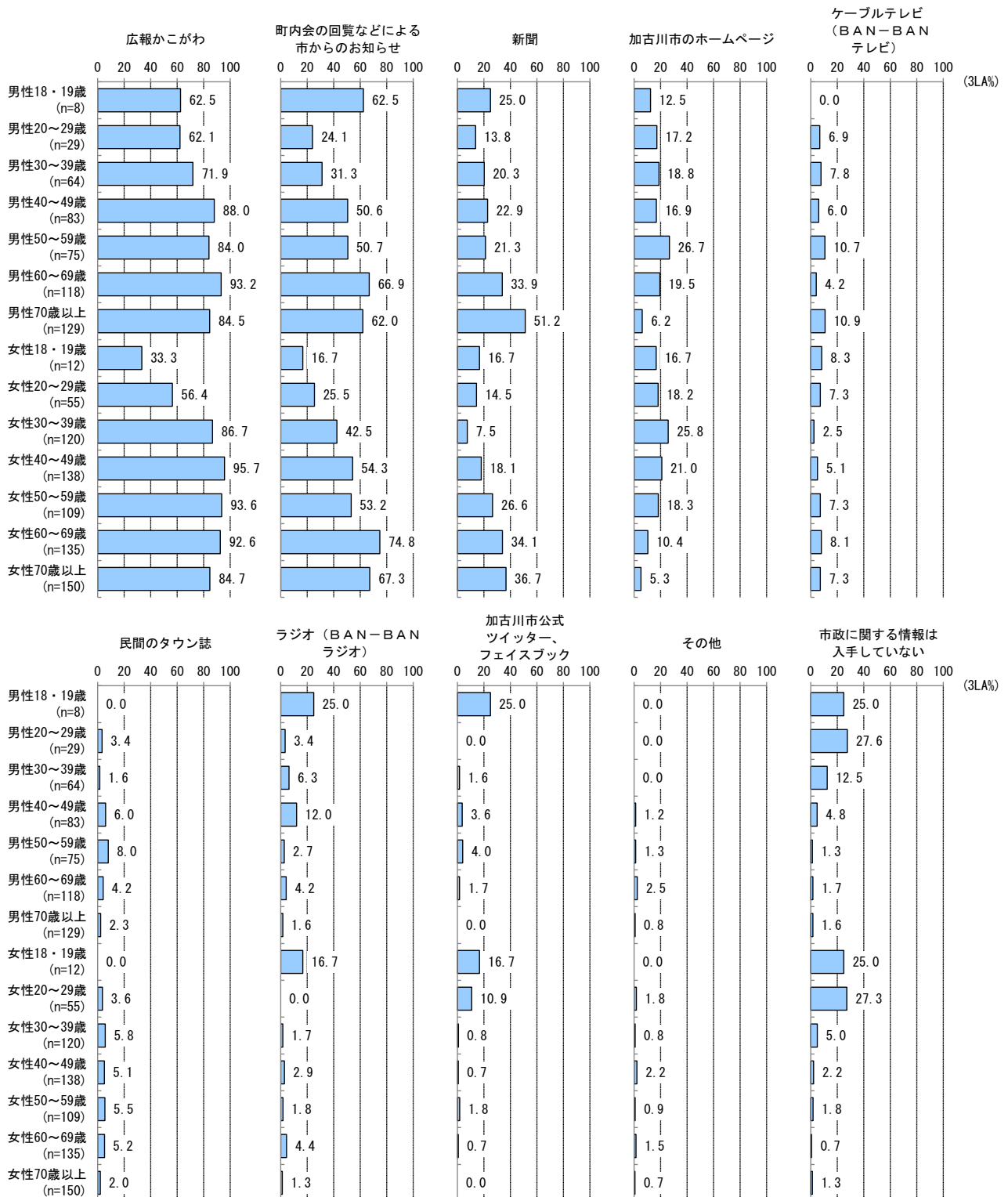
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「広報かこがわ」が高く、男性では83.9%、女性では86.8%となっている。(図10-1)

【図10-1 性別 市政に関する情報の入手方法】



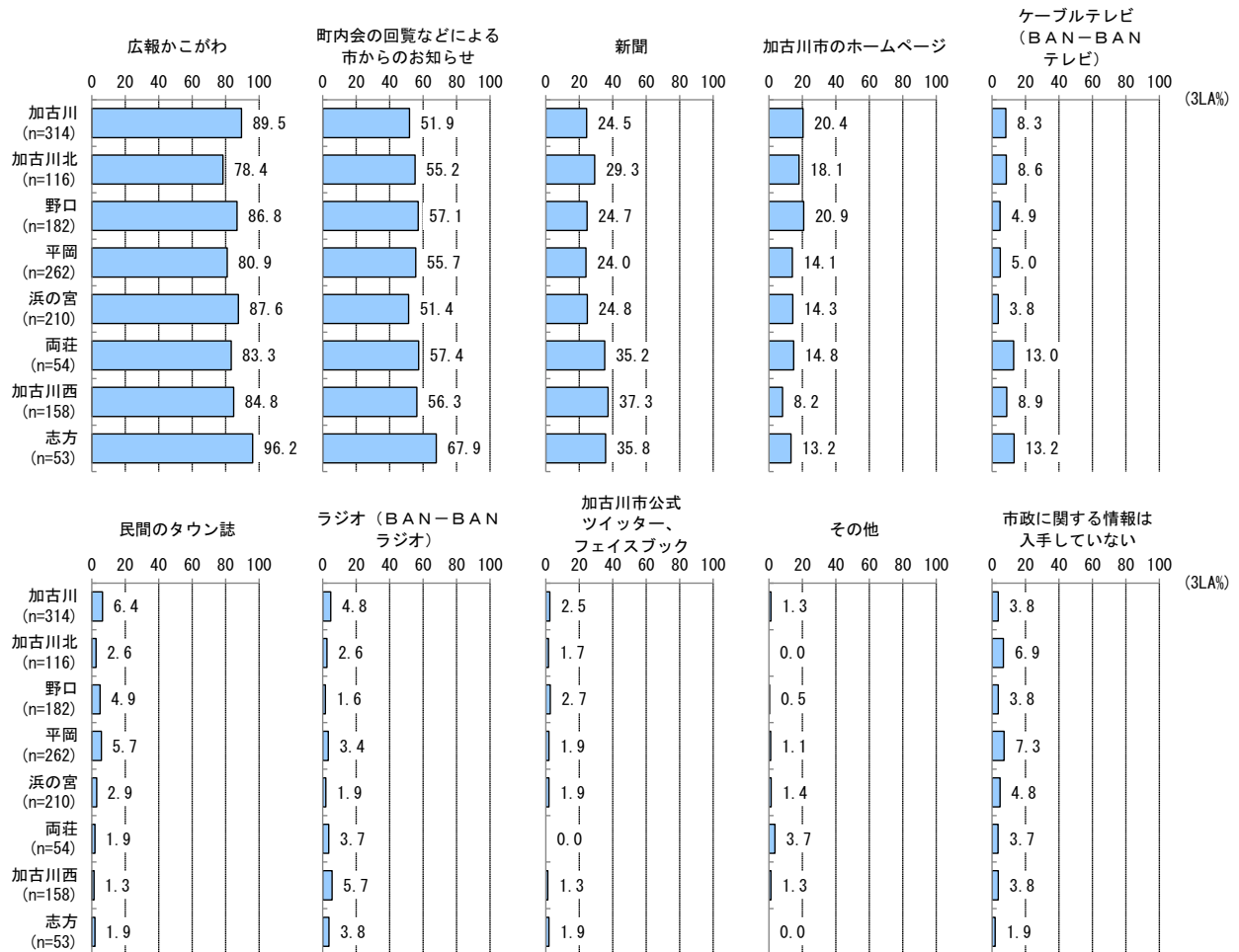
●性年代別でみると、男性18・19歳では「広報かこがわ」と「町内会の回覧などによる市からのお知らせ」が62.5%と最も高く、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性18・19歳、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「広報かこがわ」がそれぞれ62.1%、71.9%、88.0%、84.0%、93.2%、84.5%、33.3%、56.4%、86.7%、95.7%、93.6%、92.6%、84.7%と最も高くなっている。（図10-2）

【図10-2 性年代別 市政に関する情報の入手方法】



●居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「広報かこがわ」が高く、加古川では89.5%、加古川北では78.4%、野口では86.8%、平岡では80.9%、浜の宮では87.6%、両荘では83.3%、加古川西では84.8%、志方では96.2%となっている。(図10-3)

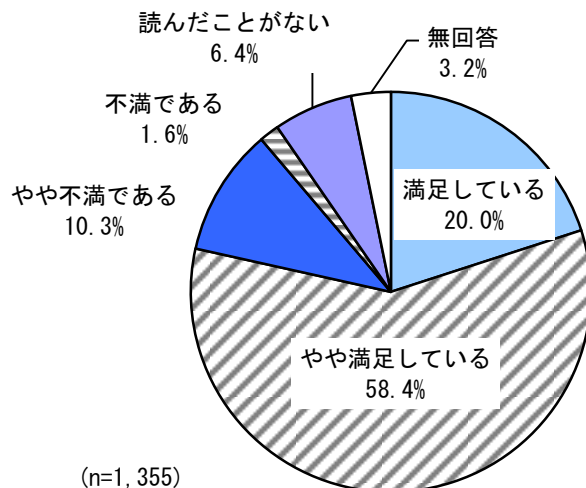
【図10-3 居住地区別 市政に関する情報の入手方法】



11. 「広報かこがわ」に対する満足度

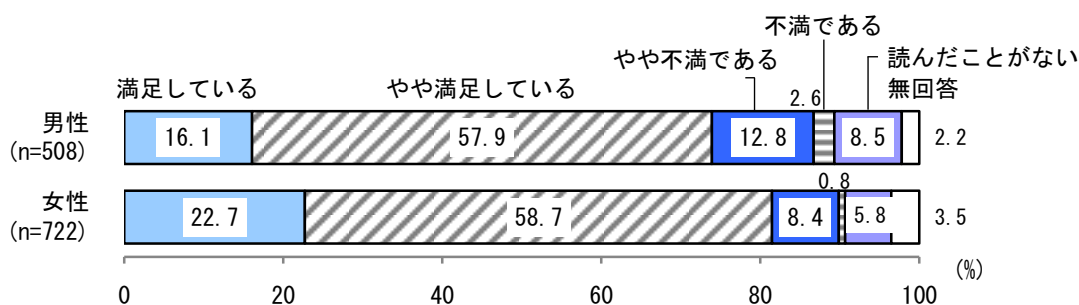
問11 「広報かこがわ」について、あなたは、どの程度満足していますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図11 「広報かこがわ」に対する満足度】



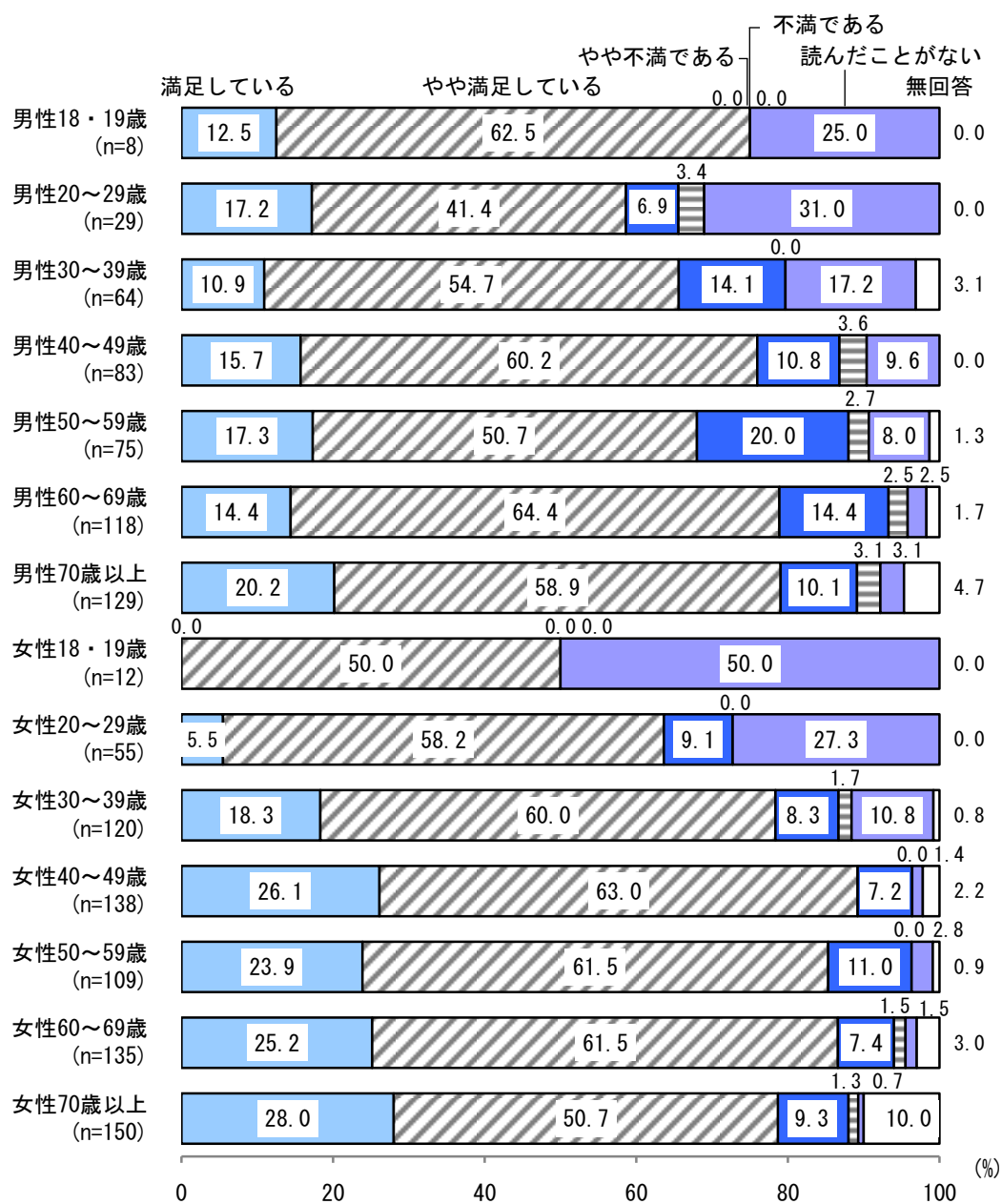
- 「広報かこがわ」に対する満足度については、「やや満足している」が58.4%と最も高く、次いで、「満足している」が20.0%、「やや不満である」が10.3%、「読んだことがない」が6.4%、「不満である」が1.6%となっている。(図11)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が高く、男性では57.9%、女性では58.7%となっている。(図11-1)

【図11-1 性別 「広報かこがわ」に対する満足度】



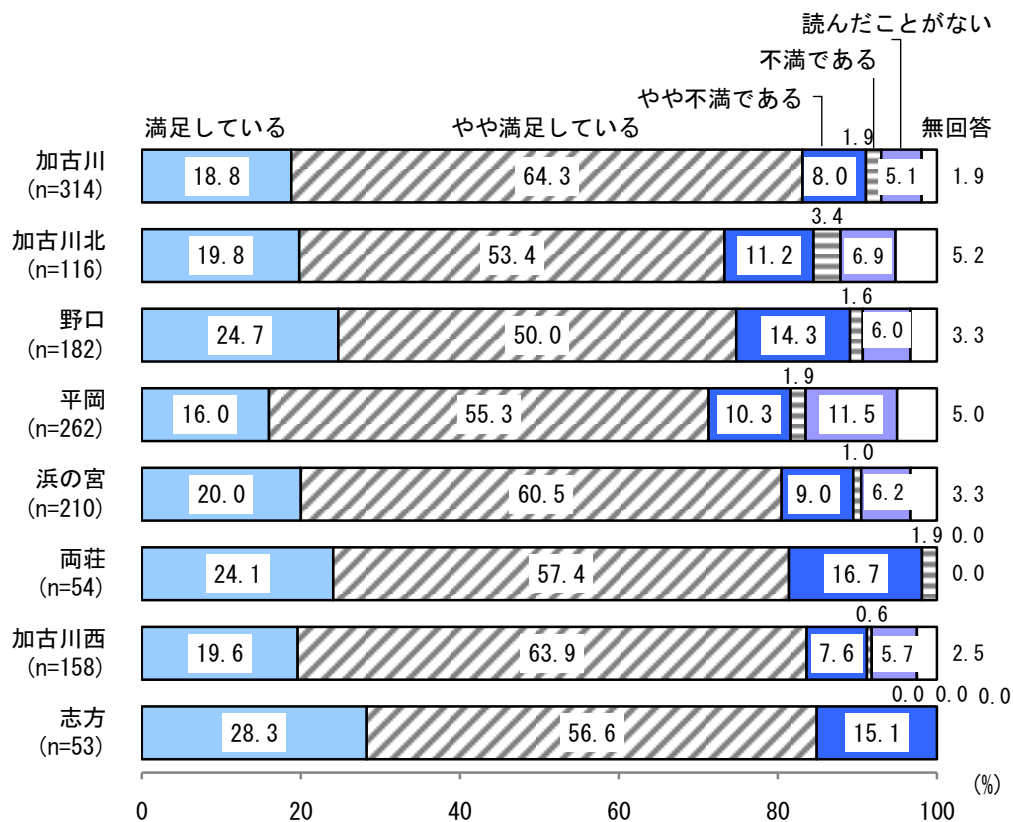
●性年代別でみると、男性18・19歳、男性20～29歳、男性30～39歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「やや満足している」がそれぞれ62.5%、41.4%、54.7%、60.2%、50.7%、64.4%、58.9%、58.2%、60.0%、63.0%、61.5%、61.5%、50.7%と最も高く、女性18・19歳では「やや満足している」と「読んだことがない」が50.0%と最も高くなっている。(図11-2)

【図11-2 性年代別 「広報かがわ」に対する満足度】



- 居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が高く、加古川では64.3%、加古川北では53.4%、野口では50.0%、平岡では55.3%、浜の宮では60.5%、両荘では57.4%、加古川西では63.9%、志方では56.6%となっている。(図11-3)

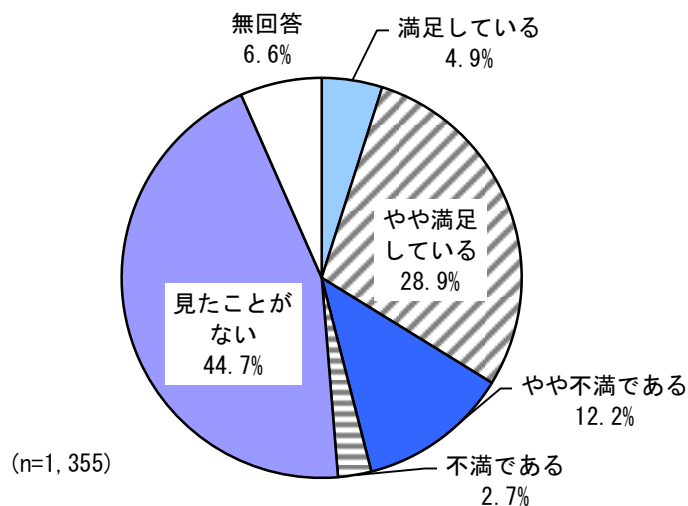
【図11-3 居住地区別 「広報かこがわ」に対する満足度】



12. 「加古川市のホームページ」に対する満足度

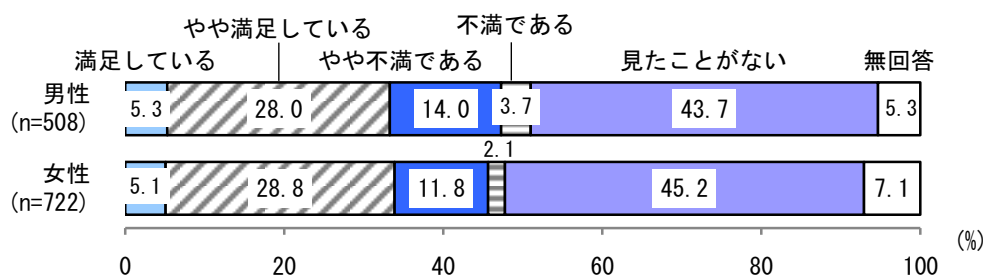
問12 「加古川市のホームページ」について、あなたは、どの程度満足していますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図12 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



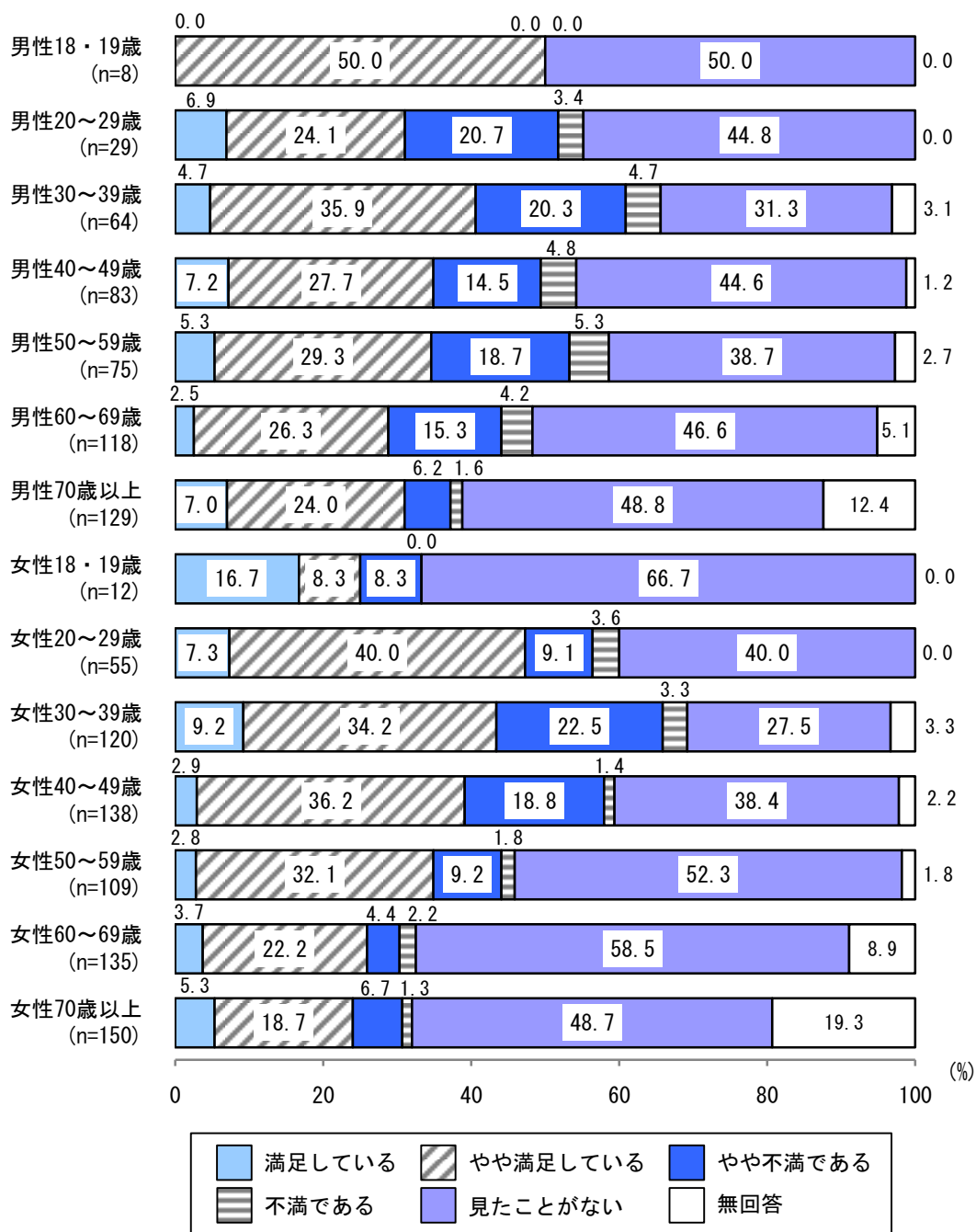
- 「加古川市のホームページ」に対する満足度については、「見たことがない」が44.7%と最も高く、次いで、「やや満足している」が28.9%、「やや不満である」が12.2%、「満足している」が4.9%、「不満である」が2.7%となっている。(図12)
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「見たことがない」が高く、男性では43.7%、女性では45.2%となっている。(図12-1)

【図12-1 性別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



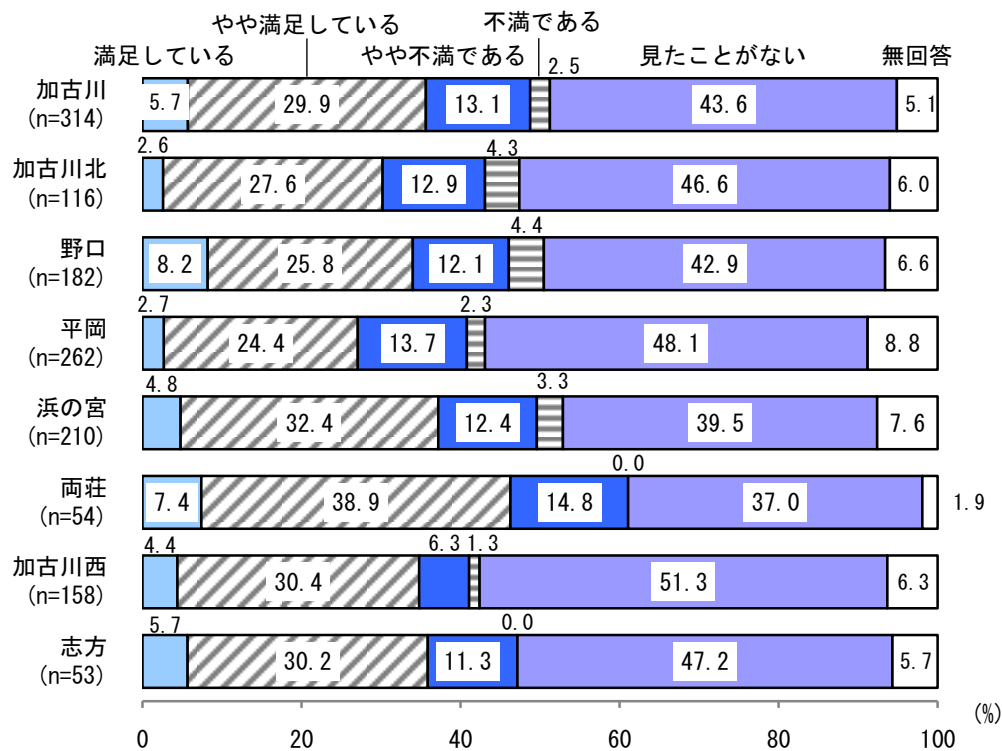
●性年代別でみると、男性18・19歳では「やや満足している」と「見たことがない」が50.0%と最も高く、男性20～29歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性18・19歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「見たことがない」がそれぞれ44.8%、44.6%、38.7%、46.6%、48.8%、66.7%、38.4%、52.3%、58.5%、48.7%と最も高く、男性30～39歳、女性30～39歳では「やや満足している」がそれぞれ35.9%、34.2%と最も高く、女性20～29歳では「やや満足している」と「見たことがない」が40.0%と最も高くなっている。(図12-2)

【図12-2 性年代別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



- 居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、浜の宮、加古川西、志方では「見たことがない」がそれぞれ43.6%、46.6%、42.9%、48.1%、39.5%、51.3%、47.2%と最も高く、両荘では「やや満足している」が38.9%と最も高くなっている。（図12-3）

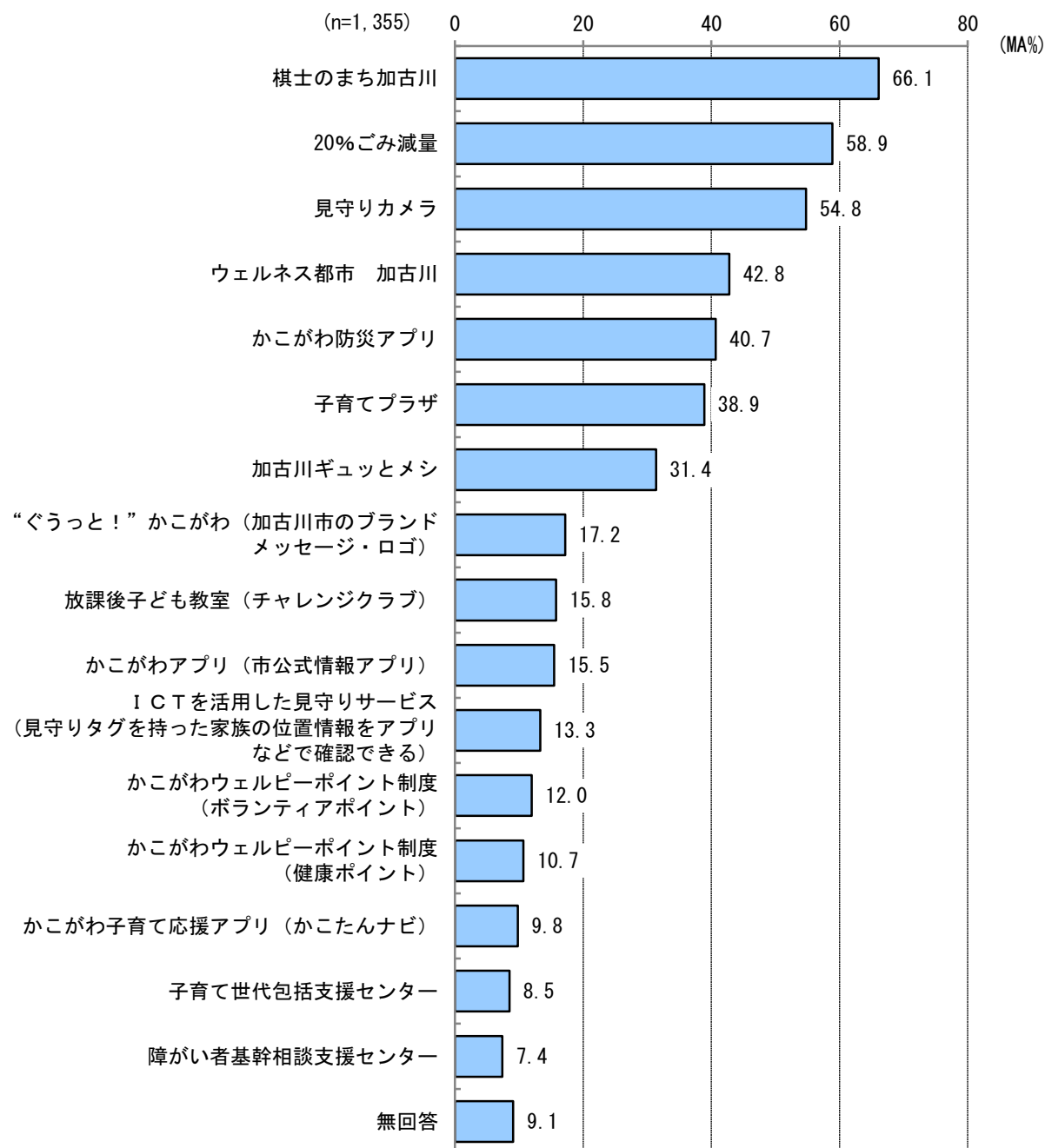
【図12-3 居住地区別 「加古川市のホームページ」に対する満足度】



13. 加古川市の取組等の認知度

問13 以下に記載した項目について、知っているものをすべて選んで番号に○をつけてください。

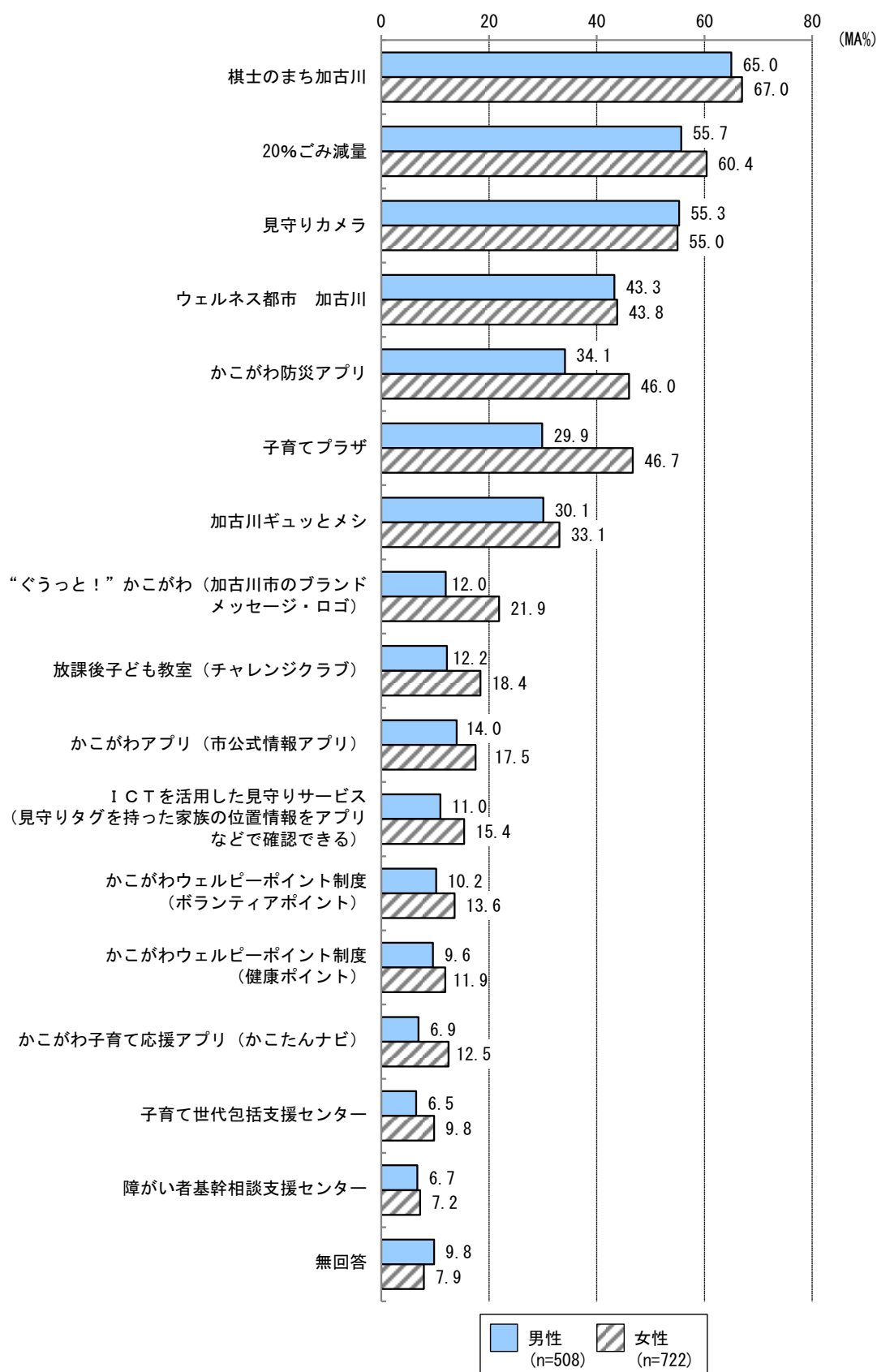
【図13 加古川市の取組等の認知度】



●加古川市の取組等の認知度については、「棋士のまち加古川」が66.1%と最も高く、次いで、「20%ごみ減量」が58.9%、「見守りカメラ」が54.8%、「ウェルネス都市 加古川」が42.8%、「かこがわ防災アプリ」が40.7%となっている。（図13）

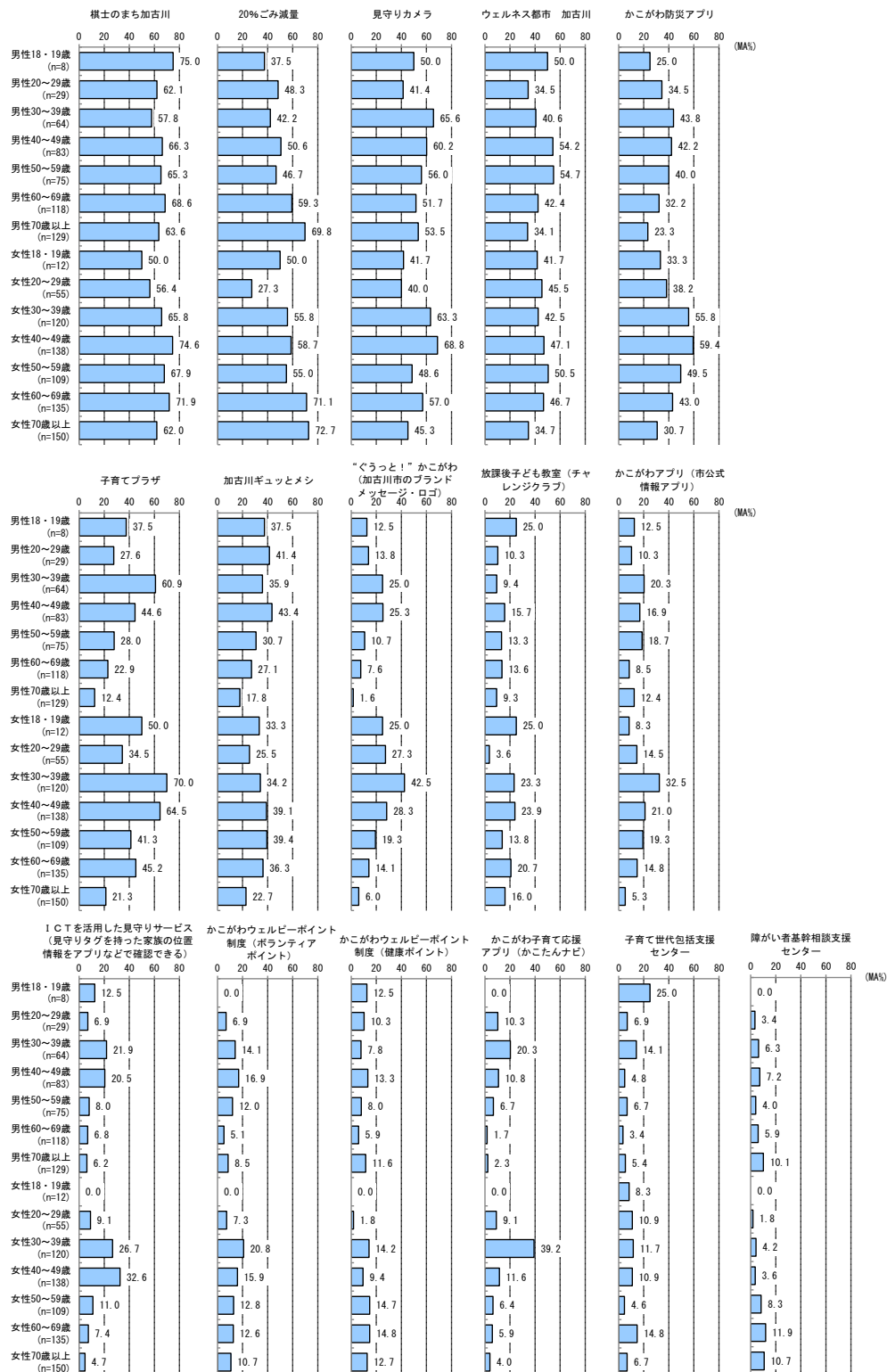
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「棋士のまち加古川」が高く、男性では65.0%、女性では67.0%となっている。(図13-1)

【図13-1 性別 加古川市の取組等の認知度】



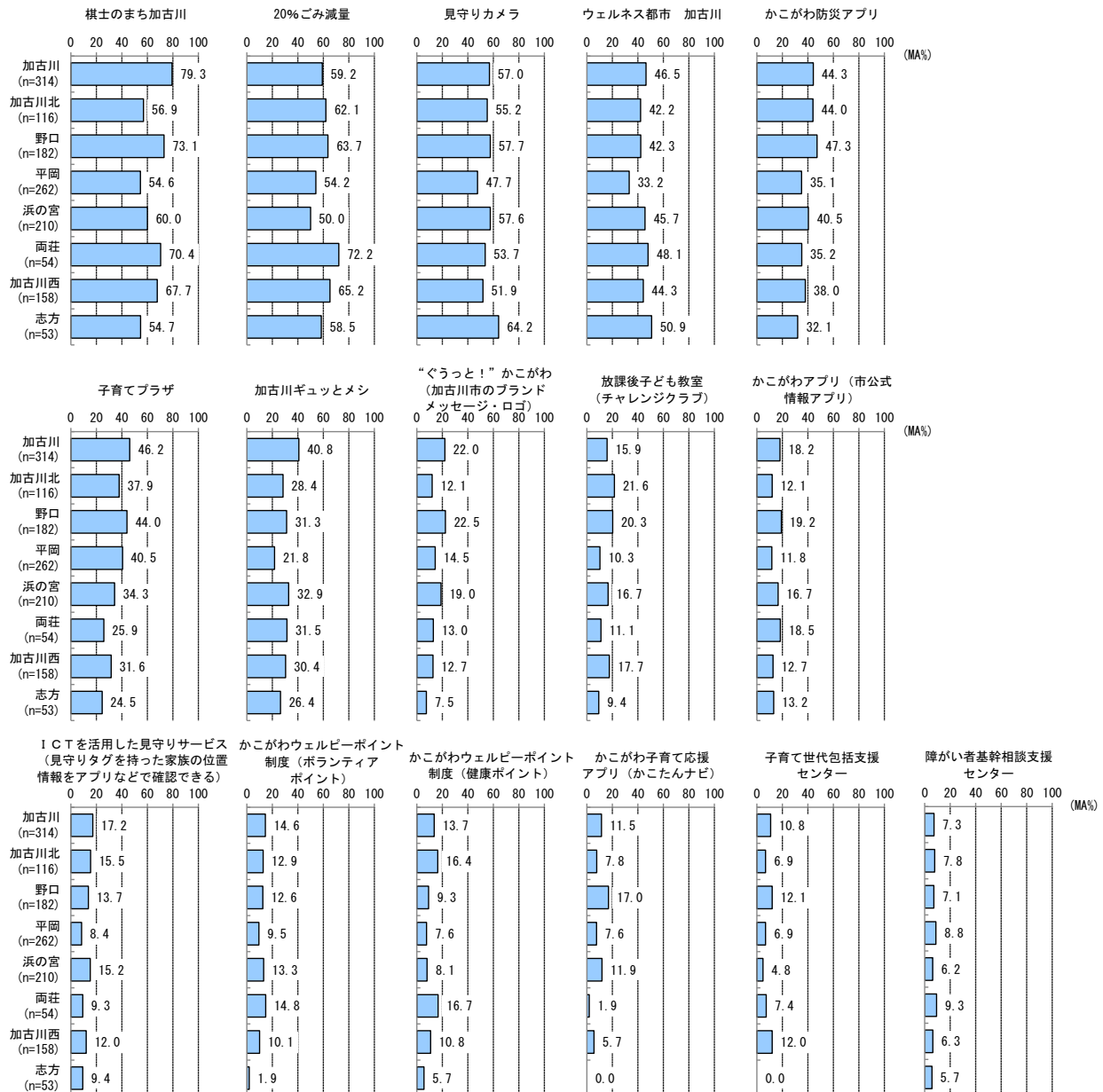
●性年代別でみると、男性18・19歳、男性20～29歳、男性40～49歳、男性50～59歳、男性60～69歳、女性20～29歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳では「棋士のまち加古川」がそれぞれ75.0%、62.1%、66.3%、65.3%、68.6%、56.4%、74.6%、67.9%、71.9%と最も高く、男性30～39歳では「見守りカメラ」が65.6%と最も高く、男性70歳以上、女性70歳以上では「20%ごみ減量」がそれぞれ69.8%、72.7%と最も高く、女性18・19歳では「棋士のまち加古川」と「20%ごみ減量」、「子育てプラザ」が50.0%と最も高く、女性30～39歳では「子育てプラザ」が70.0%と最も高くなっている。(図13-2)

【図13-2 性年代別 加古川市の取組等の認知度】



●居住地区別でみると、加古川、野口、平岡、浜の宮、加古川西では「棋士のまち加古川」がそれぞれ79.3%、73.1%、54.6%、60.0%、67.7%と最も高く、加古川北、両荘では「20%ごみ減量」がそれぞれ62.1%、72.2%と最も高く、志方では「見守りカメラ」が64.2%と最も高くなっている。(図13-3)

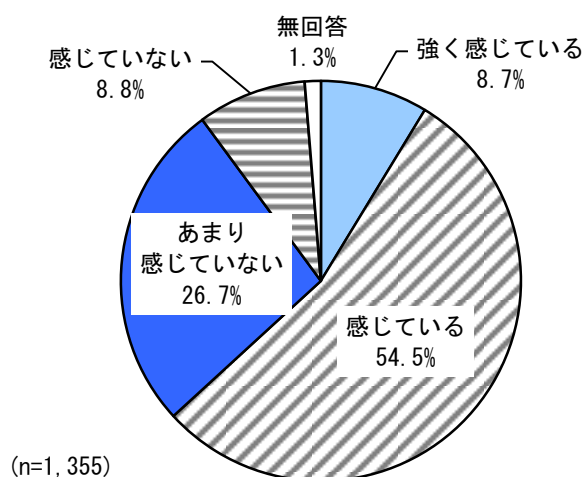
【図13-3 居住地区別 加古川市の取組等の認知度】



14. 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

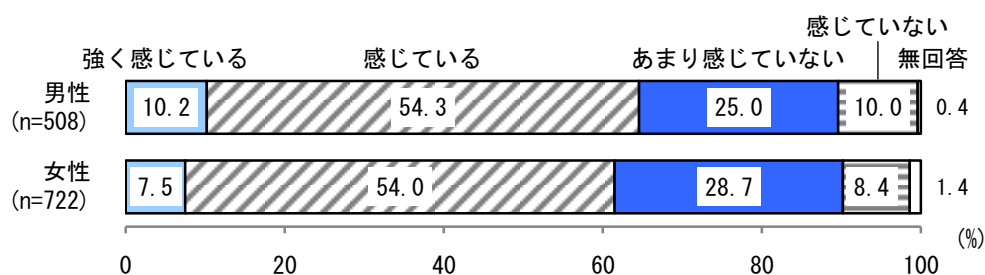
問14 あなたは、加古川市やお住まいの地域に、誇りや愛着を感じていますか。
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図14 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



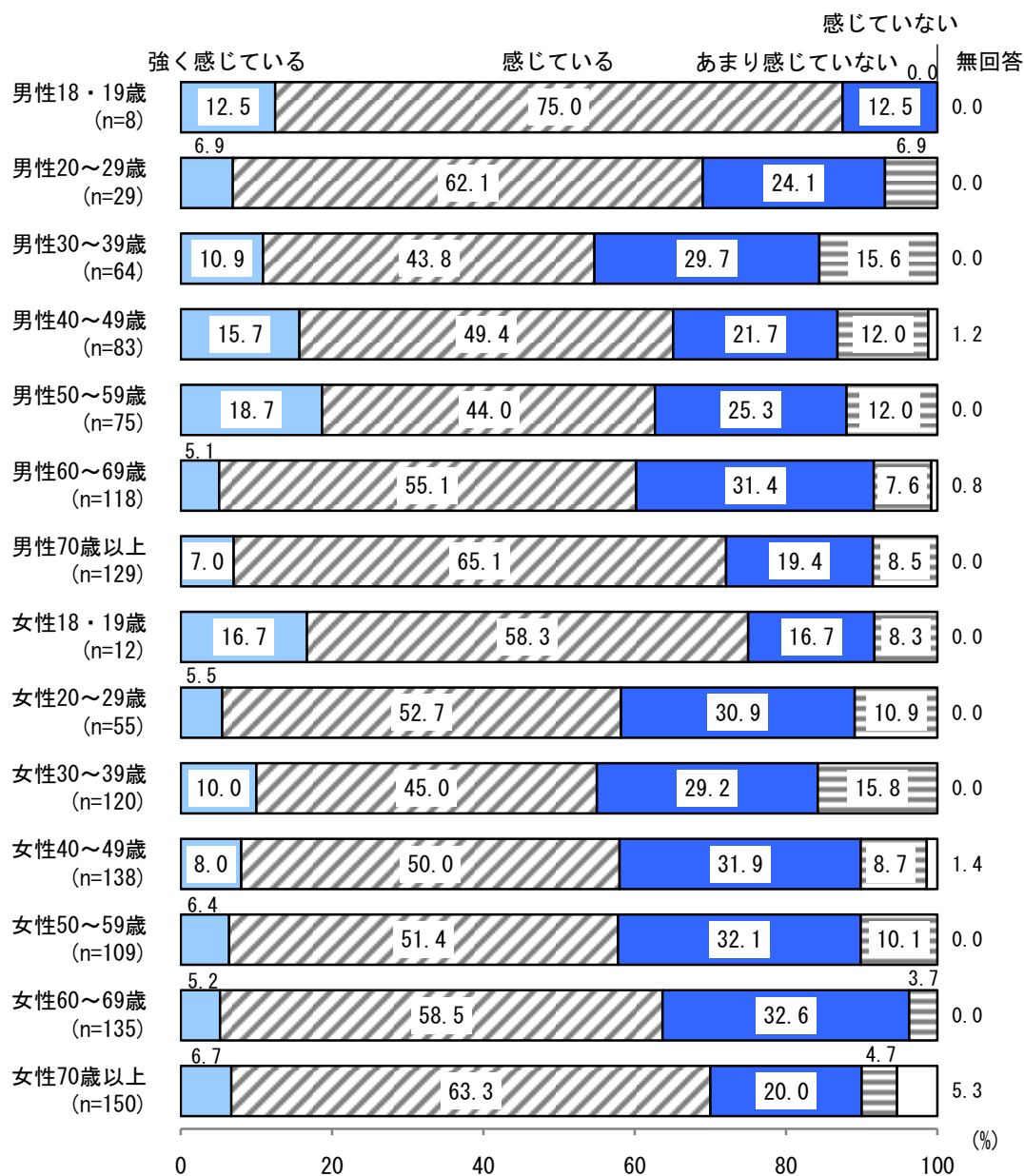
- 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度については、「感じている」が54.5%と最も高く、次いで、「あまり感じていない」が26.7%、「感じていない」が8.8%、「強く感じている」が8.7%となっている。（図14）
- 性別でみると、すべてのカテゴリーで「感じている」が高く、男性では54.3%、女性では54.0%となっている。（図14-1）

【図14-1 性別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



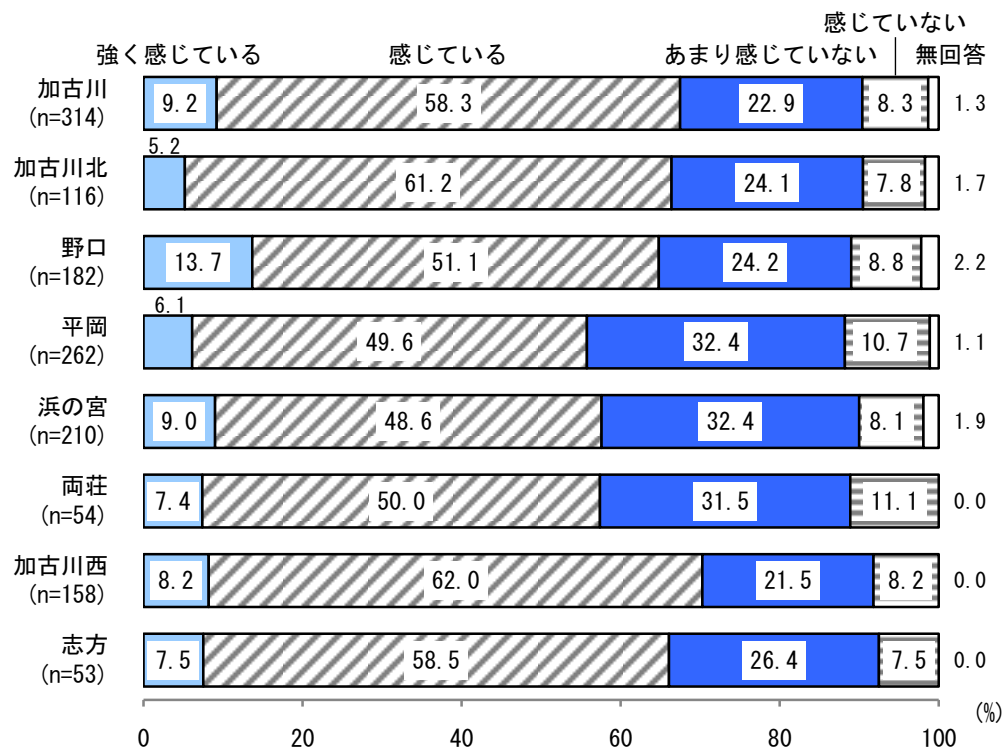
●性年代別でみると、すべてのカテゴリーで「感じている」が高く、男性18・19歳では75.0%、男性20～29歳では62.1%、男性30～39歳では43.8%、男性40～49歳では49.4%、男性50～59歳では44.0%、男性60～69歳では55.1%、男性70歳以上では65.1%、女性18・19歳では58.3%、女性20～29歳では52.7%、女性30～39歳では45.0%、女性40～49歳では50.0%、女性50～59歳では51.4%、女性60～69歳では58.5%、女性70歳以上では63.3%となっている。(図14-2)

【図14-2 性年代別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



- 居住地区別でみると、すべてのカテゴリーで「感じている」が高く、加古川では58.3%、加古川北では61.2%、野口では51.1%、平岡では49.6%、浜の宮では48.6%、両荘では50.0%、加古川西では62.0%、志方では58.5%となっている。(図14-3)

【図14-3 居住地区別 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度】



15. 自由意見

有効回答数1,355件のうち、記述があったのは654件で、テーマごとに分類して集計した結果、意見の延べ件数は1,000件となった。分類した結果は以下のとおりである。（主な意見を掲載）

1	ともに支え合う福祉社会の実現について	118件
a	子育て支援	70件
	・待機児童の数を減らしてほしい。 ・子どもの医療費の助成について、所得制限をなくしてほしい。 ・貧困家庭の子どもについて調査し、子ども食堂を増やすなど、対応出来る事を考えてほしい。 ・子育て支援策を所得にかかわらず、全ての世帯が利用できるようにしてほしい。 ・公立・私立共に、保育時間を延長してほしい。 ・保育園以外に安心して子どもを預けられる施設があればよい。 ・第2子の保育園料を無料とまではいなくても、第1子が就学しても半額にするなどの対応をしてほしい。	
b	高齢者福祉	38件
	・一人になった時に、安心して入居できる老人ホームが増えてほしい。 ・後期高齢者の保険料が高い。 ・老後の生活において、健康面や、自動車以外の交通手段の確保について不安を感じる。	
c	障がい者福祉	10件
	・障がい児でも通園・通学しやすい学校園にしてほしい。	
2	健康づくりや地域医療の充実について	31件
a	健康づくり活動の支援	13件
	・健康増進教育を小学生から高齢者まで、幅広く行ってもらいたい。	
b	地域医療体制	18件
	・紹介状がなくても、受診できる総合病院があればよい。 ・夜間の急病体制を充実させてほしい。	
3	市民生活の安全・安定の確保について	91件
a	防犯・交通安全対策	71件
	・治安や交通マナーが悪い印象がある。 ・街灯が少ないので、夜は暗く、危険に感じる。 ・事件や不審者情報が多いので、パトロールや防犯カメラ、街灯を増やしてほしい。 ・大型車両を含め、交通量の多い道が小・中学校の通学路になっている。子ども達の安全確保のためにも、登下校時の通行の制限などを検討してほしい。 ・自転車の交通マナーの向上を図ってほしい。 ・空き家対策に力を入れてほしい。	
b	地域の防災体制	20件
	・自然災害の増加に向けて、加古川の治水対策や、沿岸部の高潮対策をしてほしい。 ・地震、台風に対して、市と町内会・自治会の連携を密にしてもらいたい。	

4	学校教育の充実について	32件
a	学習環境の整備	29件
	・学習環境（給食、エアコン、トイレ、ＩＣＴなど）を充実させてほしい。 ・北部地域の小規模学校への対応を検討してほしい。	
b	特別支援教育	3件
	・知的障害のある子どもが働く場を探す、合同面接会などを行ってほしい。	
5	地域における教育・学習環境の整備について	6件
a	生涯学習の機会や学習環境	6件
	・働く職場以外の交流の機会がほしい。	
6	スポーツや文化・芸術の振興について	25件
a	スポーツ・レクリエーション活動、文化・芸術の機会提供	25件
	・文化的な場所や催しが少なく、市民レベルの催しが多いため、子どもたちから本物の芸術などに触れることが難しいように感じる。 ・加古川マラソンを、県外、市外から参加する人がもっと加古川のまちを楽しめたり、味わったりできるような大会にしてほしい。	
7	地球環境と地球の環境の保全について	35件
a	自然環境の保全	15件
	・駅近くの道路の植栽が、伸びていたりゴミが捨ててあったりして、見苦しいことがあるのでよく手入れしてほしい。	
b	大気や水質・騒音等の環境対策	20件
	・ゴミがたくさん落ちており、川が汚い印象がある。 ・工場からの異臭や粉じんに悩まされている。	
8	資源の循環と環境美化の推進について	45件
a	ごみの処理・不用品のリサイクルの推進	24件
	・粗大ゴミの不法投棄が気になるので、粗大ゴミの取扱いについて対策をしてほしい。 ・分別回収が実施されているが、回収出来ない物が、ゴミステーションに残されている。啓発を図ってほしい。	
b	ポイ捨てやペットのふん害防止	13件
	・ポイ捨てをしている人がいる。 ・河川敷や公園に、ポイ捨てされたごみや空き缶が多い。 ・のら猫のふん害に悩まされているため、対策をしてほしい。	
c	上下水道の整備	8件
	・加古川市内全域に下水道を整備してほしい。	
9	農業・水産業について	9件
a	農業の振興	9件
	・田畑の売買に関する規制を緩和してほしい。 ・放棄田への対策を進めてほしい。	

10 工業・地場産業の振興について	11件
a 産業の活性化	7件
・加古川市内でもっと企業誘致などを行ってほしい。	
b 地場産業の活性化	4件
・加古川市の資源や農産物等を生かしたイベントを開催してほしい。	
11 商業・観光の振興について	47件
a 商業の活性化	28件
・商店街の活性化もしくは、再開発が必要だと思う。 ・昔の商店街で年末にあった「せいもんばらい」のような、大勢の老若男女を呼び寄せる企画をしてほしい。	
b 観光資源の有効活用・観光事業の活性化	19件
・加古川市に観光客を呼び込む、魅力ある施設やレジャーセンター等がないので何かしてほしい。	
12 機能的・効率的なまちの形成について	215件
a 都市基盤の整備	47件
・ウェルネスパークと加古川図書館の駐車場が利用しづらい。 ・じけまち、ベルデモール、ヤマトヤシキ、サンライズビル等、加古川駅南側の発展をしてほしい。 ・市営のスポーツ施設を利便性が高い所につくってほしい。	
b 幹線道路の整備	64件
・主要道路（加古川橋、池尻橋、上荘橋など）の通勤時間帯の渋滞を解消してほしい。 ・道路がせまく、交通の便も悪い点を改善してほしい。 ・加古川バイパスでの渋滞が多く、事故が多い。 ・地域によっては全体的に道路がせまいため、今後大災害の時心配	
c 公共交通	104件
・交通機関などが不便で車がないと暮らせない。 ・駅や病院までのバス利用をネット予約できたらいい。 ・かこバスの路線を拡大してほしい。 ・ＪＲ（加古川）と山電（高砂）（尾上の松）間のシャトルバスがあれば、一方の電車の運休時などに便利である。 ・後期高齢者にタクシーの割引チケットを配付してほしい。 ・かこバス、土・日・祝のバスについて、朝晩の本数を増やしてほしい。 ・高齢者のバスの運賃の割引制度などがあればよい。 ・交通の便が悪いので、市内のどこに住んでいてもバス等が利用出来るよう考えてほしい。	
13 安全・快適な暮らしの基盤の整備について	81件
a 地域内道路の整備	46件
・歩道のない道路があり危険なので、歩道を整備してほしい。 ・自転車の移動が多いので道路の補修、歩道の段差の点検をしてほしい。 ・通学路がせまい所が多く、見通しが悪い歩道もあり、子どもを連れて歩くのが大変である。 ・道路を整備して、歩道、自転車道、車道に分けてほしい。	
b 公園・緑地や水辺の整備	35件
・子どもが自由に遊べるスペースがあるような大きめの公園を増やしてほしい。 ・遊具を更新してほしい。 ・日岡山公園の桜の木の栄養不足が気になるので対策をお願いしたい。	

14 まちづくりの進め方について	162件
a まちの全体像	73件
・高齢者にやさしいまちづくりを推進してほしい。 ・安心・安全なまちにしてほしい。 ・もっと積極的に若い人達が加古川に住みたいと思うようなまちにしてほしい。 ・楽しく活気のある、加古川市に住んでよかったと思うまちづくりに取り組んでほしい。 ・景観を大切にしたいまちづくりをしてほしい。 ・老後、若い家族とコミュニケーションを取れるまちづくりを推進してほしい。 ・川（河岸）、海、山といった加古川市特有の地域資源を生かしたまちづくりを工夫してほしい。	
b 市民活動や行政との協働	15件
・初心者でも参加しやすいボランティア活動をホームページ等で紹介してほしい。	
c 行政	74件
・市民が加古川市に誇りと愛着を感じるようなPR方法を考えてほしい。 ・税金が高いため節税して市民に還元してほしい。 ・行政と市民の距離が遠いと思う。 ・市役所の職員（市民センター含む）の対応が、あまり親切には感じられない。 ・防犯に対する意識が行政に低いと思う。 ・税金をどういう形で使用しているか見えてこない。	
15 その他	92件
a アンケート	35件
・アンケートの【参考】欄が分かりにくいいため、現在進めている加古川市の具体的な取組を書いてほしい。 ・利用していない施策の満足度については、答えようがないため、選択肢に「わからない」を追加してほしい。 ・アンケートをとったことだけに満足せず、是非大いに活用してほしい。	
B その他	57件
・家族や友達と遊ぶ場所がない。 ・一体感が得られるものがなく、愛着が湧かないので加古川を離れても仕方がないのかと思う。 ・住み良い街だとは思いますが、誇り、愛着となると感じられない。 ・加古川市内への市外からの引っ越し等について、支援が充実してくれればうれしい。 ・中心市街地の空洞化を止める対策をしてほしい。	
延べ件数	1,000件

Ⅲ 総括

1. 全体考察

■ 回答者について

回答者は60歳以上の高齢者の割合が高く、約4割を占めており、この傾向が全体の回答結果にも影響しているものと考えられます。また、約7割の人が、加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約3割、「無職」が約2割となっています。通勤・通学をしている人のうち、通学・通勤先は、約5割が市内、残りが市外となっています。また、通勤・通学をしている人の約5割は、「自動車」を利用しています。

■ 定住意向について

6割以上の人が、加古川市での定住意向があると回答しています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向がみられます。地区別にみると、野口地区において、最も強い定住意向がみられます。

定住意向がない人のうち、転居したい理由としては、通勤、通学に不便であることや、買い物環境が充実していないこと、景観・まちなみに魅力が少ないことなどが挙げられています。性年代別にみると傾向は異なり、30歳代男女では子育て環境の充実、60歳代男性では買い物環境の充実を求める声が理由として挙げられています。地区別でも傾向は異なり、加古川西地区では希望する仕事や魅力的な職場を求める声が多く挙げられています。

また、市外への転居を希望する人のうち、転居先としては、神戸市を希望する人が約3割、明石市を希望する人が約2割となっています。女性では神戸市を希望する人が約4割となっています。

■ 満足度・重要度について

満足度では、「水道水の供給」や「下水道の整備」、「消防や救急・救命体制」などへの評価が高いものの、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」などへの評価が低くなっています。

重要度では「安心できる医療体制」や「介護保険など社会保障制度の適正な運営」、「消防や救急・救命体制」などが上位となっています。

重要度が高い一方で満足度が低くなっている項目は「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」などが挙げられます。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策として何の取組も行っていない人は約4割、防犯対策として何の取組も行っていない人は約3割となっています。防災対策よりも防犯対策について、家庭での取り組みをしているという割合が高くなっています。

■ 公共交通（バス）について

現在バスを利用している人は約1割となっています。男性よりも女性の方がその割合は高く、性年代別にみると、女性70歳以上が最も高くなっています。地区別にみると、野口地区、浜の宮地区で、その割合が高くなっています。

バスの利用目的は「普段の買い物」や「通院」が約3割となっています。地区別にみると傾向が異なり、両荘地区では「普段の買い物」や「通院」、「普段の用事」、加古川西では「外食・娯楽」、志方地区では「通勤・通学」がそれぞれ他の地区よりも高くなっています。

バスに対する不満としては、「運行本数が少ない」や「ちょうどよい時間帯のバスがない」が上位になっています。バスを利用しない理由としては、「他の交通手段を利用するから」が最も多く回答されており、他の交通手段の内容としては、「自家用車」や「自転車」が上位となっています。

■ 市民活動の参加状況・参加意向

市民活動に参加をしている人は、約2割となっています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別にみると、両荘地区では約3割と他の地区と比べて最も高くなっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）は約5割となっており、参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることがわかります。また、性別では男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、年代別では70歳以上が他の年代よりも低い傾向にあります。

■ 市政に関する情報や「広報かこがわ」「加古川市のホームページ」について

約9割の人が、市政に関する情報については「広報かこがわ」から入手していると回答しています。町内会の回覧からという回答も多く、男性で約5割、女性で約6割となっています。

広報かこがわについて、約8割の人が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）と回答している一方で、50歳代以下男性、30歳代以下女性では、読んだことがない人が約1割以上となっています。

市のホームページについては、「見たことがない」という人が約5割と最も多くなっています。加古川西地区では見たことがないという人が5割を超えており、他の地区と比べて最も高くなっています。

■ 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

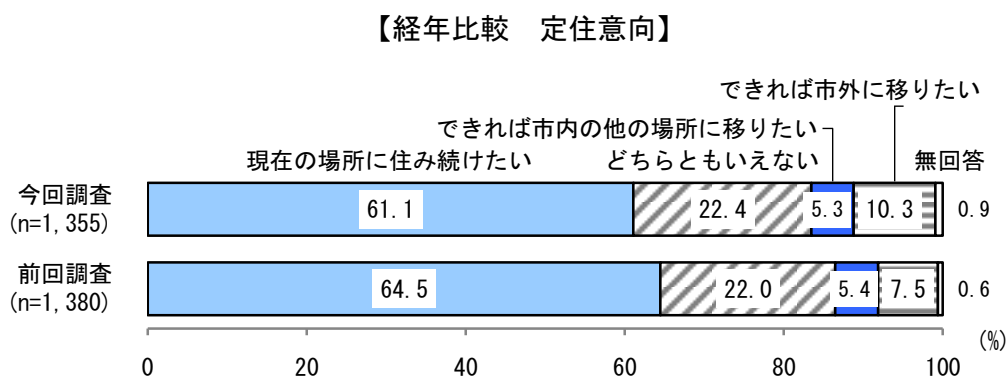
市や居住地域に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」「感じている」の合計）は約6割となっています。30歳代男女は、約5割が誇りや愛着を感じていない（「あまり感じていない」「感じていない」の合計）と答えており、他の性年代と比較して高くなっています。

2. 経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

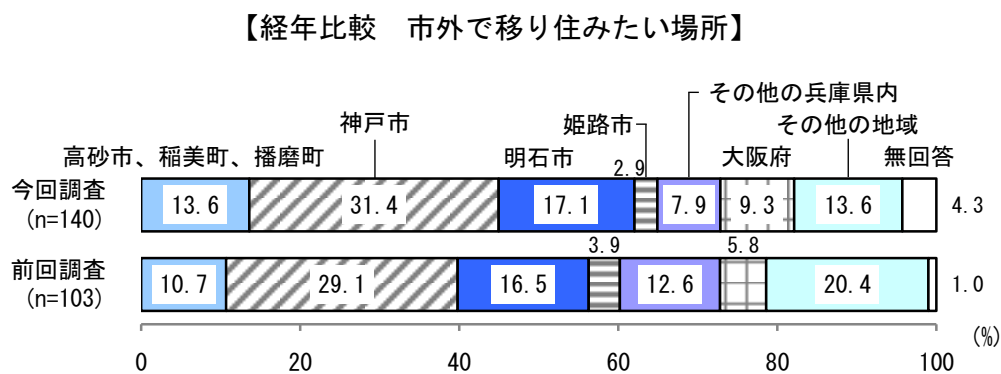
■ 定住意向について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリで「現在の場所に住み続けたい」が高く、今回調査では61.1%、前回調査では64.5%となっています。



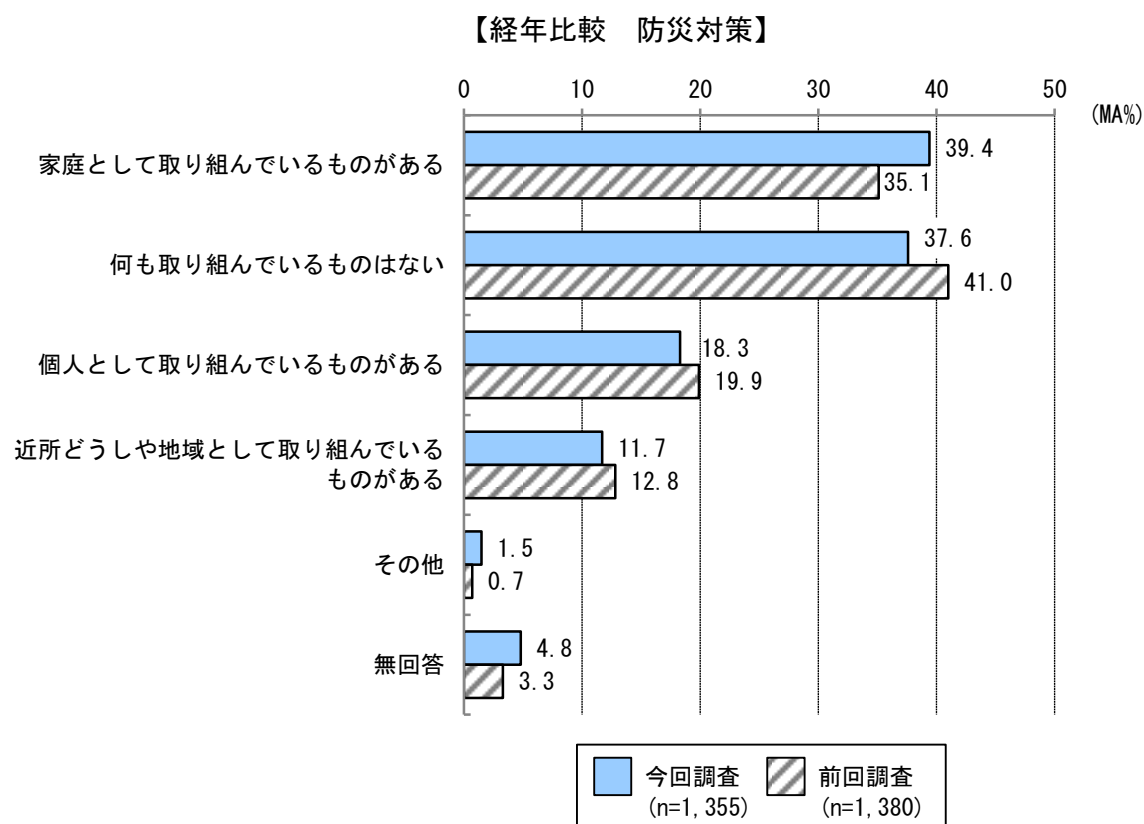
■ 市外で移り住みたい場所について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリで「神戸市」が高く、今回調査では31.4%、前回調査では29.1%となっています。



■ 防災対策について

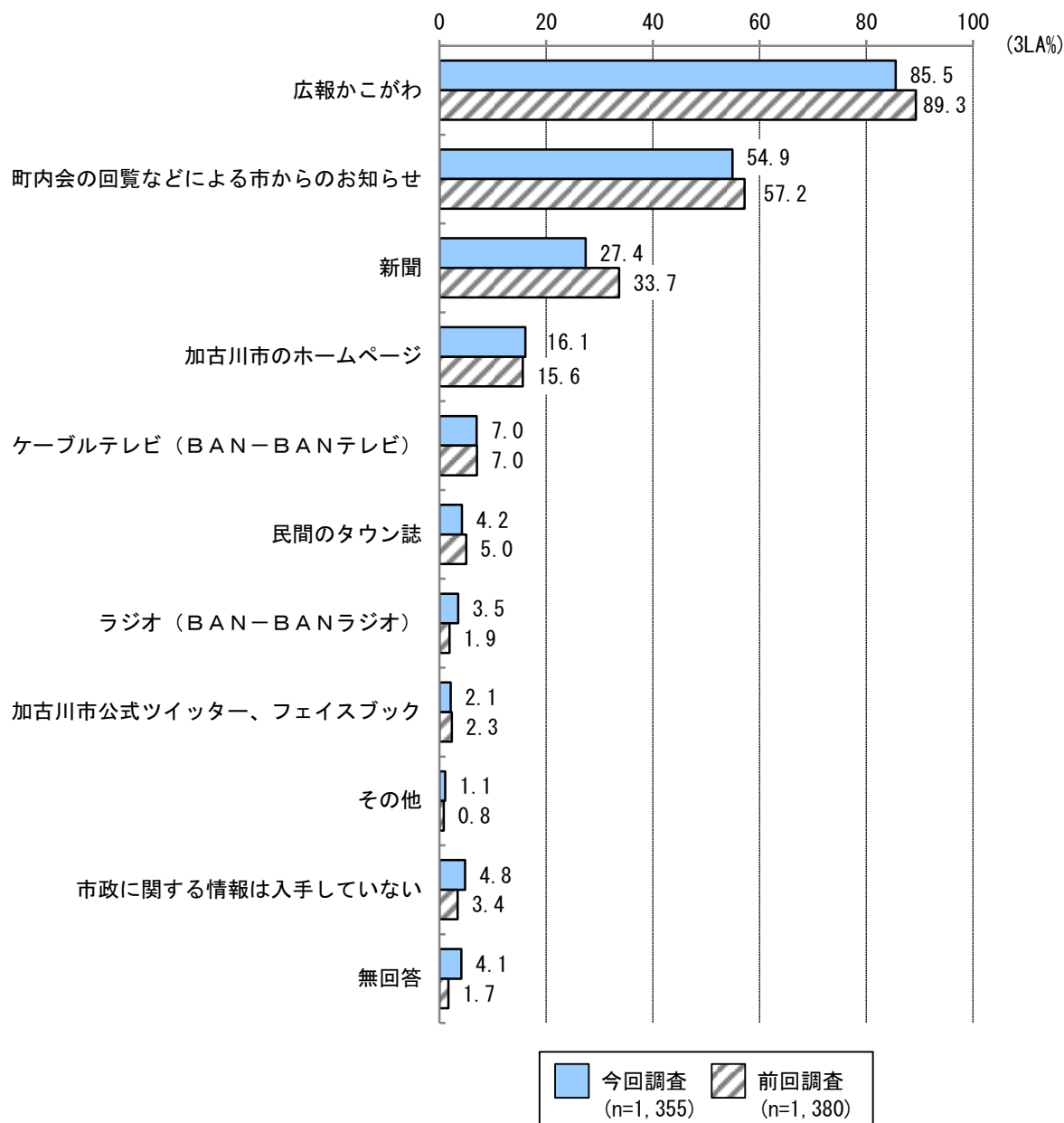
前回調査と比較して、今回調査では「家庭として取り組んでいるものがある」が39.4%と最も高く、前回調査では「何も取り組んでいるものはない」が41.0%と最も高くなっています。



■ 市政に関する情報の入手先について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「広報かこがわ」が高く、今回調査では85.5%、前回調査では89.3%となっています。

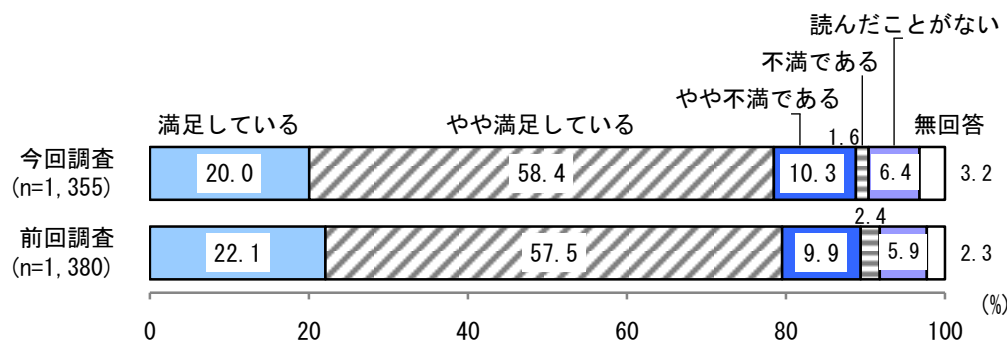
【経年比較 市政に関する情報の入手先】



■ 広報かこがわの満足度について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が高く、今回調査では58.4%、前回調査では57.5%となっています。

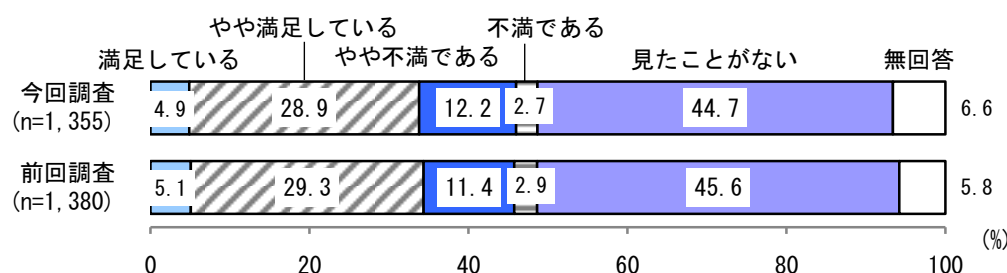
【経年比較 広報かこがわの満足度】



■ 加古川市のホームページの満足度について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「見たことがない」が高く、今回調査では44.7%、前回調査では45.6%となっています。

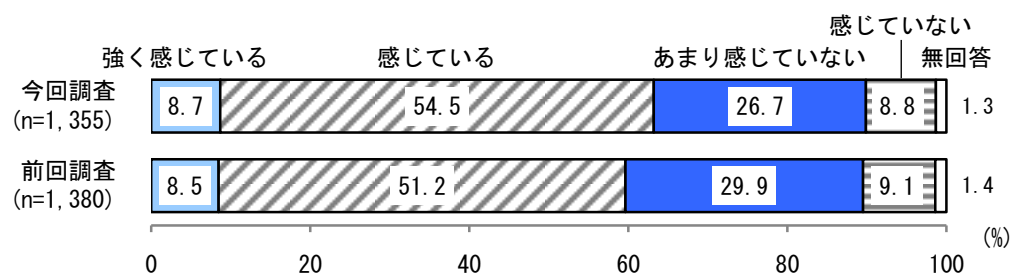
【経年比較 加古川市のホームページの満足度】



■ 郷土愛の意識について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「感じている」が高く、今回調査では54.5%、前回調査では51.2%となっています。

【経年比較 郷土愛の意識】



平成30年度 市民意識調査 報告書
平成31年 3 月

加古川市 企画部 政策企画課
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000番地
電話 (079) 427-9113